SONY
ヘルプガイド(Web取扱説明書)

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

このガイドでは、Interchangeable Lens Digital Camera ILME-FR7 / ILME-FR7Kの設定と操作について説明します。

必要に応じて、関連する他の機器の取扱説明書も併せてお読みください。

概要

本機の活用例

- システム構成例
- 本機1台を付属の赤外線リモコンで操作するとき
- 本機1台をタブレットやコンピューターで操作するとき
- 本機1台を別売のリモートコントローラーで操作するとき
- 複数の本機を別売のリモートコントローラーで操作するとき

本機の各部の名称と働き

- 前面部
- 背面部
- 端子部
- 側面部
- 天面部
- 底面部
- レンズサポート部

赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働き

Web App画面

- Web App画面について
- 画面共通部分の各部の名称と働き
- ライブ操作画面の各部の名称と働き
- 再生操作画面の各部の名称と働き
- 設定画面の各部の名称と働き

カメラメニュー

カメラ画面表示

準備

本機を設置する

据え置き設置する

高所に据え置き設置する

天井に設置する

レンズの取り付け/取り外し

レンズの取り付け/取り外し時の注意

レンズのスイッチを確認する

ズームレンズ使用時の注意

レンズを取り付ける

レンズを取り外す

ケーブルを接続する

本機をネットワーク機器に有線接続する

電源を接続する

AC電源を使う

PoE++電源を使う

パン・チルトリセットを行う

撮影前の設定

Web Appで本機の初期設定を行う

- WebブラウザーでWeb Appにアクセスする
- 本機の初期設定を行う

本機の基本動作を設定する

メモリーカードを準備する

- 対応メモリーカードについて
- メモリーカードを入れる
- メモリーカードを取り出す

- メモリーカードをフォーマット（初期化）する
- 残りの記録可能時間を確認する
- メモリーカードを修復する

撮影

基本操作

録画を開始/停止する

メモリーカードを切り替える

音声を確認する

タイムデータ

記録内容を確認する（レックレビュー）

画角を調節する

画角調節操作を行う画面

カメラの向きを調節する

- Web Appでカメラの向きを調節する
- パン・チルトの動作速度を設定する
- パン・チルト動作の加速度を設定する
- 付属の赤外線リモコンでカメラの向きを調節する

ズームを調節する

- ズームタイプを設定する
- Web Appでズームを調節する
- ズームの動作速度を設定する
- 付属の赤外線リモコンでズームを調節する

カメラの向きやズーム位置を保存/復元する（プリセットポジション）

- 準備：Eマウントレンズのキャリブレーションを行う
- Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する
- Web Appでプリセットポジションの名前を変更する
- Web Appで保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替える
- Web Appで保存したプリセットポジションを削除する
- プリセットポジションを復元するときにパン・チルト動作とズーム/フォーカス動作を連動させる

- プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する
- 付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する

カメラのフレーミングを記録/再生する（PTZトレース）

- Web Appでカメラのフレーミング操作を記録する
- Web Appでカメラのフレーミング操作を再生する
- Web Appでカメラのフレーミング操作の記録を削除する
- 付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を記録する
- 付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を再生する

フォーカスを調節する

フォーカス調節操作を行う画面

フォーカスを手動調節する（マニュアルフォーカス）

- Web Appで手動調節する
- 付属の赤外線リモコンで手動調節する
- ピントを合わせる位置を指定してフォーカスを調節する（スポットフォーカス）
- 一時的に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF））
- 迅速に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF-S））

フォーカスを自動調節する（オートフォーカス）

- Web Appで自動調節する
- 付属の赤外線リモコンで自動調節する
- オートフォーカスの対象領域/位置を設定する（フォーカスエリア）
- フォーカスエリアを素早く変更する（フォーカスセット）
- フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する（タッチフォーカスエリア）
- オートフォーカスの動作を調節する（AFトランジション速度/AF乗り移り感度）
- Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）
- オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする
- オートフォーカス中に一時的に手動でフォーカスを合わせる（プッシュマニュアルフォーカス）

顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）

被写体を指定して追尾する（リアルタイムトラッキングAF）

明るさを調節する

明るさの調節操作を行う画面
基準感度を設定する
明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する
アイリスを調節する
- アイリスを自動調節する
- アイリスを手動調節する

ゲインを調節する
- ゲインを自動調節する
- ゲインを手動調節する

シャッターを調節する
- シャッターを自動調節する
- シャッターを手動調節する

光量を調節する（NDフィルター）
- NDフィルターについて
- プリセットモードで調節する
- バリアブルモードで自動調節する
- バリアブルモードで手動調節する

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）
ホワイトバランスの調節操作を行う画面
ホワイトバランスを自動調節する
ホワイトバランスを手動調節する
オートホワイトバランスを実行する
収録する音声を設定する
音声の設定を行う画面
音声入力機器を選ぶ
録音レベルを自動調節する
録音レベルを手動調節する

便利な機能

ダイレクトメニュー操作

アサイナブルボタン

スロー＆クイックモーション

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）

映像信号モニター

クリップフラグ

ブリージング補正

プロキシ記録

プロキシ記録の概要

プロキシ記録で撮影する

好みのルックで撮影する

ルックの概要

ルックを選ぶ

好みの基本ルックをインポートする

ルックをカスタマイズする

ルックを保存する

基本ルックを削除する

ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用する

LUTを変更する

記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える

RAW動画

RAW動画を記録する

スロー＆クイックモーションモードでRAW動画を記録する

ボケを調節する（ボケ調節機能）

ボケ調節機能のOn/Offを切り替える

ボケ具合を調節する

設定データの保存と読み込み

設定データの保存と読み込みについて

ALLファイルを保存する

ALLファイルを読み込む

ネットワーク機能

ファイルの転送

ファイルの転送について

準備：ファイルの転送先を登録する

ファイルを選んで転送する

- サムネイル画面からメモリーカードのプロキシファイルを転送する
- サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルファイルを転送する
- ファイルの転送状況を確認する

セキュアなFTP転送を行う

ストリーミングを設定する

ストリーミングについて

ストリーミング方式を設定する

ストリーミングのビデオコーデックを設定する

ストリーミングのオーディオコーデックを設定する

ストリーミングを開始する/停止する

サムネイル画面

サムネイル画面

クリップを再生/操作する

記録したクリップを再生する

記録したクリップを操作する

カメラメニューと詳細設定

カメラメニューの構成

カメラメニューの操作方法

カメラメニューの操作方法

文字列を入力する

Userメニュー

User

Edit Userメニュー

Edit User

Shootingメニュー

ISO/Gain/EI

ND Filter

Shutter

Iris

Auto Exposure

White

White Setting

Offset White

Focus

S&Q Motion

LUT On/Off

Noise Suppression

Flicker Reduce

SteadyShot

Projectメニュー

Base Setting

Rec Format

Cine EI/Flex.ISO Set

Simul Rec

Proxy Rec

Interval Rec

Picture Cache Rec

SDI/HDMI Rec Control
Assignable Button
Paint/Lookメニュー
Scene File
Base Look
Reset Paint Settings
Black
Knee
Detail
Matrix
Multi Matrix
Pan-Tiltメニュー
P/T Acceleration
TC/Mediaメニュー
Timecode
TC Display
Users Bit
HDMI TC Out
Clip Name Format
Update Media
Format Media
Media Life
Monitoringメニュー
Output Format
Display On/Off
Video Signal Monitor
Marker
Audioメニュー

Audio Input
Audio Output
Thumbnailメニュー
Display Clip Properties
Set Clip Flag
Lock/Unlock Clip
Delete Clip
Transfer Clip
Transfer Clip (Proxy)
Filter Clips
Customize View
Technicalメニュー
Color Bars
Genlock
Tally
Rec Review
Zoom
Lens
APR
Networkメニュー
Wired LAN
File Transfer
Maintenanceメニュー
Language
Clock Set
Hours Meter
Shootingメニューの設定値と初期値について
ISO/Gainメニューの設定値と初期値

AGC Limitメニューの設定値と初期値

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

Webメニューと詳細設定

Webメニュー構成

Webメニューの操作方法

Shootingメニュー

Focus

Projectメニュー

Base Setting

Rec Format

Simul Rec

Proxy Rec

Interval Rec

Picture Cache Rec

All File

Paint/Lookメニュー

Base Look

Pan-Tiltメニュー

P/T Speed

P/T Acceleration

P/T Range Limit

P/T Direction

P/T Preset

Monitoringメニュー

Output Format

Output Display

Audioメニュー

Audio Input

Audio Output

Technicalメニュー

Tracking Data Output

Tally

IR Remote

RCP/MSU

Lens Controller

Networkメニュー

Camera Name

User

Wired LAN

File Transfer

FTP Server 1～3

SSL

Referer Check

Brute Force Attack Protection

Streamメニュー

Stream

Video Stream

Audio Stream

Maintenanceメニュー

Language

Accessibility

Clock Set

Reset

Information

System Log

HTTP Access Log

Service

EULA

Software

外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する

RCP/MSU（別売）と接続する

RCP/MSUとの接続について

本機とRCPを1対1で接続する

MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する

対応機能一覧

リモートコントローラーRM-IP500（別売）で操作する

リモートコントローラーRM-IP500（別売）での操作について

リモートコントローラーRM-IP500を接続する

外部機器との同期

外部機器との同期について

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

他機のタイムコードにロックさせる

外部マイクや外部オーディオ機器を接続する

コンピューターでクリップを管理・編集する

光ファイバー信号を出力する

タリー信号を接続する

トラッキングデータ（free-d）を出力する

レンズコントローラーを接続する

レンズコントローラーでズームを調節する

付録

使用上のご注意

出力のフォーマットと制限

トラブル時の対処

エラー/警告表示

メニュー項目一覧

プリセットポジションの保存項目

ブロックダイヤグラム

Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

レンズリリースボタンカバーを取り付ける

ライセンスについて

保証書とアフターサービス

仕様

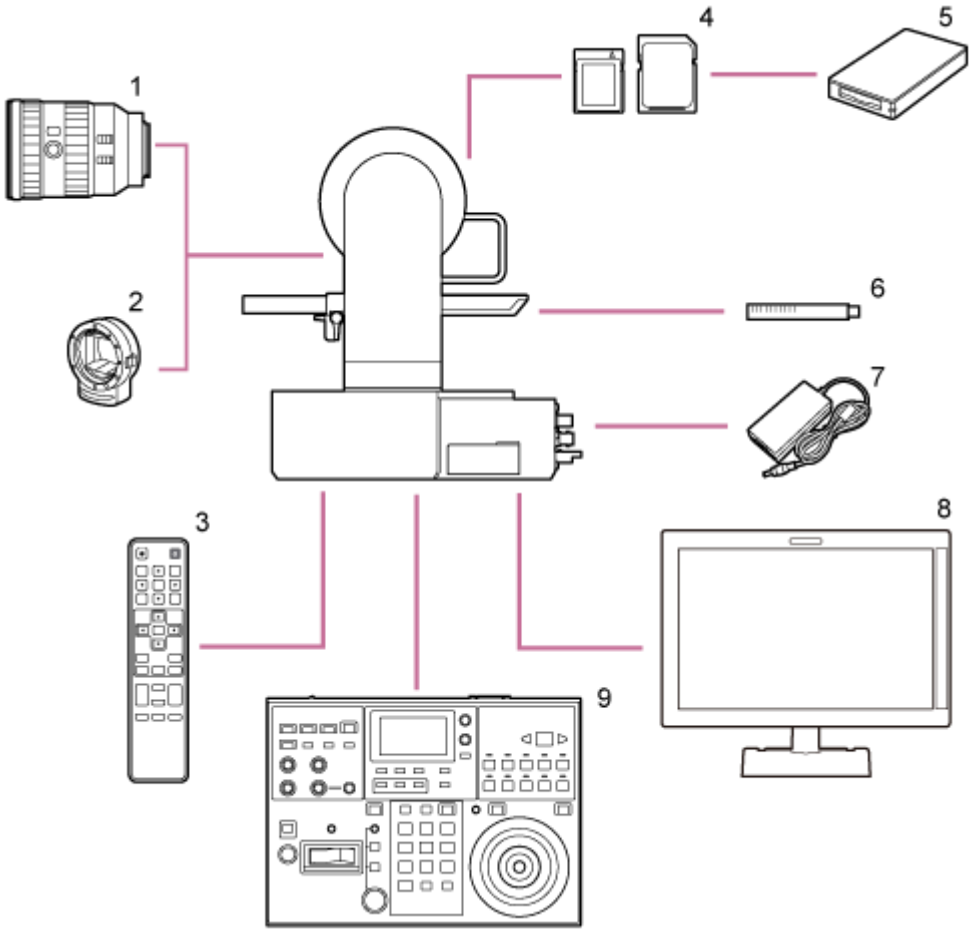
商標について

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

システム構成例

本機は、別売機器との組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。



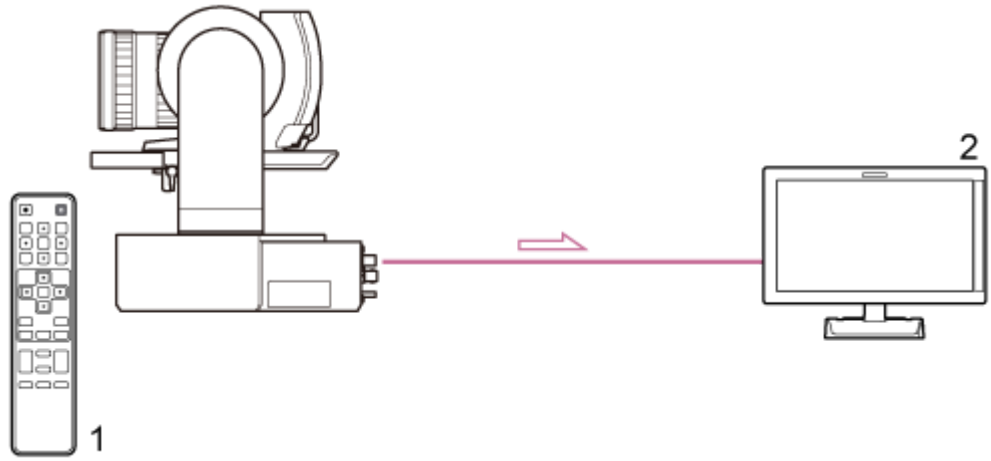
1. **Eマウントレンズ**
2. **Aマウントアダプター LA-EA3 / LA-EA4**
3. **赤外線リモコン（付属）**
4. **CFexpress Type Aメモリーカード / SDXCメモリーカード**
5. **CFexpress Type Aカードリーダー / SDカードリーダー**
6. **マイクロホン ECM-680S、ECM-678*、ECM-674***
   * XLR 3ピン→5ピン変換ケーブルEC-0.5X3F5Mが必要です。
7. **ACアダプター（付属）**
8. **ビデオモニター**
9. **リモートコントローラー RM-IP500**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機1台を付属の赤外線リモコンで操作するとき

付属の赤外線リモコンで本機1台をリモート操作できます。



映像信号
信号の流れ

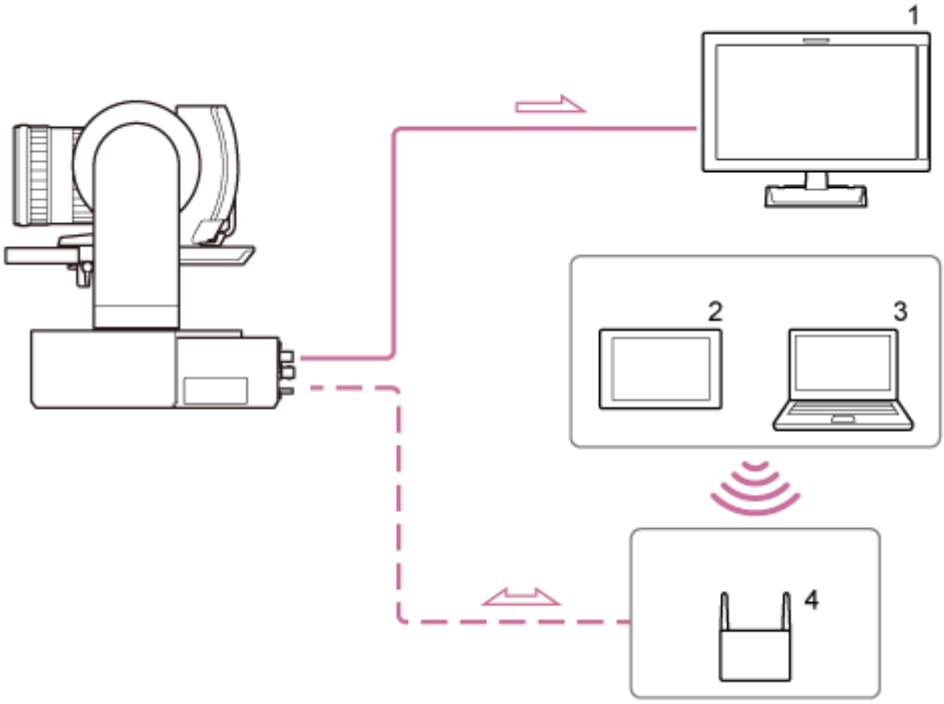
1. **赤外線リモコン（付属）**
2. **ビデオモニター**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機1台をタブレットやコンピューターで操作するとき

本機をタブレットやコンピューターと接続してWebブラウザーから操作できます。



映像信号
リモートコントロール信号
信号の流れ

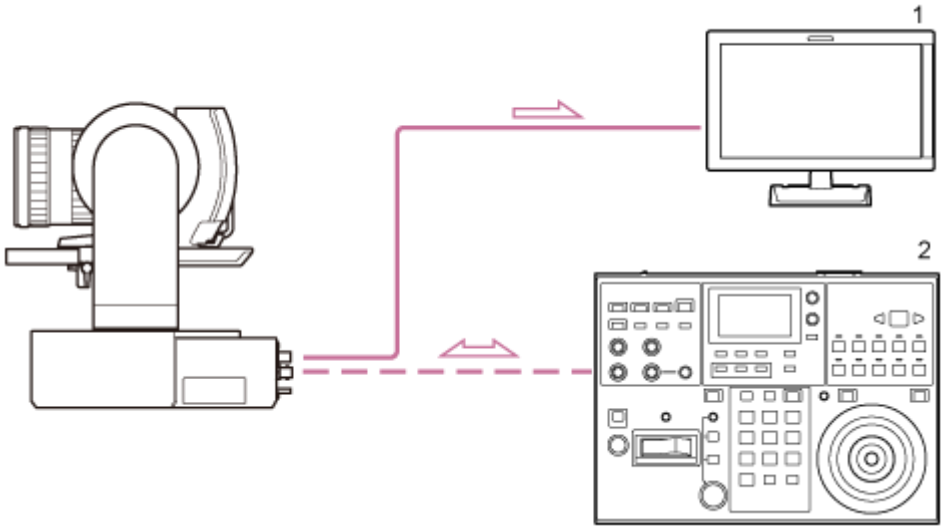
1. **ビデオモニター**
2. **タブレット**
3. **コンピューター**
4. **アクセスポイント**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機1台を別売のリモートコントローラーで操作するとき

リモートコントローラーで本機をリモート操作できます。



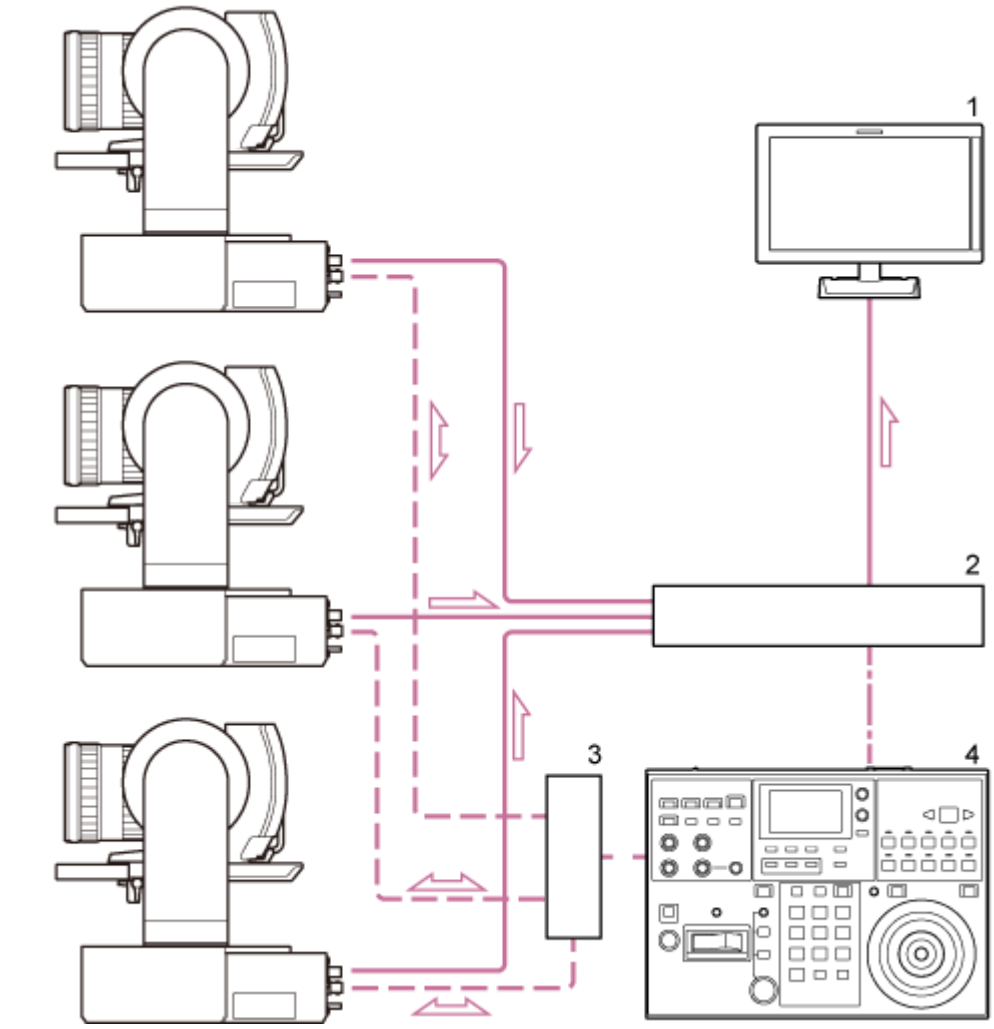
映像信号
リモートコントロール信号
信号の流れ

1. **ビデオモニター**
2. **リモートコントローラー RM-IP500**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

複数の本機を別売のリモートコントローラーで操作するとき

1台のリモートコントローラーで本機を100台までリモート操作できます。



映像信号
リモートコントロール信号
タリー/コンタクト信号
信号の流れ

1. **ビデオモニター**
2. **ビデオスイッチャー**
3. **Ethernetハブ**
4. **リモートコントローラー RM-IP500**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

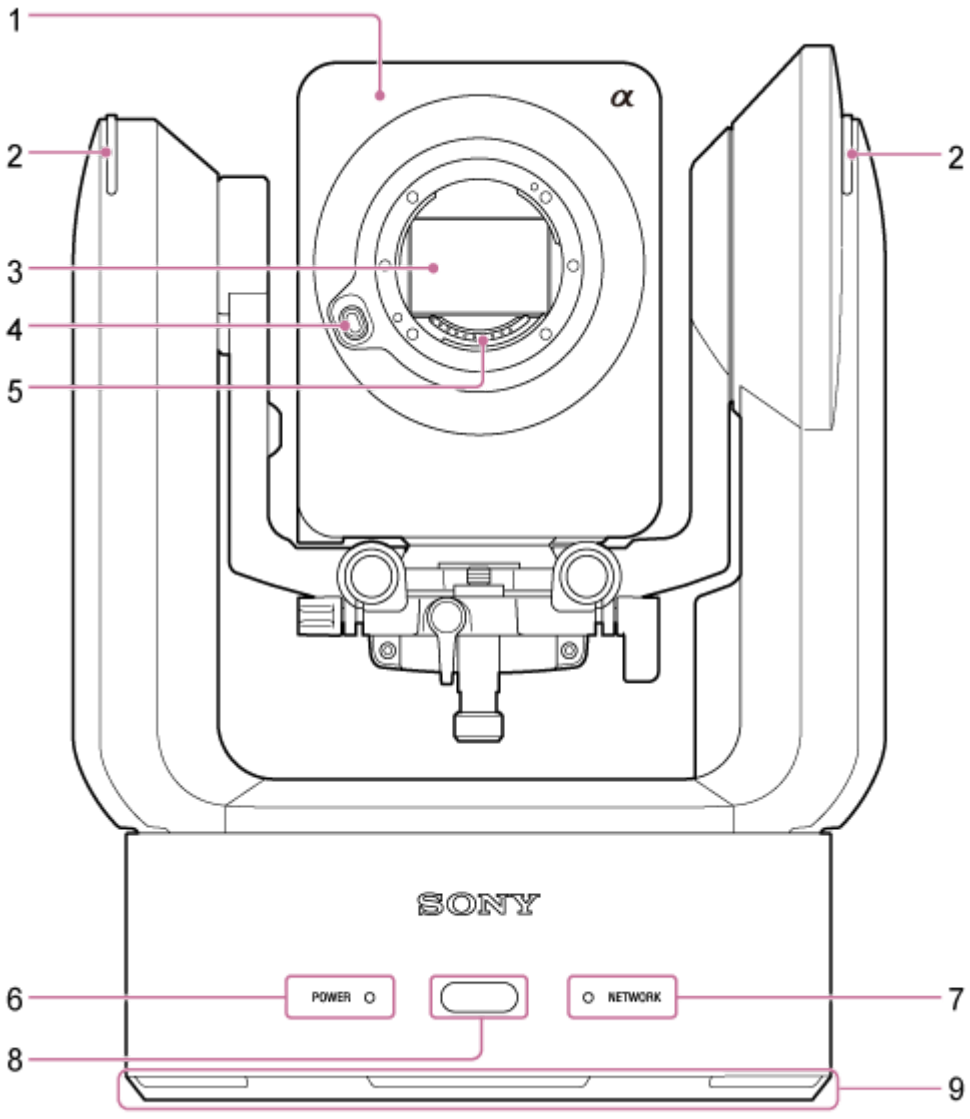
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

前面部

本機前面部の各部の名称と働きを説明します。

ヒント

- レンズ未装着の状態のイラストで説明します。



1. カメラヘッド

ご注意

- カメラヘッドに強い衝撃を与えないでください。

2. 記録/タリーランプ

記録ランプに設定すると、メモリーカードへの記録中に赤色で点灯します。記録メディアの残容量が少なくなったり異常が発生したりすると点滅します。

- 詳しくは、「エラー/警告表示」をご覧ください。

タリーランプに設定すると、外部からのタリー信号に従って、赤色または緑色で点灯します。

- 詳しくは、「タリー信号を接続する」をご覧ください。

3. **イメージセンサー**

ご注意

- 直接手で触れないでください。

4. **レンズリリースボタン**
レンズを取り外すときに押します。

- 詳しくは、「レンズを取り外す」をご覧ください。

5. **レンズ信号接点**

ご注意

- 直接手で触れないでください。

6. **POWER（パワー）ランプ**

7. **NETWORK（ネットワーク）ランプ**
POWERランプ、およびNETWORKランプの表示色、点灯/点滅/消灯状態の組み合わせで本機の状態を知ることができます。

POWERランプ	NETWORKランプ	本機の状態
緑色で点灯*1	緑色で点灯	電源オン（ネットワーク接続）
	消灯	電源オン（ネットワーク未接続）
緑色で点滅	消灯	電源オン処理中
オレンジ色で点灯	消灯	電源スタンバイ状態
黄色で点滅	消灯	ソフトウェアアップデート中
オレンジ色で低速点滅*2	緑色で低速点滅*2	本機が正常に動作できない状態です。詳細はシステムログをご覧ください。スタンバイ状態にする、または電源を入れなおしても復旧しない場合、ソニーのサービス窓口までご相談ください。
オレンジ色で高速点滅*3	緑色で高速点滅*3	本機に異常が発生しています。ソニーのサービス窓口までご相談ください。

*1 付属の赤外線リモコンからの操作を受信すると緑色で点滅します。
*2 低速：点滅周期は1秒に1回程度
*3 高速：点滅周期は1秒に4回程度

8. **赤外線リモコン受光部**
付属の赤外線リモコンにおける制御信号を受信します。

9. **吸気口**

ご注意

- 故障の原因になりますので、ふさがないでください。

関連項目

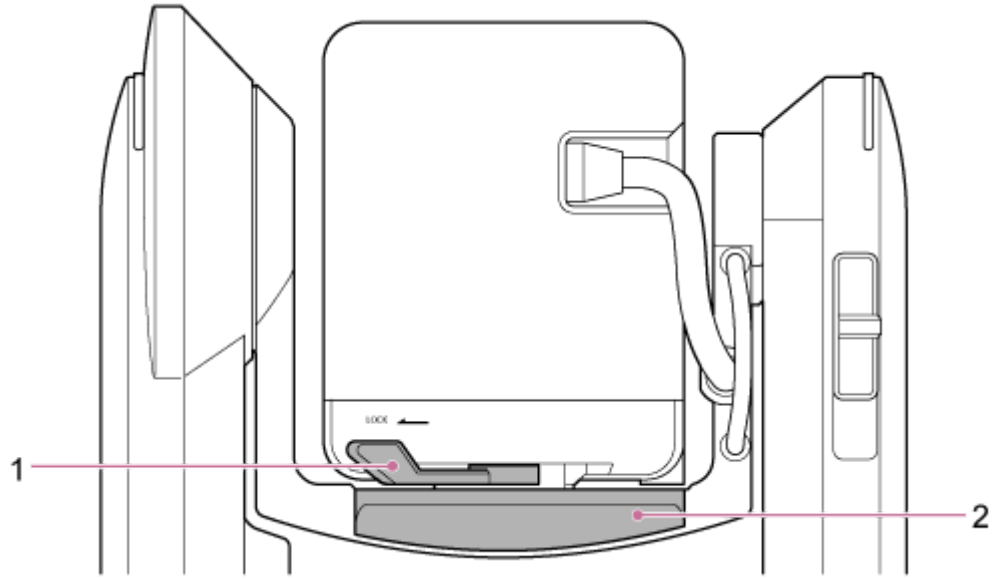
- エラー/警告表示
- タリー信号を接続する
- レンズを取り外す

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

背面部

本機背面部の各部の名称と働きを説明します。



1. **カメラヘッドロックレバー**
   カメラヘッドの前後移動をロックします。

ご注意

- レンズ交換時を除いて、必ずロックしてご使用ください。
- 本機の輸送時は、必ずレンズを取り外してロックしてください。
- 指を挟むなどのけがの原因になりますので、ロックレバーの操作は、必ず本機の電源を切り、パン・チルトロックレバーでカメラヘッドを水平にロックした状態で行ってください。パン・チルトロックレバーについては、「側面部」の「パン・チルトロックレバー」をご覧ください。

2. **スライドベース**

関連項目

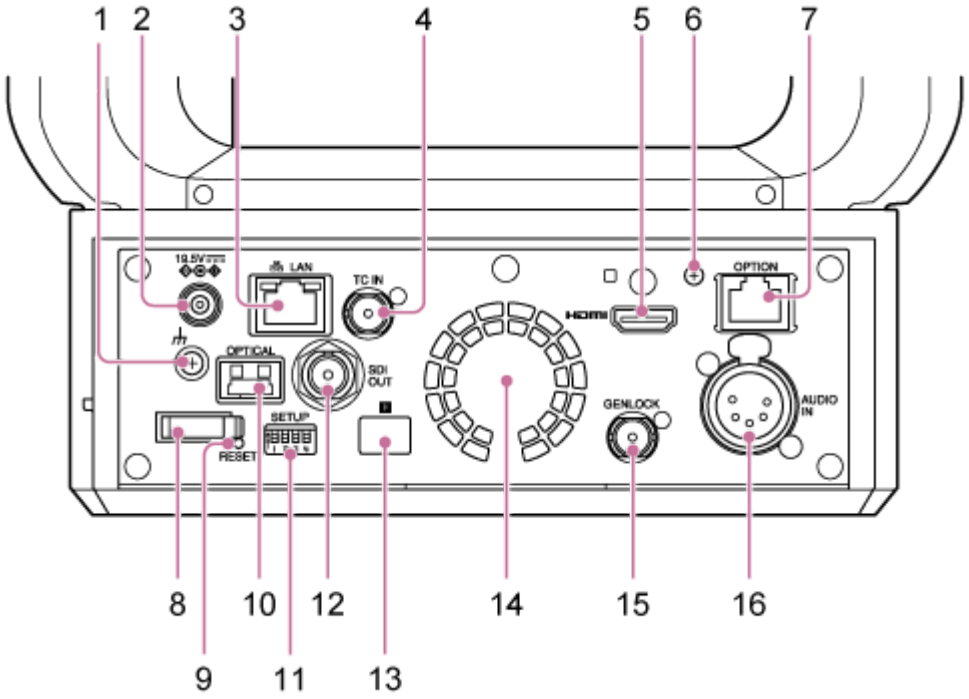
- 側面部

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

端子部

本機端子部の各部の名称と働きを説明します。



1. **⏚（アース）端子**
   コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地してください。

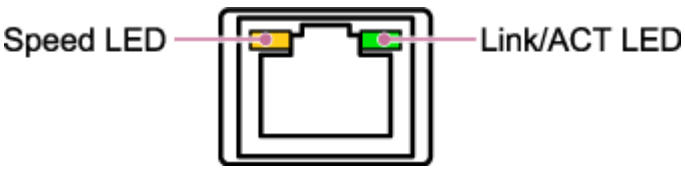
2. **DC IN端子（標準DCジャック）**
   ACアダプターを接続します。

   ご注意

   - 火災や故障の原因になりますので、付属のACアダプター以外は使用しないでください。

3. **品 LAN（ネットワーク）端子（RJ-45）**
   ネットワークケーブル（カテゴリー5e以上）を使用してネットワーク通信およびPoE++*給電を行います。

   * PoE++：Power over Ethernet Plus Plusの略です。IEEE802.3bt (Type 4 Class 8)に準拠しています。接続について詳しくは、電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。



Speed LEDの表示状態
ネットワークの接続速度を確認できます。

表示	接続速度
消灯	10 Mbpsで接続
	100 Mbpsで接続
オレンジ点灯	1000 Mbpsで接続

Link/ACT LEDの表示状態
ネットワークの接続状態を確認できます。

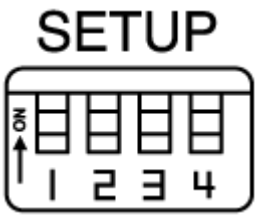
表示	接続状態
消灯	リンクなし
緑点滅	リンクが確立してデータがアクティブ
緑点灯	アクティブリンク

ご注意

- 本製品は、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通してインターネットに接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

4. **TC IN端子**
   基準となるタイムコード信号を外部から入力します。
   - 詳しくは、「他機のタイムコードにロックさせる」をご覧ください。
5. **HDMI端子**
   本機からの映像をHDMI信号として出力します。
   - 詳しくは、「外部モニターや記録装置を接続する」の「HDMI端子（Type Aコネクター）」をご覧ください。
6. **HDMI固定プレート取付用ネジ**
   HDMIケーブルの抜けを防止したい場合は、付属のHDMI固定プレートを、付属の取り付け用ネジ（M2.6x6）で取り付け、市販の結束バンドで固定してください。
   - HDMI固定プレートの取り付け方法は、「ケーブルを接続する」をご覧ください。
7. **OPTION端子**
   外部機器とのタリー信号、またはレンズコントローラーの接続に使用します。
   - 詳しくは、「タリー信号を接続する」または「レンズコントローラーを接続する」をご覧ください。
8. **コードクランパー**
   ACアダプターのコードを固定して抜けを防止します。
9. **RESETスイッチ**
   ペン先などで5秒以上押すと、本機の設定を工場出荷時の設定にリセットします。
   SETUPスイッチのスイッチ1の設定状態により、リセット対象をネットワーク接続用の設定のみとするかすべての設定とするかを選択できます。
10. **OPTICAL出力端子**
    SFP+モジュール（別売）を接続することにより、SDI信号を光変換して出力できます。
    - 詳しくは、「光ファイバー信号を出力する」をご覧ください。

11. SETUPスイッチ



以下の設定を行います。
スイッチ1：RESETスイッチを押したときの本機の設定のリセット対象を設定します。

設定	説明
OFF（初期設定）	ネットワーク接続用の設定だけをリセットします。本機のネットワーク設定、セキュリティ設定、ユーザー情報（ユーザー名およびパスワード）が初期化されます。
ON	全設定を工場出荷設定にリセットします。

スイッチ2：音声入力機器を接続する際の+48V電源（ファンタム電源）のOn/Offを設定します。設定は即時反映されます。
カメラメニューの［Audio］メニュー > ［Audio Input］ > ［AUDIO IN Select］の設定が［MIC］の場合に有効です。

設定	説明
OFF（初期設定）	+48V電源（ファンタム電源）を供給しない設定です。外部音声機器（ミキサーなど）やダイナミックマイク、電池内蔵のマイクをご使用の場合はこの設定にしてください。
ON	+48V電源（ファンタム電源）をAUDIO IN端子のCH-1およびCH-2に接続されたファンタム電源対応マイクに供給します。

ご注意

- スイッチ2をONにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。

スイッチ3：VISCA over IP通信の有効/無効を設定します。設定はカメラの起動時に反映されます。
本機をリモートコントローラー（RM-IP500）と接続して使用する場合はONに設定してください。

設定	説明
OFF（初期設定）	VISCA over IPのコマンドに反応しません。
ON	VISCA over IPのコマンドを受け付けます。

ご注意

- 管理者パスワードが設定されていない場合はスイッチの状態に関わらずVISCA over IP通信は無効となります。管理者パスワードの設定は「本機の初期設定を行う」をご覧ください。

スイッチ4：赤外線リモコンからパン・チルト操作をしたときの速度を変更します。設定は即時反映されます。

設定	説明
OFF（初期設定）	通常速度で動作します。

設定	説明
ON	最高速度で動作します。

12. **SDI OUT端子**
    本機からの映像を12G/6G/3G/HD-SDI信号として出力します。
    設定によりRAW信号の出力も可能です。

    - 詳しくは、「外部モニターや記録装置を接続する」の「SDI OUT端子（BNC型）」をご覧ください。

13. **赤外線リモコン受光部（背面）**
    付属の赤外線リモコンの受光部です。

14. **ファン/排気口**
    本機内部の熱を外部に排出します。

    ご注意

    - 故障の原因になりますので、排気口をふさがないでください。
    - 排気口付近は高温になることがあります。ご注意ください。

15. **GENLOCK端子**
    外部同期信号を入力します。

    - 詳しくは、「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」をご覧ください。

16. **AUDIO IN端子（XLRタイプ5ピンコネクター）**
    外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力します。
    AUDIO IN CH-1端子およびAUDIO IN CH-2端子として機能します。

    - 詳しくは、「外部マイクや外部オーディオ機器を接続する」をご覧ください。

関連項目

- 他機のタイムコードにロックさせる
- 外部モニターや記録装置を接続する
- ケーブルを接続する
- タリー信号を接続する
- レンズコントローラーを接続する
- 光ファイバー信号を出力する
- 本機の初期設定を行う
- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）
- 外部マイクや外部オーディオ機器を接続する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

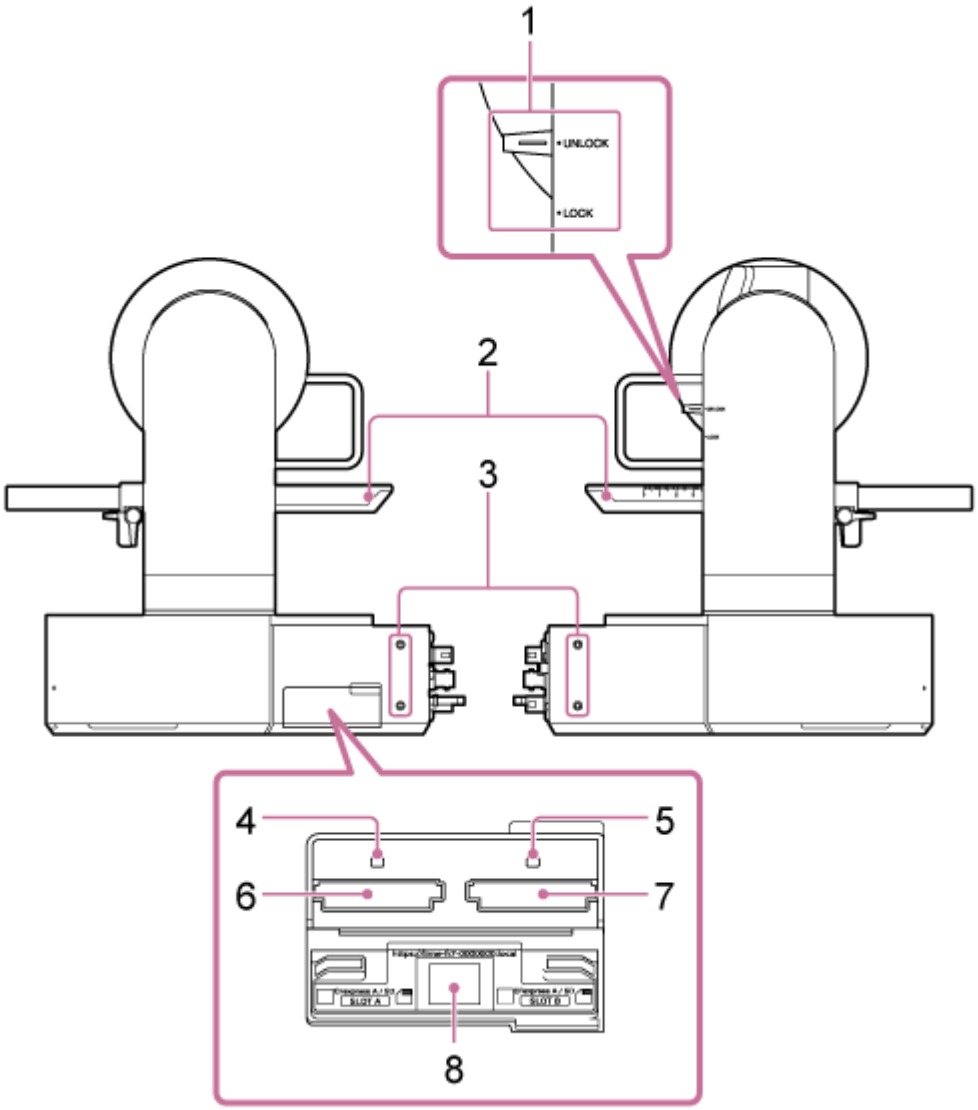
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

側面部

本機側面部の各部の名称と働きを説明します。

ヒント

- レンズ未装着の状態のイラストで説明します。

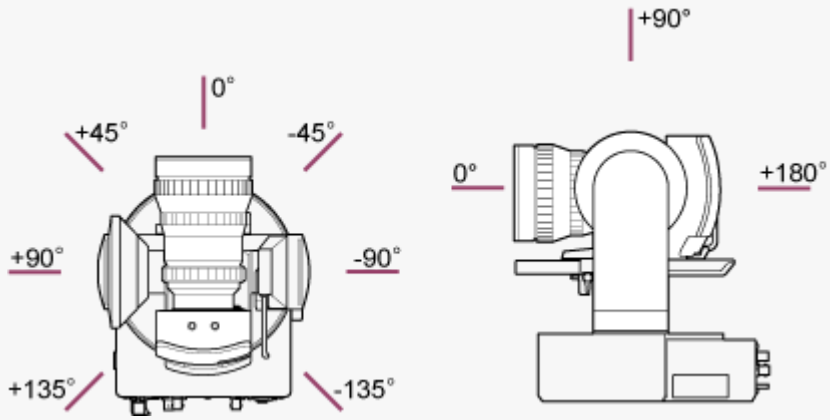


1. **パン・チルトロックレバー**
   本機のパン・チルト機構を固定します。以下の場合に使用します。

   - 本機を輸送・梱包するとき。
   - レンズを装着または取り外すとき。詳しくは、「レンズを取り付ける」または「レンズを取り外す」をご覧ください。
   - パン・チルト動作できないレンズを使用するとき（ソニー製レンズの場合：SEL100400GM / SEL200600G / SEL400F28GM / SEL600F40GM）
   - 本機の輸送時は、必ずレンズを取り外してロックしてください。

ヒント

- パン・チルト動作は、下図に示す角度で固定できます。



2. **スライドベース**

3. **拡張用ネジ穴（4箇所）**
   M3ネジ対応でネジの長さは最長で6 mmです。

ご注意

- 故障の原因になりますので、6 mm以上のネジは使用しないでください。

4. **アクセスランプA**

5. **アクセスランプB**
   記録メディア挿入時に点灯または点滅します。

   - 詳しくは、「メモリーカードを入れる」をご覧ください。

6. **CFexpress Type A / SDカードスロット (A)**

7. **CFexpress Type A / SDカードスロット (B)**
   記録メディアを挿入します。

   - 詳しくは、「メモリーカードを入れる」をご覧ください。

8. **ネットワーク接続用QRコード**
   初期設定の際に使用します。

   - 詳しくは、「WebブラウザーでWeb Appにアクセスする」をご覧ください。

関連項目

- レンズを取り付ける
- レンズを取り外す
- メモリーカードを入れる
- WebブラウザーでWeb Appにアクセスする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

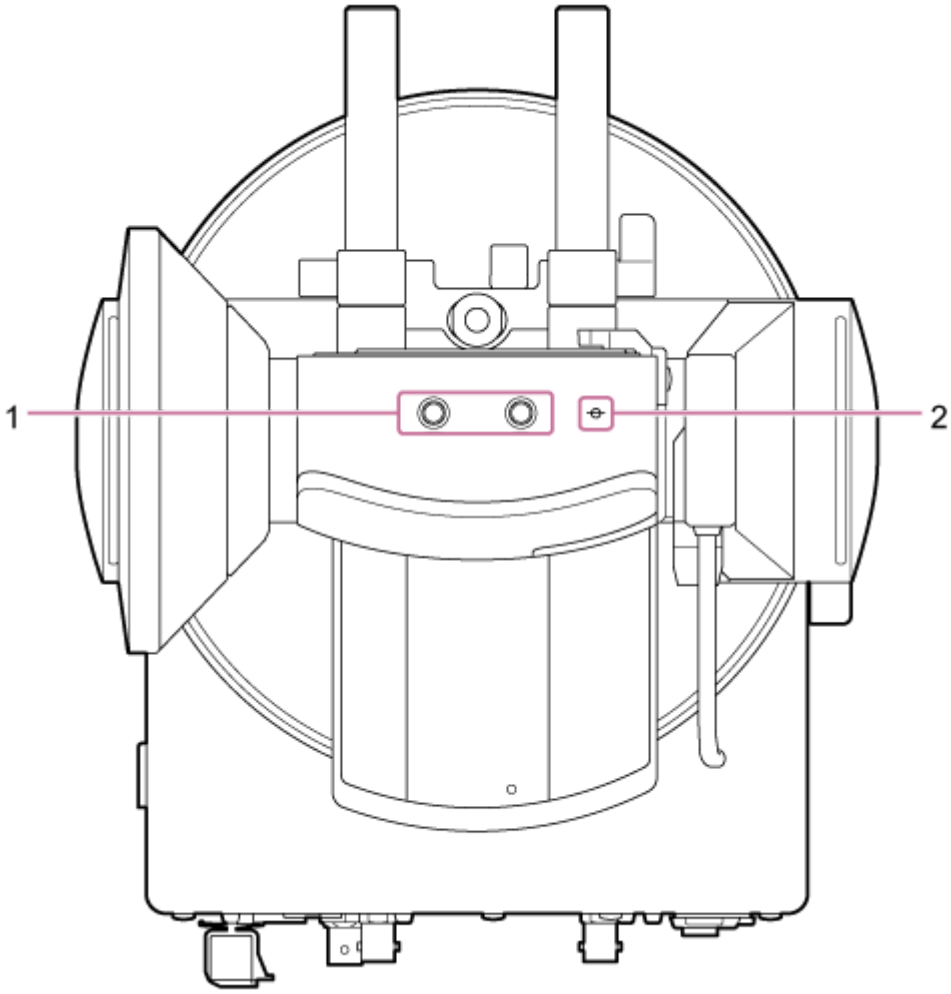
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

天面部

本機天面部の各部の名称と働きを説明します。

ヒント

- レンズ未装着の状態のイラストで説明します。



1. **拡張用ネジ穴（2箇所）**
   三脚用 1/4-20 UNCネジに対応しています。
   最大ネジ長さは6 mm以下です。

2. **φ（イメージャーマーク）**
   イメージャーマークがイメージセンサー面の位置になります。
   本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークの位置を参考にしてください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

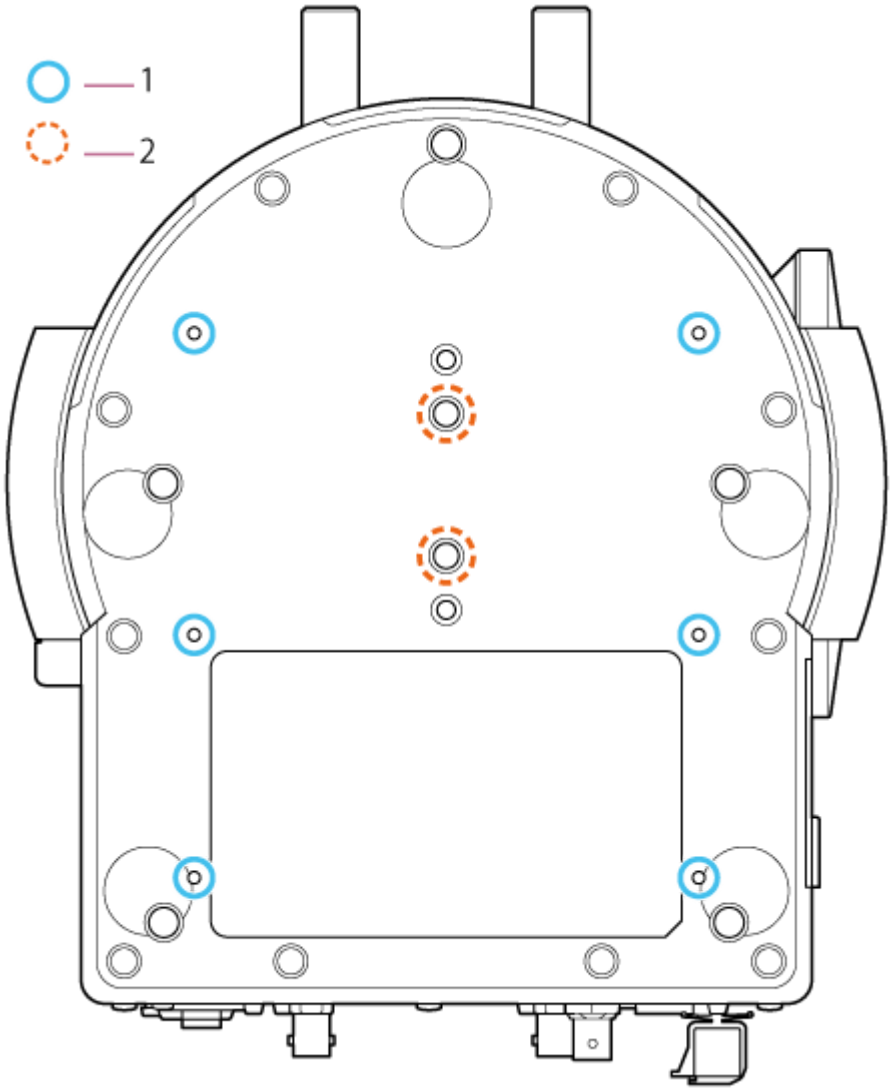
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

底面部

本機底面部の各部の名称と働きを説明します。

ヒント

- レンズ未装着の状態のイラストで説明します。



1. **高所設置用シーリングブラケット取り付けネジ穴（6箇所、有効ネジ深さ：5.5 mm）**
   本機を天井や高所の棚などに設置するとき、ボディブラケット（別売）をボディブラケット付属のネジ6本でこのネジ穴に固定します。

   - 設置については、「高所に据え置き設置する」および「天井に設置する」をご覧ください。

2. **三脚取り付け用ネジ穴（2箇所）**
   カメラ三脚（別売、1/4-20 UNCネジ 長さ5.5 mm以下）などに本機に固定するときに使用します。

ご注意

- 故障の原因になりますので、5.5 mmより長いネジは使用しないでください。

関連項目

- 高所に据え置き設置する
- 天井に設置する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

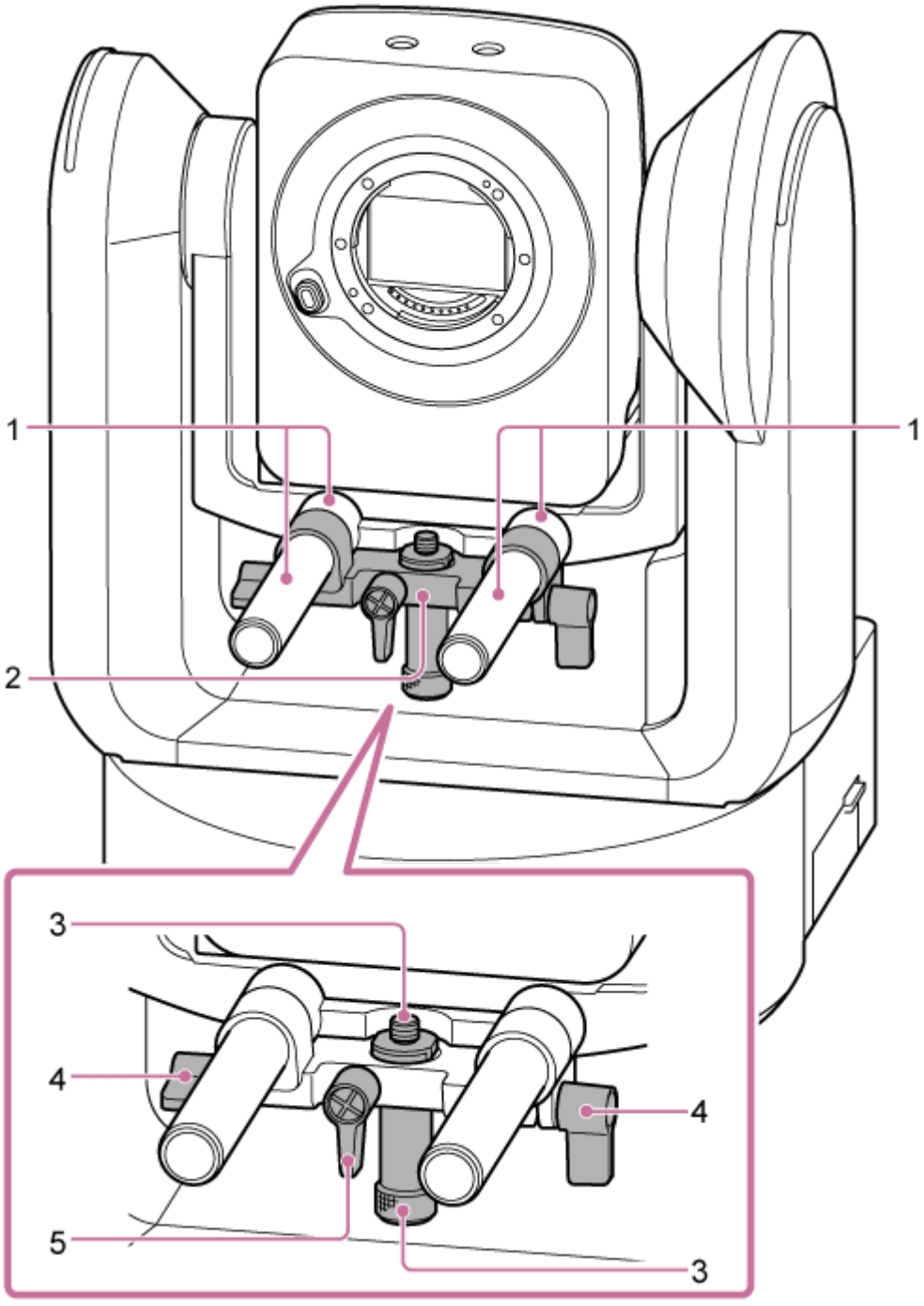
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズサポート部

本機レンズサポート部の各部の名称と働きを説明します。

ヒント

- レンズ未装着の状態のイラストで説明します。



1. **レンズサポートロッド（2本）**
   レンズをサポートします。
   ⌀15ロッド用の一般的なアクセサリーも取り付けることができます。

2. **レンズサポートユニット**
   レンズに合わせて前後に移動させて、レンズの三脚座を固定します。

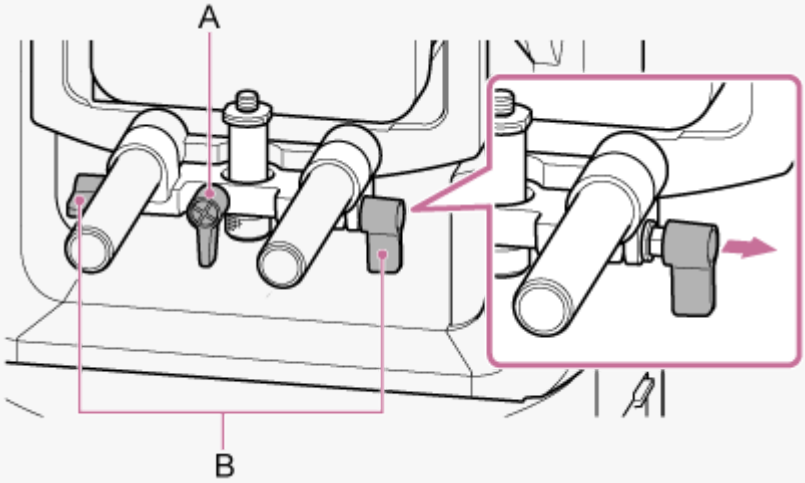
3. **レンズ三脚座固定ネジ**
   レンズの三脚座の固定に使用します。 レンズの三脚座の高さに合わせて上下に移動できます。

4. **レンズサポートロッドのクランプレバー（2か所）**
   レンズサポートユニットの前後の位置を固定します。

5. **レンズ三脚座固定ネジのクランプレバー**
   レンズ三脚座固定ネジの上下の位置を固定します。

ヒント

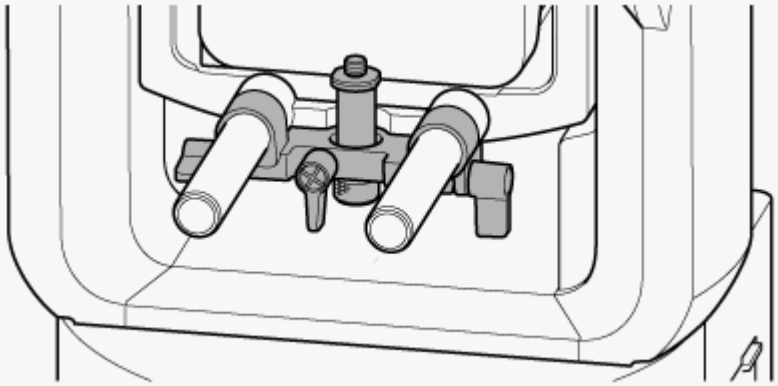
- クランプレバーが回しにくい位置にある場合は、クランプレバーを引き出してから操作しやすい位置まで回します。位置を決めたらクランプレバーを元の位置に戻します。



A：レンズ三脚座固定ネジのクランプレバー
B：レンズサポートロッドのクランプレバー

ご注意

- レンズサポートユニットがパン・チルト動作の妨げとなることを避けるため、レンズサポートユニットを使用しないときは、ユニットをカメラヘッド側に移動し、レンズ三脚座固定ネジを一番上の位置（レンズに近い位置）に固定してください。

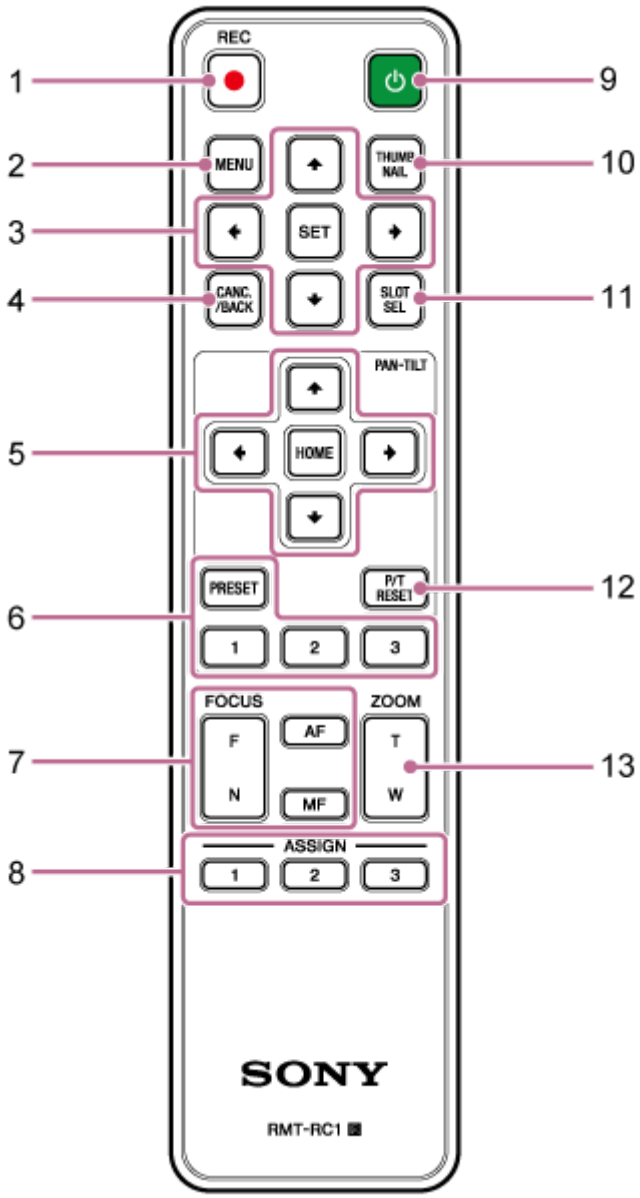


5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働き

赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働きを説明します。



1. **REC●（録画START/STOP）ボタン**
   録画を開始または停止するときに押します。

2. **MENUボタン**
   カメラメニューを表示または非表示にするときに押します。

3. **GUI操作ボタン**
   本機のカメラメニューやボタン付きメッセージなど、画面表示を操作します。

4. **CANC./BACKボタン**
   本機のカメラメニューで設定をキャンセルしたり、一つ前の画面に戻るときに押します。

5. **パン・チルト操作ボタン**

矢印ボタンでカメラのパン・チルト操作を行います。HOMEボタンを押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

6. **プリセットポジション操作ボタン**
   PRESET（プリセット）ボタンを押しながら1～3ボタンを押すと、カメラの向きやズーム、ピント調節の設定状態が押した番号ボタンに記憶されます。
   設定を記憶した番号ボタンを押すと、記憶した状態を呼び出します。

7. **フォーカス操作ボタン**
   ピント合わせに使います。
   自動でピントを調節する場合は、AFボタンを押します。
   手動で調節する場合は、MFボタンを押してから、遠くの被写体にピントを合わせるときはF（遠方）ボタンを、近くの被写体にピントを合わせるときはN（近傍）ボタンを押します。

8. **アサイナブルボタン1～3**
   カメラメニューでアサイナブルボタンに割り当てた機能を実行します。
   アサイナブルボタンに［Direct Menu］（ダイレクトメニュー）の機能を割り当てると、GUI操作ボタンで露出やホワイトバランスなどの調節操作が行えます。

   - カメラメニューで割り当てる手順については、「アサイナブルボタン」をご覧ください。

   - ダイレクトメニューについては「ダイレクトメニュー操作」をご覧ください。

9. **⏻（電源）ボタン**
   本機の電源を入れるとき、またはスタンバイ状態にするときに押します。

10. **THUMBNAILボタン**
    本機のメモリーカードに記録されているクリップのサムネイル画面を表示します。

    - サムネイル画面については、「サムネイル画面」をご覧ください。

    サムネイル画面では、GUI操作ボタンでクリップの選択と再生操作が行えます。

    - クリップの選択と再生操作については、「記録したクリップを再生する」および「記録したクリップを操作する」をご覧ください。

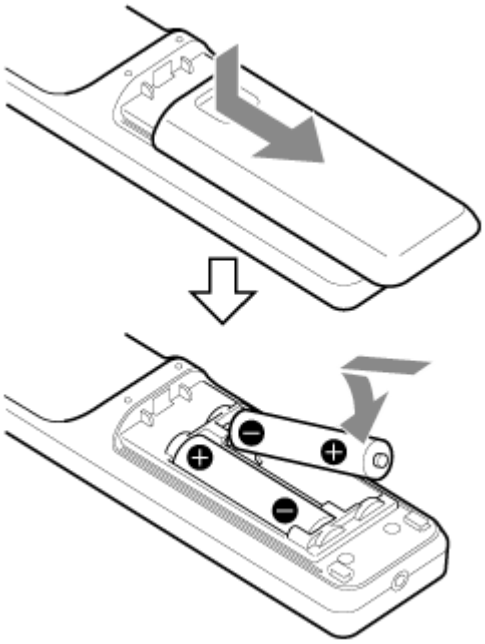
11. **SLOT SEL（メモリーカードスロット(A)/(B)選択）ボタン**
    メモリーカードが2枚装着されているときに、記録するメモリーカードを切り替えます。
    サムネイル画面を表示しているときにこのボタンを押すと、閲覧するメモリーカードが切り替わります。

12. **P/T RESET（パン・チルトリセット）ボタン**
    パン・チルトの初期化動作を実行します。POWERランプとNETWORKランプが同時に点滅している場合や、Web Appの画角操作部に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている場合に押してください。

13. **ズーム操作ボタン**
    被写体を大きくする場合は、T（望遠）ボタンを押します。
    被写体を小さくする場合は、W（広角）ボタンを押します。

赤外線リモコンの電池について

赤外線リモコンには、別売の単3形乾電池が2個必要です。
以下の図を参考に電池を赤外線リモコンに入れてください。



ご注意

- 破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

関連項目

- アサイナブルボタン
- ダイレクトメニュー操作
- サムネイル画面
- 記録したクリップを再生する
- 記録したクリップを操作する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web App画面について

タブレットまたはコンピューターを接続して、Webブラウザーから本機のパン・チルト、ズーム操作、録画、録画映像の再生、および本機の設定を行うことができます（以降、本機能をWeb Appと呼びます）。

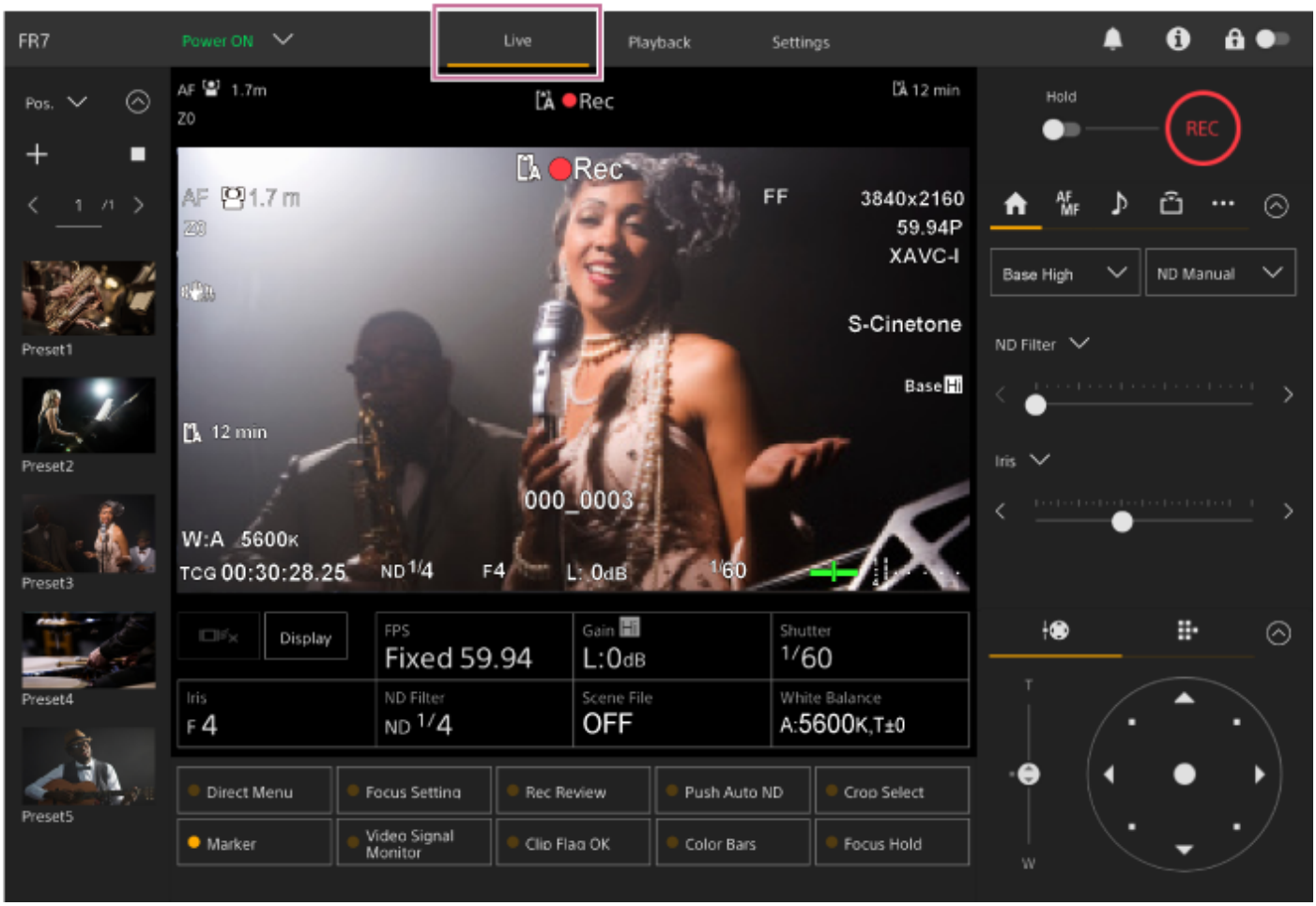
- Web Appの起動については「WebブラウザーでWeb Appにアクセスする」をご覧ください。

ご注意

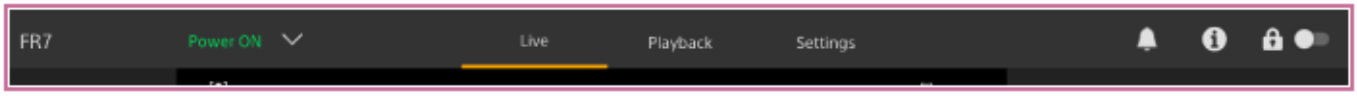
- Web Appはカメラの音声出力には対応していません。

Web Appを起動すると、以下のライブ操作画面が表示されます。

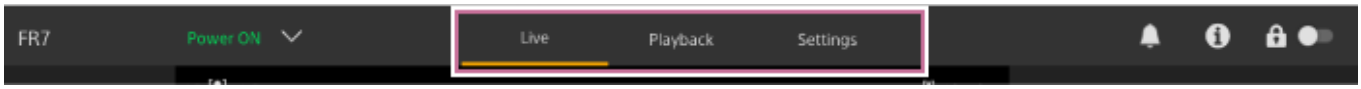
ライブ操作画面



- ライブ操作画面の詳細は、「ライブ操作画面の各部の名称と働き」をご覧ください。
  画面上部にライブ操作画面および再生操作画面で共通のボタンやアイコンが表示されます。

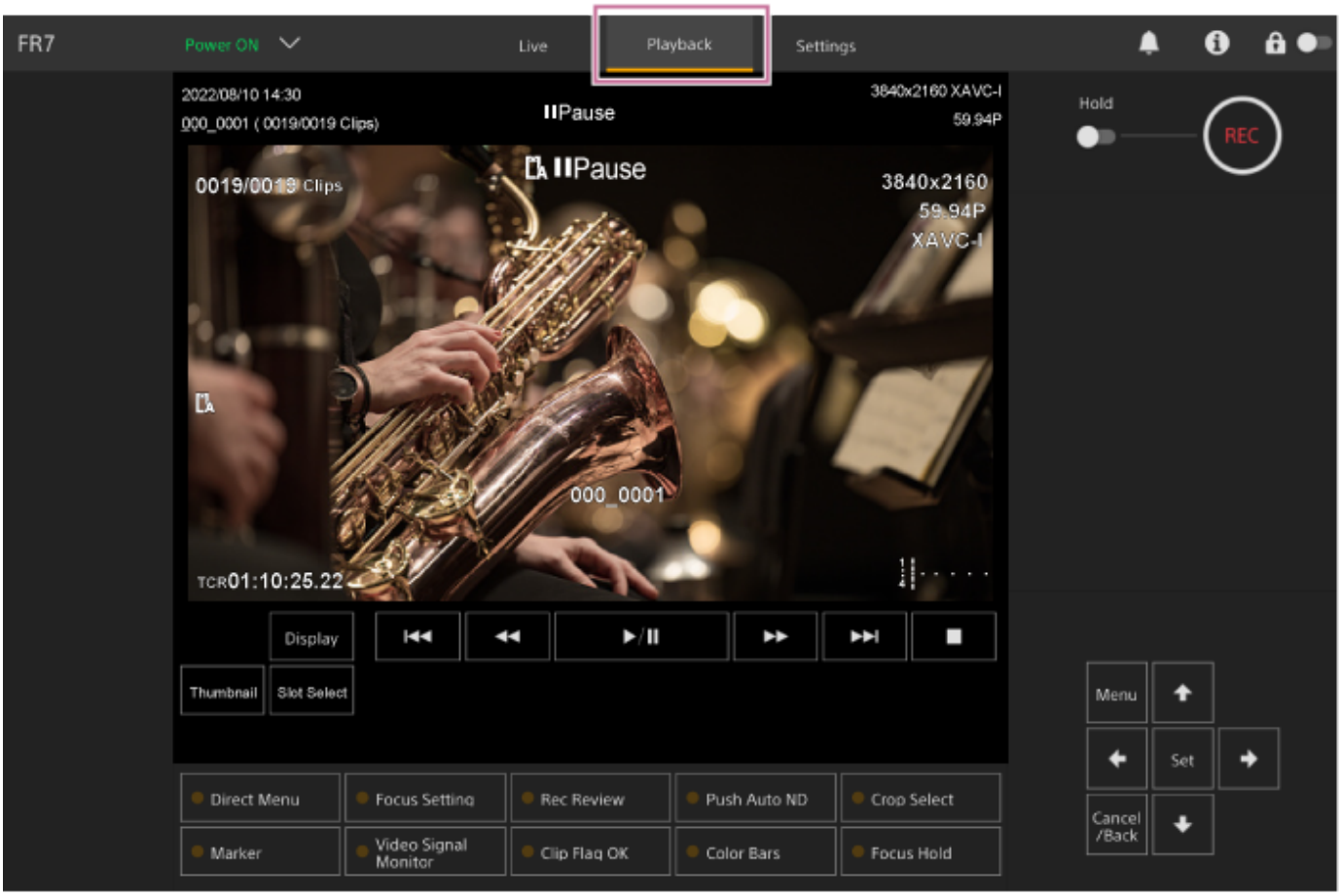


- 画面の共通部分については、「画面共通部分の各部の名称と働き」をご覧ください。
  共通部分の操作画面切り替えタブを押すことで画面を切り替えることができます。



再生操作画面

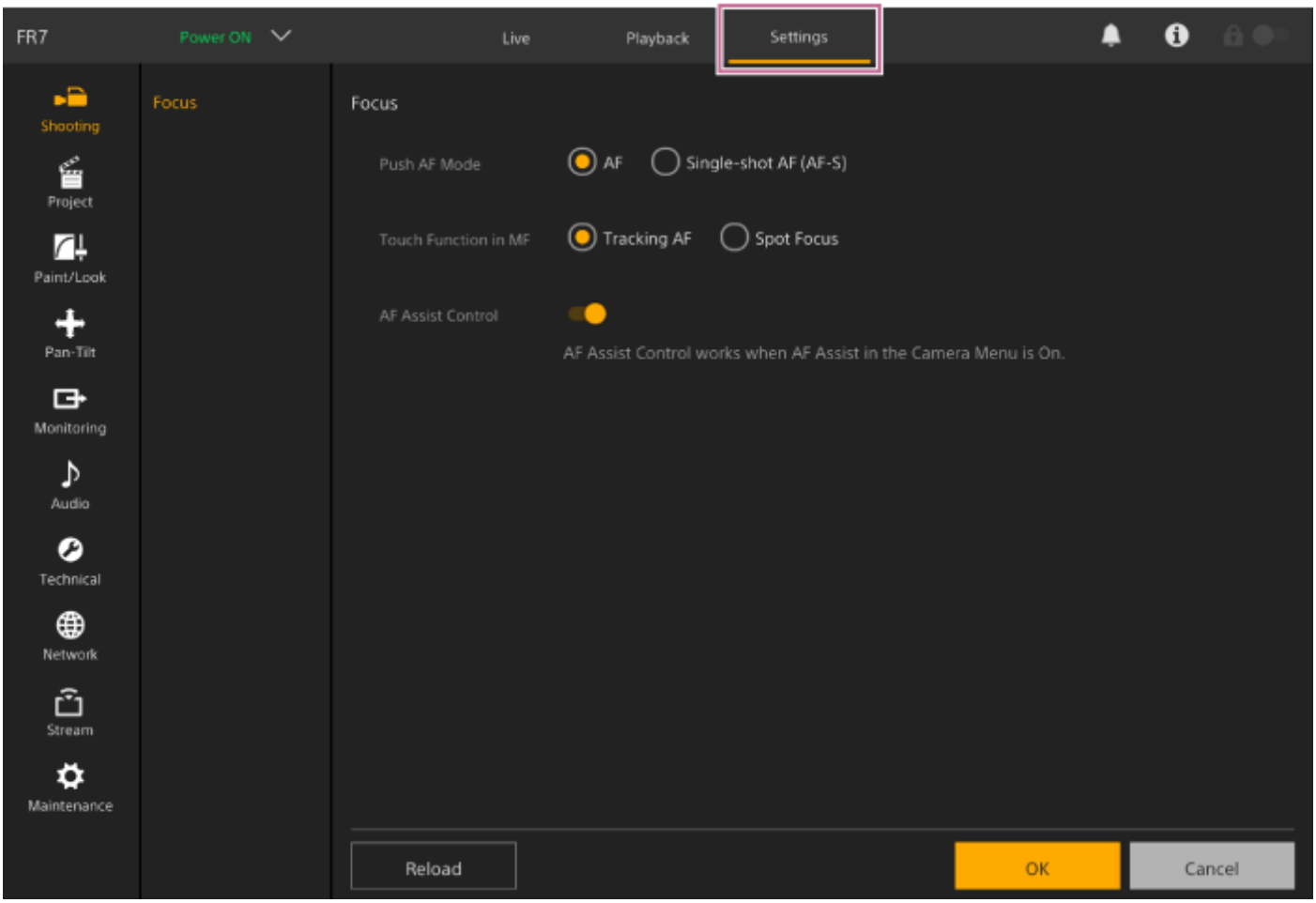
［Playback］タブを押すと、再生操作画面が表示されます。



- 再生操作画面の詳細は、「再生操作画面の各部の名称と働き」をご覧ください。

設定画面

［Settings］タブを押すと、設定画面（以降、Webメニューと呼びます）が表示されます。



ご注意

- Webメニューでは［OK］ボタンを押すまで設定内容が確定されません。［OK］ボタンがあるページで設定変更したときは、必ず［OK］ボタンを押してください。

- 設定画面の詳細は、「設定画面の各部の名称と働き」をご覧ください。
- 本ヘルプガイドでは、Web Appの設定画面をWebメニューと呼びます。

関連項目

- WebブラウザーでWeb Appにアクセスする
- ライブ操作画面の各部の名称と働き
- 画面共通部分の各部の名称と働き
- 再生操作画面の各部の名称と働き
- 設定画面の各部の名称と働き

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

画面共通部分の各部の名称と働き

画面共通部分の各部の名称と働きについて説明します。

1. **カメラ名**
   本機の名前が表示されます。
   名前はWebメニューの［Network］メニュー>［Camera Name］で変更できます。
   外部からのタリー信号に従って背景の色が変わります。

2. **電源スイッチ**
   本機の電源がOnの場合は［Power ON］と表示されます。スイッチを押して、［Power Standby］を選ぶと、本機の電源がスタンバイ状態になります。
   表示が［Power Standby］のときにスイッチを押して［Power ON］を選ぶと、本機の電源がOnになります。

3. **操作画面切り替え部**
   タブを押して操作画面を切り替えます。
   ［Live］タブ：ライブ操作画面を表示します。
   ［Playback］タブ：再生操作画面を表示します。
   ［Settings］タブ：設定画面（Webメニュー）を表示します。

4. **通知マーク**
   メッセージがある場合、マーク表示が以下に変わります。
   （Notifications On）
   カメラ映像部に表示されたメッセージ内容に応じて対処してください。

   ご注意

   - Webメニューの［Monitoring］メニュー> ［Output Display］の［HDMI/Stream］が［Off］になっている場合は、メッセージが表示されません。［On］にしてメッセージの内容をご確認ください。

5. **（Camera Status）ボタン**
   ボタンを押すと、別画面でカメラ内記録映像・出力映像の信号情報、レンズ情報、および、レンズコントローラー（別売）の状態が表示されます。

レンズコントローラー（別売）に関して通知がある場合、表示が以下に変わります。

6. **画面操作ロックスイッチ**

（Operation Unlock）：スイッチを左にすると、ライブ操作画面および再生操作画面の操作ができます。

（Operation Lock）：スイッチを右にすると、ライブ操作画面および再生操作画面の操作をロックして誤動作を防止できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

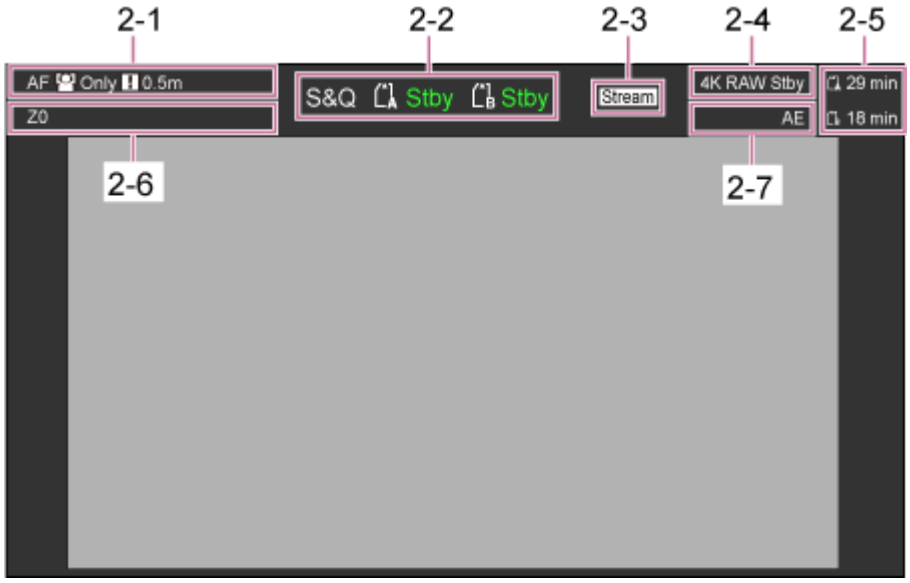
ライブ操作画面の各部の名称と働き

ライブ操作画面の各部の名称と働きについて説明します。

1. **プリセットポジション操作部**
   プリセットに登録されている画角がサムネイルで表示されます。サムネイルをダブルタップすると、そのプリセットに記憶された画角が復元されます。

   - プリセットポジションについては、「Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する」をご覧ください。
   - PTZトレースについては「Web Appでカメラのフレーミング操作を記録する」をご覧ください。

2. **カメラ映像部**
   撮影中の映像と本機の状態が表示されます。
   HDMI出力と同じ映像が表示されます。
   映像の上部には以下の状態が表示されます。また外部からのタリー信号に応じて、映像の周囲に赤または緑の枠が表示されます。



No.	表示	説明
2-1	フォーカスモード表示	「カメラ画面表示」の「フォーカスモード表示」をご覧ください。
2-2	記録モード/スロットA/B/動作状態表示、インターバルレック記録間隔時間表示	「カメラ画面表示」の「記録モード/スロットA/B/動作状態表示、インターバルレック記録間隔時間表示」をご覧ください。
2-3	ストリーミング配信状態表示	ストリーミング配信中に表示されます（［Stream Setting］が［RTMP］または［SRT-Caller］の場合のみ）。
2-4	RAW出力動作状態表示	RAW信号の出力状態が表示されます。RAWについては「RAW動画を記録する」をご覧ください。
2-5	メディア残量表示	「カメラ画面表示」の「メディア残量表示」をご覧ください。
2-6	ズームポジション表示	「カメラ画面表示」の「ズームポジション表示」をご覧ください。レンズコントローラー（別売）を接続すると が表示されます。また、 レンズコントローラー（別売）の動作に異常がある場合は が表示されます。
2-7	AEモード/AEレベル表示	「カメラ画面表示」の「AEモード/AEレベル表示」をご覧ください。

［Display］ボタン
ボタンを押すと、映像上にカメラ情報が表示されます。
カメラ情報表示中にもう一度押すと、カメラ情報が非表示になります。

マーカーのほか、一部のオートフォーカス関連の表示やメッセージなどは状態に応じて表示され、［Display］ボタンを押しても非表示にすることはできません。

- 表示されるカメラ情報については、「カメラ画面表示」をご覧ください。

リアルタイムトラッキングAF終了ボタン
ボタンを押すと、被写体のトラッキングを終了します。

- 詳細は、「被写体を指定して追尾する（リアルタイムトラッキングAF）」をご覧ください。

3. **録画START/STOPボタン**
   ボタンを押すと録画が開始されます。録画中は録画START/STOPボタンが赤く点灯します。
   録画中に押すと、録画が停止します。
   HoldスイッチをHold状態にすると、録画START/STOPボタンの誤操作を防ぐことができます。

4. **カメラ基本設定部**
   撮影に必要な基本設定状態がボタンで表示されます。ボタンを押すと、その機能の設定画面が「5. カメラ基本設定調節パネル」に表示されます。

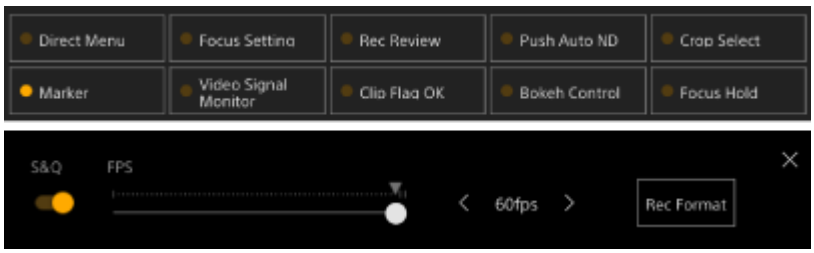
4-1 ［FPS］
4-2 ［ISO/Gain / Exposure Index］
4-3 ［Shutter］
4-4 ［Iris］
4-5 ［ND Filter］
4-6 ［Scene File / Base Look/LUT］
4-7 ［White Balance］

- 詳細は、各機能の説明をご覧ください。

機能	参照先
FPS	「スロー＆クイックモーション」
ISO/Gain	「基準感度を設定する」、「ゲインを調節する」の「ゲインを自動調節する」および「ゲインを手動調節する」
Exposure Index	「基準感度を設定する」、「記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える」
Shutter	「シャッターを調節する」の「シャッターを自動調節する」および「シャッターを手動調節する」
Iris	「アイリスを調節する」の「アイリスを自動調節する」および「アイリスを手動調節する」
ND Filter	「光量を調節する（NDフィルター）」の「NDフィルターについて」
Scene File	「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほか各項
Base Look/LUT	「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」
White Balance	「ホワイトバランスの調節操作を行う画面」

5. **アサイナブルボタン/カメラ基本設定調節パネル**

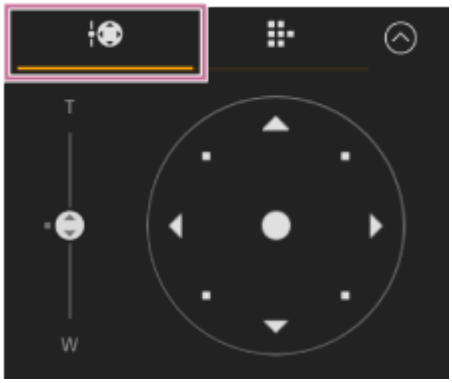
通常はアサイナブルボタンが表示されています。「4. カメラ基本設定部」のボタンを押すと、その設定項目が表示されます。［X］ボタンまたはカメラ基本設定部のボタンを再び押すと、アサイナブルボタンの表示に戻ります。



- アサイナブルボタンの詳細は、「アサイナブルボタン」をご覧ください。
- カメラ基本設定調節パネルの詳細は、各機能の説明をご覧ください。

6. **画角操作部/ GUI操作部**

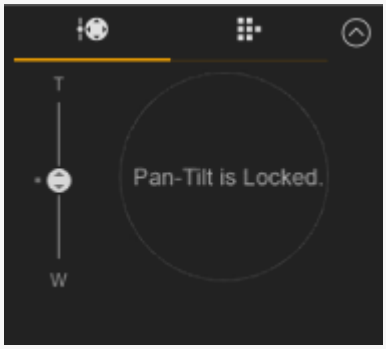
画角操作部とGUI操作部は、上部のタブで切り替えます。
画面右上の (Close)ボタンを押すと操作部が非表示になり、誤操作を予防することができます。操作部が表示されていない場合は、（Open）ボタンを押すと表示されます。
画角操作部は、画角の調節に使用します。画角操作部は、（パンチルトズーム）タブを押すと表示されます。



- 操作方法は、「画角を調節する」をご覧ください。

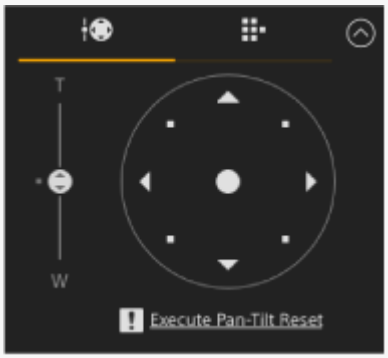
ヒント

- 画角操作部のジョイスティック部分は、パン・チルト操作が無効な場合やパン・チルトの初期化が必要な場合に下記の表示となります。
  - パン・チルト動作がパン・チルトロックレバーによって固定されている場合



  - パン・チルト動作が未初期化の場合

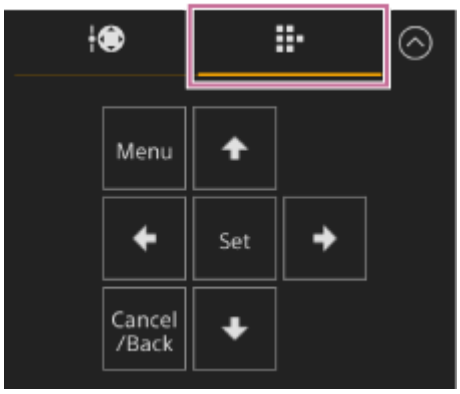
- パン・チルト動作の再初期化が必要な場合



- パン・チルト動作が無効な状態の場合

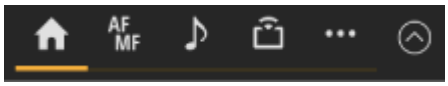
- 「パン・チルト動作が未初期化の場合」および「パン・チルト動作の再初期化が必要な場合」はジョイスティック下のメッセージを押すことで、カメラ操作部の Reset （パンチルトリセット）ボタンに簡単にアクセスできます。

GUI操作部はカメラメニューの操作やクリップ再生操作などに使用します。GUI操作部は、 （Cam GUI）タブを押すと表示されます。



- 操作方法は、「カメラメニューの操作方法」および「記録したクリップを再生する」をご覧ください。

7. **カメラ操作部**
   カメラの操作上必要になる機能の設定を行います。
   画面上部のタブで表示する画面を切り替えます。
   画面右上の (Close)ボタンを押すと操作部が非表示になり、誤操作を予防することができます。操作部が表示されていない場合は、 （Open）ボタンを押すと表示されます。



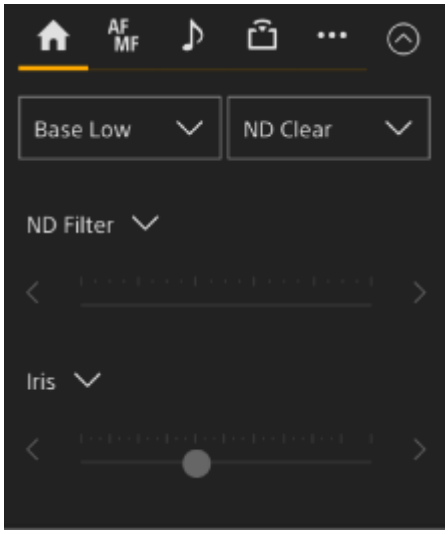
- 詳細は、各機能の操作箇所をご覧ください。

（Main）タブ

頻繁に操作する機能の設定項目が表示されます。
上下にあるスライダーの機能を［▼］ボタンを押して表示されるリストから選択することができます。選択できる機能は以下のとおりです。

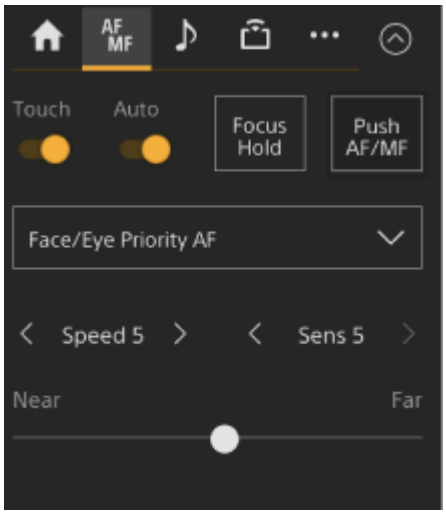
- ND Filter
- Iris
- ISO*
- Gain*
- Exposure Index*
- AE Level
- Zoom Speed
- Pan-Tilt Speed

* 設定に応じていずれかが表示されます。



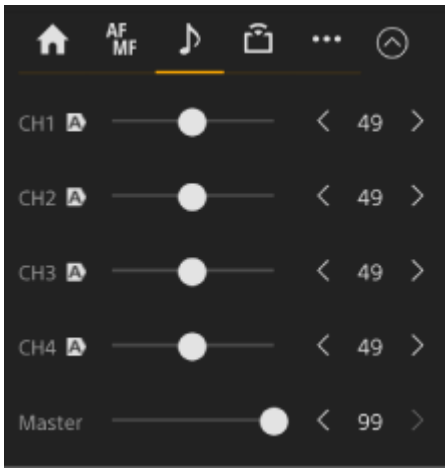
（Focus）タブ

フォーカスに関する設定項目が表示されます。



（Audio）タブ

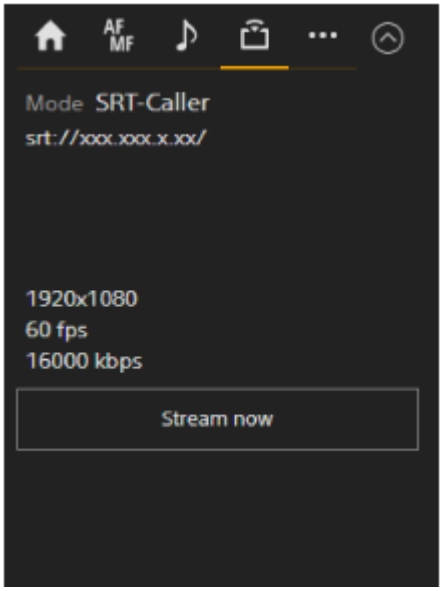
音声に関する設定項目が表示されます。



（Stream）タブ

ストリーミングに関する設定項目が表示されます。
ストリーミング方式の設定により、表示される項目が異なります。
［RTMP］または［SRT-Caller］を設定した場合は、ここで配信の開始/停止を行います。

- 詳しくは「ストリーミングを設定する」の「ストリーミングについて」ほかをご覧ください。
- 接続に失敗したときエラー情報を表示します。エラー情報の詳細は「エラー/警告表示」をご覧ください。



（Others）タブ

その他の機能に関する設定項目が表示されます。

［Full Screen Display］ボタンを押すと、Webブラウザーが新しいタブを開いてカメラ映像部の映像を全面で表示します。

映像表示のみを行い、タッチAFなどの操作はできません。

ご注意

- 元のタブでライブ操作画面は引き続き動作しています。操作の必要がなければタブを閉じて同時接続数を減らすことをおすすめします。

（レンズコントローラー初期化）ボタンを押すと、レンズコントローラー（他社製、別売）を初期化します。このボタンは、Webメニューの［Technical］－［Lens Controller］－［Zoom］の［Setting］が［On］のときに有効になります。

関連項目

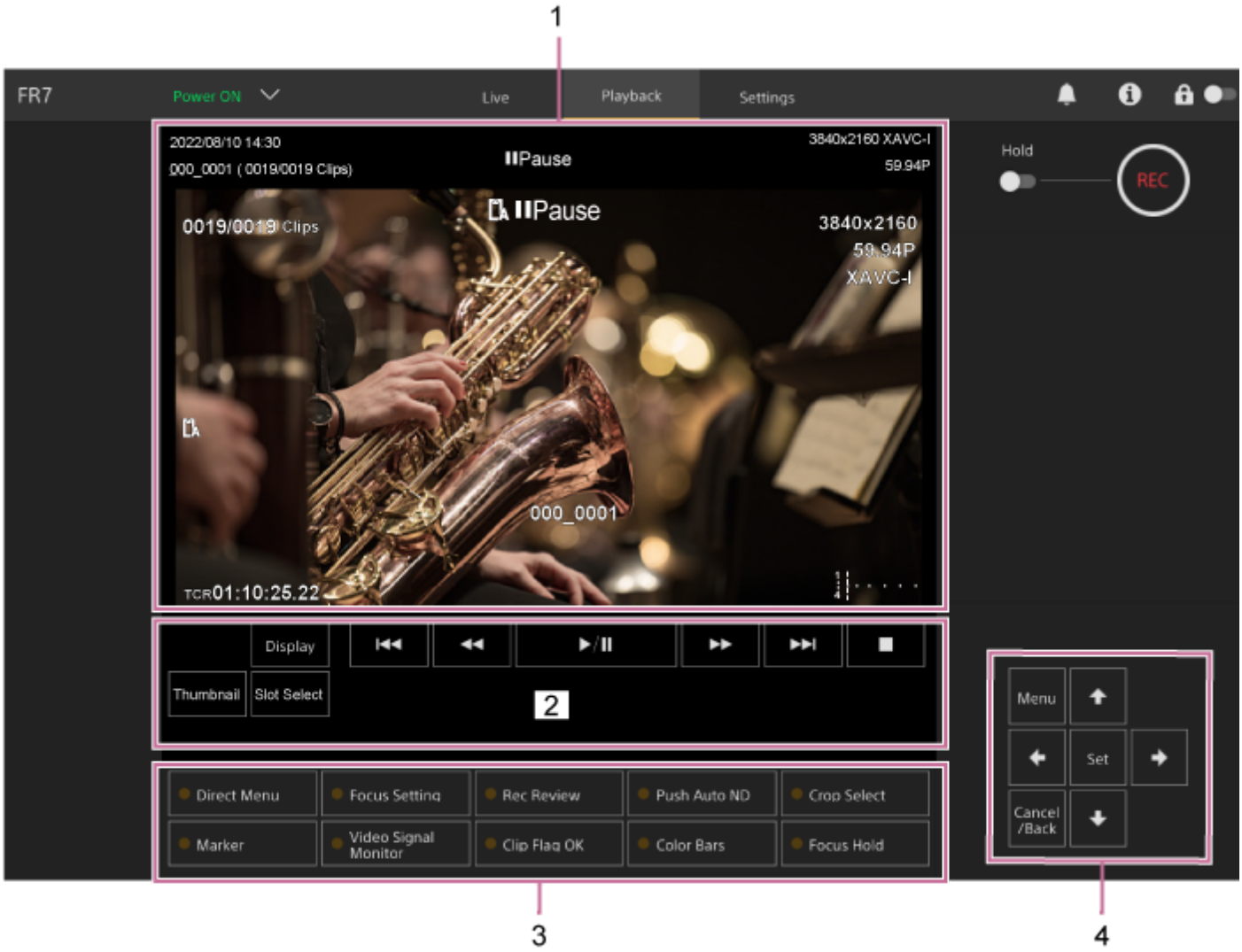
- Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する
- Web Appでカメラのフレーミング操作を記録する
- カメラ画面表示
- RAW動画を記録する
- 被写体を指定して追尾する（リアルタイムトラッキングAF）
- スロー＆クイックモーション
- 基準感度を設定する
- ゲインを自動調節する
- ゲインを手動調節する
- 記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える
- シャッターを自動調節する
- シャッターを手動調節する
- アイリスを自動調節する
- アイリスを手動調節する
- NDフィルターについて
- ルックの概要
- ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する
- ホワイトバランスの調節操作を行う画面
- アサイナブルボタン
- 記録したクリップを再生する
- カメラメニューの操作方法
- ストリーミングについて
- エラー/警告表示

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

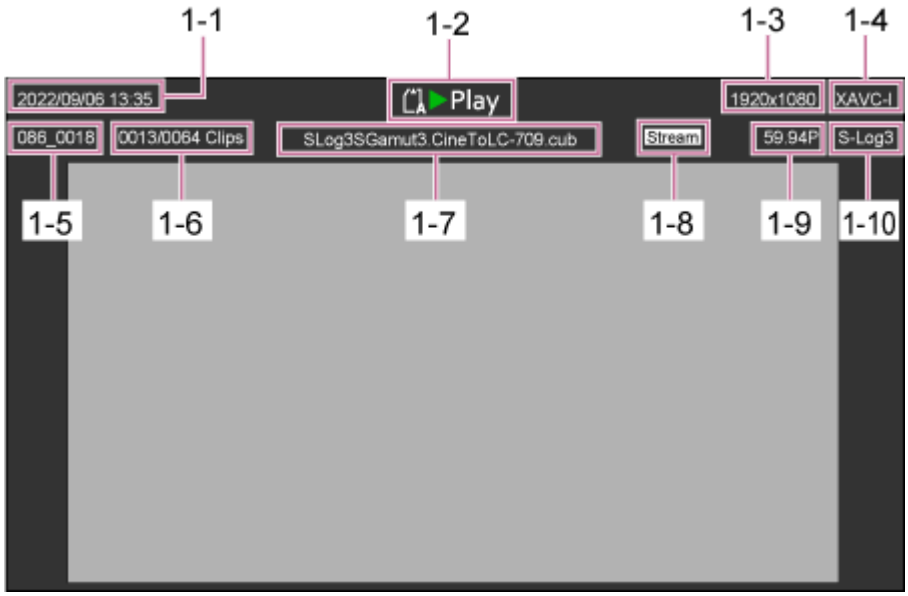
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

再生操作画面の各部の名称と働き

再生操作画面の各部の名称と働きについて説明します。



1. **カメラ映像部**
   再生映像とその情報が表示されます。再生停止中は、カメラ撮影画面が表示されます。



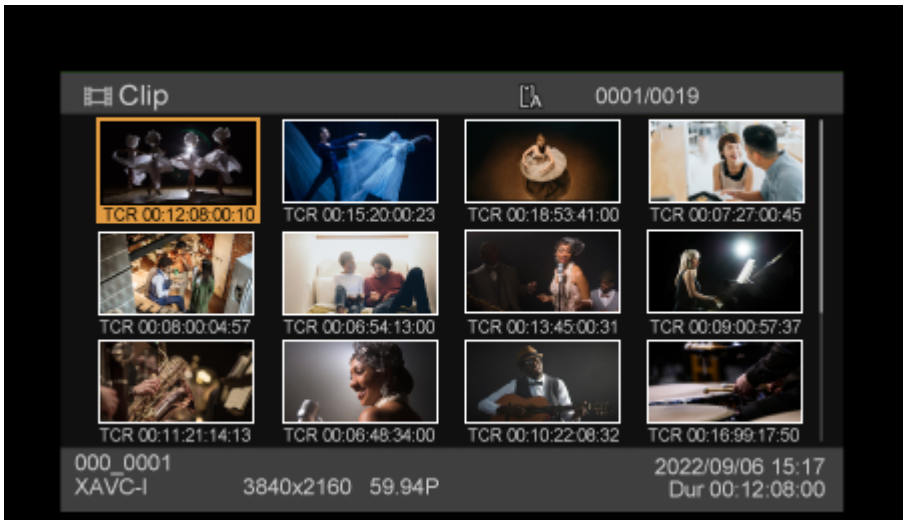
1-1 撮影日時
1-2 再生動作状態表示
1-3 再生フォーマット（画サイズ）表示
1-4 再生フォーマット（コーデック）表示
1-5 クリップ名表示
1-6 クリップ番号/クリップ総数
1-7 LUT名表示
1-8 ストリーム状態表示
1-9 再生フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示
1-10 記録ルック表示

2. 再生操作部

再生操作関連ボタン

ボタン	機能
（Play/Pause）ボタン	クリップを再生します。再生中は一時停止します。
（Fast Forward）ボタン、（Fast Reverse）ボタン	クリップを高速再生します。ボタンを押すと再生速度が3段階で変わります。
（Next）ボタン、（Previous）ボタン	クリップの先頭または前後のクリップに移動します。
（Stop）ボタン	再生を停止します。

［Display］ボタン
ボタンを押すと、映像上の画面表示が切り替わります。
［Thumbnail］ボタン
メモリーカードに収録されているクリップをカメラ映像部にサムネイルで表示します。



サムネイル画面表示中に［Thumbnail］ボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、カメラ映像に戻ります。

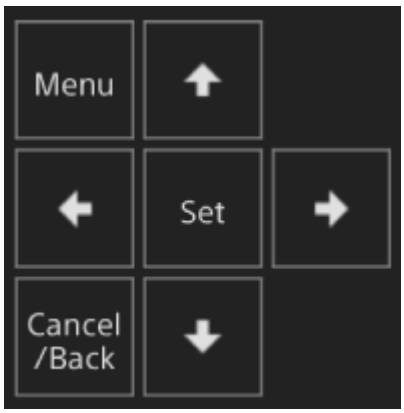
- サムネイル画面の詳細は、「サムネイル画面」をご覧ください。

［Slot Select］ボタン
再生対象のメディアを切り替えます。

3. **アサイナブルボタン**
本機の機能を割り当てたアサイナブルボタンが表示されます。

   - アサイナブルボタンの詳細は、「アサイナブルボタン」をご覧ください。

4. **GUI操作部**
GUI操作部はカメラメニューの操作やクリップ再生操作などに使用します。



- 操作方法は、「カメラメニューの操作方法」および「記録したクリップを再生する」をご覧ください。

関連項目

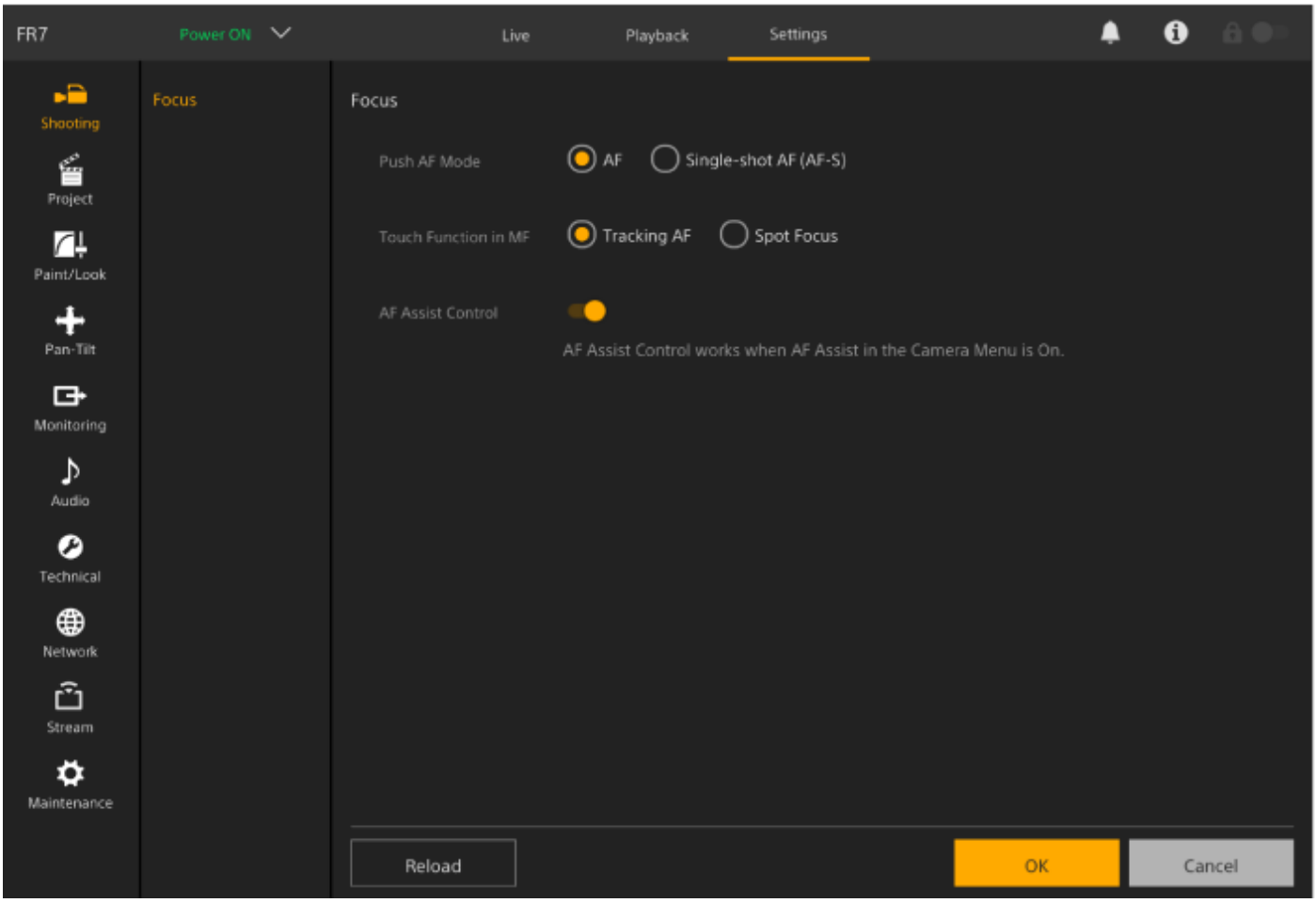
- サムネイル画面
- アサイナブルボタン
- 記録したクリップを再生する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

設定画面の各部の名称と働き

設定画面では、Webメニューで本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行います。



ご注意

- Webメニューでは原則として［OK］ボタンを押すまで設定内容が確定されません。［OK］ボタンがあるページで設定変更したときは、必ず［OK］ボタンを押してください。

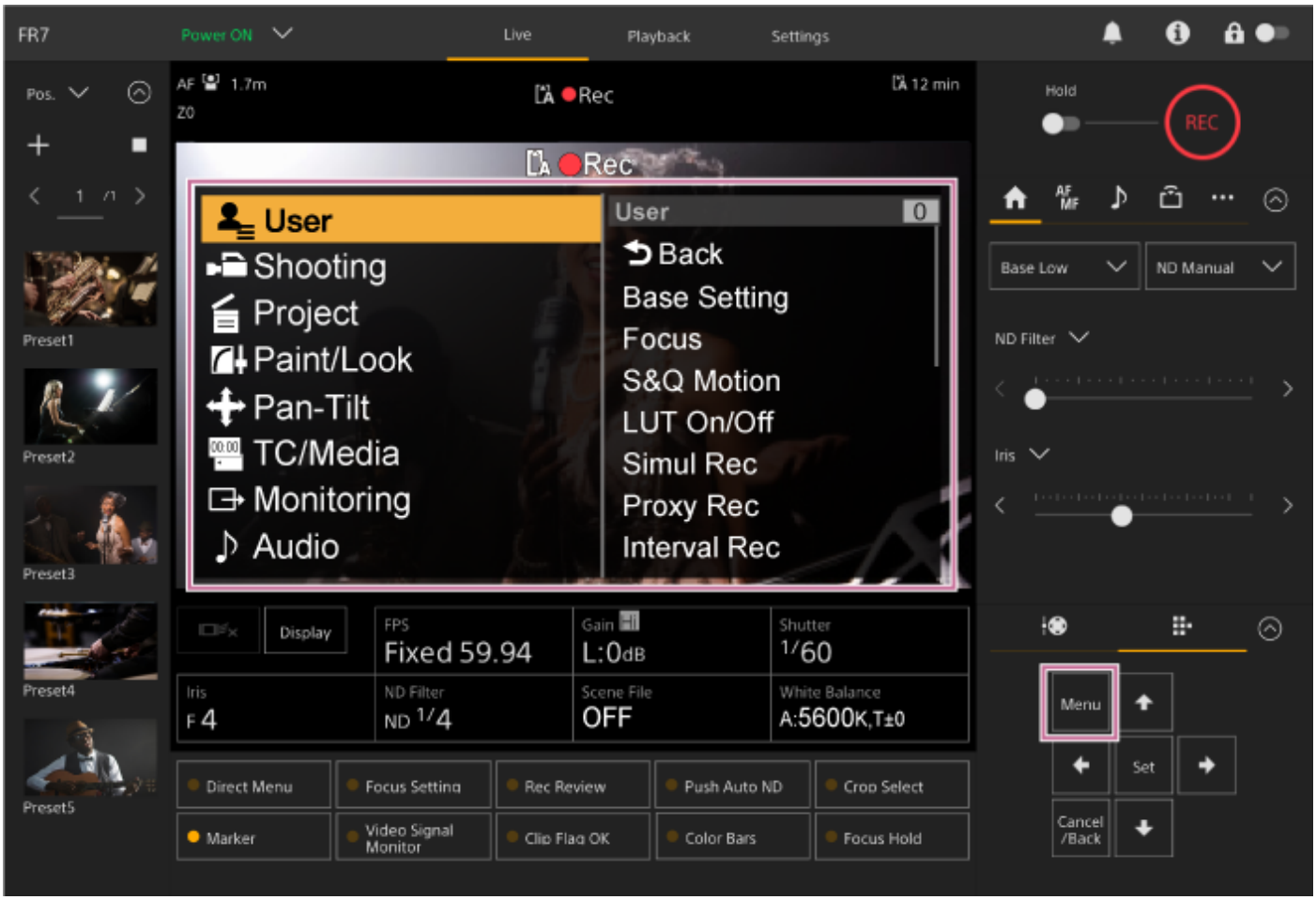
- 設定画面の詳細は、「Webメニューと詳細設定」をご覧ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

カメラメニュー

ライブ操作画面や再生操作画面のGUI操作部の［Menu］ボタンを押すと、カメラ映像部にカメラメニューが表示されます。



カメラメニューでは撮影や再生に必要な各種設定を行うことができます。
カメラメニュー表示中に［Menu］ボタンを押すと、カメラメニューが消えます。
カメラメニューの操作はGUI操作部で行います。

- カメラメニューの詳細は、「カメラメニューと詳細設定」をご覧ください。

ご注意

- Webメニューの［Monitoring］メニュー > ［Output Display］で［HDMI/Stream］をOff（画面表示に重畳しない設定）にすると、カメラ映像部にカメラメニューが表示されなくなります。ただし、カメラメニューが表示されてなくてもGUI操作部の操作は有効です。誤動作を避けるため、［HDMI/Stream］がOffのときは、GUI操作部での操作は行わないでください。

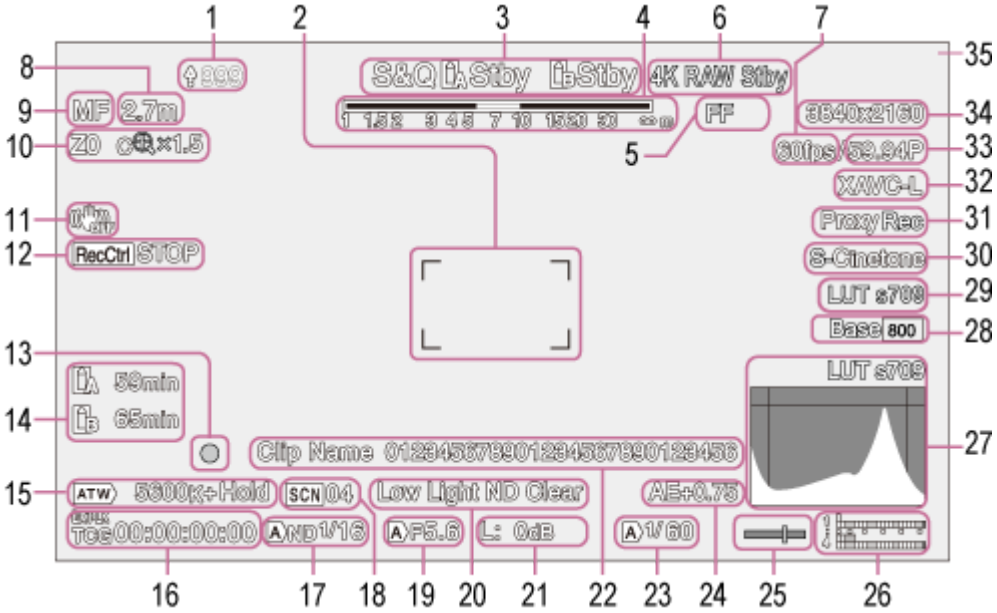
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

カメラ画面表示

カメラからの出力映像に本機の状態や設定を重ねて表示することができます。画面表示を有効にする出力は、Webメニューの［Monitoring］メニュー > ［Output Display］から設定できます。
表示/非表示の切り替えは、［Display］ボタンで行います。非表示にした場合も、ダイレクトメニューの操作中は表示されます。
カメラメニューの［Monitoring］メニュー > ［Display On/Off］の設定で、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます。

撮影中の画面に表示される情報



1. **アップロード中表示/転送ファイル残数表示**

   - ファイルの転送については「ファイルの転送」の「ファイルの転送について」ほかをご覧ください。

2. **フォーカスエリア表示**
   オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

   - オートフォーカスについては「フォーカスを自動調節する（オートフォーカス）」の「Web Appで自動調節する」ほかをご覧ください。

3. **記録モード/スロットA/B/動作状態表示、インターバルレック記録間隔時間表示**

表示	意味
●Rec	記録中
Stby	記録待機中

   - インターバルレックについては、「間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）」をご覧ください。

4. **被写界深度表示**

5. **イメージャースキャンモード表示**
使用レンズのイメージサークルサイズと、イメージャースキャンモードの有効画サイズに不一致がある場合は、[!]（不一致）マークが表示されます。
イメージャースキャンモードの設定がFFで、画角が狭くなる（クロップされる）モードの場合はCマークが表示されます。
クロップされるモードは以下のとおりです。

- 記録フォーマットが3840×2160でS&Q Motionフレームレートが100fpsまたは120fpsの場合
- ［Codec］でRAWまたはRAW & XAVC-Iを選択し、RAW出力フォーマットが3840×2160の場合
- イメージャースキャンモードについては「本機の基本動作を設定する」の「イメージャースキャンモードを設定する」をご覧ください。

6. **RAW出力動作状態表示**
RAW信号の出力状態が表示されます。

- RAWについては「RAW動画を記録する」をご覧ください。

7. **スロー＆クイックモーション撮像フレームレート表示**

- スロー＆クイックモーションについては「スロー＆クイックモーション」をご覧ください。

8. **フォーカスポジション表示**

- フォーカスの位置が表示されます。

9. **フォーカスモード表示**

表示	意味
Focus Hold	Focus Holdモード
MF	MFモード
AF	AFモード
（リアルタイムトラッキングAFモード）	リアルタイムトラッキングAFモード

顔/瞳検出AF

表示	意味
（顔/瞳検出AF）	顔/瞳検出AF時に表示
Only（顔/瞳限定AF）	顔/瞳限定AF時に表示
（保存された追尾顔あり）	保存された追尾顔があるときに表示
[!]（AF一時停止）	AFが一時停止になったときに表示*

* 追尾対象の顔が保存されてない状態で顔が検出されないとき、または追尾対象の顔が保存されているが、追尾対象の顔が検出されないときに表示されます。

- 顔/瞳検出AFについては「顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）」をご覧ください。

10. **ズームポジション表示**
ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。（ズームポジション表示対応レンズ装着時のみ）

カメラメニューの［Technical］メニュー >［Lens］の［Zoom Position Display］の設定で、バー表示または焦点距離表示に変えることもできます。
全画素超解像ズームを有効にすると、以下の表示が追加されます。

表示	意味
（全画素超解像ズーム機能有効）	全画素超解像ズーム機能が有効
倍率数値	全画素超解像ズーム中

- ズームについては「ズームを調節する」の「ズームタイプを設定する」ほかをご覧ください。

11. **手ブレ補正モード表示**

12. **SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示**
REコントロール信号の出力状態を表示します。

- 詳しくは「外部モニターや記録装置を接続する」をご覧ください。

13. **フォーカスインジケーター表示**

- 詳しくは「フォーカスを調節する」の「迅速に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF-S））」をご覧ください。

14. **メディア残量表示**
メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

15. **ホワイトバランスモード表示**

表示	意味
ATW（ATW）	自動モード
ATW Hold（ATW Hold）	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーAモード

16. **タイムコード外部ロック表示/タイムデータ表示**
他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

- タイムコードについては「タイムデータ」をご覧ください。

17. **NDフィルター表示**

表示	意味
A（A）	自動モード
B（B）	ボケ調節モード

- NDフィルターについては「光量を調節する（NDフィルター）」をご覧ください。
- ボケ調節については「ボケを調節する（ボケ調節機能）」をご覧ください。

18. **シーンファイル表示**

- シーンファイルについては「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほかをご覧ください。

19. **アイリス表示**
アイリスの位置（F値）が表示されます。（アイリス設定表示対応レンズ装着時のみ）

- アイリスについては「アイリスを調節する」の「アイリスを自動調節する」および「アイリスを手動調節する」をご覧ください。

20. **映像レベル注意表示**

21. **ゲイン表示**
Cine EI/Cine EI Quickのときは、EI値を表示します。

表示	意味
Ⓐ（A）	自動モード
L	プリセットLモード
（一時調節モード）	一時調節モード
Ⓑ （B）	ボケ調節モード

- ゲインについては「ゲインを調節する」の「ゲインを自動調節する」および「ゲインを手動調節する」をご覧ください。
- Cine EI/Cine EI Quickについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

22. **クリップ名表示**
記録中または次に記録するクリップの名前を表示します。
点滅している場合、記録メディアの最終クリップと［Camera ID］または［Reel Number］の設定に不整合が発生しています。詳しくは［Clip Name Format］の［Auto Naming］の説明を参照してください。

23. **シャッター表示**

- シャッターについては「シャッターを調節する」の「シャッターを自動調節する」および「シャッターを手動調節する」をご覧ください。

24. **AEモード/AEレベル表示**

- AEについては「明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する」をご覧ください。

25. **水準器表示**
本機の水平方向の傾きが±1°刻みで±15°まで表示されます。

26. **オーディオレベルメーター**
各チャンネルのオーディオレベルを表示します。

27. **映像信号モニター**
ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。
オレンジの線は輝度レベルマーカーの設定値を表します。
Log撮影モードのときは、表示の上にモニター対象としているLUTの種類などが表示されます。

- 詳細は「映像信号モニター」をご覧ください。
- Log撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

28. **Base Sensitivity表示/Base ISO表示**

Customモードのときは、カメラ基本設定部の［ISO/Gain / Exposure Index］ボタン、またはカメラメニューの［Shooting］メニュー>［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］で設定されている基準感度が表示されます。
Log撮影モードのときは、カメラ基本設定部の［ISO/Gain / Exposure Index］ボタン、またはカメラメニューの［Shooting］メニュー>［ISO/Gain/EI］の［Base ISO］で設定されているBase ISO感度が表示されます。

- 基準感度については、「基準感度を選択する」をご覧ください。
- Log撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

29. **モニタリングルック表示**
Log撮影モードのときに、モニターLUTの設定を表示します。

- LUTの設定については、「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」ほかをご覧ください。
- Log撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

30. **基本ルック/記録ルック表示**
基本ルックの設定値を表示します。
Log撮影モードのときは、メモリーカードに記録される映像信号を表示します。

- 基本ルックについては、「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」をご覧ください。
- Log撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

31. **プロキシ状態表示**

32. **記録フォーマット（コーデック）表示**
メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。
記録フォーマット（コーデック）はWebメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー>［Rec Format］の［Codec］で設定します。

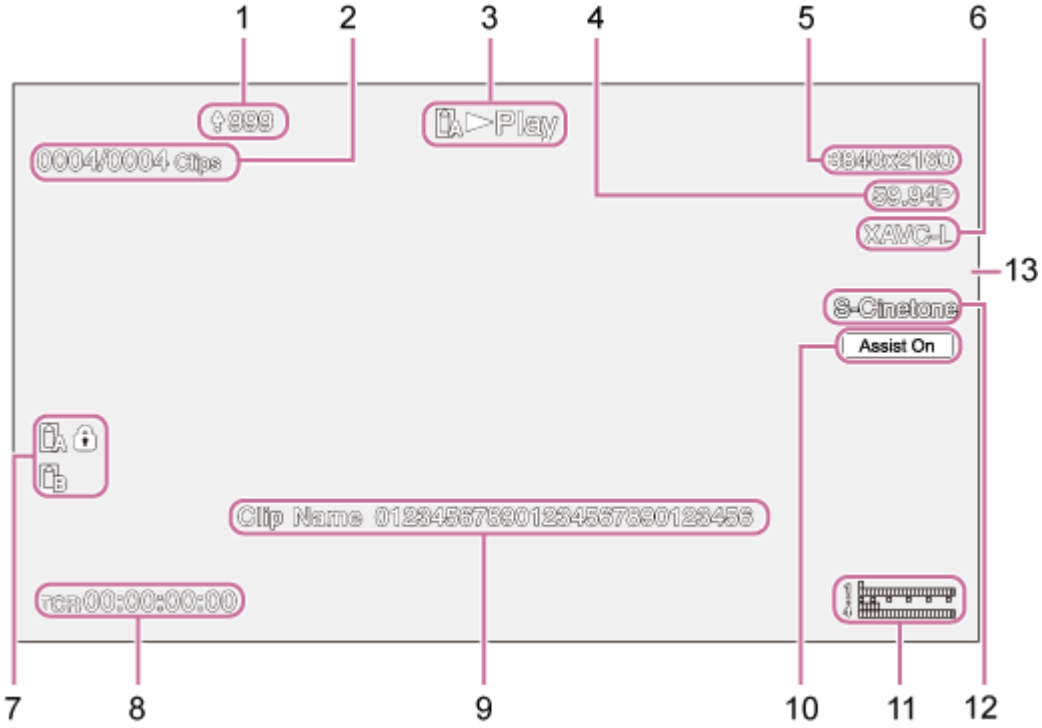
33. **記録フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示**

34. **記録フォーマット（画サイズ）表示**
メモリーカードに記録される画サイズを表示します。
記録フォーマット（画サイズ）はWebメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー>［Rec Format］の［Codec］で設定します。

35. **タリー表示**
外部からのタリー信号に応じて、映像の周囲に赤または緑の枠が表示されます。

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. **アップロード中表示/転送ファイル残数表示**

2. **クリップ番号**

3. **再生動作状態表示**

4. **再生フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示**

5. **再生フォーマット（画サイズ）表示**

6. **再生フォーマット（コーデック）表示**

7. **メディア表示**
   メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

8. **タイムデータ表示**

9. **クリップ名表示**

10. **ガンマ表示アシスト表示**

11. **オーディオレベルメーター**
    再生オーディオレベルを表示します。

12. **基本ルック/記録ルック表示**

13. **タリー表示**

関連項目

- ファイルの転送について
- Web Appで自動調節する
- 間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）
- 本機の基本動作を設定する
- RAW動画を記録する
- スロー＆クイックモーション

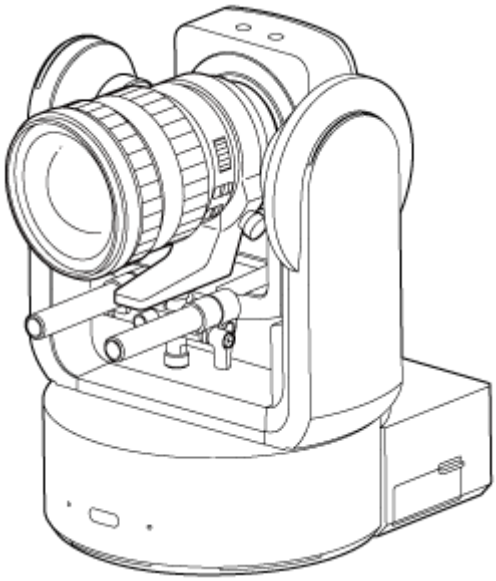
- 顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）
- ズームタイプを設定する
- 外部モニターや記録装置を接続する
- 迅速に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF-S））
- タイムデータ
- ルックの概要
- アイリスを自動調節する
- アイリスを手動調節する
- ゲインを自動調節する
- ゲインを手動調節する
- シャッターを自動調節する
- シャッターを手動調節する
- 明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する
- 映像信号モニター
- ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する
- Clip Name Format

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

据え置き設置する

本機をデスクトップ上や三脚を取り付けて設置する場合の手順を説明します。



設置時のご注意

- レンズおよび本機のレンズ接続部分の保護のため、レンズを取り付けるまではレンズおよび本機のキャップやカバーを取り付けたまま作業してください。
- レンズの故障防止のため、レンズ部分を持って作業しないでください。
- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

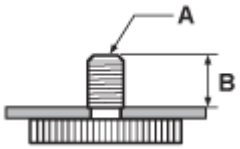
1 設置スペースを確認する。

デスクトップに設置する場合
本機はレンズの旋回スペースや背面の配線スペースを考慮の上、平らなところに設置してください。

ご注意

- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、±15°以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。

三脚を取り付けて設置する場合
底面の三脚取り付け用ネジ穴に三脚を取り付けます。
三脚の取付け部のネジは取付け面から飛び出し量が下記のものを使用し、ハンドドライバーで締めこんでください。



A：三脚取り付け用ネジ　1/4-20UNC、ISO 1222 (6.35 mm)
B：飛び出し量（4.5 mm～5.5 mm）

⚠警告

- 三脚用ネジによる固定は、高所への設置には使用しないでください。

ご注意

- レンズが旋回しても転倒しない三脚を選定してください。

以降、レンズの取り付けを行います。「レンズの取り付け/取り外し時の注意」、「レンズのスイッチを確認する」および「ズームレンズ使用時の注意」をご確認のうえ、「レンズを取り付ける」をご覧ください。

関連項目

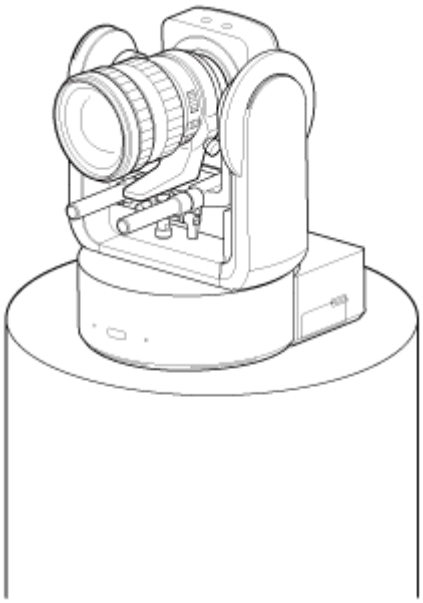
- レンズの取り付け/取り外し時の注意
- レンズのスイッチを確認する
- ズームレンズ使用時の注意
- レンズを取り付ける

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

高所に据え置き設置する

本機を天井取付金具（CIB-PCM1（別売））を使用して、高所に据え置きで設置する場合の手順を説明します。



⚠警告

- 高所に設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、200 kg以上の強度があることをお確かめの上、本ヘルプガイドの指示どおりに取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下防止のため、天井取付金具（CIB-PCM1（別売））に付属の落下防止ワイヤーロープは必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置時のご注意

- レンズおよび本機のレンズ接続部分の保護のため、レンズを取り付けるまではそれらのキャップやカバーを取り付けたまま作業してください。
- レンズの故障防止のため、レンズ部分を持って作業しないでください。
- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

1 高所設置に必要なアクセサリーと設置スペースを確認する。

天井取付金具（CIB-PCM1（別売））
作業開始の前に以下のものが揃っていることを確認してください。

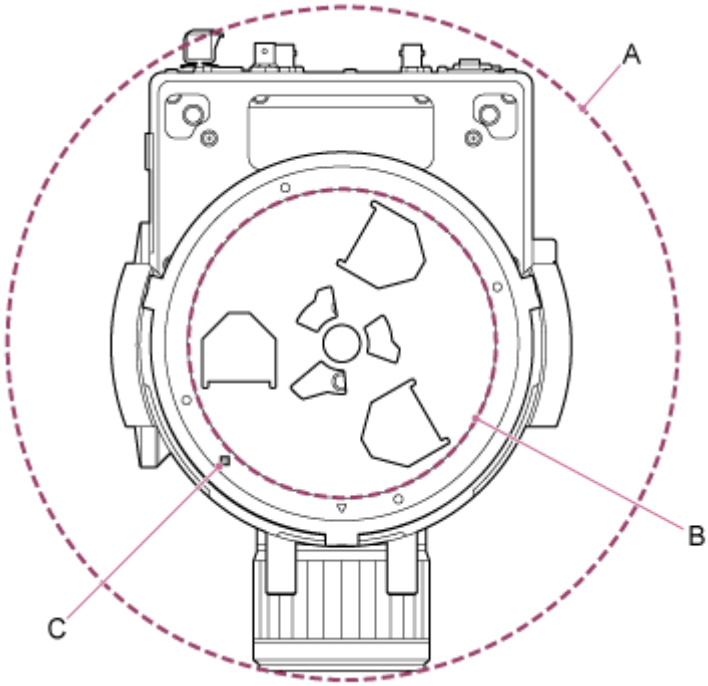
- ボディブラケット（1）
- シーリングブラケット（1）
- レンズリリースボタンカバー（1）
- 落下防止ワイヤーロープ（1）
- ネジ+PSW M3x8（9）
- 落下防止ワイヤーロープ固定用ステンレスネジ +PSW M4x8（1）

ご注意

- 落下防止ワイヤーロープは、本機を吊り下げることを想定し設計されています。本機以外の負荷は加えないでください。

設置スペース

下記図面を参考にして、レンズの旋回スペースや背面の配線スペースを考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めてください。

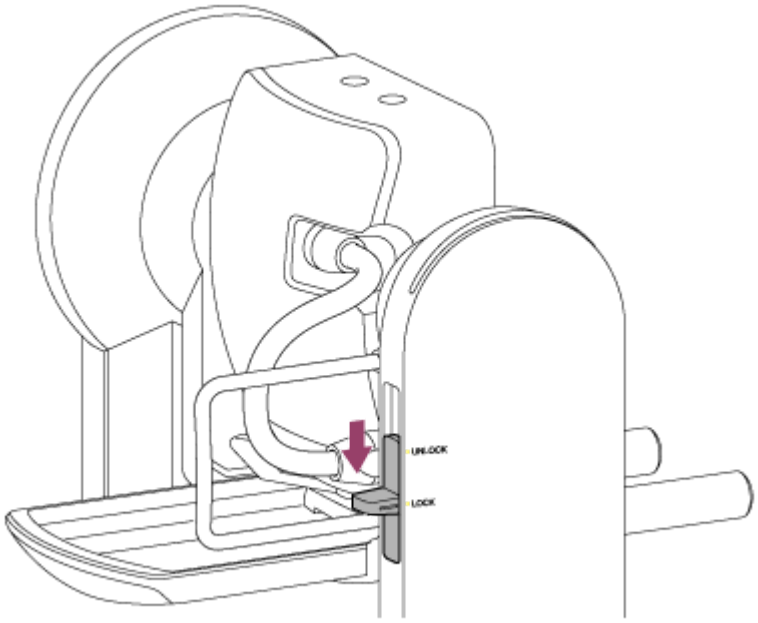


A：カメラヘッド部可動領域（例：SEL70200GM2（SEL20TC装着時）はΦ370）
B：シーリングブラケット（設置部側の設置用穴（Φ150））
C：位置合わせ確認用穴

ご注意

- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、±15°以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。

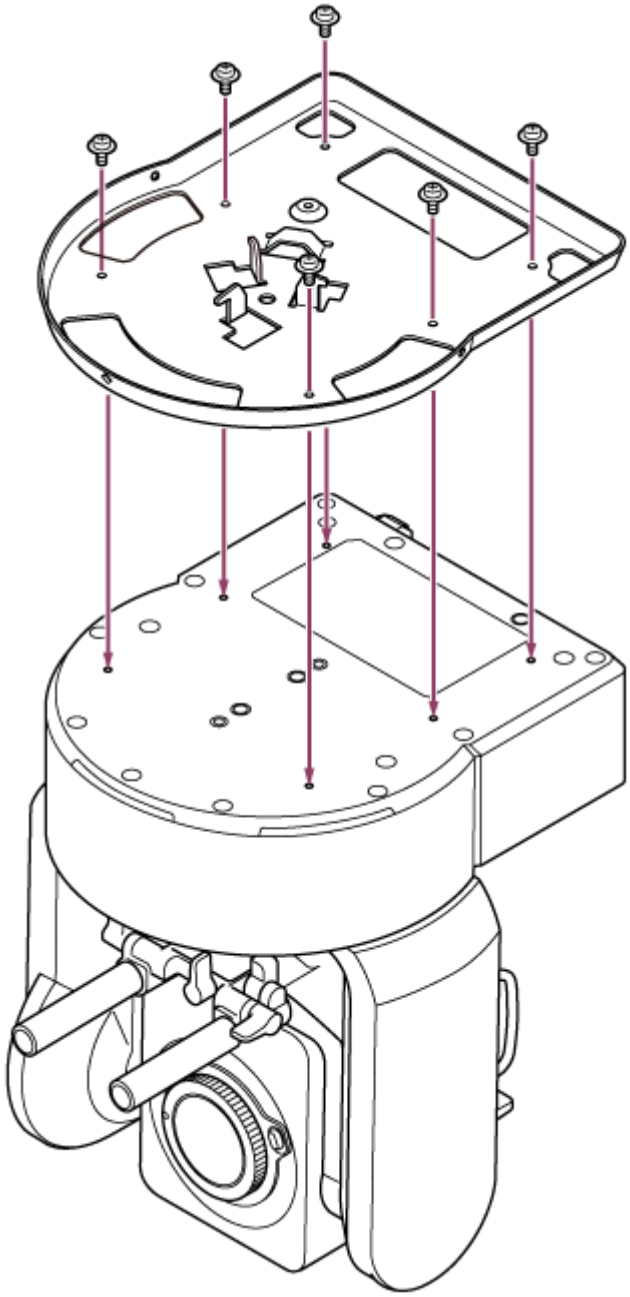
2 パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。



ご注意

- パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドしても、カメラヘッドがパン・チルトする場合は、ロックされるまで、手でカメラヘッドを動かしてください。

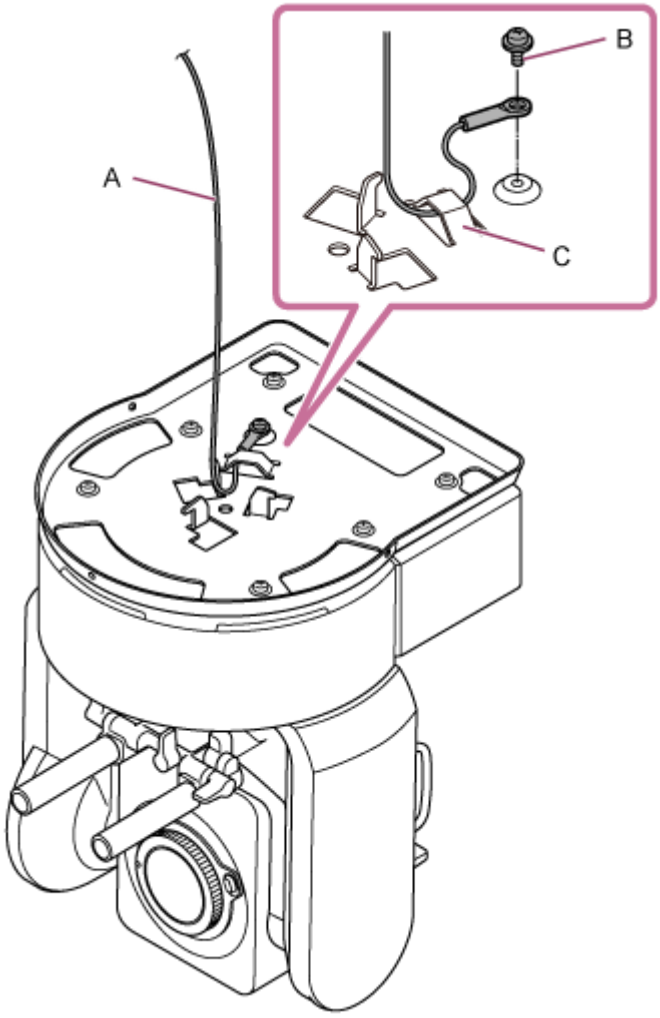
3 **ボディブラケットを付属のネジ（M3 ×8）6本で本機の底面に取り付ける。**



⚠注意

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本機内部を破損する恐れがあります。

4 落下防止用のワイヤーロープをボディブラケットに取り付ける。

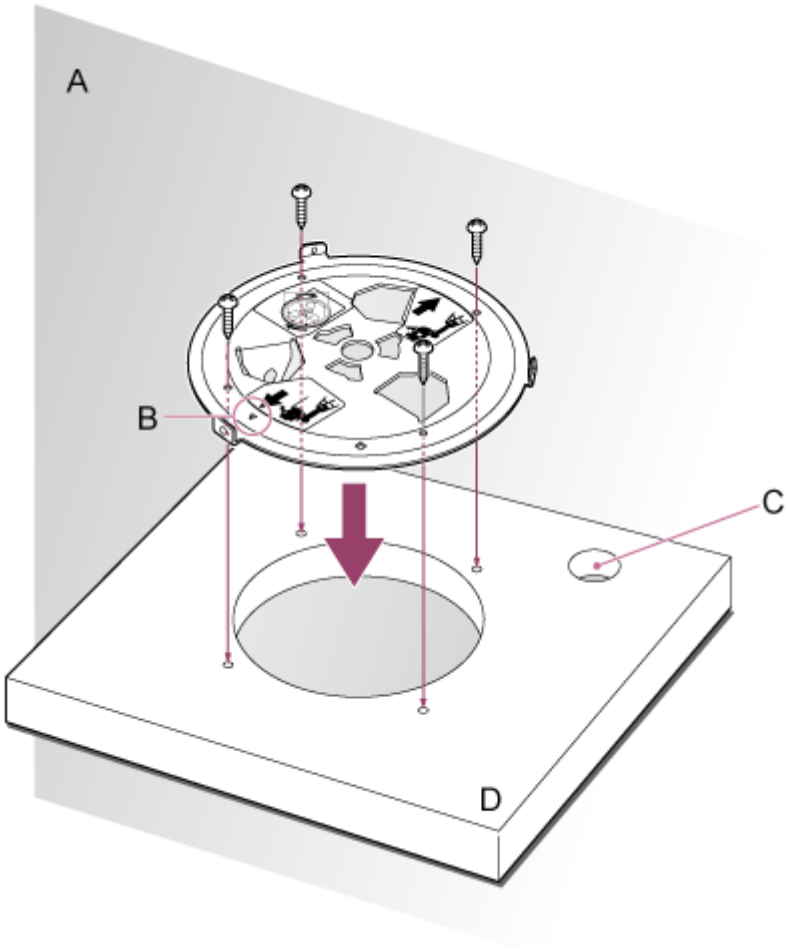


A：付属のワイヤーロープ
B：付属の＋ネジ（M4×8）
C：ワイヤーロープ用金具

⚠警告

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

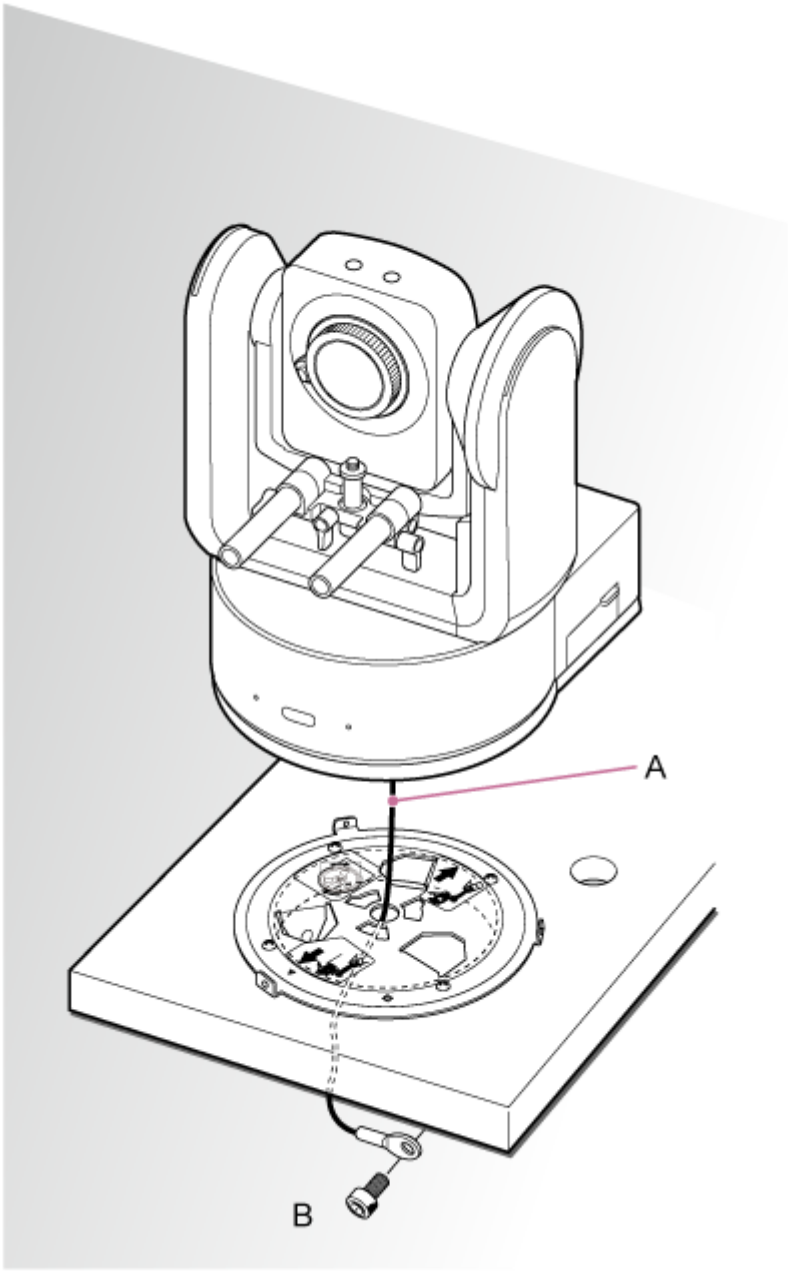
5 シーリングブラケットを、本機を設置する棚などの設置部に取り付ける。



A：壁
B：△マーク（カメラ正面方向）
C：接続ケーブル用穴
D：棚など

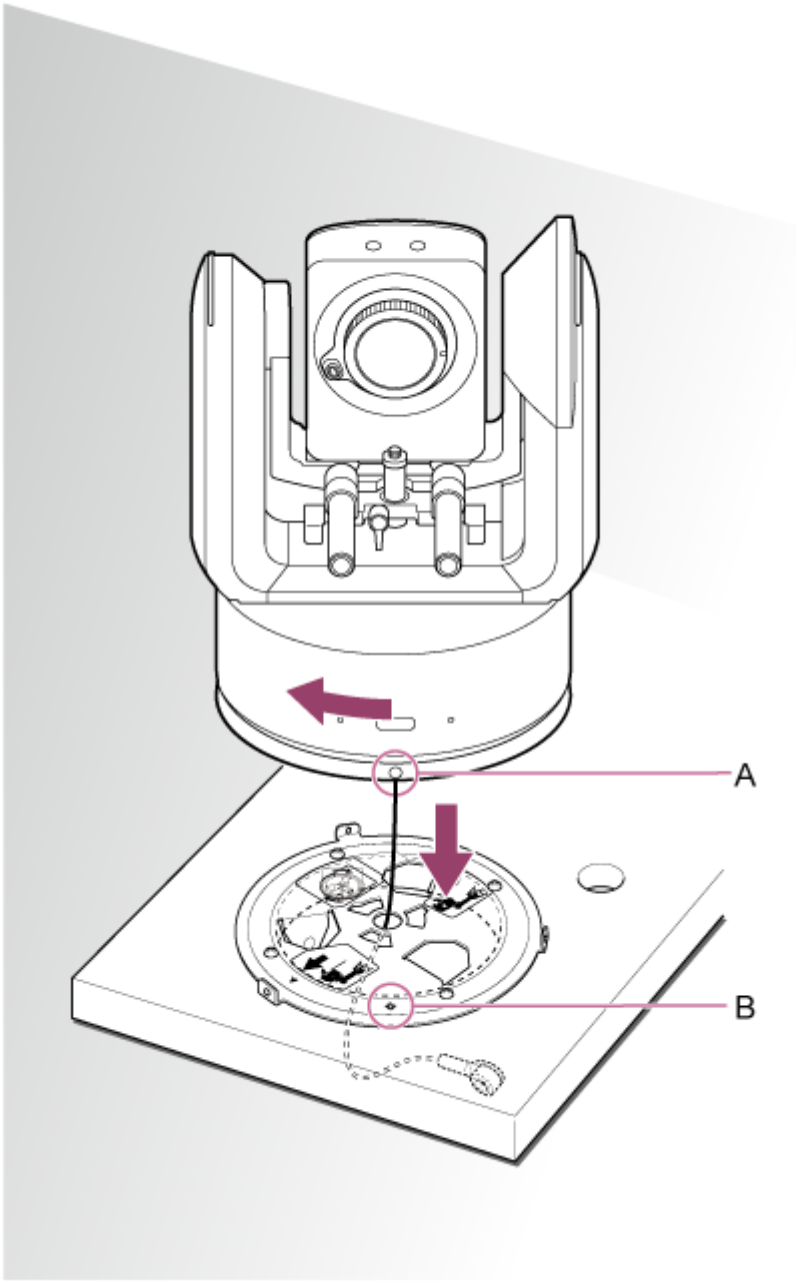
6 落下防止用のワイヤーロープを設置部側の部材に取り付ける。

取り付けネジは、M5（3/16 インチ）の六角穴付きボルト（別売）を使用し、シーリングブラケットを取り付けた棚などとは別の部材に取り付けてください。



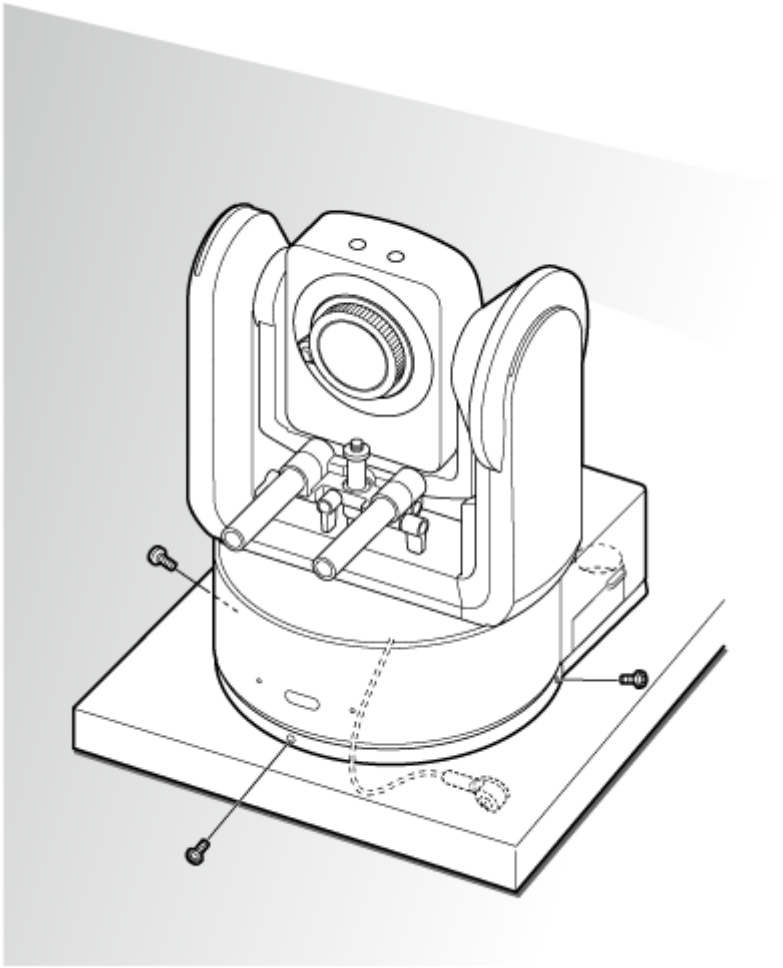
A：ワイヤーロープ
B：六角穴付きボルト（M5、3/16インチ）

7 **ボディブラケットの正面にあるネジ用の○穴をシーリングブラケットの◇穴に合わせて差し込み、ボディブラケットを本機ごと左方向に回して仮固定する。**



A：〇穴
B：◇穴

8 **付属の回転止めネジ(M3×8、3本)でボディブラケットとシーリングブラケットを固定する。**



9 **取り付け状態を確認する。**

特に以下の点を注意してください。

- 取り付けネジが正しく取り付けられていること。
- 落下防止ワイヤーロープが正しく取り付けられていて、ワイヤーロープにねじれがないこと。
- 傾きやぐらつきがなく取り付けられていること。
- 台座部を回しても空回りしないこと。

以降、レンズの取り付けを行います。「レンズの取り付け/取り外し時の注意」、「レンズのスイッチを確認する」および「ズームレンズ使用時の注意」をご確認のうえ、「レンズを取り付ける」をご覧ください。

ご注意

- レンズ取り付け後はレンズが正しく取り付けられていることをご確認ください。
  レンズに落下防止機構はありません。レンズの落下によるいかなる責任も負いかねます。

関連項目

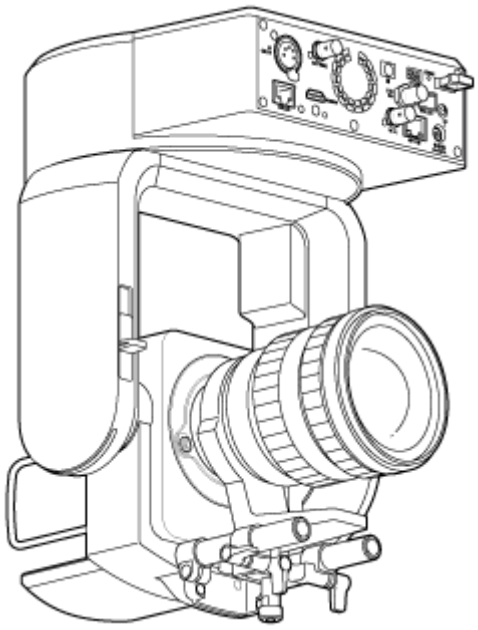
- レンズの取り付け/取り外し時の注意
- レンズのスイッチを確認する
- ズームレンズ使用時の注意
- レンズを取り付ける

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

天井に設置する

本機を天井取付金具（CIB-PCM1（別売））を使用して、天井に設置する場合の手順を説明します。



⚠警告

- 天井へ設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 天井への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、200 kg以上の強度があることをお確かめの上、本ヘルプガイドの指示どおりに取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下防止のため、天井取付金具（CIB-PCM1（別売））に付属の落下防止ワイヤーロープは必ず取り付けてください。
- 天井に設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置時のご注意

- レンズおよび本機のレンズ接続部分の保護のため、レンズを取り付けるまではそれらのキャップやカバーを取り付けたまま作業してください。
- レンズの故障防止のため、レンズ部分を持って作業しないでください。
- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

1 天井設置に必要なアクセサリーと設置スペースを確認する。

天井取付金具（CIB-PCM1（別売））
作業開始の前に以下のものが揃っていることを確認してください。

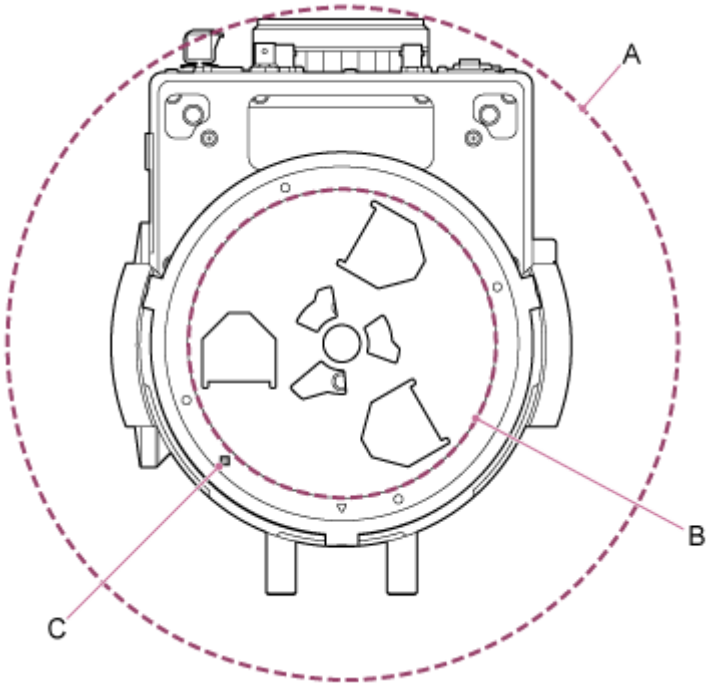
- ボディブラケット（1）
- シーリングブラケット（1）
- レンズリリースボタンカバー（1）
- 落下防止ワイヤーロープ（1）
- ネジ+PSW M3x8（9）
- 落下防止ワイヤーロープ固定用ステンレスネジ +PSW M4x8（1）

ご注意

- 落下防止ワイヤーロープは、本機を吊り下げることを想定し設計されています。本機以外の負荷は加えないでください。

設置スペース

下記図面を参考にして、レンズの旋回スペースや背面の配線スペースを考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めてください。



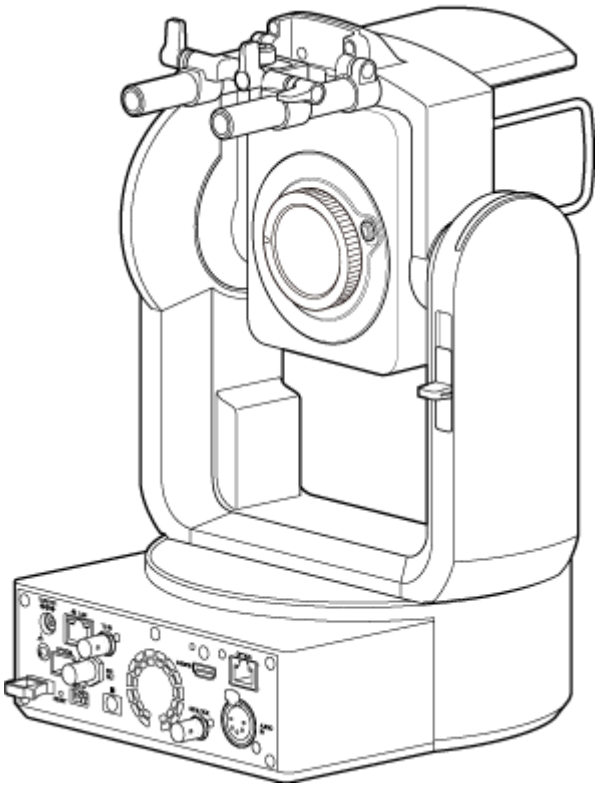
A：カメラヘッド部可動領域（例：SEL70200GM2（SEL20TC装着時）はΦ370）
B：シーリングブラケット（天井側の設置用穴（Φ150））
C：位置合わせ確認用穴

ご注意

- 強度が充分ある天井(コンクリート天井など)に設置してください。
- 強度が不充分な天井に設置する場合は、充分な補強を施してください。
- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、±15°以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。
- シーリングブラケットの△穴と逆側が撮影方向（カメラの正面）になります。

2 **パン・チルトロックレバーをUNLOCK位置にスライドしてパン・チルトのロックを解除し、カメラヘッドをチルト方向に180°回転する。**

3 **パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。**

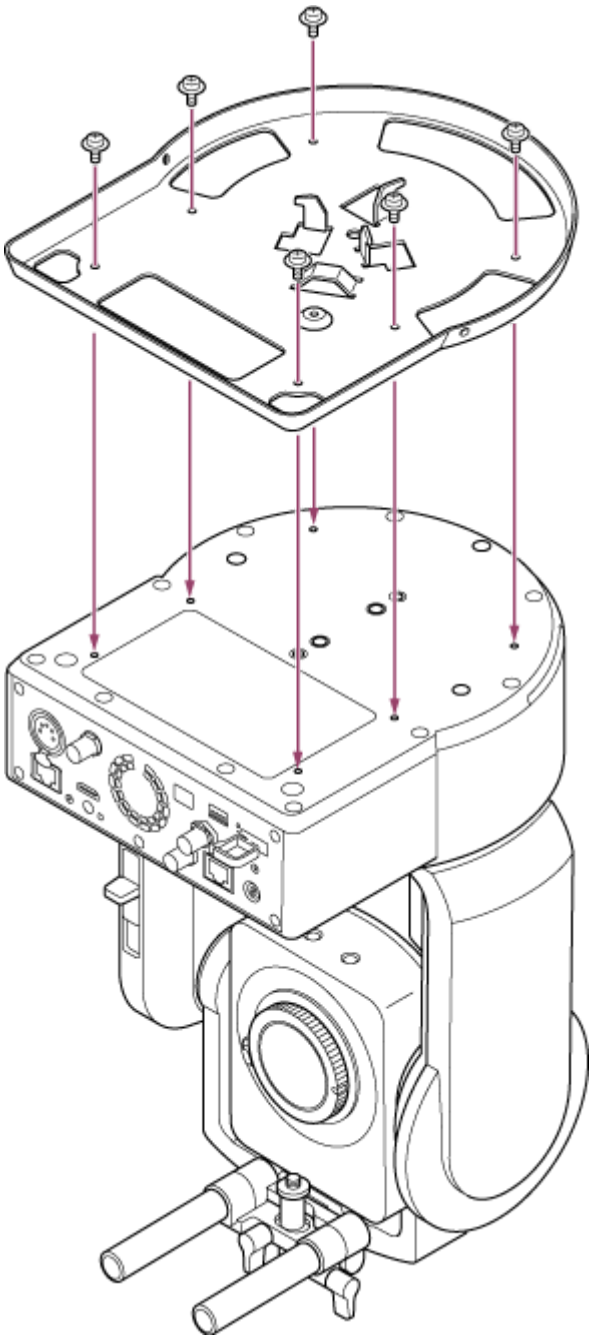


カメラヘッドを180°回転した状態

ご注意

- パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドしても、カメラヘッドがパン・チルトする場合は、ロックされるまで、手でカメラヘッドを動かしてください。

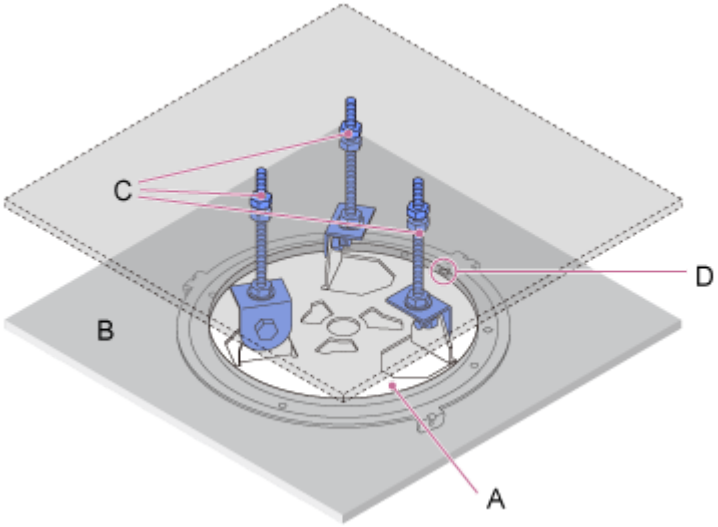
4 ボディブラケットを付属のネジ（M3×8）6本で本機の底面に取り付ける。



⚠注意

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本機内部を破損する恐れがあります。

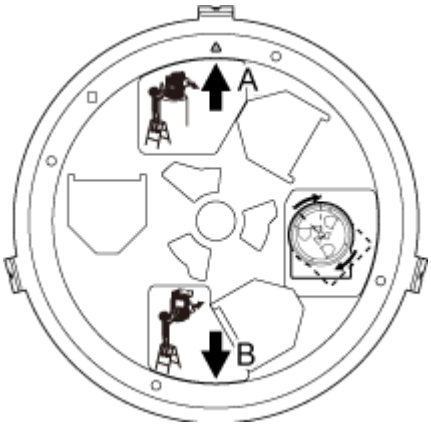
5 シーリングブラケットに取り付け部材（別売）を取り付け、天井に取り付ける。



A：シーリングブラケット
B：天井
C：取り付け部材
D：△穴

シーリングブラケットの取付け方向に注意して、ブラケットを設置してください。

カメラの撮影方向を正面とした場合、天井設置と据え置き設置では、正面が逆になります。設置方向を示すイラストシールを参考に正しく設置してください。

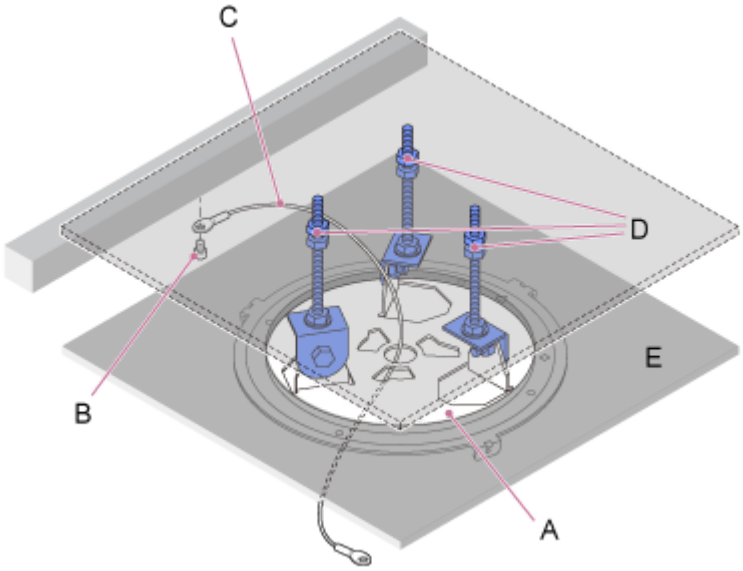


A：据え置き設置時の正面（△穴がある方向）
B：天井設置時の正面

ご注意

- 取り付け部材は、お客様でご用意ください。

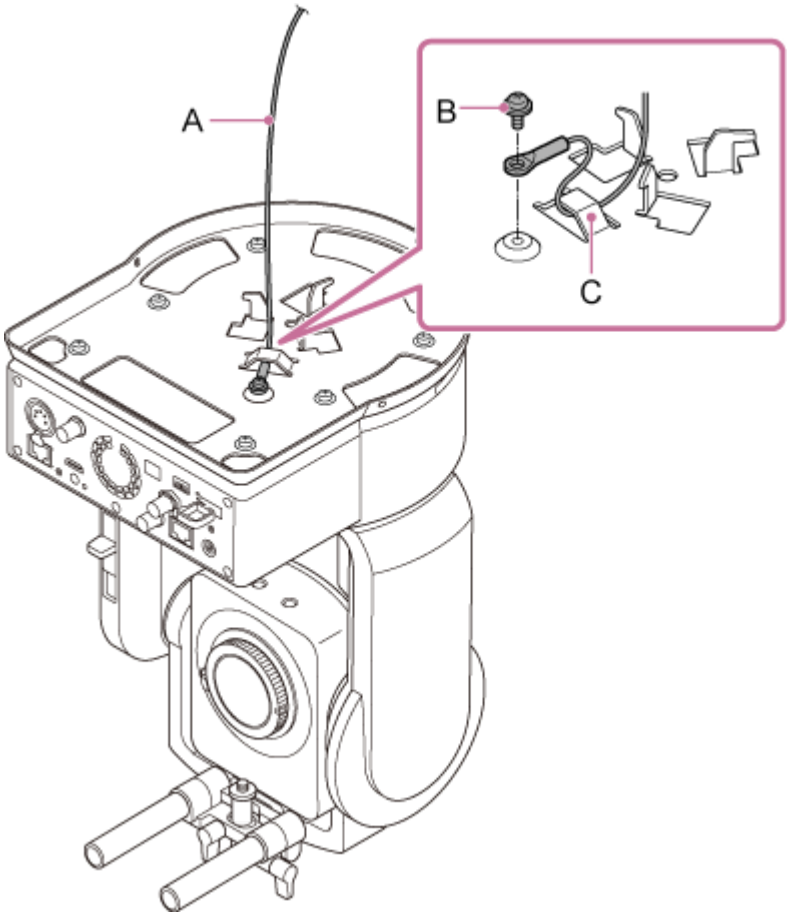
6 落下防止用のワイヤーロープを天井に取り付ける。



A：シーリングブラケット
B：M5（3/16インチ）六角穴付きボルト
C：ワイヤーロープ（付属）
D：取り付け部材
E：天井

7 落下防止ワイヤーロープをシーリングブラケット中央の穴から引き出し、ボディブラケットに取り付ける。

ボディブラケットのワイヤーロープ用金具に落下防止ワイヤーロープを通し、付属のステンレスネジ（＋M4×8、1本）でブラケットの取り付け部にしっかりと固定します。



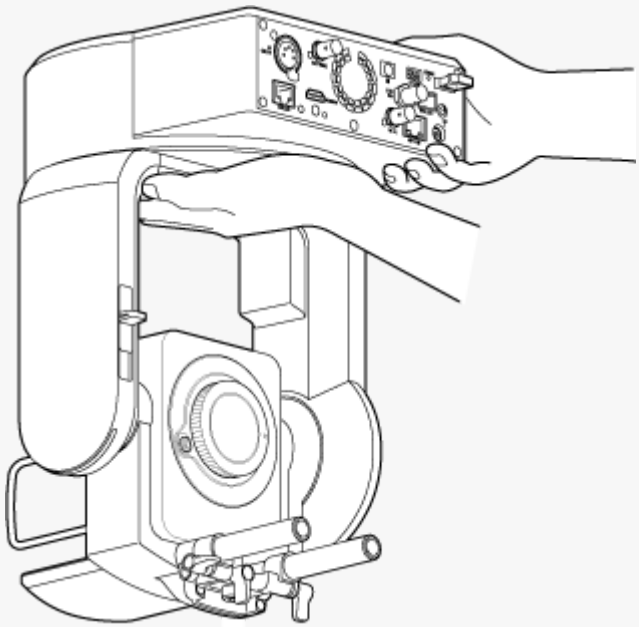
A：付属のワイヤーロープ
B：付属の＋ネジ（M4×8）
C：ワイヤーロープ用金具

⚠警告

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

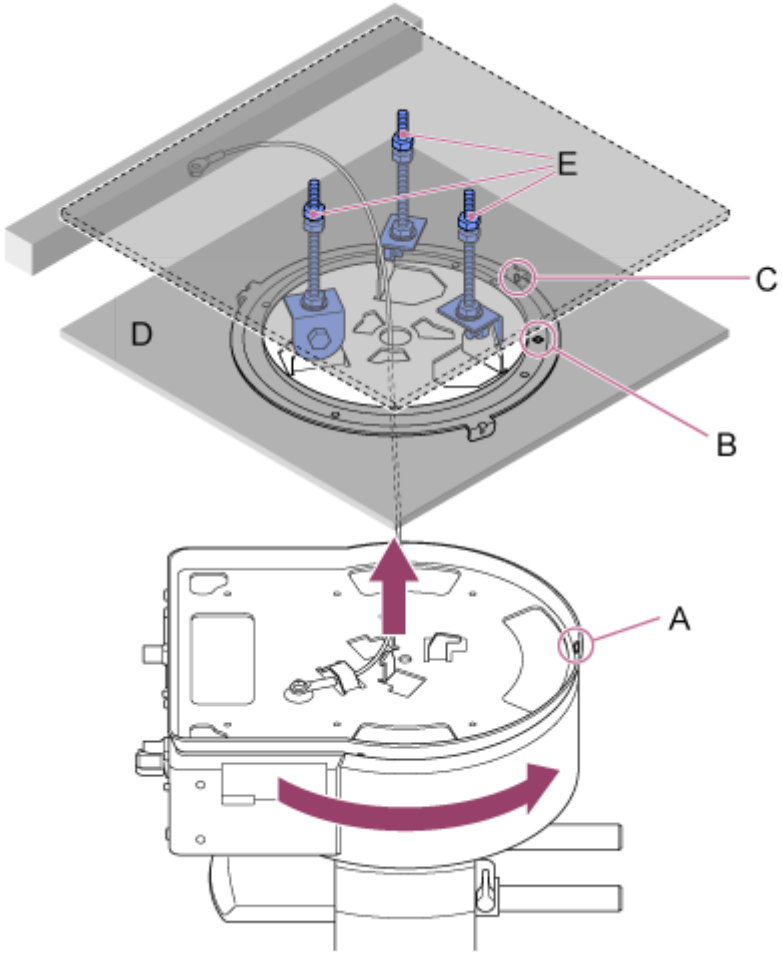
ご注意

- 下図に示すように本機を持ち、二人一組で取り付け作業を行うことを推奨します。



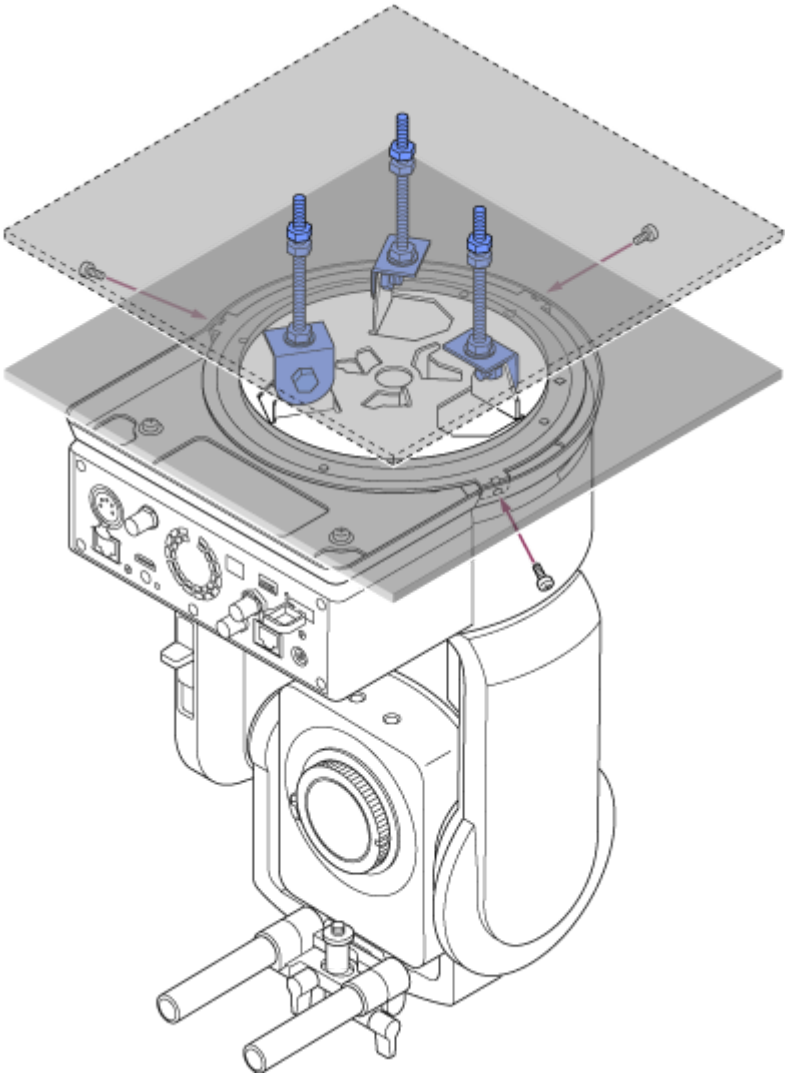
- カメラヘッド、レンズサポート部を持って作業をしないでください。故障、落下による破損やケガの恐れがあります。
- 落下防止ワイヤーロープが電源端子やケーブルとショートしないよう、配線にはご注意ください。
- 最大質量8.8kg（レンズ含む）まで吊り下げ可能です。落下防止のため、想定最大質量を超過しないようにしてください。

8 **本機のボディブラケットのAのネジ穴とシーリングブラケットのBの◇穴を合わせて本機を取り付けた状態で、Aのネジ穴とCのネジ穴が一致するまで、本機を時計回りに約60度回転する。**



A：ボディブラケット側のネジ穴
B：シーリングブラケットの◇穴
C：ネジ穴
D：天井
E：取り付け部材

9 **付属の回転止めネジ(M3×8、3本)でボディブラケットとシーリングブラケットを固定する。**



10 **取り付け状態を確認する。**

特に以下の点を確認してください。

- 取り付けネジが正しく取り付けられていること。
- 落下防止ワイヤーロープが正しく取り付けられていて、ワイヤーロープにねじれがないこと。
- 傾きやぐらつきがなく取り付けられていること。
- 台座部を回しても空回りしないこと。

以降、レンズの取り付けを行います。「レンズの取り付け/取り外し時の注意」、「レンズのスイッチを確認する」および「ズームレンズ使用時の注意」をご確認のうえ、「レンズを取り付ける」をご覧ください。

ご注意

- 天井に設置して使用する場合はパン・チルトの動作を正しく行うため、Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［Direction］>［Ceiling］を［On］にして天井吊り使用時の設定にしてください。
- レンズ取り付け後はレンズが正しく取り付けられていることをご確認ください。
  レンズに落下防止機構はありません。レンズの落下によるいかなる責任も負いかねます。

関連項目

- レンズの取り付け/取り外し時の注意
- レンズのスイッチを確認する

- ズームレンズ使用時の注意
- レンズを取り付ける

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズの取り付け/取り外し時の注意

⚠警告

レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

ご注意

- レンズの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。

ヒント

- 本機で使用できるレンズについて詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズのスイッチを確認する

レンズの種類によって、以下の確認と設定が必要です。

レンズにフォーカスモードスイッチが付いている場合

スイッチを「AF/MF」または「AF」に設定してください。
スイッチが「MF」または「Full MF」に設定されていると、レンズリング操作のみ可能になります。

ご注意

- Aマウントレンズ使用時はリモートコントロールユニットからの手動調節ができない場合があります。

レンズにズームスイッチが付いている場合

スイッチを「SERVO」に設定してください。
スイッチが「MANUAL」に設定されていると、ズームリング操作のみ可能となり、本機からのズーム操作を受け付けなくなります。

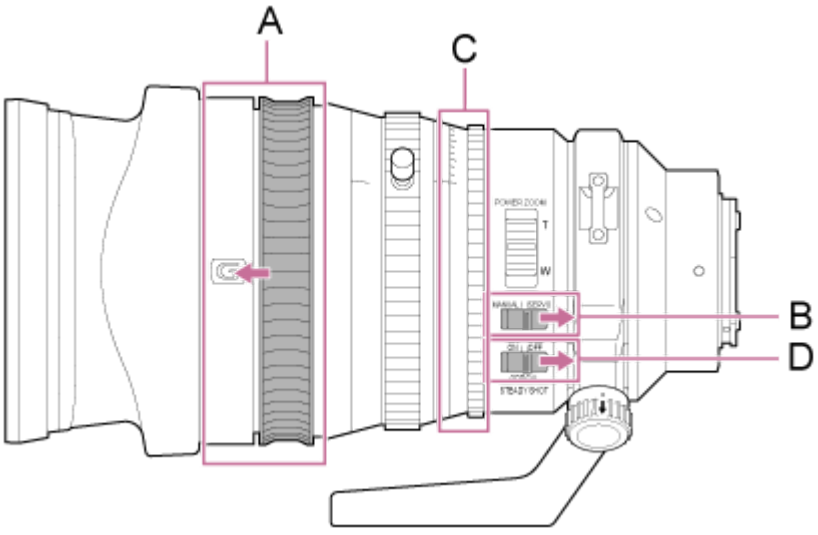
レンズにAuto Irisスイッチが付いている場合

スイッチを「AUTO」に設定してください。
「AUTO」以外に設定した場合、レンズリング操作のみ可能となり、本機からのアイリス操作を受け付けなくなります。

レンズに手ブレ補正スイッチが付いている場合

スイッチを「OFF」に設定してください。
スイッチが「ON」に設定されていると、パン・チルト動作時に予期しない動作をすることがあります。

SELP28135Gの場合



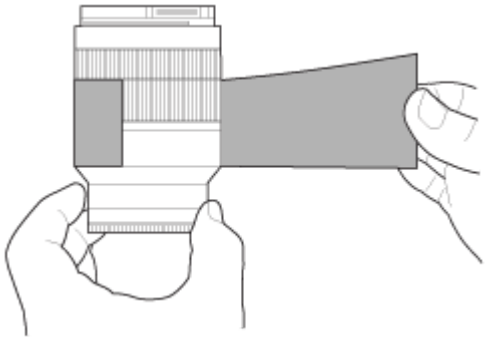
A：フォーカスリングをレンズ前方の位置に設定する（AF/MFモード）
B：ZOOMスイッチを「SERVO」に設定する
C：アイリスリングを「A」に設定して、IRIS LOCKスイッチをLOCKにする
D：手ブレ補正スイッチを「OFF」に設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ズームレンズ使用時の注意

電動ズームレンズ以外のズームレンズをご使用の場合、設置環境によりズーム位置が変わる場合があります。使用目的に応じてズームリングをテープで固定してください。



プラスチックフィルムテープ　品番 471 BLA 50 相当品

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

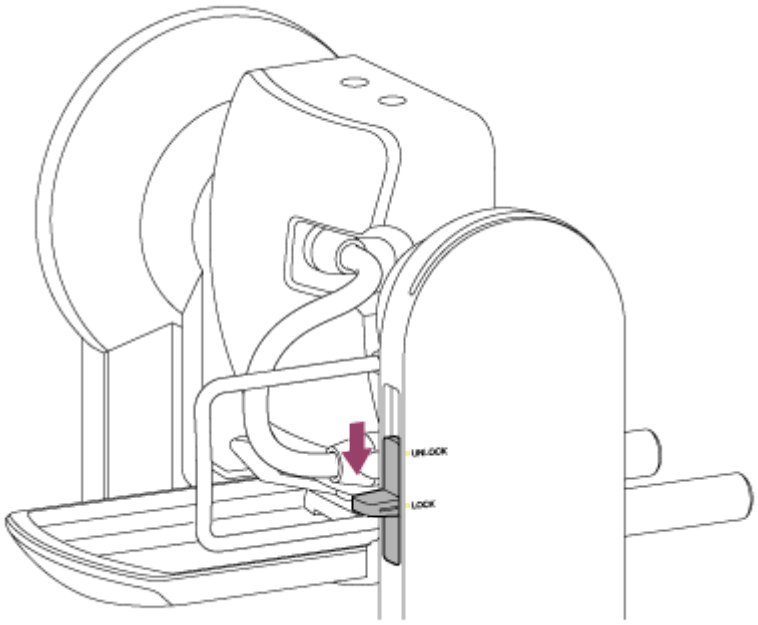
レンズを取り付ける

Eマウントレンズ、またはAマウントレンズの取り付けかたを説明します。

ご注意

- レンズを本機に取り付けたまま輸送しないでください。
- Aマウントレンズ使用時は、アイリスがマニュアルに、フォーカスがMFになります。

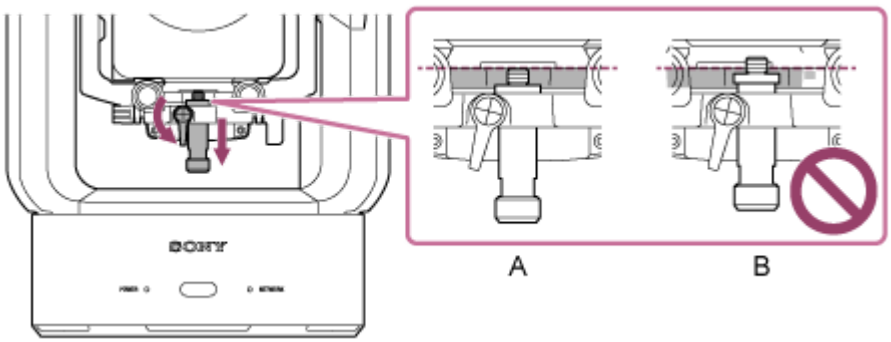
1 パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。



ご注意

- パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドしても、カメラヘッドがパン・チルトする場合は、ロックされるまで、手でカメラヘッドを動かしてください。

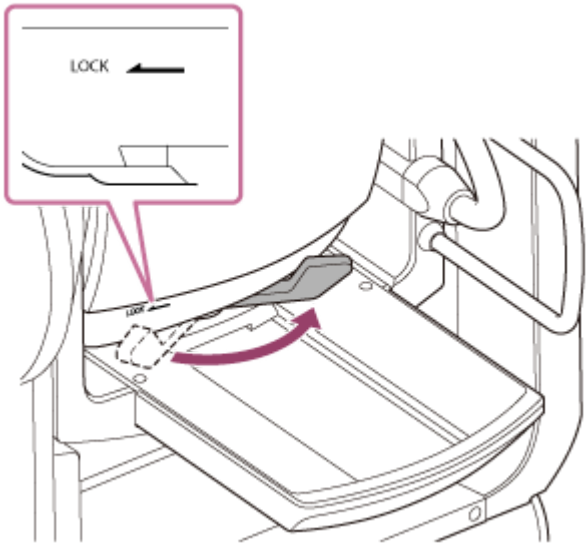
2 レンズサポート部のレンズ三脚座固定ネジのクランプレバーを反時計回りに回して緩め、レンズ三脚座固定ネジをレンズに干渉しない位置に移動する。



A：OK

B：NG

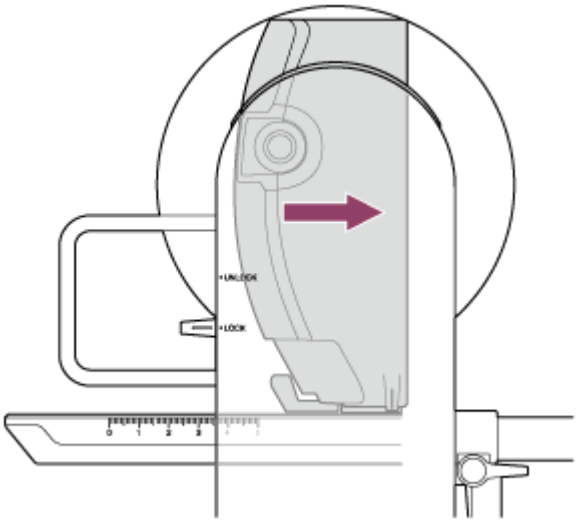
3 **カメラヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、カメラヘッドの固定を解除する。**



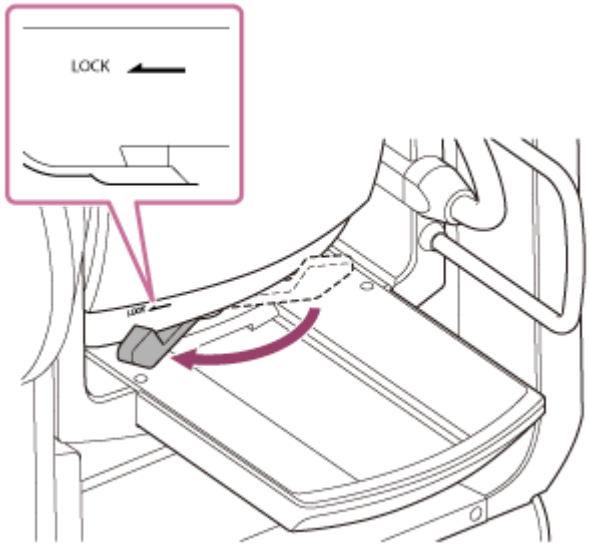
ご注意

- カメラヘッドを再度固定するまでの間、カメラヘッドが自重で移動してけがをする恐れがあります。カメラヘッドを手で支えながら作業してください。

4 **カメラヘッドをスライドさせて最前面まで移動させる。**



5 **カメラヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、カメラヘッドを固定する。**

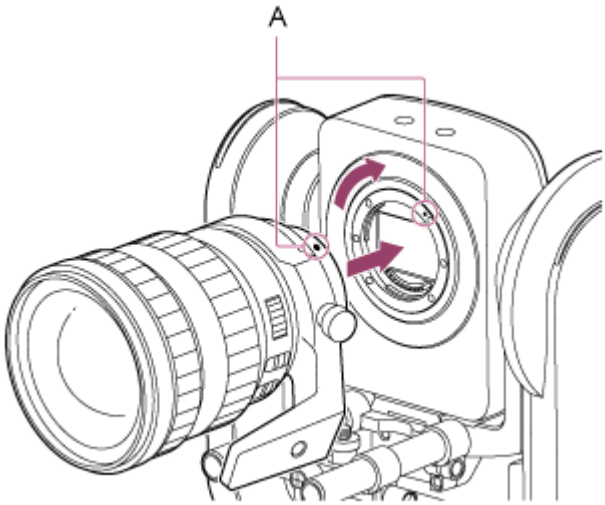


ご注意

- チルト動作の妨げになることを避けるために、カメラヘッドロックレバーが他の部品と接触しないことを確認してください。

6 **本体とレンズから、キャップやカバーを取り外す。**

7 **本機とレンズのマウント標点(白色)を合わせ、レンズを軽くカメラヘッドに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで時計方向にゆっくり回す。**

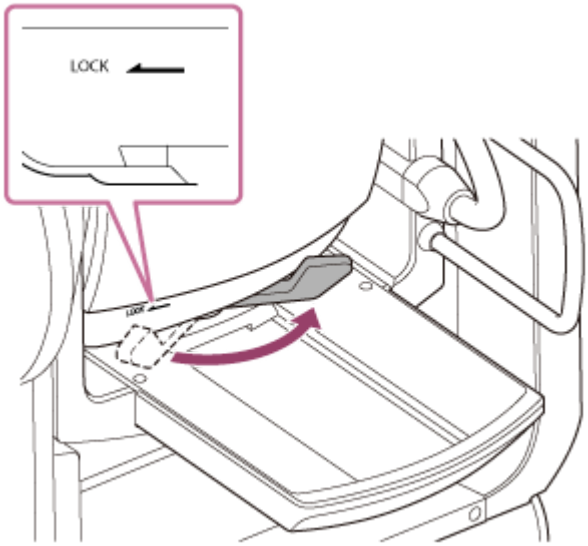


A：マウント標点（白色）

ご注意

- Aマウントレンズを取り付けて使用する場合は、本機にマウントアダプター（別売）を取り付けてからAマウントレンズを装着してください。

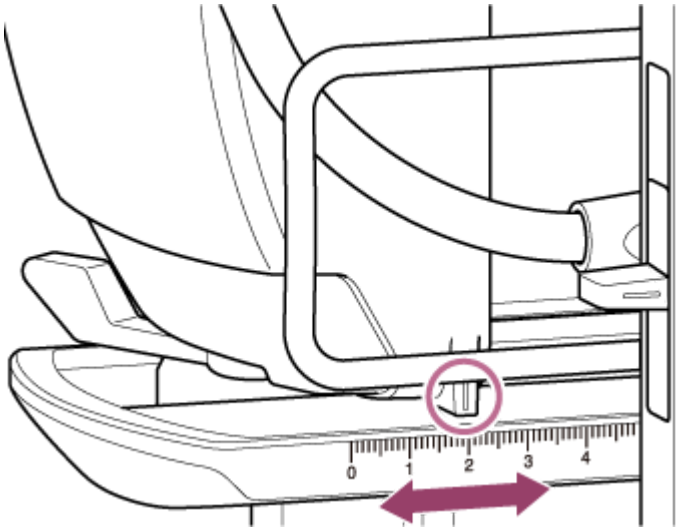
8 **カメラヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、カメラヘッドの固定を解除する。**



ご注意

- カメラヘッドを再度固定するまでの間、カメラヘッドが自重で移動してけがをする恐れがあります。カメラヘッドを手で支えながら作業してください。

9 スライドベースが水平になるように、カメラヘッドを前後させてバランスをとる。



ご使用のレンズが以下のレンズの場合、スライドベースの位置目盛を参考にして大まかなバランスをとることができます。

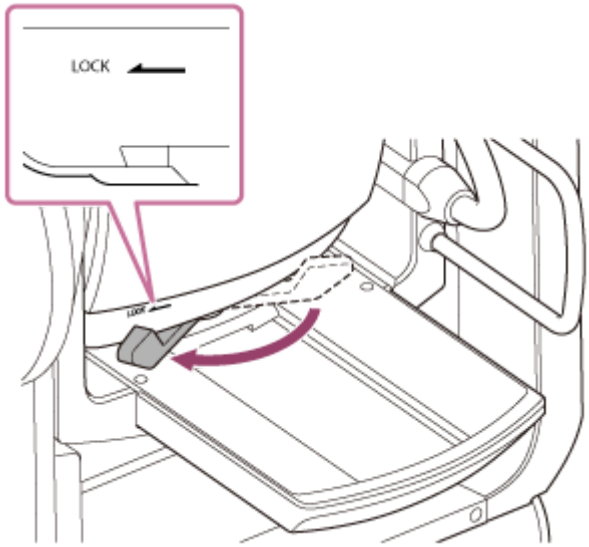
目盛位置	レンズ名
0.5	SEL70200GM（SEL20TC装着時）
1.7	SEL70200GM
2.0	SEL70200GM2（SEL20TC装着時）
3.0	SELP28135G, SEL70200GM2
3.5	SELP18110G
3.6	SELC1635G
4.3	SEL70200G

目盛位置	レンズ名
5.0～	SEL1224GM, SEL1635GM, SELP1635G, SELP18105G, SELP1020G

ご注意

- スライドベースの目盛は大まかなバランスをとるための参考として使用してください。
- 実際の取り付け時に、前後に傾かない位置に適宜調整を行ってください。
- バランス調整は水平な場所で行ってください。
- SELC1635Gは、レンズサポートユニットを取り外して使用してください。

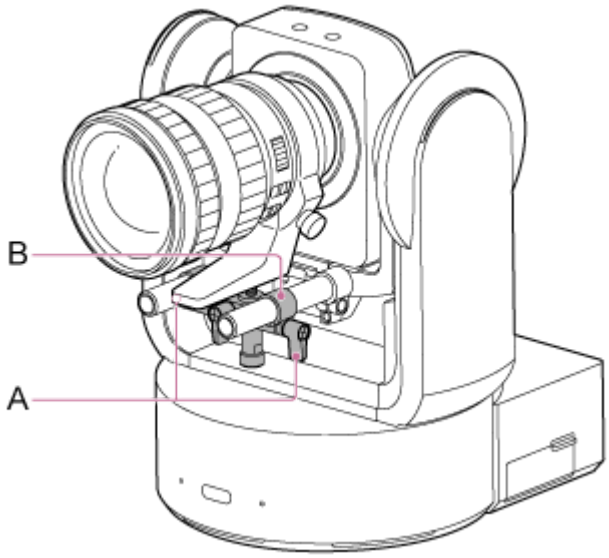
10 カメラヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、カメラヘッドを固定する。



ご注意

- チルト動作の妨げになることを避けるために、カメラヘッドロックレバーが他の部品と接触していないことを確認してください。
  確認方法：パン・チルトロックレバーをUNLOCK位置にスライドして、手でカメラブロックを上に向けて、他の部品と接触していないことを目視で確認します。もし接触していたら、カメラヘッドロックレバーを再度矢印の方向に回してください。

11 レンズサポートクランプレバーを反時計回りに回してレンズサポートユニットを緩める。



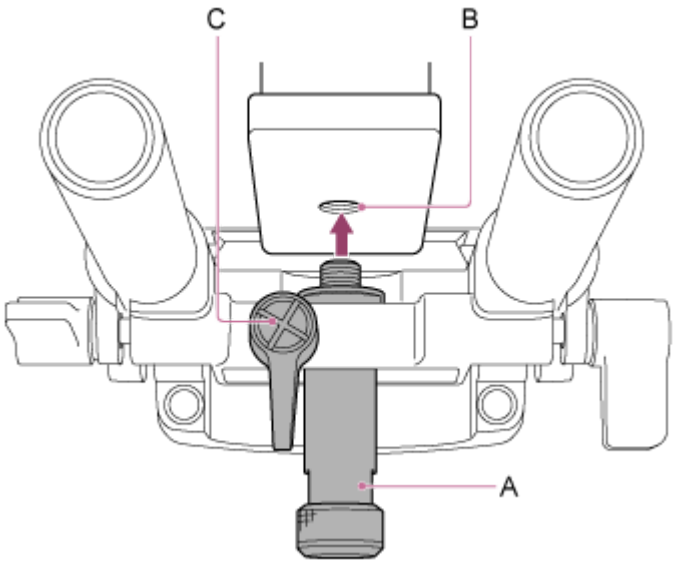
A：レンズサポートロッドのクランプレバー（2箇所）
B：レンズサポートユニット

12 レンズサポートユニットを移動して、レンズ三脚座固定ネジをレンズの三脚座に合わせ、時計回りに回してねじ込む。

ご注意

- レンズの三脚座をレンズ三脚座固定ネジと垂直にしてから取り付けてください。

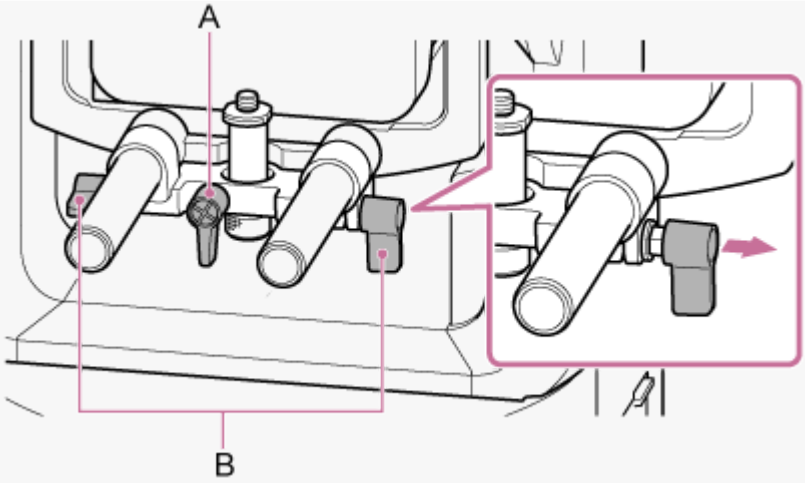
13 レンズ三脚座固定ネジのクランプレバーを時計回りに回してレンズ三脚座ネジを固定する。



A：レンズ三脚座固定ネジ
B：取付け穴
C：レンズ三脚座固定ネジのクランプレバー

ヒント

- クランプレバーが回しにくい位置にある場合は、クランプレバーを引き出してから操作しやすい位置まで回します。位置をきめたらクランプレバーを元の位置に戻します。



A：レンズ三脚座固定ネジのクランプレバー
B：レンズサポートロッドのクランプレバー

14 レンズサポートロッドのクランプレバー（2箇所）を時計回りに回して、レンズサポートユニットを固定する。

15 固定が必要なレバーに緩みがないこと、レンズが正しく取り付けられていること、およびレンズのスイッチ類が正しく設定されていることを確認する。

- レバーの緩みがあったり、レンズが正しく取り付けられていないと事故の原因となりますのでご注意ください。
- Eマウントの電動ズームレンズを使用する場合、カメラにプリセットポジションとして記憶したズーム位置を正確に復元するため、別途レンズのキャリブレーションを行う必要があります。詳しくは、「準備：Eマウントレンズのキャリブレーションを行う」をご覧ください。

関連項目

- 準備：Eマウントレンズのキャリブレーションを行う

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズを取り外す

「レンズを取り付ける」と逆の手順で、レンズを取り外します。

1. **作業の前にパン・チルトがロックされていることを確認する。**
2. **レンズサポート部のレンズ三脚座固定ネジのクランプレバーを反時計回りに回して緩める。**
3. **レンズ三脚座固定ネジをレンズの三脚座から取り外し、レンズに干渉しない位置に移動する。**
4. **カメラヘッドのロックを解除して、カメラヘッドをスライドさせて最前面まで移動させる。**
   手順は「レンズを取り付ける」の手順3～5をご覧ください。
5. **レンズリリースボタンを押したまま、レンズをしっかりと支えながらレンズを反時計方向に回す。**
6. **本機とレンズのマウント標点(白色)が揃った状態でレンズを前方に引き抜く。**

ご注意

- レンズを落とさないように、レンズを手でしっかりと持って取り外してください。
- 別のレンズをすぐに取り付けないときは、必ずボディキャップを取り付けてください。

関連項目

- レンズを取り付ける

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

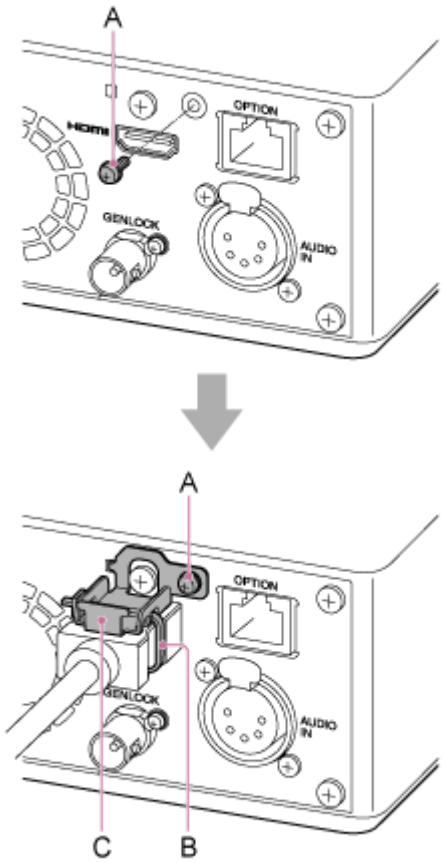
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ケーブルを接続する

ケーブルの接続について説明します。

1 背面のコネクターに必要なケーブルを接続する。

HDMIケーブルの抜けを防止したい場合は、端子部のHDMIケーブル抜け止めネジ（M2.6×6、黒）を外し、付属のHDMIケーブル抜け止めプレートを外したネジで取り付けます。市販の結束バンドなどでHDMIケーブルを抜け止めプレートに固定してください。



A：HDMIケーブル抜け止めネジ（M2.6×6、黒）
B：市販の結束バンド
C：HDMIケーブル抜け止めプレート（付属）

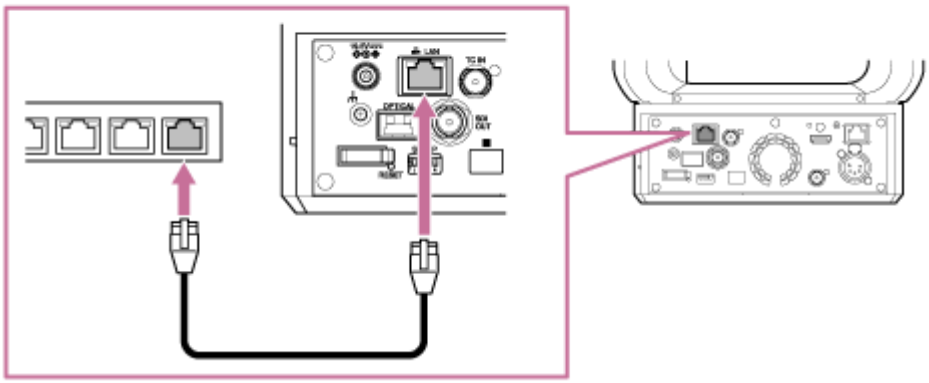
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機をネットワーク機器に有線接続する

本機とネットワーク機器の接続について説明します。

1 本機をカテゴリー5e以上のLANケーブルでネットワーク機器（Wi-Fiアクセスポイント、スイッチングハブなど）に接続する。



5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

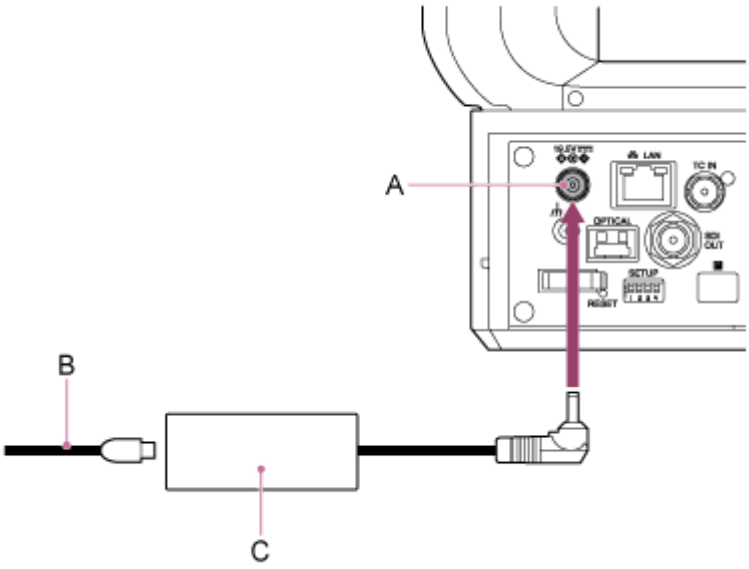
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

AC電源を使う

AC電源を使用する場合の手順を説明します。

1 パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。

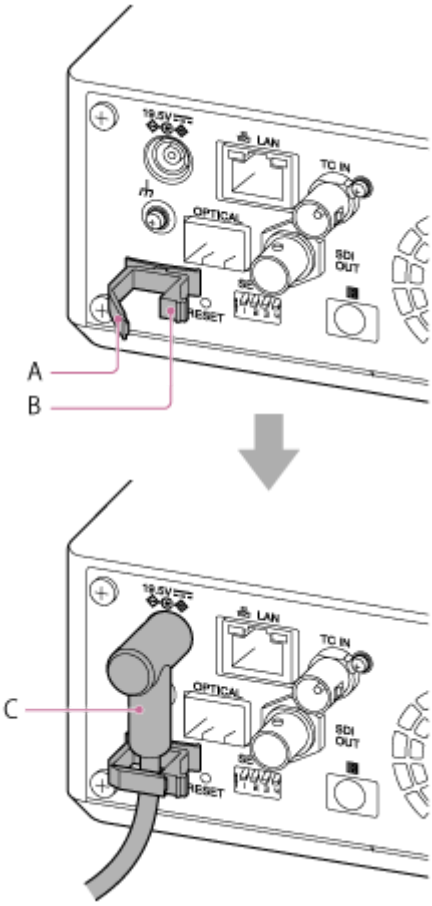
2 ACアダプター（付属）を本体のDC IN端子につなぎ、電源コード（付属）をAC電源に接続する。



A：DC IN端子
B：電源コード
C：ACアダプター

3 ACアダプターのコードの抜けを防止したい場合は、コードクランパーを使い固定する。

コードクランパーのロックを解除し、次にコードクランパーにコードを通しロックします。



A：コードクランパー
B：コードクランパーのロック
C：ACアダプターのコード

4 本機前面のPOWERランプが緑色の点滅から点灯に変わって起動が完了したことを確認する。

本機が正常に起動してネットワークと接続すると、NETWORKランプが緑色に点灯します。

- パン・チルト動作に対応していないレンズをご使用の場合は、以降の手順は行わず、パン・チルトをロックした状態のままでご使用ください。パン・チルト動作に対応しているレンズについてはお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

5 パン・チルトロックレバーをUNLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトロックを解除する。

6 パン・チルトリセットを行う。

- 詳しくは、「パン・チルトリセットを行う」をご覧ください。

ご注意

- 火災や故障の原因になりますので、本機に付属のACアダプター、電源コード以外は使用しないでください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは手近なAC電源を使用してください。本機を使用中、異常が生じたときはすぐにAC電源からプラグを抜き、電源を遮断してください。

- ACアダプターを本機から取り外す際はプラグ部分を持って真っすぐ抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因になります。

関連項目

- パン・チルトリセットを行う

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

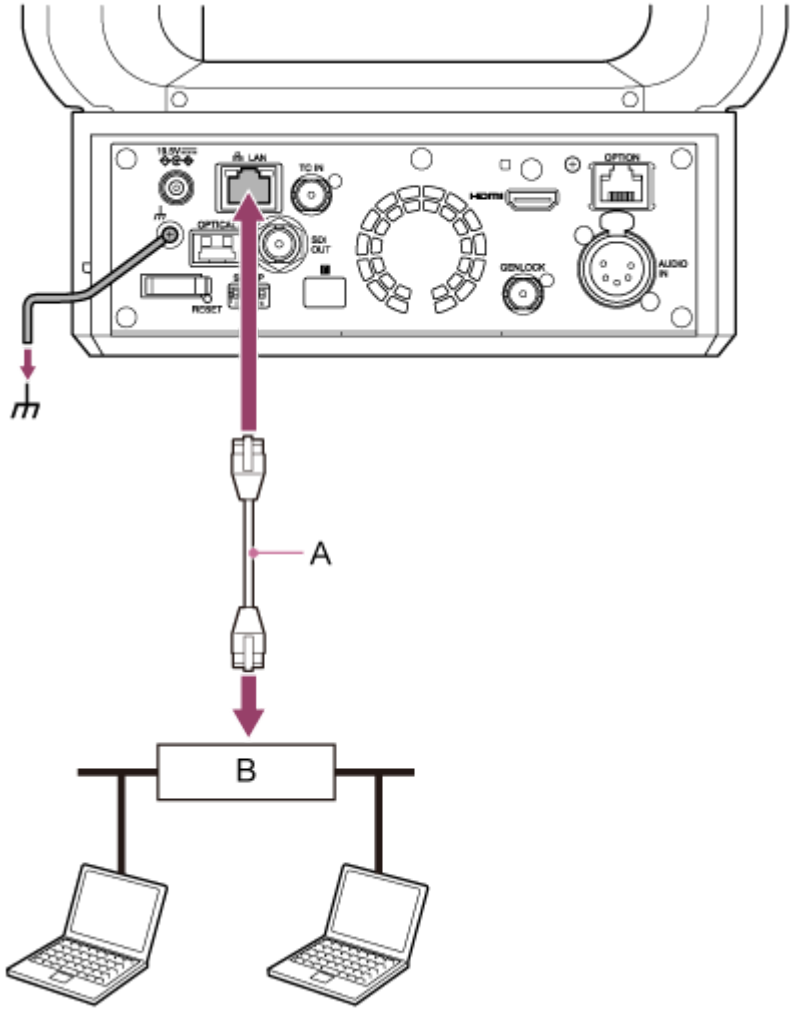
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

PoE++電源を使う

本機をPoE++対応電源供給機器に接続すると、市販のネットワークケーブル経由で本機に電源が供給されます。
設置場所に電源がない環境でも、電源工事不要で本機に電源を供給できます。

1 パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。

2 本機とPoE++対応電源供給機器を市販のネットワークケーブルで接続する。



A：ネットワークケーブル
B：PoE++対応電源供給機器

3 本機前面のPOWERランプが緑色の点滅から点灯に変わって起動が完了したことを確認する。

本機が正常に起動してネットワークと接続すると、NETWORKランプが緑色に点灯します。

ご注意

- PoE++で電源を供給する場合には起動が完了するまでの間に初期認証が行われます。
- パン・チルト動作に対応していないレンズをご使用の場合は、以降の手順は行わず、パン・チルトをロックした状態のままでご使用ください。パン・チルト動作に対応しているレンズについてはお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口に

ご相談ください。

4 **パン・チルトロックレバーをUNLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトロックを解除する。**

5 **パン・チルトリセットを行う。**

- 詳しくは「パン・チルトリセットを行う」をご覧ください。

ご注意

- 本機は、IEEE802.3btのType 4 Class 8にのみ準拠しています。動作確認済みのPoE++対応給電機器については、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
- ソフト認証（LLDP）に準拠していますが、ネットワーク機器（IEEE802.3btに準拠）の設定が必要になる場合があります。
- PoE++給電のソフト認証（LLDP）を有効にして使用する場合は、ACアダプターを接続しないでください。
- ACアダプターとPoE++電源が同時に接続されると、ACアダプターから電力が供給されます。
- PoE++給電する場合は、カテゴリー5e以上のネットワークケーブルをご使用ください。
- PoE++給電により電源を再度入れる際は、10秒程度の間隔を空けて行ってください。
- PoE++給電する場合は、アース端子を接続してください。
- PoE++給電による接続時には、屋外への配線をしないでください。

関連項目

- パン・チルトリセットを行う

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

パン・チルトリセットを行う

レンズを交換したときなど、パン・チルトのリセットが必要になった場合は、以下の操作でパン・チルトリセットを行ってください。

1. **パン・チルトロックレバーがUNLOCK位置にあり、カメラヘッドのパン・チルトロックが解除されていることを確認する。**

2. **パン・チルトリセットを実行する。**

   パン・チルトリセットは、赤外線リモコン、Web App、リモートコントローラーRM-IP500（別売）から実行できます。

   - 赤外線リモコンでの操作：P/T RESETボタンを押します。
   - Web Appでの操作：ライブ操作画面→カメラ操作部の （Others）タブにある

（パンチルトリセット）ボタンを押します。
   - RM-IP500での操作：RM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

   ご注意

   - パン・チルトリセットを実行するとカメラヘッドとレンズが旋回します。周囲を確認してから実行してください。
   - 本機にはパン・チルトの範囲を制限する機能がありますが、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は無効になります。

   ヒント

   - パン・チルトリセットが終わると、実行前の位置に戻ります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

WebブラウザーでWeb Appにアクセスする

本機とタブレットまたはコンピューターを接続して、Webブラウザーから本機の操作や設定をすることができます。

1 使用するタブレットまたはコンピューターがWeb App操作に対応しているかどうか確認する。

項目			条件
ディスプレイ			1080 x 810ピクセル以上を推奨 タブレット画面サイズ：10インチ以上を推奨
対応OSとWebブラウザー	Windows	OS	Windows 10以降
		Webブラウザー	Google Chrome
	Mac	OS	macOS 10.15以降
		Webブラウザー	Google Chrome Safari
	iPad	OS	iPadOS 15以降
		Webブラウザー	Google Chrome Safari
	Android	OS	Android 12以降
		Webブラウザー	Google Chrome

ご注意

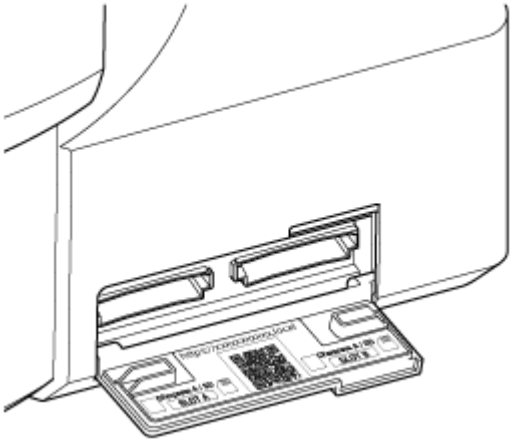
- 必要な環境を満たしていない場合、またはタブレット/コンピューターの利用状況によっては、Webブラウザーでの映像の表示動作に影響を及ぼすことがあります。
- 本機のWeb AppはJavaScriptを使用しています。ご使用になるタブレット/コンピューターでウイルス対策ソフトウェアなどをお使いの場合には、Webページが正しく表示されない場合があります。

2 本機、タブレットまたはコンピューター、および周辺機器の電源が入っていることを確認する。

3 本機とタブレットまたはコンピューターが、Wi-Fiまたは有線LANでローカルエリア接続されていることを確認する。

4 本機とタブレットまたはコンピューターのWebブラウザーを接続する。

QRコードを使用して接続する場合
本体側面のメディア蓋に印刷されているQRコードをタブレットのカメラで撮影する。



タブレットに表示されたリンクを開く。
タブレットのWebブラウザーが起動し、本機のWeb Appの画面が表示されます。

WebブラウザーのアドレスバーにURLを入力して接続する場合
タブレットまたはコンピューターのWebブラウザーを起動し、本体側面のメディア蓋に印刷されているURLを入力する。
Webブラウザー上で本機のWeb Appの画面が表示されます。

Webブラウザーのアドレスバーに本機のIPアドレスを入力して接続する場合
タブレットまたはコンピューターのWebブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス」を入力する。
Webブラウザー上で本機のWeb Appの画面が表示されます。

ご注意

- HTTPポート番号を「80」から変更した場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を入力してください。
- 「QRコードを使用して接続する場合」または「WebブラウザーのアドレスバーにURLを入力して接続する場合」で接続する場合は、mDNS*に対応している機器を使用してください。
  * mDNS：ローカルネットワーク内でホスト名からIPアドレスを割り出すために用いられる通信規約（プロトコル）のひとつ。

ヒント

- Webブラウザーのブックマーク機能を使うことで、次回以降のアクセスを簡単に行うことができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機の初期設定を行う

本機を初めて使用するときは、必ず以下の初期設定を行ってください。

ヒント

- バックアップ電池が放電してしまった場合、再度初期設定が必要になります。

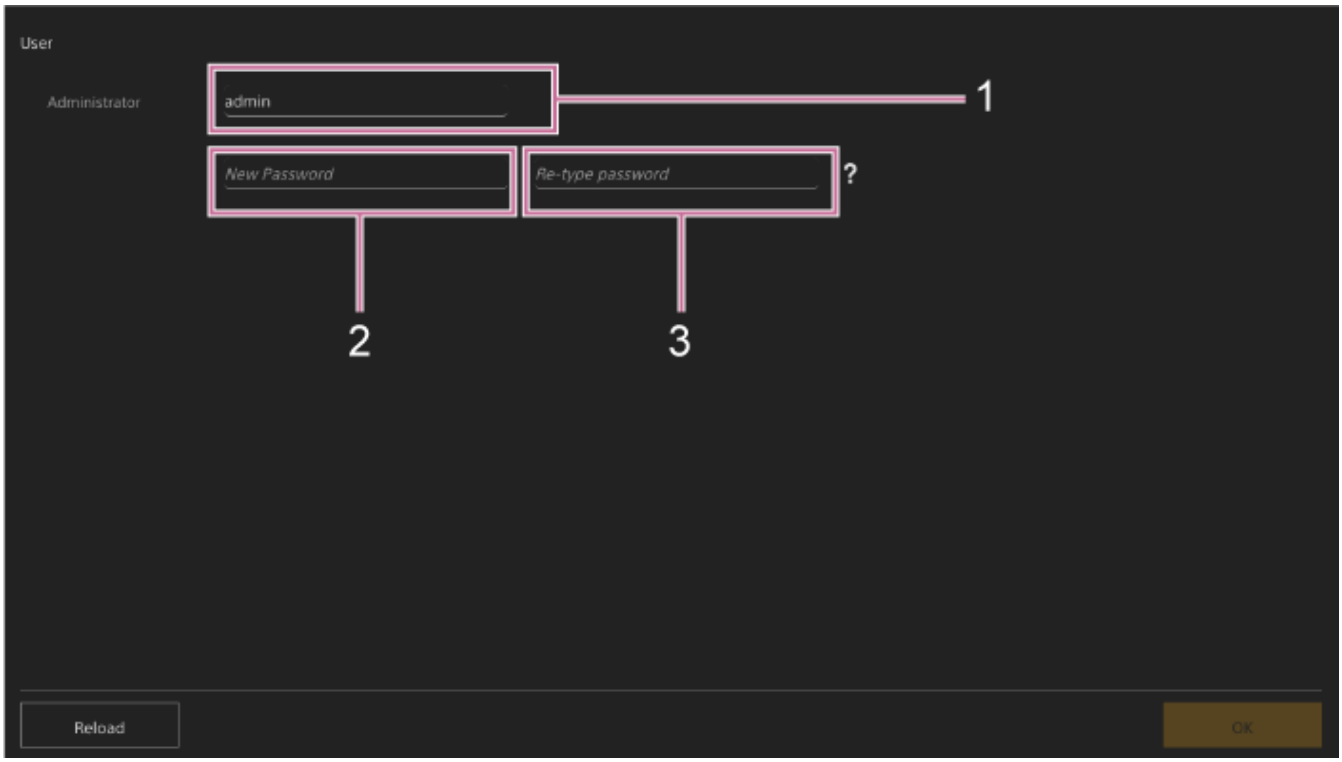
1 本機とタブレットまたはコンピューターを接続して、Web Appを起動する。

本機を初めて使用するときは、Webブラウザーにユーザー名とパスワードの入力を求められるので、以下を入力してください。

- ユーザー名：admin
- パスワード：なし

以降、画面の指示に従って初期設定を行います。

2 管理者（Administrator）のユーザー名およびパスワードを入力して、［OK］ボタンを押す。



1：管理者のユーザー名を入力します。
2：管理者のパスワードを設定します。
3：再確認のため、2に入力したものと同じパスワードを入力します。

ご注意

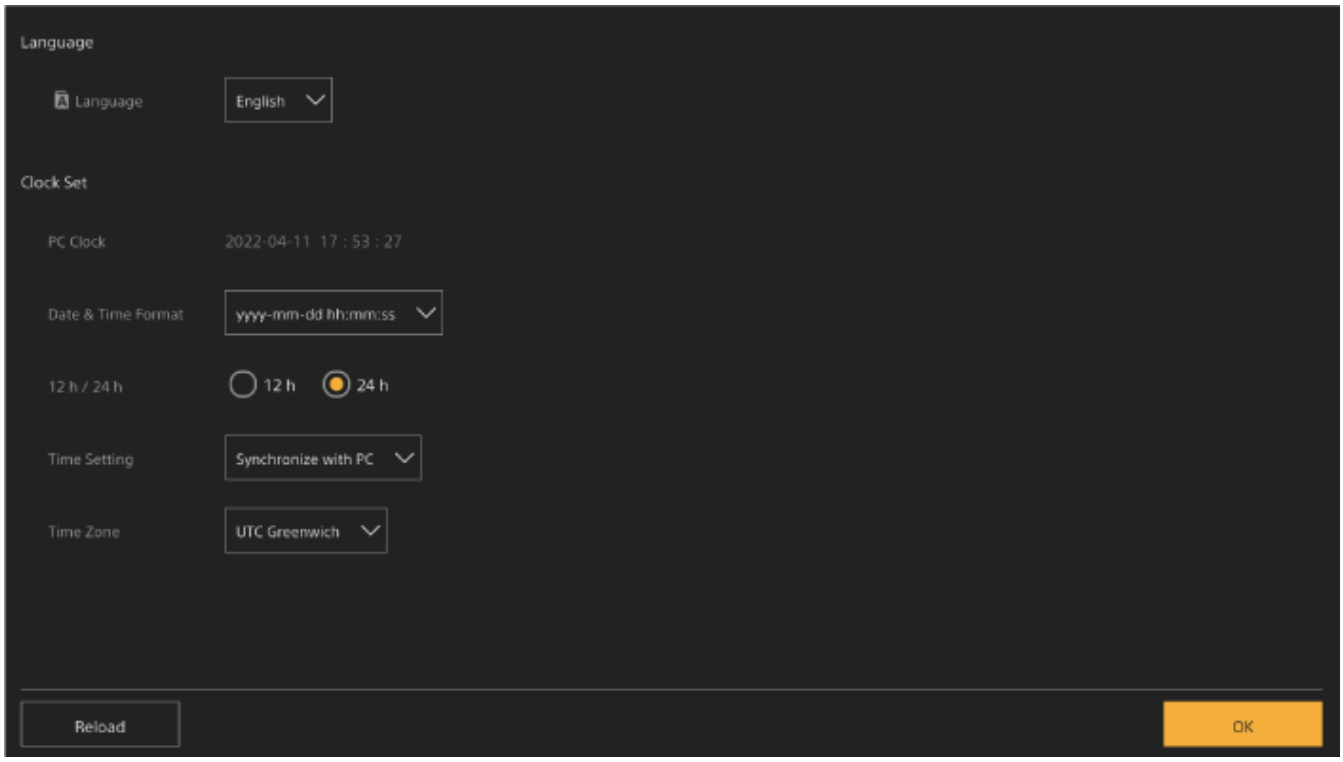
- ユーザー名およびパスワードに使用可能な文字列は以下のとおりです。パスワードは、英字大文字、英字小文字、および数字の3種類の文字を含めて8文字以上、64文字以下で設定してください。
  - 英数字

- 記号（!$%`*+-./<=>?@[]^_{|}~）

Webブラウザーが再読み込みを行い、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。

3 手順2で設定したユーザー名とパスワードを入力する。

言語・時計設定画面が表示されます。



4 以下の項目を設定して、［OK］ボタンを押す。

［Language］
Web Appやカメラの画面表示で使用する言語を選択します。言語を変更するとWeb Appの表示言語が変わります。
［Date & Time Format］
日付/時刻の表示フォーマットを以下から選択します。
［yyyy-mm-dd hh:mm:ss］、［mm-dd-yyyy hh:mm:ss］、［dd-mm-yyyy hh:mm:ss］
「yyyy」は年、「mm」は月、「dd」は日、「hh」は時、「mm」は分、「ss」は秒を表します。
［12 h/24 h］
時刻表示を［12 h］（12時間制）、［24 h］（24時間制）から選択します。
［Time Setting］
日付/時刻の設定方法を以下から選択します。
［Synchronize with PC］：PC、またはタブレットの日付/時刻に同期します。
［Manual setting］：手動で設定します。これを選ぶと日付/時刻の入力欄が表示されます。
［Time Zone］
タイムゾーンを選択します。

撮影操作を行うライブ画面が表示されます。引き続き、運用形態に合わせて本機の基本動作を設定してください。

ヒント

- 本機とタブレットを組で運用する場合など、本機のIPアドレスを固定したほうが扱いやすい場合があります。
- 固定IPアドレスを設定する場合は、Webメニューの［Network］－［Wired LAN］－［IPv4］の［DHCP］をオフ（スライダーが左の位置にある状態）にします。

- 固定IPアドレスに関する設定項目が表示された場合、設定後、画面の［OK］ボタンを押してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機の基本動作を設定する

本機の基本動作の設定方法を説明します。

撮影モードを設定する

本機では、ワークフローに合わせた撮影モードを選択できます。

- Customモード：撮影時に自在に映像の作りこみができます。
- Log撮影モード：S-Log素材の記録ができます。
  - Flexible ISOモード：撮影シーンに合わせてISO値調節による露出設定ができます。
  - Cine EIモード/Cine EI Quickモード：撮影時には画作りを行わずポストプロダクション処理を前提とした、フィルムカメラと同等の使いかたができます。

Cine EI Quickモードでは、Exposure Indexを設定すると、それに適した基準感度が自動選択されます。
撮影モードは、Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Base Setting］の［Shooting Mode］で切り替えます。

Customモード

映像規格を選ぶことができます。
Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Base Setting］の［Target Display］で切り替えます。

- ［SDR(BT.709)］：HD放送の規格に準じた撮影
- ［HDR(HLG)］：次世代の4K放送の規格に準じた撮影

詳しくは、「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほかをご覧ください。

Log撮影モード（Flexible ISOモード/Cine EIモード/Cine EI Quickモード）

記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域が［LUT On/Off］の各種設定を［MLUT Off］に設定したときの映像出力の色域となります。
色域はカメラメニューの［Project］メニュー >［Cine EI/Flex.ISO Set］の［Color Gamut］で切り替えます。

- ［S-Gamut3.Cine/SLog3］：デジタルシネマの色域（DCI-P3）への調整がしやすい色域
- ［S-Gamut3/SLog3］：ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

詳しくは、「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」をご覧ください。

各撮影モードの対応状況は以下のとおりです。
●：対応　-：非対応

	Custom	Flexible ISO	Cine EI	Cine EI Quick
ISO/Gain	●	●	-	-
AGC	●	●	-	-
Base Sensitivity	●	-	-	-
Base ISO	-	●	●	●（EIに連動）

	Custom	Flexible ISO	Cine EI	Cine EI Quick
Exposure Index	-	-	●	●
Auto Shutter	●	●	-	-
ATW	●	●	-	-
LUT On/Off	-	●	●	●
Scene File	●	-	-	-
Paint/Look（Base Lookを除く）	●	-	-	-

ヒント

- Cine EI Quickモード、およびCine EIモードでは、イメージセンサーの性能を最大限活かすために、ゲインを使わず基準ISO感度で撮影します。明るさの調節は、照明やNDフィルターを使ってイメージセンサーに届く光量を調節することが基本になります。

システム周波数を設定する

Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Frequency］で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ご注意

- 記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

イメージスキャンモードを設定する

イメージセンサーの有効画サイズと解像度の設定を行います。
Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Imager Scan Mode］で切り替えます。
［FF］：フルサイズで使用します。
［S35］：Super 35mmサイズで使用します。

ご注意

- 記録・再生中にイメージスキャンモードを切り替えることはできません。
- S35のとき、ビデオフォーマットは1920×1080に制限されます。

コーデックを設定する

記録するコーデックの設定を行います。
Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Codec］で切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

ビデオフォーマットを設定する

記録するビデオフォーマット、およびカメラから出力する出力フォーマットの設定を行います。

- 記録するビデオフォーマットはWebメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Video Format］で切り替えます。

- SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの出力フォーマットは、Webメニューまたはカメラメニューの［Monitoring］メニュー >［Output Format］で切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号は制限されます。

関連項目

- ルックの概要
- ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

対応メモリーカードについて

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）またはSDXCメモリーカード（別売）に記録します。また、プロキシ記録にもこれらのメモリーカードを使用します。

CFexpress Type Aメモリーカード

本機では、「推奨記録メディアについて」に記載のソニー製CFexpress Type Aメモリーカード*をご使用ください。
他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

* 本書ではCFexpressカードと表現しています。

SDXCメモリーカードについて

本機では、「推奨記録メディアについて」に記載のSDXCメモリーカード*をご使用ください。

* 本書ではSDカードと表現しています。

推奨記録メディアについて

動作保証条件はRec FormatやRecording設定によって異なります。

CFexpress Type A

VPG400準拠
本機が対応するすべての記録フォーマットで使用できます。

SDXC

対応状況は以下の表のとおりです。表中の「●」は動作を保証、「—」は動作保証外を意味します。

RAW Out & XAVC-I、4096×2160 Class300、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
24P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

RAW Out & XAVC-I、3840×2160 Class300、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

RAW Out & XAVC-I、3840×2160 Class300、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

RAW Out & XAVC-I、3840×2160 Class300、S&Q（100fps、120fps）の場合
動作保証メディアはありません。

XAVC-I、4096×2160 Class300、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
24P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-I、4096×2160 Class300、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
24P	—	—	—	—	—	—	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-I、3840×2160 Class300、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-I、3840×2160 Class300、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-I、3840×2160 Class300、S&Q（100fps、120fps）の場合
動作保証メディアはありません。

XAVC-I、1920×1080 Class100、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	●	●
50P	—	—	—	—	—	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●
23.98P	—	—	●	—	●	●	●

XAVC-I、1920×1080 Class100、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	●	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
50P	—	—	—	—	—	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-I、1920×1080 Class100、S&Q（100fps、120fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	—	●
50P	—	—	—	—	—	—	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-I、1920×1080 Class100、S&Q（150fps、180fps）の場合
動作保証メディアはありません。

XAVC-I、1920×1080 Class100、S&Q（200fps、240fps）の場合
動作保証メディアはありません。

XAVC-L、3840×2160 420、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●
23.98P	—	—	●	—	●	●	●

XAVC-L、3840×2160 420、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-L、3840×2160 420、S&Q（100fps、120fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	●	●
50P	—	—	—	—	—	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	—

XAVC-L、1920×1080 HD50、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●
23.98P	—	—	●	—	●	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD50、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	●	●	●	●	●	●	●
50P	●	●	●	●	●	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●
23.98P	—	—	●	—	●	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD50、S&Q（100fps、120fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD50、S&Q（150fps、180fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	●	●
50P	—	—	—	—	—	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-L、1920×1080 HD50、S&Q（200fps、240fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	—	—	—	●	●
50P	—	—	—	—	—	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	—	●
25P	—	—	—	—	—	—	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

XAVC-L、1920×1080 HD35、Normal modeの場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	●	●	●	●	●	●	●
50P	●	●	●	●	●	●	●
29.97P	●	●	●	●	●	●	●
25P	●	●	●	●	●	●	●
23.98P	●	●	●	●	●	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD35、S&Q（60fps以下）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	●	●	●	●	●	●	●
50P	●	●	●	●	●	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
23.98P	—	—	●	—	●	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD35、S&Q（100fps、120fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	●	—	●	●	●
25P	—	—	●	—	●	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD35、S&Q（150fps、180fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	●	●

XAVC-L、1920×1080 HD35、S&Q（200fps、240fps）の場合

システム周波数	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90
59.94P	—	—	●	—	●	●	●
50P	—	—	●	—	●	●	●
29.97P	—	—	—	—	—	●	●
25P	—	—	—	—	—	●	●
23.98P	—	—	—	—	—	—	●

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

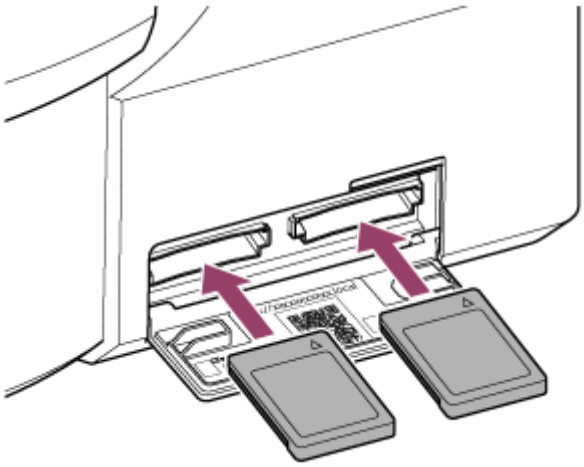
メモリーカードを入れる

メモリーカードの入れかたと注意点を説明します。

1 カードスロット部のメディア蓋を開ける。

2 メモリーカードを差し込む。

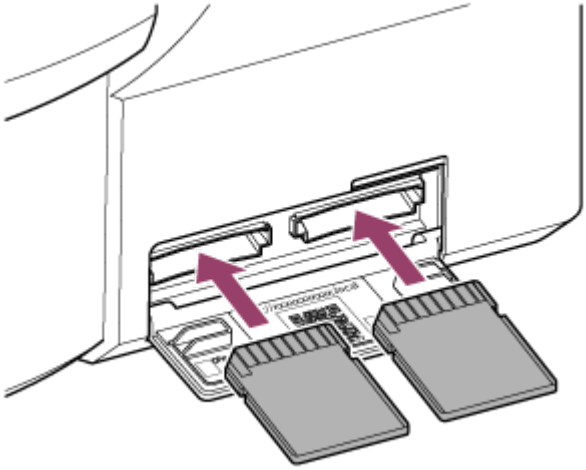
CFexpressカードの場合はラベルを上にする。



ご注意

- 天吊り設置の場合は、ラベルを下にしてください。

SDカードの場合はラベルを下にする。



ご注意

- 天吊り設置の場合は、ラベルを上にしてください。

アクセスランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ご注意

- アクセスランプの赤い点滅が長く続き緑点灯にならない場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、緑点灯になる場合があります。

3 **メディア蓋を閉める。**

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- CFexpress Type A/SDカードスロット（A）/（B）両方にメディアを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメディアを挿入してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

メモリーカードを取り出す

カードスロット部のメディア蓋を開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合、データは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

メモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージ「Media Needs to be Formatted」（フォーマットが必要なメディアです）がカメラ映像部に表示されます。
下記の手順に従ってフォーマットしてください。

1. **カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Format Media］を選択する。**

2. **Media(A)（スロットA）またはMedia(B)（スロットB）を選択して、フォーマット種別（Full FormatまたはQuick Format）を選択する。**

   確認メッセージが表示されます。
   ［Full Format］：メディアのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
   ［Quick Format］：メディアのデータ管理情報を初期化します。

3. **［Execute］を選択する。**

   実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
   フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、カメラ映像部のA/Bスロットメディア残量表示部で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。
現在設定されている記録フォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディア残量から計算して分単位で表示します。

メモリーカードの交換時期

記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、警告メッセージ「Media Near Full」（メディア残量がわずかです）が表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「Media Full」（メディア残量がありません）に変わり記録が停止します。

ご注意

- 1枚のメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。
修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがカメラ映像部に表示されます。

修復を実行するには

GUI操作部の矢印ボタンで［Execute］を選択し、［Set］ボタンを押します。
実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- エラーが発生したメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って別のメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
- 本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 2秒以下のクリップは修復できません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

録画を開始/停止する

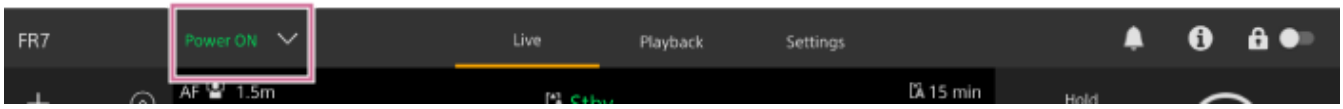
録画の開始および停止方法を説明します。

1. **必要な機器が取り付けられ、本機および周辺機器に電源が供給されていることを確認する。**

2. **メモリーカードを入れる。**

3. **Web App画面左上の本機の電源状態を確認する。**

電源がOnの場合
本機の電源がOnの場合は、Web App画面上部の電源スイッチが［Power ON］と表示されます。

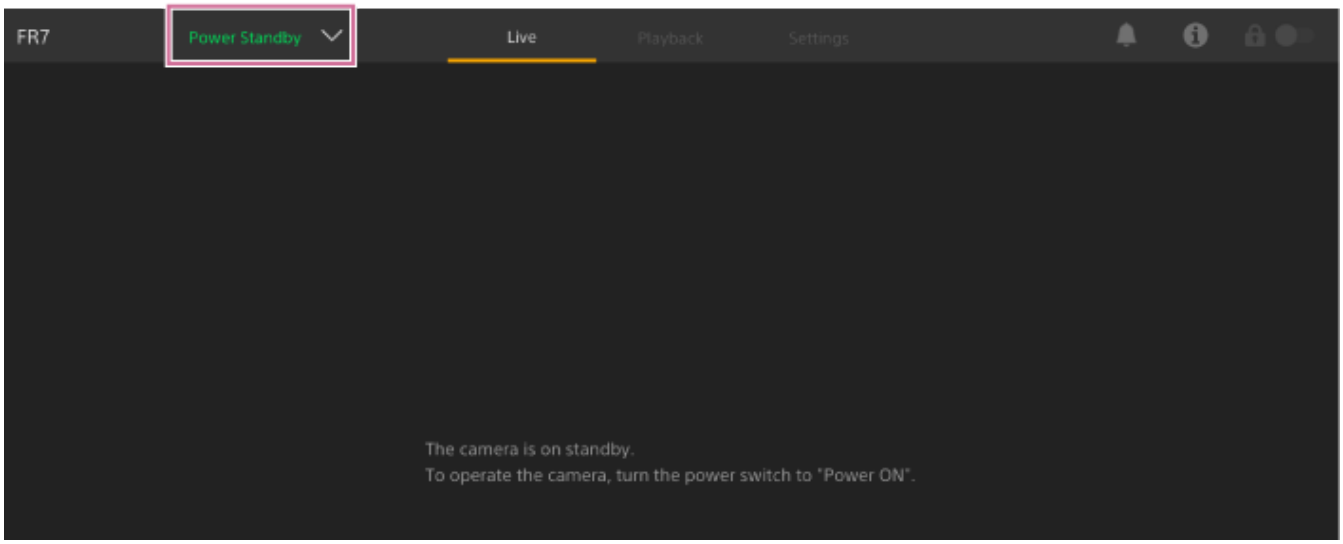


本機前面のPOWERランプが点灯して、Web Appのライブ操作画面に撮影映像が現れます。

ご注意

- 管理者パスワードが設定されていない場合、パスワード設定を促す画面が表示されます。「本機の初期設定を行う」をご覧ください。

電源がスタンバイ状態の場合
本機の電源がスタンバイ状態の場合は、Web Appの電源スイッチが［Power Standby］と表示されます。



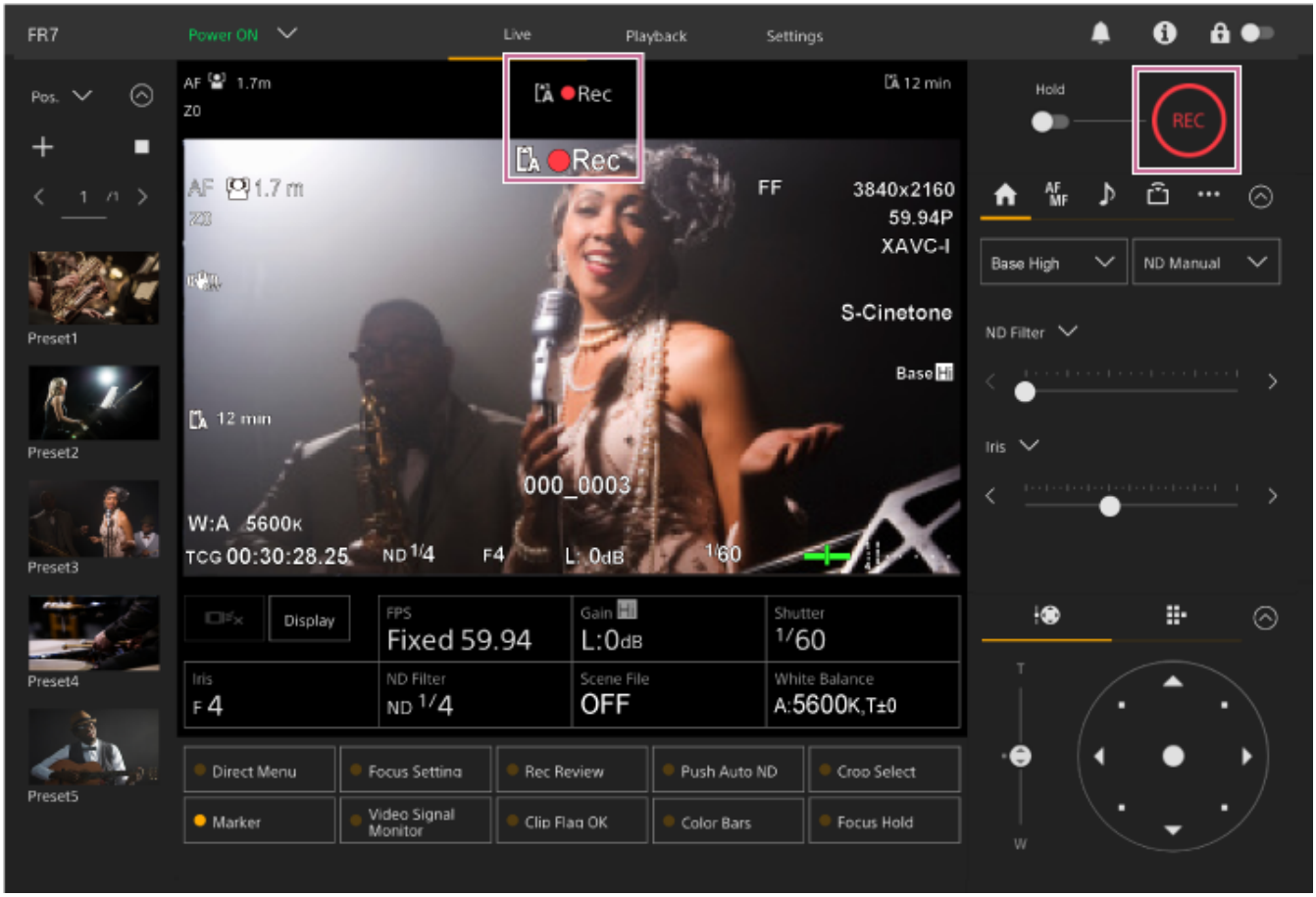
この場合は電源スイッチを押して、［Power ON］を選択してください。本機の電源がOnになり、本機前面のPOWERランプが緑色で点灯して、Web Appのライブ操作画面に撮影映像が現れます。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンの電源ボタンで本機の電源をOnにすることもできます。

4 録画START/STOPボタンを押す。

録画が始まり、本機の記録/タリーランプ（2箇所）が点灯します。
録画中は、録画START/STOPボタンが点灯します。また、記録先メディアのアイコンと［●Rec］が表示されます。



5 録画を停止するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。

録画が停止し、本機の記録/タリーランプ（2箇所）が消灯します。
録画待機中は、録画START/STOPボタンが消灯します。また、記録先メディアのアイコンと［Stby］が表示されます。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンの録画START/STOPボタンで録画を開始/停止することもできます。

本機の電源をスタンバイ状態にするには

Web Appの電源スイッチを押して、［Power Standby］を選ぶと、本機の電源がスタンバイ状態になります。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンの電源ボタンで本機の電源をスタンバイ状態にすることもできます。

関連項目

- 本機の初期設定を行う

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

メモリーカードを切り替える

メモリーカードが2枚装着されているときは、Web App再生操作画面の［Slot Select］ボタンを押してメモリーカードを切り替えることができます。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンのSLOT SEL（メモリーカードスロット(A)/(B)選択）ボタンでも切り替えることができます。

リレー記録について

本機は撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わる「リレー記録」に対応しています。メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ご注意

- 再生中にメモリーカードを切り替えることはできません。またスロットAとスロットBをまたぐ連続再生はできません。

記録したデータについて

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、1つの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

記録したデータのクリップ名

本機で記録されるクリップの名前は、カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Clip Name Format］で設定された形式で付けられます。

クリップの最大時間

1クリップあたり6時間までです。
動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。
リレー記録では複数のクリップに連続記録しますが、約24時間で自動的に停止します。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ替えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットに対してのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「Will Switch Slots Soon」（まもなくスロットを切り替えます）が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

音声を確認する

音声は本機のSDIとHDMIから出力されます。HDMIから出力される音声チャンネルの組み合わせは、カメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Output］の［HDMI/Stream Output CH］で選択します。
CH1/CH2 : CH1とCH2の組み合わせ
CH3/CH4 : CH3とCH4の組み合わせ
Web Appで監視したい場合は、カメラ映像右下のオーディオレベルメーターをご利用ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

タイムデータ

タイムデータについて説明します。

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Timecode］で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Users Bit］で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［TC Display］>［Display Select］で設定します。
［DURATION/TC/U-BIT］機能が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

記録内容を確認する（レックレビュー）

直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの開始位置を設定する

カメラメニューの［Technical］メニュー >［Rec Review］の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒
- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

ヒント

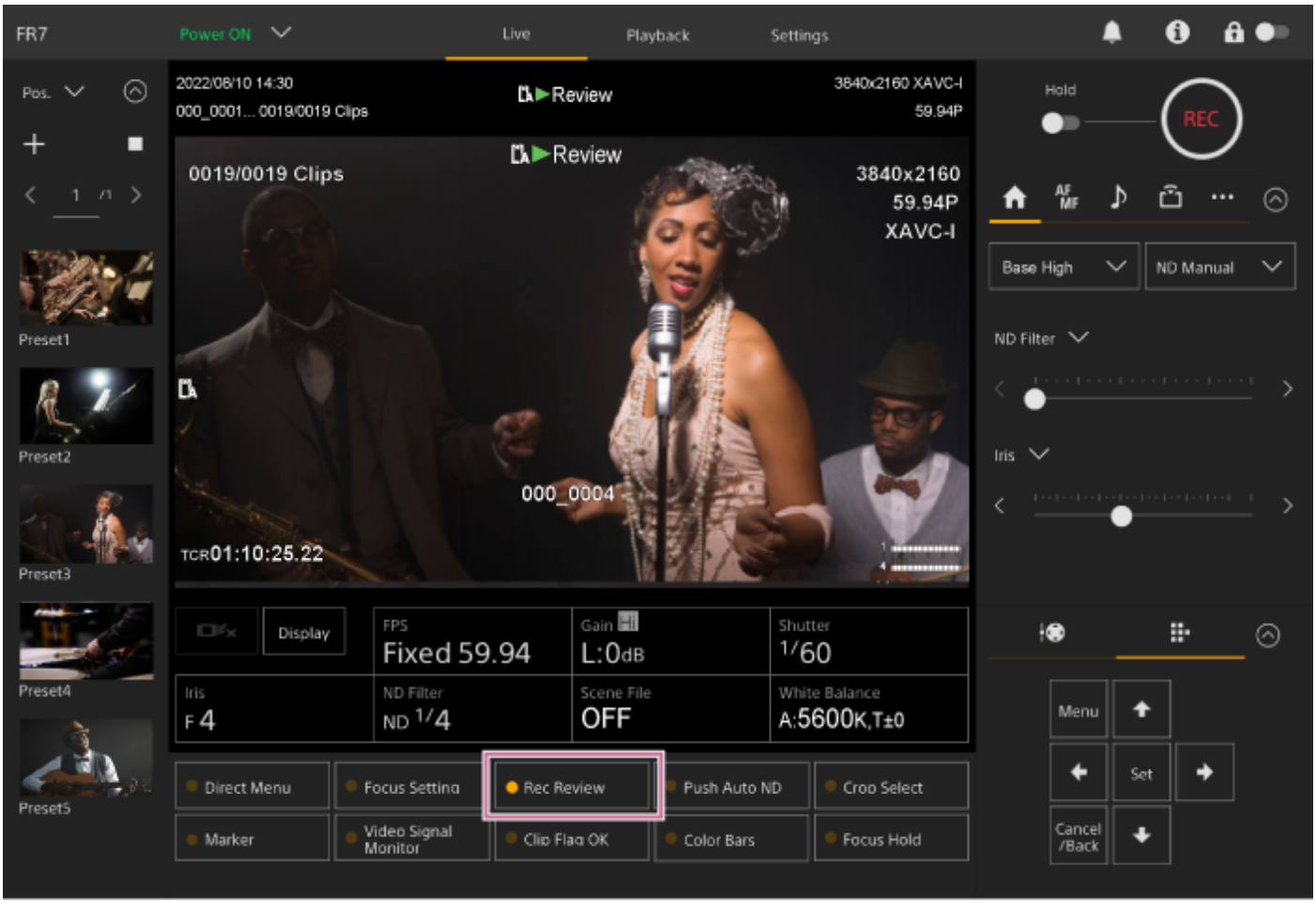
- 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、［Thumbnail］ボタンを押して表示されるサムネイル画面からクリップを選んで再生を開始することができます。
- 付属の赤外線リモコンのTHUMBNAILボタンを押して、サムネイル画面を表示することもできます。

レックレビューの方法

事前にカメラ基本設定調節パネルのアサイナブルボタンのいずれかにレックレビュー機能を割り当てておきます。

- 割り当て方法は「便利な機能」の「アサイナブルボタン」をご覧ください。

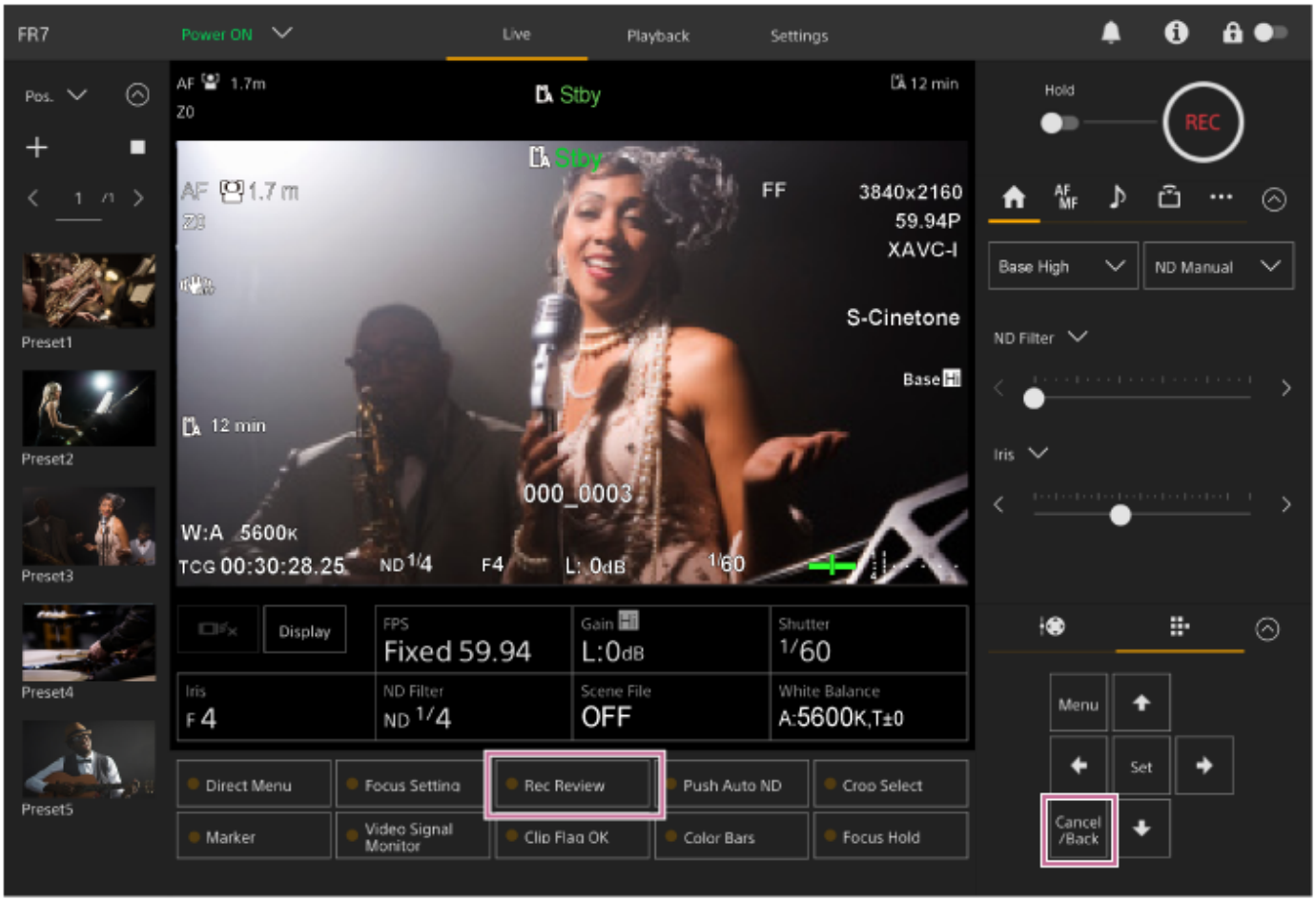
記録を停止し、レックレビュー機能が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、直前に記録したクリップの再生が始まります。



クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、Stby（記録待機）モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

レックレビュー機能が割り当てられたアサイナブルボタンまたは［Cancel/Back］ボタンを押します。



ヒント

- 付属の赤外線リモコンの［Cancel/Back］ボタンを押して、レックレビューを中止することもできます。

関連項目

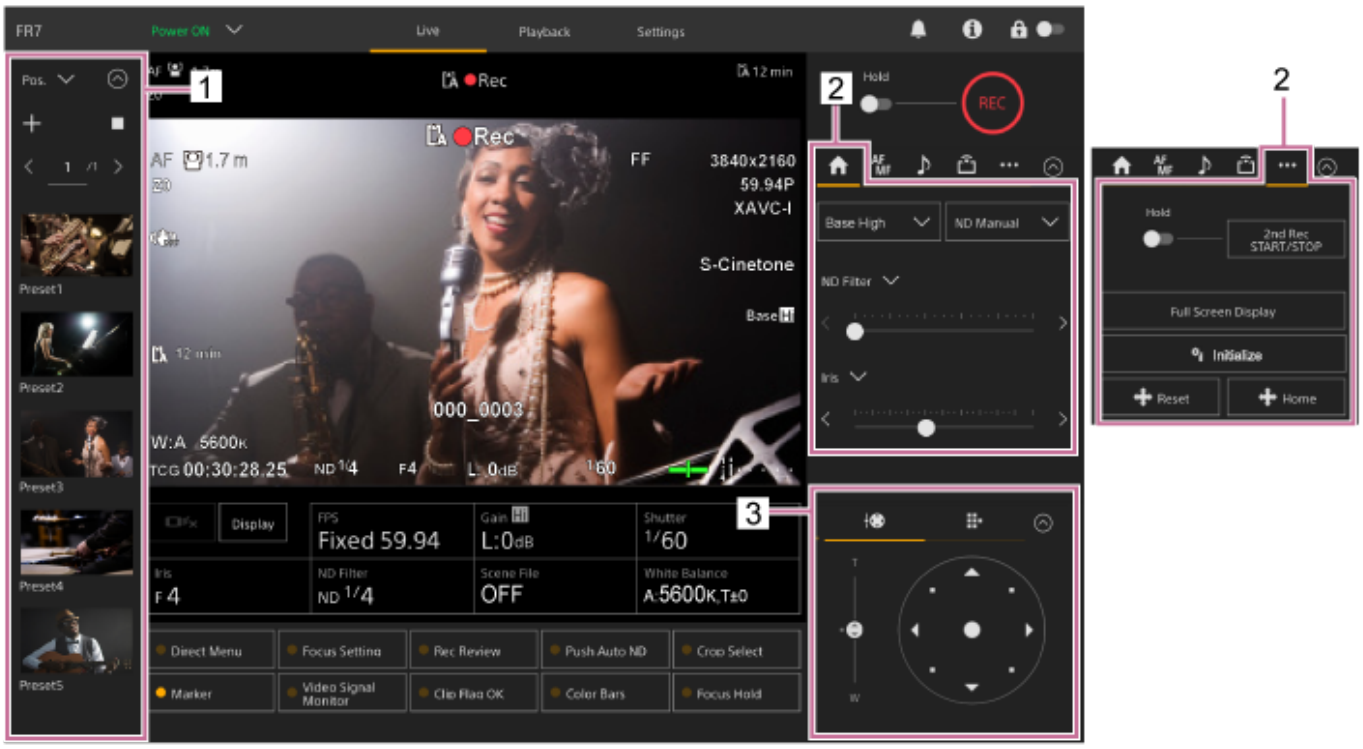
- アサイナブルボタン

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

画角調節操作を行う画面

画角調節操作は、Web Appのライブ操作画面の以下の操作部で行います。



1. **プリセットポジション操作部**
2. **（Main）タブ / （Others）タブ**
3. **画角操作部**

ご注意

- カメラの向きやレンズの焦点距離・ズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にお使いのレンズ・焦点距離で、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Range Limit］でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー>［P/T Range Limit］をご覧ください。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンを使用して画角を調節することもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

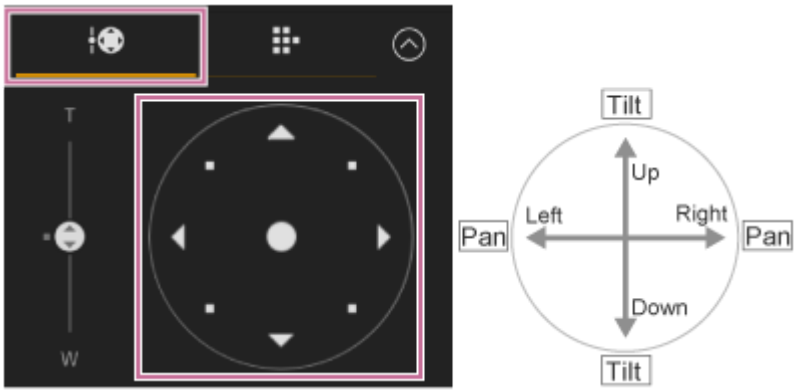
Web Appでカメラの向きを調節する

カメラを左右方向に操作することをパン、上下方向に操作することをチルトと呼びます。
パン・チルト操作でカメラの向きを調節します。

1. **画角操作部の（パンチルトズーム）タブを押し、ジョイスティックを表示する。**

2. **カメラ映像部を見ながら、ジョイスティックの中央を見たい方向にドラッグする。**

   ドラッグの向き・量に応じてカメラの向き・速度が変わります。
   ジョイスティックの周辺部を軽く押すと、パン・チルト位置の微調整ができます。



ヒント

- ジョイスティックの下に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている場合、本機のパン・チルト制御の原点情報に不整合が発生しています。パン・チルトリセットを実行して原点情報を更新してください。詳細は「パン・チルトリセットを行う」をご覧ください。

カメラの向きを正面に戻すには

カメラ操作部の(Others)タブにある（パンチルトホーム）ボタンを押します。

ご注意

- カメラの向きやレンズの焦点距離・ズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にお使いのレンズ・焦点距離で、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Range Limit］でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー> ［P/T Range Limit］をご覧ください。

関連項目

- パン・チルトリセットを行う

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

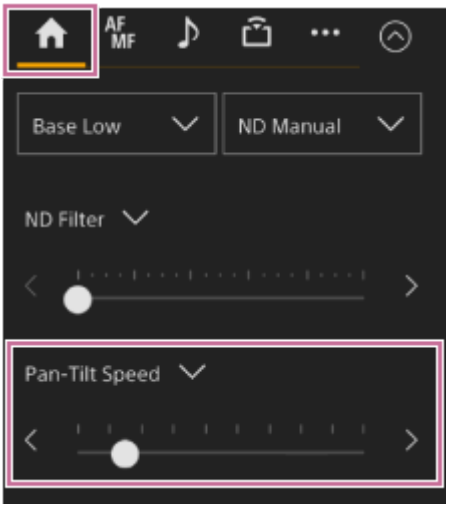
パン・チルトの動作速度を設定する

カメラ操作部の［Pan-Tilt Speed］スライダーで、画角操作部のジョイスティックを動かしたときのパン・チルトの動作速度を変更することができます。

1 カメラ操作部の（Main）タブを押す。

2 リストから［Pan-Tilt Speed］スライダーを選択する。

［Pan-Tilt Speed］スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押して表示します。



3 スライダーのつまみを左右に移動する。

左方向につまみを移動すると動作速度が遅くなり、右方向につまみを移動すると動作速度が速くなります。

ご注意

- カメラの可動範囲内に壁などがある場合は、パン・チルト操作でカメラやレンズをぶつけないように注意してください。
- パン・チルトの加速度は、レンズの重量バランスなどの物理特性によって変わります。加速度の設定はWebメニューまたはカメラメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Acceleration］の［Ramp Curve］で変更することができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

パン・チルト動作の加速度を設定する

Webメニューまたはカメラメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Acceleration］ の ［Ramp Curve］ で加速動作を9段階から選択します。設定値が大きいほど急峻に、小さいほどなだらかに速度が変化します。
パン・チルトを操作する際の即応性を重視する場合は、7～9を選択してください。
プリセットポジションの移動開始/終了の品位を重視する場合には1～6をおすすめします。

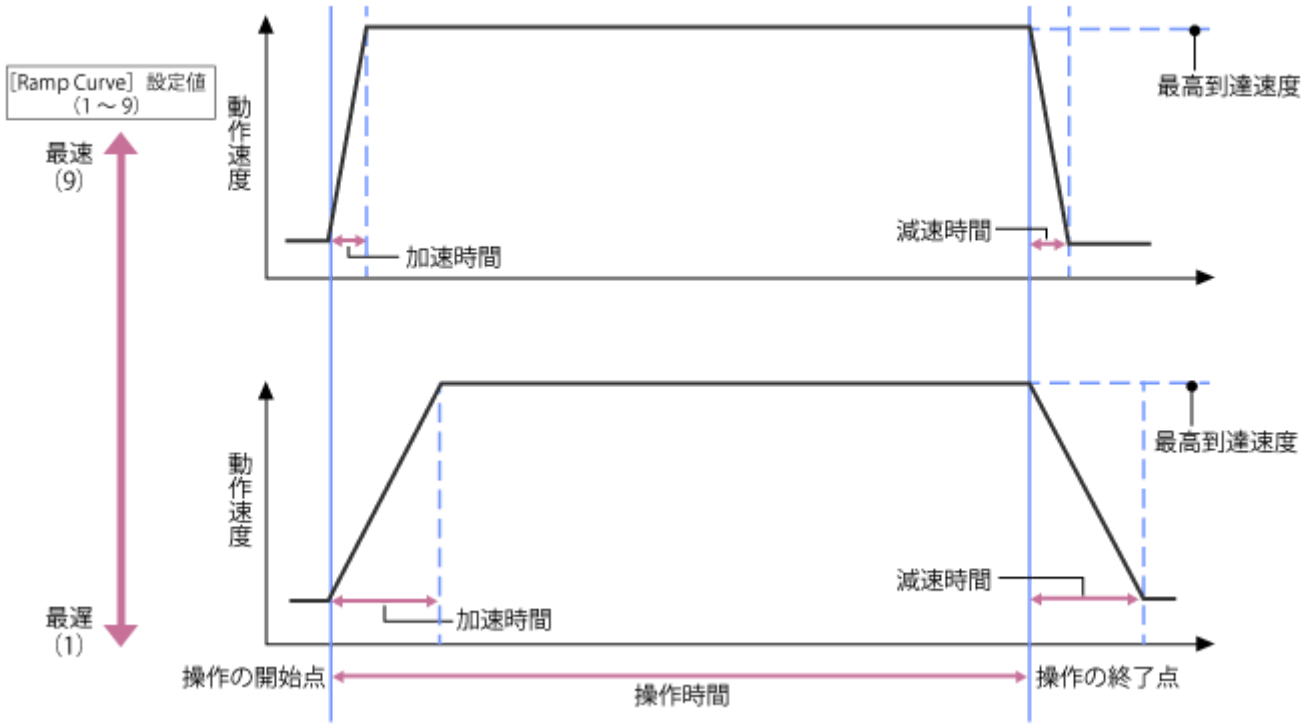
- プリセットポジションについては、「カメラの向きやズーム位置を保存/復元する」をご覧ください。

ご注意

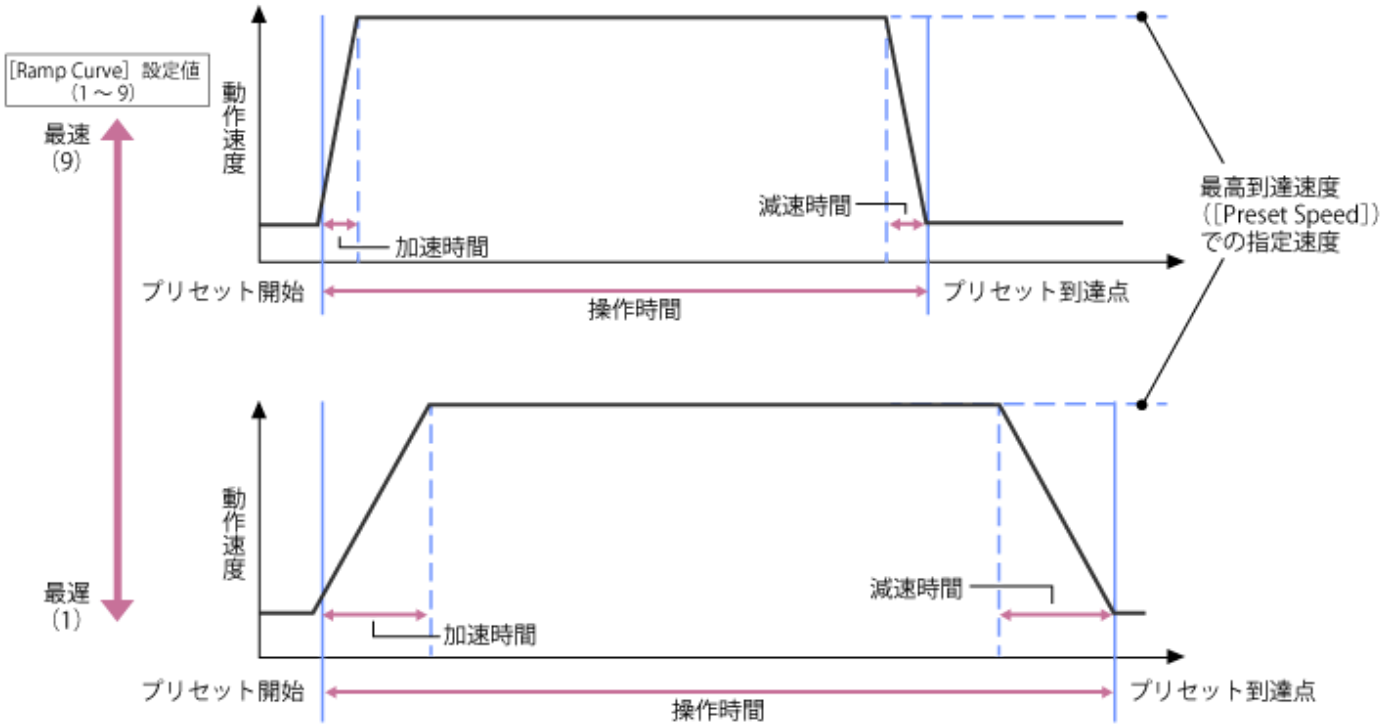
- 設定値を大きくすると、重量の大きなレンズでは正しく動作できない場合があります。事前に動作をお確かめのうえ、ご使用ください。

［Ramp Curve］の設定値とパン・チルト動作の関係

パン・チルト操作をしたとき



プリセットポジションを呼び出したとき



5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

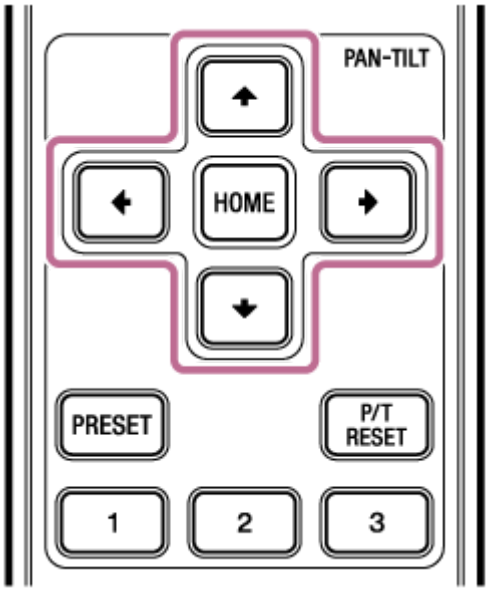
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

付属の赤外線リモコンでカメラの向きを調節する

付属の赤外線リモコンのパン・チルト操作ボタンでカメラの向きを調節します。

1 矢印ボタンを押して、パン・チルト操作を行う。

カメラ映像を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。
小さく動かすには、矢印ボタンを短く押します。
大きく動かすには、矢印ボタンを長く押し続けます。
斜めに動かすには、▲（上矢印）または▼（下矢印）ボタンを押しながら、◀（左矢印）または▶（右矢印）ボタンを押します。



カメラの向きを正面に戻すには

HOMEボタンを押します。

ご注意

- カメラの向きやレンズの焦点距離・ズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にお使いのレンズ・焦点距離で、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Range Limit］でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー>［P/T Range Limit］をご覧ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ズームタイプを設定する

カメラメニューの［Technical］メニュー >［Zoom］の［Zoom Type］でズームの種類を設定します。
装着するレンズの種類によって以下のように異なります。

装着するレンズのタイプ	［Zoom Type］の設定	
	［Optical Zoom Only］	［On(Clear Image Zoom)］
単焦点レンズ/手動ズームレンズ	ズーム操作はできない。	全画素超解像ズームができる。
電動ズームレンズ	光学ズームのみできる。	光学ズームと全画素超解像ズームができる。

ご注意

- 以下の場合、全画素超解像ズームは使えません。
  - カメラメニューの［Shooting］メニュー >［S&Q Motion］の［Setting］が［On］で［Frame Rate］の設定が60 fpsを超えるとき
  - カメラメニューの［Project］メニュー >［Rec Format］の［Codec］で［RAW］またはRAWを含んだ選択肢を設定したとき
- レンズのSERVO/MANUAL切り替えスイッチを切り替えると、全画素超解像ズームの倍率は1倍にリセットされます。
- 全画素超解像ズーム中は、AF-Sを実行できません。

全画素超解像ズーム

本機は、全画素超解像という画像処理技術によるズーム機能を搭載しています。全画素超解像ズームを有効にすると、単焦点レンズでもズームができるようになります。また、電動ズームレンズでは光学望遠端からさらに寄ることができます。
全画素超解像ズームの最大倍率は、記録解像度により異なります。

- 記録解像度がQFHD/4Kのとき：1.5倍
- 記録解像度がHDのとき：2倍

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

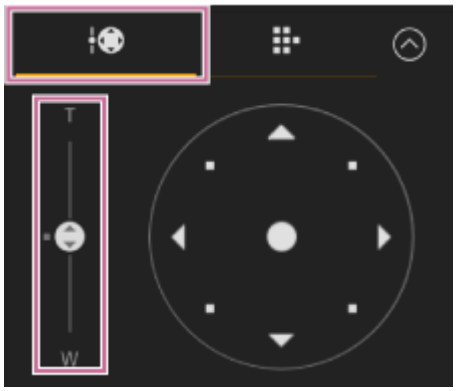
Web Appでズームを調節する

本機は光学ズームまたは全画素超解像ズームにより、ズームを調節することができます。ここではWeb Appによる調節方法を説明します。全画素超解像については「ズームタイプを設定する」をご覧ください。

1. **画角操作部の（パンチルトズーム）タブを押し、パン・チルト操作部を表示する。**

2. **［Zoom］スライダーのつまみを［T］（Telephoto / テレフォト・望遠）方向、または［W］（Wide / ワイド・広角）方向にスライドして、ズームを調節する。**

   スライド量に応じてズーム速度が変化します。



ご注意

- カメラの向きやレンズの焦点距離・ズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にお使いのレンズ・焦点距離で、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Range Limit］でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー> ［P/T Range Limit］をご覧ください。
- 実際のズーム速度や精度はレンズにより異なります。あらかじめ動作をご確認ください。

ヒント

- 本機に対応するレンズコントローラー（別売）を使うと、マニュアルズームレンズのズーム操作ができます。詳細は「レンズコントローラーを接続する」および「レンズコントローラーでズームを調節する」をご覧ください。

関連項目

- ズームタイプを設定する
- レンズコントローラーを接続する
- レンズコントローラーでズームを調節する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

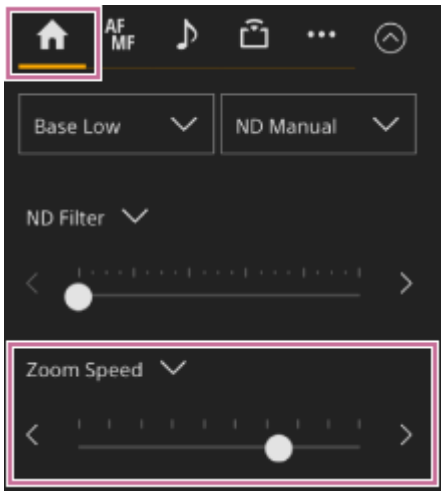
ズームの動作速度を設定する

カメラ操作部の［Zoom Speed］スライダーで、画角操作部の［Zoom］スライダーを動かしたときのズームの動作速度を変更することができます。

1 カメラ操作部の（Main）タブを押す。

2 リストから［Zoom Speed］スライダーを選択する。

［Zoom Speed］スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押して表示します。



3 ［Zoom Speed］スライダーのつまみを左右に移動する。

左方向に移動すると動作速度が遅くなり、右方向につまみを移動すると動作速度が速くなります。

ご注意

- 実際のズーム速度や精度はレンズにより異なります。あらかじめ動作をご確認ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

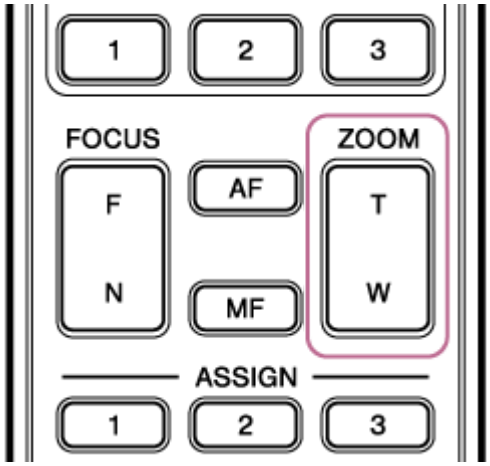
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

付属の赤外線リモコンでズームを調節する

本機は光学ズームまたは全画素超解像ズームにより、ズームを調節することができます。ここでは付属の赤外線リモコンによる調節方法を説明します。全画素超解像については「ズームタイプを設定する」をご覧ください。

1 ズームボタンを押して、ズームを調節する。

画面を見ながら、T（望遠：Telephoto）またはW（広角：Wide）ボタンを押してズームを調節します。
被写体を大きく映すには、Tボタンを押します。
被写体を小さく映すには、Wボタンを押します。



ご注意

- カメラの向きやレンズの焦点距離・ズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にお使いのレンズ・焦点距離で、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Range Limit］でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー>［P/T Range Limit］をご覧ください。

ヒント

- 本機に対応するレンズコントローラー（別売）を使うと、マニュアルズームレンズのズーム操作ができます。詳細は「レンズコントローラーを接続する」および「レンズコントローラーでズームを調節する」をご覧ください。

関連項目

- ズームタイプを設定する
- レンズコントローラーを接続する
- レンズコントローラーでズームを調節する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

準備：Eマウントレンズのキャリブレーションを行う

Eマウントの電動ズームレンズを使ってズーム位置を復元するときに、レンズの個体差を補正します。
ズーム位置を正確に復元するため、以下の手順で使用するレンズのキャリブレーションを行い、レンズの個体差補正を行ってください。

1. **レンズにSERVO/MANUALスイッチがある場合は、「SERVO」に設定する。**

   ご注意

   - 「MANUAL」に設定されていると、レンズは本機からのズーム指示を受け付けません。

2. **カメラメニューの［Technical］メニュー >［Lens］の［Lens Calibration］でキャリブレーションを実行する。**

   キャリブレーション実行中はズームが自動的に動き、測定を行います。

キャリブレーションの補正データについて

- キャリブレーションの補正データはレンズ5本分を本機に保存できます。6本目以降は古いデータが上書きされます。
- 装着しているレンズのキャリブレーションデータの有無はWeb App画面の共通部分の（Camera Status）ボタンを押して表示される［Lens］>［Calibration Data］で確認できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する

Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存しておき、必要なときに復元させることができます（プリセットポジション機能）。

- 保存/復元の対象項目は「プリセットポジションの保存項目」をご覧ください。

ご注意

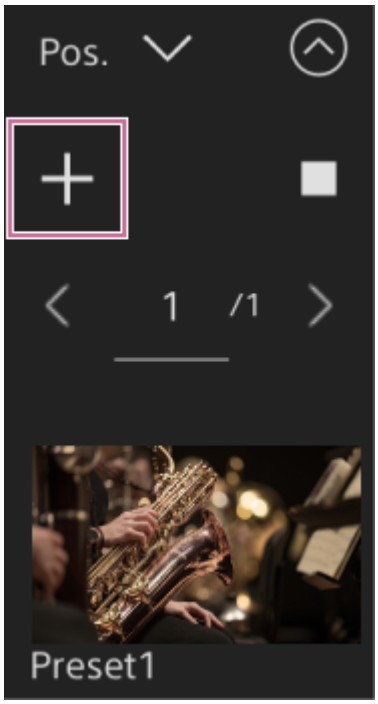
- 全画素超解像ズームの倍率が1倍を超えている場合は、プリセットポジションを保存できません。
- Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Direction］の［Ceiling］の設定を変更した場合、保存したプリセットポジションはすべて消去されます。

1 プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。

2 パン・チルト、ズーム操作で保存したい画角を決める。

3 プリセットポジション操作部の［+］ボタンを押す。

保存した画角の画像がプリセットポジション操作部に表示されます。



ヒント

- プリセットポジション操作部が表示されていない場合は、（Open）ボタンを押すと表示されます。
- 画角は［Preset1］から順番に保存されます。
- 途中に使用されていないプリセットがある場合は、使用されていないプリセットから優先して画角が保存されます。たとえば、［Preset1］と［Preset3］に画角が保存済みで、［Preset2］が使用されていない場合、次の画角は［Preset2］に保存され、その次は［Preset4］に保存されます。

- 画角は最大100個保存できます。
- 画角のプリセット名は任意に変更できます。「Web Appで画角のプリセット名を変更する」をご覧ください。

4 保存した画角を復元する。

プリセットポジション操作部の復元したい画角のサムネイルを二度押しすると、その画角が復元されます。

ヒント

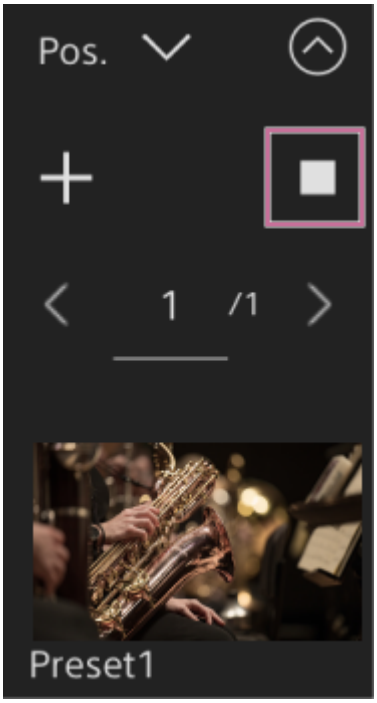
- 画像を押すと表示される(Preset Position Menu)ボタンから［Recall］を選ぶことでも画角を復元できます。
- 保存した画角への移動速度は、画角保存時のWebメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Preset］> ［Pan-Tilt］の［Pan-Tilt Speed for Common］の設定が適用されます。移動速度は、保存後に変更することもできます。詳しくは、「プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」をご覧ください。
- プリセットポジションに移動するときのパン・チルト画角変化の度合いは、移動速度と［Ramp Curve］の設定で調節します。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」 および「パン・チルト動作の加速度を設定する」をご覧ください。
- プリセット再生中にほかのプリセットを呼び出した場合、最初に呼び出したプリセット動作を中断し、後から呼び出したプリセット動作を行います。

ご注意

- 画角の保存時と再生時の環境温度が大きく異なると、画角にずれが生じる場合があります。
- 画角復元中は、プリセットポジションの復元およびキャンセル以外の操作はできません。

画角の復元中にキャンセル操作をするには

画角の復元中に、プリセットポジション操作部に表示される（復元キャンセル）ボタンを押すと、画角の復元動作がキャンセルされ、ジョイスティックや［Zoom］スライダーでの画角調節が可能になります。



関連項目

- プリセットポジションの保存項目

- Web Appでプリセットポジションの名前を変更する
- プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する
- パン・チルト動作の加速度を設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでプリセットポジションの名前を変更する

保存したプリセットポジションの名前を変更することができます。

1. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**
2. **プリセット名を変えたい画像を押す。**

   画像の右上に（Preset Position Menu）ボタンが表示されます。
3. **（Preset Position Menu）ボタンを押して表示されるメニューから［Rename］を選ぶ。**
4. **新しいプリセット名を入力する。**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appで保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替える

保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替えることができます。

1. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**
2. **パン・チルト、ズーム操作で保存したい画角を決める。**
3. **プリセットポジション操作部の置き換えたい画角の画像を押す。**

   画像の右上に（Preset Position Menu）ボタンが表示されます。
4. **（Preset Position Menu）ボタンを押して表示されるメニューから［Replace］を選ぶ。**

   別の新しい画角に置き替えられます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appで保存したプリセットポジションを削除する

保存したプリセットポジションを削除することができます。

1. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**
2. **プリセットポジション操作部の削除したい画角の画像を押す。**

   画像の右上に（Preset Position Menu）ボタンが表示されます。
3. **（Preset Position Menu）ボタンを押して表示されるメニューから［Delete］を選ぶ。**

   保存した画角が削除されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

プリセットポジションを復元するときにパン・チルト動作とズーム/フォーカス動作を連動させる

保存したプリセットポジションを復元する際に、パン・チルト動作とズーム動作を連動させることで、よりスムーズな動作を行うことができます。

1. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**

2. **移動速度を変更したいプリセットポジションの画像を押す。**

   画像の右上に（Preset Position Menu）ボタンが表示されます。

3. **（Preset Position Menu）ボタンを押して表示されるメニューから［Edit…］を選ぶ。**

   選択したプリセットポジションの設定画面が表示されます。

4. **［Zoom Sync］スイッチを右に動かしてオンにし、［OK］ボタンを押す。**

   次回保存した画角を復元する際に、設定した速度で移動します。

ヒント

- あらかじめプリセットポジション登録時の設定を指定することができます。Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー>［P/T Preset］の［Default］で［Zoom Sync］を［On］にします。
- Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Preset］の［Speed Select］を［Common］に設定すると、すべてのプリセットポジションが［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Preset］の［Common Speed］で設定された速度で復元されます。
- ズーム移動完了後に、保存されたフォーカス位置に移動します。
- 移動完了後、［AF Transition Speed］は元の設定に戻ります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する

保存したプリセットポジションを復元する際の移動速度（Pan-Tilt動作/Zoom動作/Focus動作）を変更することができます。

1. **Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー> ［P/T Preset］>［Speed Select］を［Separate］に設定する。**

2. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**

3. **移動速度を変更したいプリセットポジションの画像を押す。**

   画像の右上に（Preset Position Menu）ボタンが表示されます。

4. **（Preset Position Menu）ボタンを押して表示されるメニューから［Edit…］を選ぶ。**

   選択したプリセットポジションの設定画面が表示されます。

5. **変更したい移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）をスライダーで設定、または値を直接入力して［OK］ボタンを押す。**

   次回保存した画角を復元する際に設定した速度で移動します。

ヒント

- Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Preset］の［Speed Select］を［Common］に設定すると、すべての画角が［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Preset］の［Common Speed］で設定された速度で復元されます。
- ズーム移動完了後に、保存されたフォーカス位置に移動します。
- 移動完了後、［AF Transition Speed］は元の設定に戻ります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する

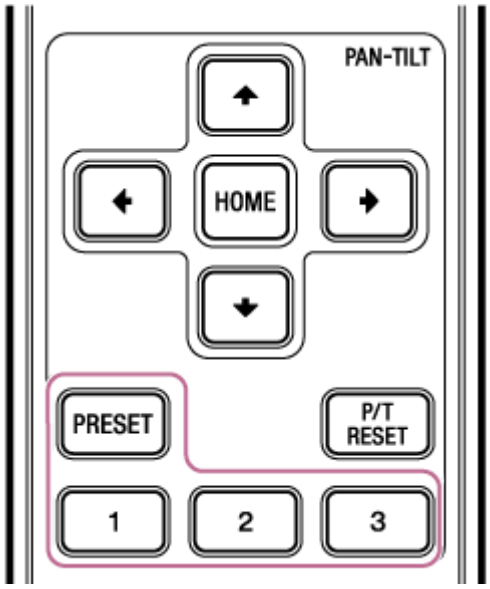
付属の赤外線リモコンでカメラの向きとズーム位置を保存しておき、必要なときに復元させることもできます。

1. **カメラの向き、ズームなどを調節する。**

2. **Web Appのプリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Pos.］に設定する。**

3. **PRESETボタンを押しながら1～3ボタンの中から1つ選んで押す。**

   画角が保存されます。



4. **保存した画角を復元する。**

   1～3ボタンを押すと、その画角が復元されます。

ヒント

- 画角のプリセットを復元させるときの移動速度には、Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Preset］の［Pan-Tilt Speed］の値が保存されます。保存後も移動速度を変更することができます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」をご覧ください。

関連項目

- プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

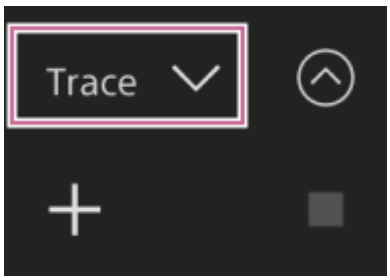
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでカメラのフレーミング操作を記録する

Web Appでカメラのフレーミング操作を記録することができます。

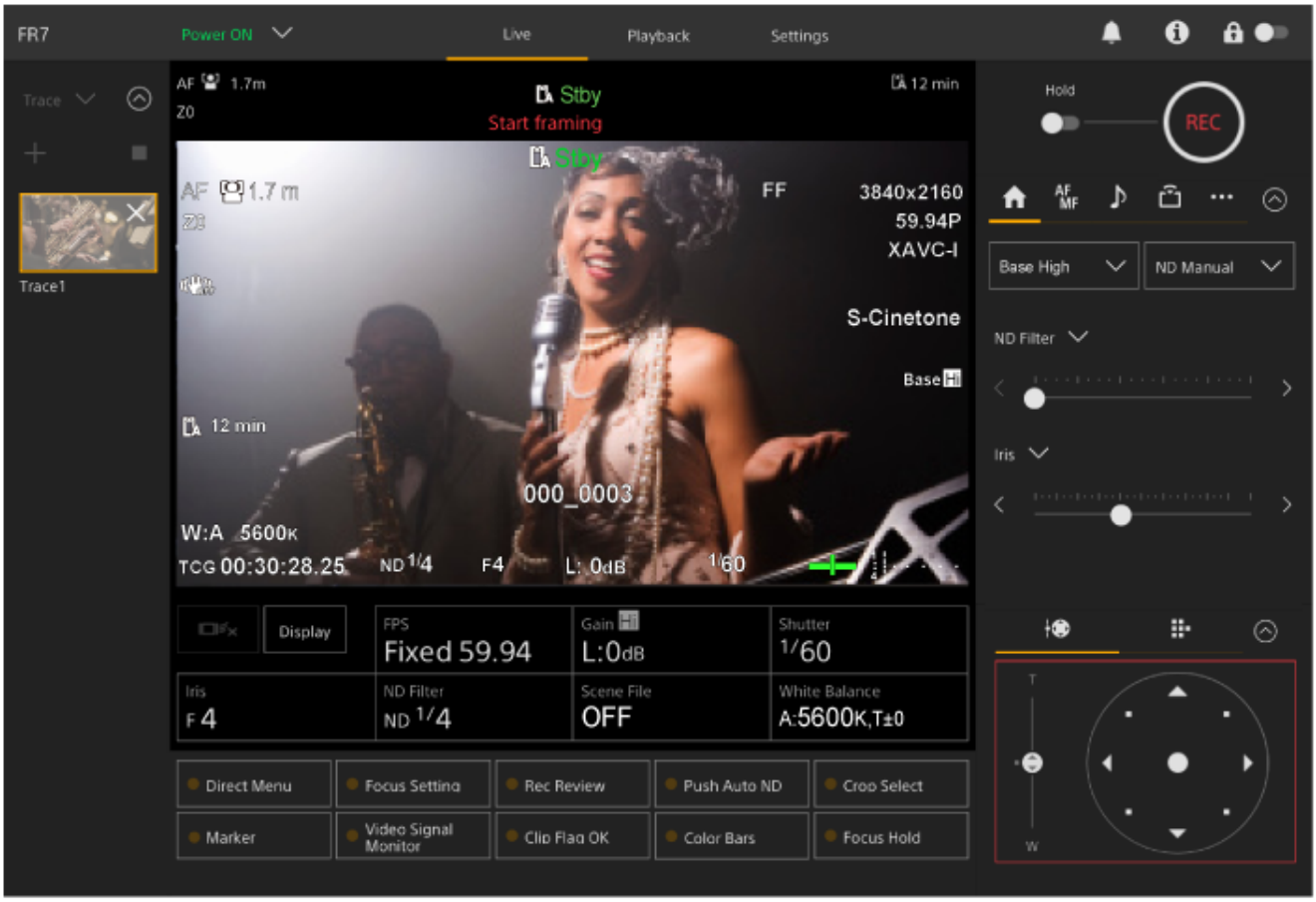
1 カメラの動作開始位置を調節する。

2 プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Trace］に設定する。



3 プリセットポジション操作部の［+］ボタンを押す。

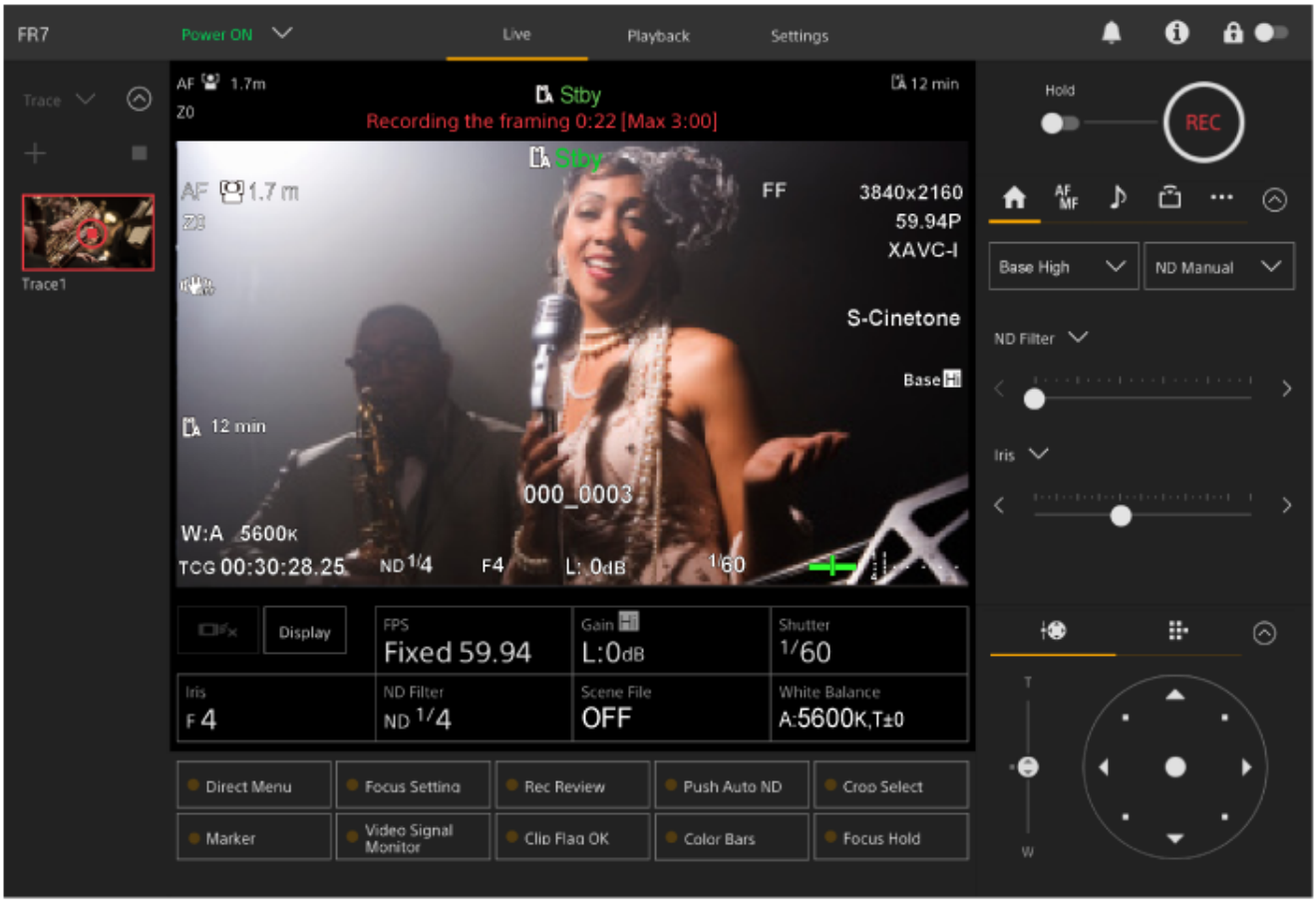
サムネイルが追加され、記録待機状態になります。



ヒント

- サムネイル上の（閉じる）ボタンを押すと、記録待機を解除して通常動作に戻ります。

4 **ジョイスティックや［Zoom］スライダーでフレーミングを開始する。**



フレーミングを開始した時点から記録が始まります。

5 **サムネイル上の（記録停止）ボタンを押して記録を停止する。**

ヒント

- 記録中はカメラ映像部の上部に、残り記録時間が表示されます。

ご注意

- 天吊りモードに切り替えると、フレーミング操作の記録は削除されます。
- システム周波数を切り替えるとフレーミング操作の記録が削除されることがあります。
- レンズコントローラー接続時は、ズーム操作は記録されません。
- 1回に記録できるフレーミング操作の時間は最大で3分です。記録時間が3分に達すると記録は自動停止します。
- 全画素超解像ズームの倍率が1倍を超えている場合はフレーミング操作の記録を開始できません。
- フレーミング操作の記録中にほかの機器からカメラを操作すると、ほかの機器から操作された内容も含めて記録されます。他社のリモートコントローラーで操作した内容の記録については、各メーカーにお問い合わせください。
- 本機能では、フォーカスや画質設定は記録されません。
- フレーミング操作の記録/再生によるパン・チルト・ズーム動作は、厳密な精度で再現されるものではありません。
- フレーミング操作を記録したあとに、Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー > ［P/T Range Limit］によるパン・チルト範囲の制限を設定しても、再生時にパン・チルト範囲の制限は適用されません。フレーミング操作とパン・チルト制限機能を併用する場合は、あらかじめパン・チルト範囲制限設定を行ってからフレーミング操作を記録してください。
- RAW動画出力を選択している場合は、フレーミング操作の記録再生はできません。

- SDI出力端子からビデオ信号が出力されない場合は、フレーミング操作の記録再生はできません。

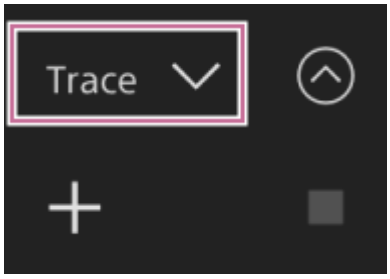
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでカメラのフレーミング操作を再生する

Web Appで記録したカメラのフレーミング操作を再生することができます。

1 プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Trace］に設定する。



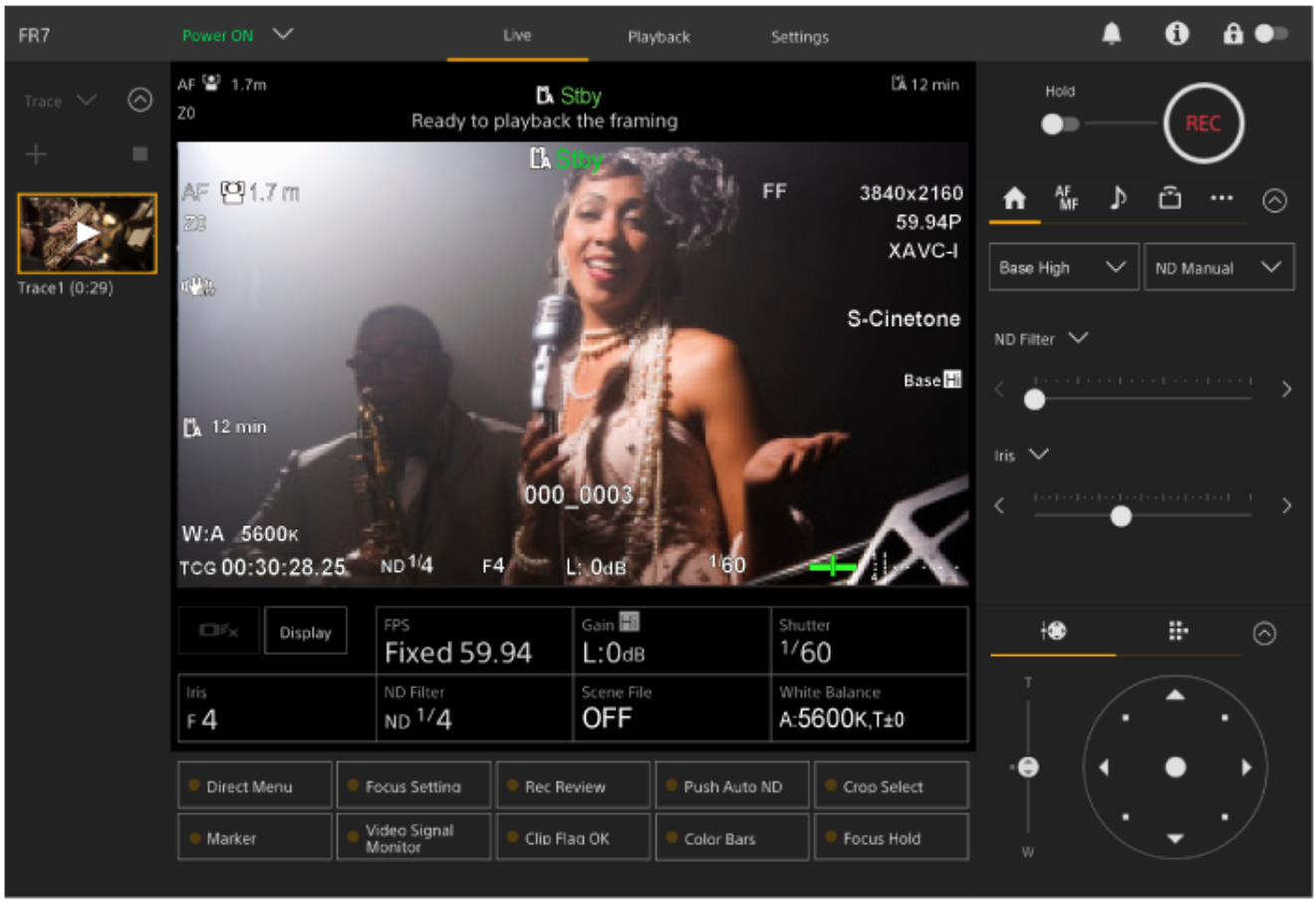
2 再生するフレーミング操作のサムネイルを選ぶ。

サムネイル上に（Prepare）ボタンが表示されます。

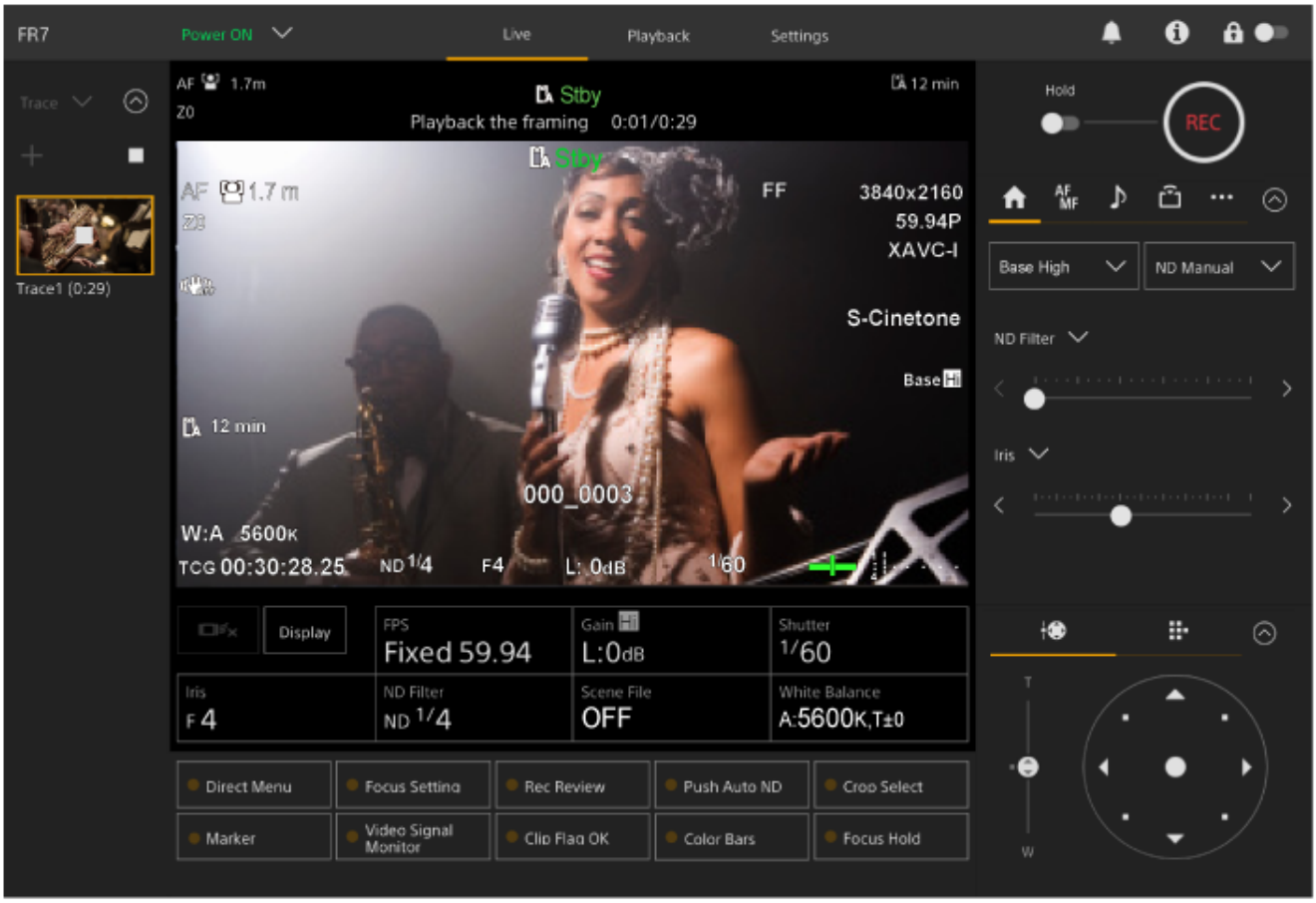
3 （Prepare）ボタンを押す。

フレーミング操作の開始位置へ移動し、再生待機状態になります。

4 サムネイル上の（Play）ボタンを押す。



フレーミングの再生が始まります。



ヒント

- 再生待機状態または再生中に、以下のいずれかの操作で再生を中止して通常動作に戻ることができます。
  - サムネイル上かプリセットポジション操作部の■（停止）ボタンを押す。
  - ジョイスティックを操作する。
  - ［Zoom］スライダーを操作する。
- 再生中はカメラ映像部の上部に、再生経過時間が表示されます。

ご注意

- フレーミング操作の記録時と再生時で全画素超解像ズームの設定が異なる場合、予期しない動作をすることがあります。
- レンズコントローラー接続時は、ズーム操作の再生はできません。なお、ズーム操作を行うとフレーミング操作の再生は停止します。
- フレーミング操作の再生は、Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー ＞［P/T Range Limit］によるパン・チルト範囲の制限を受けません。パン・チルト範囲の制限は、フレーミング操作を記録する前に設定してください。

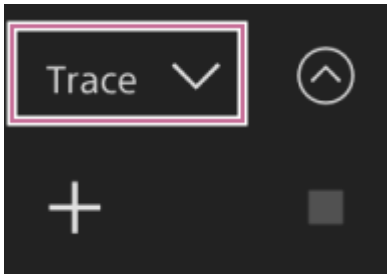
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでカメラのフレーミング操作の記録を削除する

Web Appで記録したカメラのフレーミング操作を削除することができます。

1. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Trace］に設定する。**



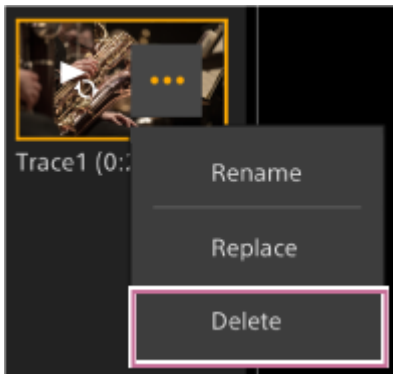
2. **削除するフレーミング操作のサムネイルを選ぶ。**

サムネイル上に ··· （Trace Menu）ボタンが表示されます。

3. **··· （Trace Menu）ボタンを押す。**

メニューが表示されます。

4. **表示されるメニューから［Delete］を選ぶ。**



選択したフレーミング操作が削除されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を記録する

付属の赤外線リモコンで、カメラのフレーミング操作を記録することができます。

1. **Web Appのライブ操作画面にアクセスする。**
2. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Trace］に設定する。**
3. **赤外線リモコンでカメラの動作開始位置を調整する。**
4. **PRESETボタンを押しながら、POSITION1～3ボタンの中から1つ選んで押す。**

   記録待機状態になります。
5. **記録したいフレーミング操作を行う。**
6. **記録を完了するには、PRESETボタンを押しながら、手順4で選んだPOSITIONボタンを押す。**

記録した操作の再生方法は「付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を再生する」をご覧ください。

ご注意

- 1回に記録できるフレーミング操作の時間は最大で3分です。記録時間が3分に達すると記録は自動停止します。
- フレーミング操作の記録中にほかの機器からカメラを操作すると、ほかの機器から操作された内容も含めてフレーミング操作として記録されます。
- フレーミング操作記録中に画質調整を行っても、その変更内容は記録されません。

関連項目

- 付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を再生する

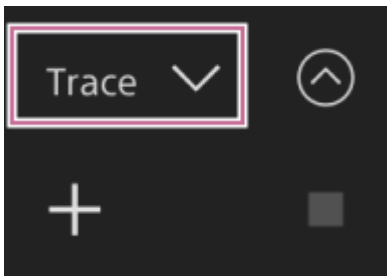
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を再生する

付属の赤外線リモコンで、記録したカメラのフレーミング操作を再生することができます。

1. **Web Appのライブ操作画面にアクセスする。**
2. **プリセットポジション操作部の上端にあるドロップダウンリストボックスで、PTZアシストモードを［Trace］に設定する。**



3. **フレーミング操作を記録したPOSITION1～3ボタンの中から1つ選んで押す。**

   再生開始位置にカメラのパン・チルト・ズームが移動します。

4. **再生開始位置へ移動した後、もう一度同じPOSITIONボタンを押す。**

   再生が開始されます。

ご注意

- 再生中にパン・チルト・ズーム操作を行うと再生が停止します。

関連項目

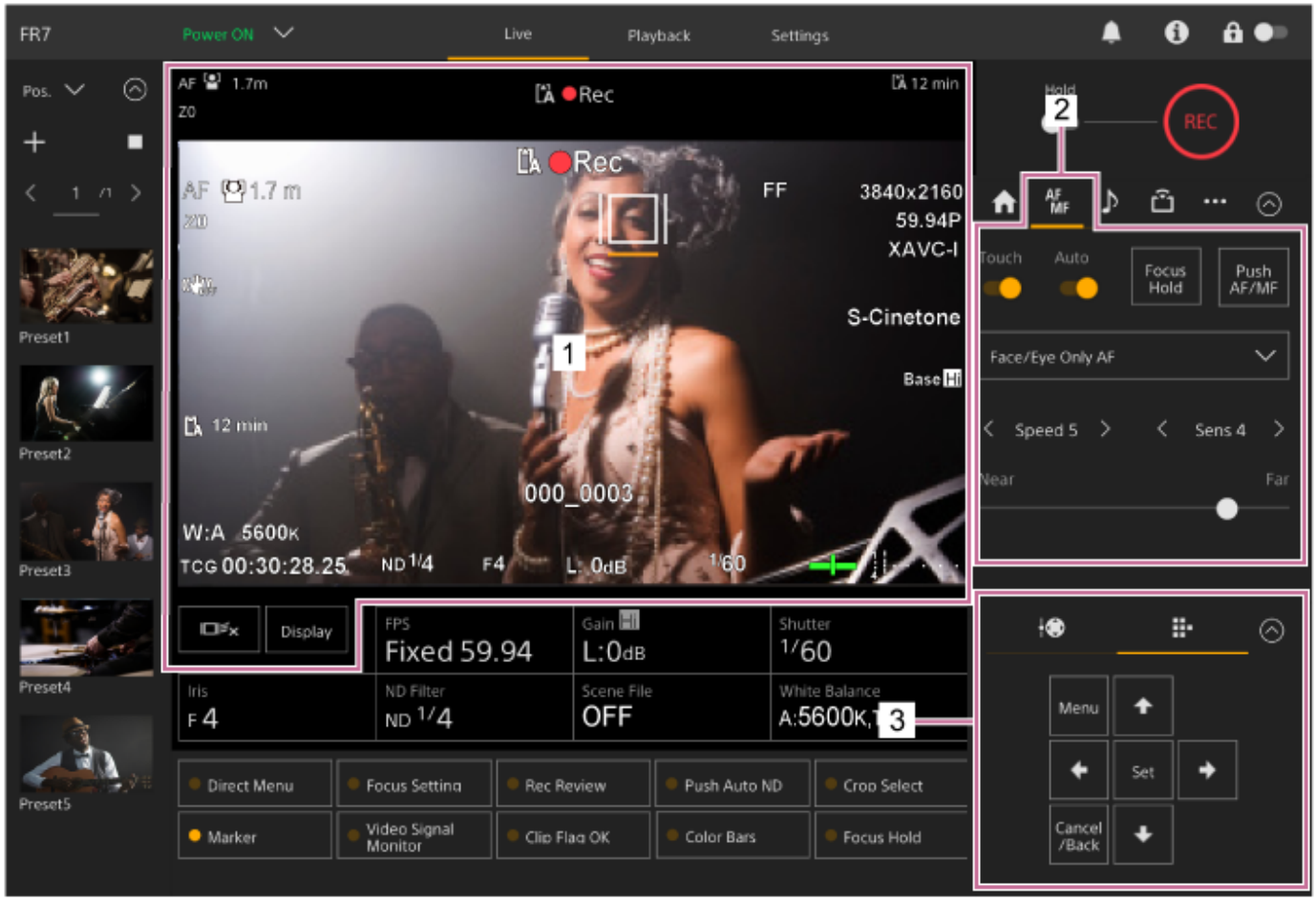
- 付属の赤外線リモコンでカメラのフレーミング操作を記録する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

フォーカス調節操作を行う画面

フォーカス調節操作は、Web Appのライブ操作画面の以下の操作部で行います。



1. **カメラ映像部**
   カメラ映像をタッチしてフォーカスの操作ができます。カメラ操作部のAF/MF（Focus）タブで［Touch Focus］スイッチをOffにすると、そのWeb Appでのタッチ操作を禁止できます。

2. **カメラ操作部 AF/MF （Focus）タブ**

3. **GUI操作部**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appで手動調節する

以下のようなときにフォーカスを手動調節にします。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

ご注意

- Zoom動作中に、Web Appからマニュアルフォーカスを操作することはできません。

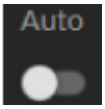
1 レンズにフォーカス切り替えスイッチがある場合はあらかじめ「AF/MF」または「AF」に設定する。

ご注意

- 「Full MF」または「MF」の場合、レンズは本機からのフォーカス指示を受け付けません。 「レンズのスイッチを確認する」の「レンズにフォーカスモードスイッチが付いている場合」をご覧ください。

2 カメラ操作部の［Auto Focus］スイッチを左に動かしてオートフォーカスをOffにする。

手動でフォーカス合わせができるようになります。



（MF）

3 （Focus）タブ下部のスライダーで調節する。

ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。詳細は「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）」をご覧ください。

関連項目

- レンズのスイッチを確認する
- Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

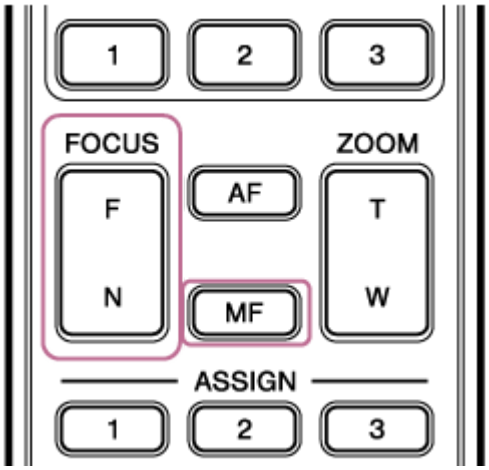
付属の赤外線リモコンで手動調節する

付属の赤外線リモコンでフォーカスを手動調節できます。

1. **赤外線リモコンのMFボタンを押す。**

2. **F（遠：Far）ボタンとN（近：Near）ボタンを使ってフォーカスを手動調節する。**

   遠くの被写体にピントを合わせる場合は、Fボタンを押します。
   近くの被写体にピントを合わせる場合は、Nボタンを押します。



ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。詳細は「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」をご覧ください。

関連項目

- オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

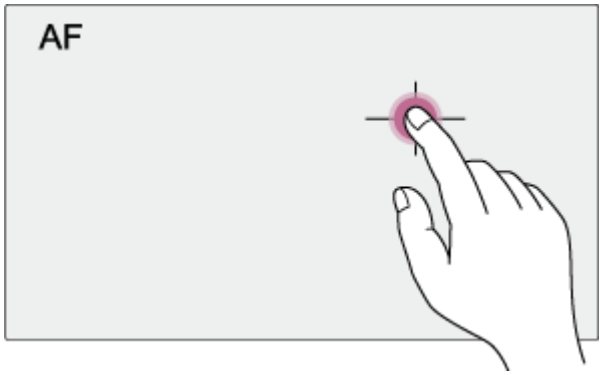
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ピントを合わせる位置を指定してフォーカスを調節する（スポットフォーカス）

マニュアルフォーカス時にカメラ映像部でピントを合わせる位置を指定すると、フォーカスを合わせることができます。

1. **Webメニューまたはカメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Touch Function in MF］を［Spot Focus］に設定する。**
2. **（Focus）タブの［Touch Focus］スイッチを右に動かしてOnにする。**
3. **（Focus）タブの［Auto Focus］スイッチを左に動かしてOffにする。**
4. **ピントを合わせる位置を指定する。**

   スポットフォーカスマークが表示され、その位置に映像にピントが合います。



指でタップして位置を指定する場合の例

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、スポットフォーカスは動作しません。

ヒント

- スポットフォーカス中に［Push AF/MF］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、スポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

一時的に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF））

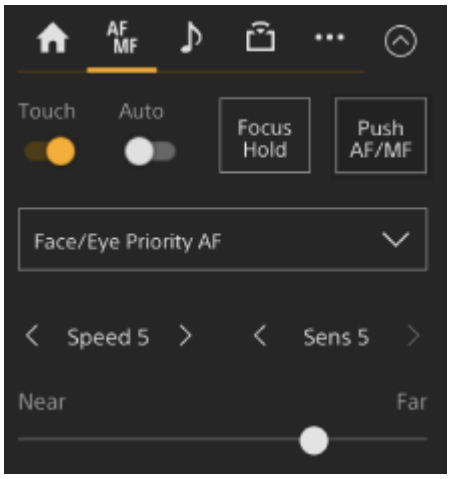
マニュアルフォーカス時に［Push AF/MF］ボタンを押すと、そのボタンを押している間は一時的に自動でフォーカスを合わせる（オートフォーカス）ことができます。
マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

1. **カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Focus］の［Push AF Mode］で［AF］を選ぶ。**

2. **（Focus）タブの［Auto Focus］スイッチを左に動かしてOffにする。**

3. **［Push AF/MF］ボタンを押す。**

   ボタンを押している間はオートフォーカスになります。



   ボタンから指を離すと、プッシュオートフォーカスが解除されマニュアルフォーカスに戻ります。

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスが設定されていると、プッシュオートフォーカスは動作しません。

ヒント

- ［Push AF/MF］が割り当てられたアサイナブルボタンでも同様の動作が可能です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

迅速に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF-S））

マニュアルフォーカス時に［Push AF/MF］ボタンを押すと、最速でオートフォーカスを行います。
撮影する前にフォーカスを迅速に合わせたいときに便利な機能です。

1. **Webメニューまたはカメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Push AF Mode］で［Single-shot AF(AF-S)］を選ぶ。**

2. **カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Focus Area (AF-S)］でフォーカスを合わせる位置を指定する。**

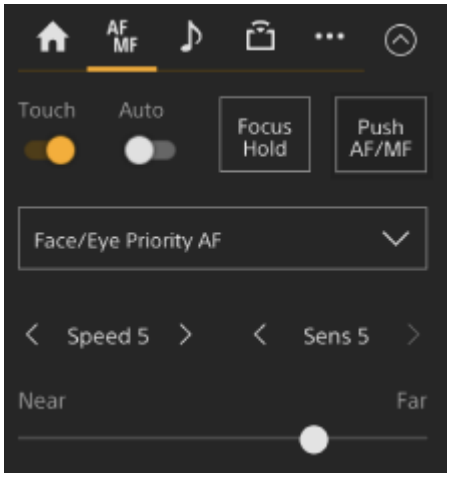
   ヒント

   - ［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、フォーカスエリアがオレンジの枠で表示され、タッチ操作で位置を動かすことができます。

3. **（Focus）タブの［Auto Focus］スイッチを左に動かしてOffにする。**

4. **［Push AF/MF］ボタンを押す。**

   合焦前に離すとプッシュオートフォーカスを中止します。



プッシュオートフォーカス中は、フォーカスインジケーターにフォーカス合わせ状態が表示されます。
点灯：フォーカスが合焦した位置で固定されています。
点滅：フォーカスが合っていません。自動でフォーカスを合わせられないので、構図やフォーカス設定などを変更してください。
ボタンから指を離すとマニュアルフォーカスに戻ります。

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、プッシュオートフォーカスは動作しません。
- フォーカスエリア枠は［Display］ボタンでは非表示になりません。

- 全画素超解像ズーム中は、［Focus Area (AF-S)］の枠位置設定はできません。また、プッシュオートフォーカス実行時は中央付近を優先したAF動作となります。

ヒント

- ［Push AF/MF］が割り当てられたアサイナブルボタンでも同様の動作が可能です。
- アサイナブルボタンに［Push AF Mode］を割り当てることもできます。
- アサイナブルボタンに［Focus Area (AF-S)］を割り当てることもできます。
- カメラメニューの［Monitoring］メニュー>［Display On/Off］の［Focus Area Ind.(AF-S)］で、フォーカスエリア枠表示をOn/Offすることができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appで自動調節する

本機は、高速性に優れる位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れるコントラストAF方式を採用しています。
これらの2つのAF方式を組み合わせることで、高速性・高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。

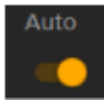
1 レンズにフォーカス切り替えスイッチがある場合はあらかじめ「AF/MF」または「AF」に設定する。

ご注意

- 「Full MF」または「MF」の場合、レンズは本機からのフォーカス指示を受け付けません。「レンズのスイッチを確認する」の「レンズにフォーカスモードスイッチが付いている場合」を参照してください。

2 カメラ操作部の［Auto Focus］スイッチを右に動かしてOnにする。

オートフォーカスが有効になります。



(AF)

ご注意

- オートフォーカスに対応したレンズが必要です。
- 撮影状況により精度が出ない場合があります。
- Aマウントレンズではフォーカスの自動調節はできません。

ヒント

- オートフォーカス中でもカメラ操作部のFocusスライダーでフォーカスを動かすことができます。詳細は「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）」をご覧ください。

関連項目

- レンズのスイッチを確認する
- Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

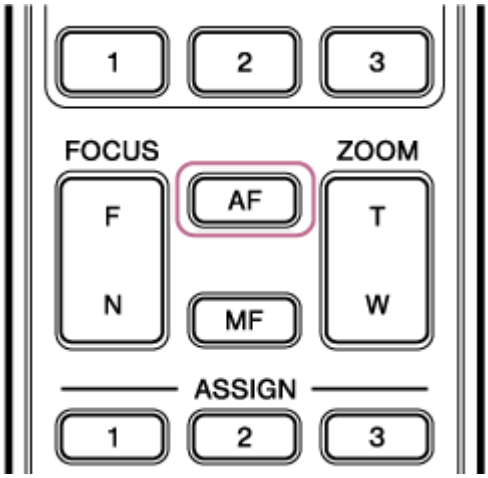
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

付属の赤外線リモコンで自動調節する

付属の赤外線リモコンでフォーカスを自動調節できます。

1 **赤外線リモコンのAFボタンを押す。**

自動的に被写体にフォーカスが合います。



ご注意

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。詳細は「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」をご覧ください。

関連項目

- オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする

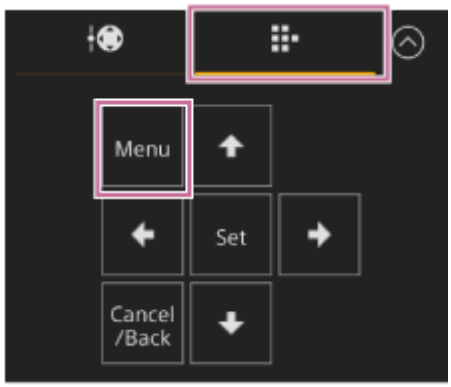
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する（フォーカスエリア）

オートフォーカスの対象とする領域を設定し、その領域にフォーカスを合わせることができます。

1 GUI操作部の［Menu］ボタンを押してカメラメニューを開く。



2 カメラメニューの［Shooting］メニュー >［Focus］の［Focus Area］でオートフォーカスの対象とする領域を設定する。

［Wide］：
映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。

［Zone］：
指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。
選択後、GUI操作部の矢印ボタンで位置を指定してください。

［Set］ボタンを長押しすると、中央の位置に戻ります。
［Flexible Spot］：
映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。

選択後、GUI操作部の矢印ボタンで位置を指定してください。

［Set］ボタンを長押しすると、中央の位置に戻ります。

ご注意

- フォーカスエリア枠はカメラ映像部の［Display］ボタンでは非表示になりません。
- 全画素超解像ズーム中は、［Wide］限定です。

ヒント

- カメラメニューの［Monitoring］メニュー>［Display On/Off］の［Focus Area Indicator］で、フォーカスエリア枠表示をOn/Offすることができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

フォーカスエリアを素早く変更する（フォーカスセット）

アサイナブルボタンに［Focus Setting］を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域（フォーカスエリア）の位置や大きさを素早く変更することができます。

- アサイナブルボタンについては「アサイナブルボタン」をご覧ください。

フォーカスエリアの設定により動作が変わります。

カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Focus Area］が［Flexible Spot］または［Zone］の場合

- ［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、GUI操作部の矢印ボタンでフォーカスエリアの位置を変更できます。位置変更中に［Set］ボタンを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。
- ［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更できます。大きさを変更後、［Set］ボタンを押すと、次にフォーカスエリアの位置を変更できるようになります。設定後、［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと元の画面に戻ります。

カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Focus Area］が［Wide］の場合

［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。種別を［Flexible Spot］または［Zone］に変更すれば、続けて位置変更も可能です。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー >［Focus］の［Push AF Mode］が［Single-shot AF(AF-S)］かつ、［Auto Focus］スイッチがOff（マニュアルフォーカスモード）の場合は、［Focus Area (AF-S)］のフォーカスエリア位置を変更することができます。
- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

関連項目

- アサイナブルボタン

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

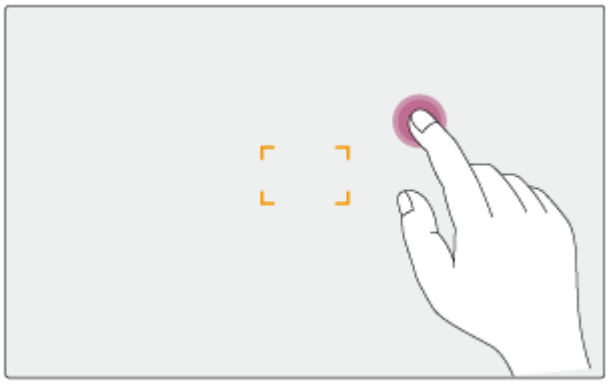
フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する（タッチフォーカスエリア）

［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押してフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、カメラ映像部のタッチ操作でフォーカスエリア枠を移動できます。
タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します。

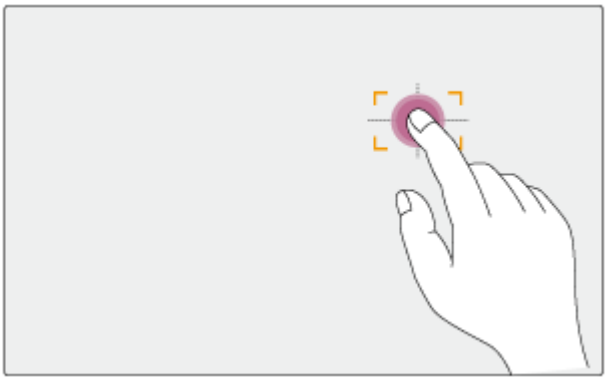
ヒント

- 撮像画面では［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンの操作で、タッチフォーカスエリアの有効・無効を切り替えることができます。

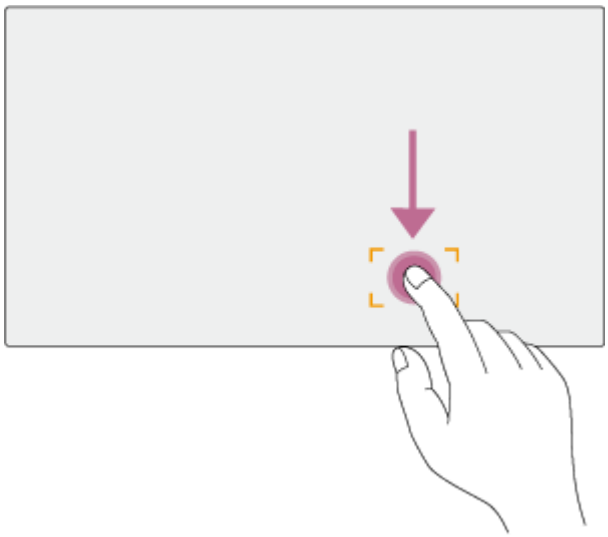
1 任意の位置をタップする。



タップした位置がフォーカスエリアの中心になります。



2 ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する。



ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
  - カメラ操作部の［Touch Focus］スイッチがOffの場合
  - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

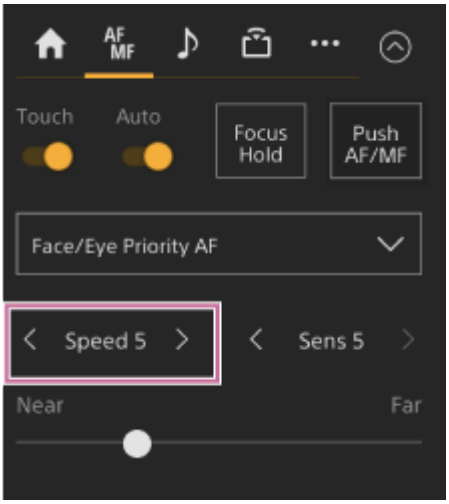
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

オートフォーカスの動作を調節する（AFトランジション速度/AF乗り移り感度）

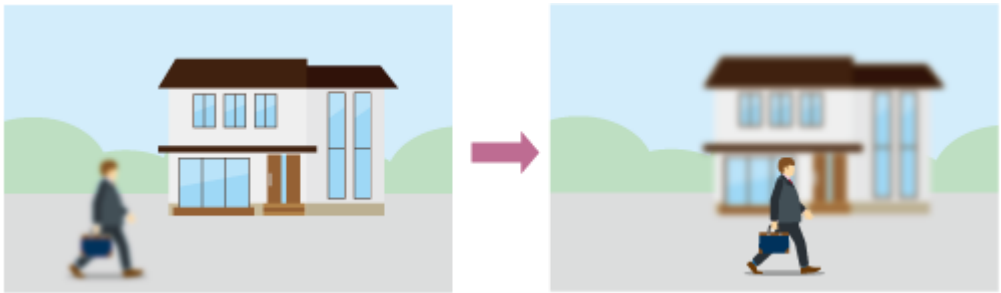
トランジション速度および乗り移り感度を変更することにより、オートフォーカスの動作を調節することができます。

AFトランジション速度の設定

カメラ操作部の［AF Transition Speed］ボタンで、被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。

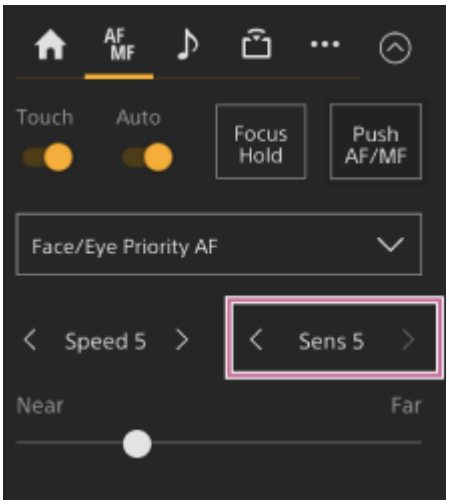


速度は［Speed 1］（最低速）～［Speed 7］（最高速）まで1刻みで選択できます。<ボタンを押すと値が小さく（低速）になり、>ボタンを押すと値が大きく（高速）になります。
低速側に設定すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。
高速側に設定すると被写体間のフォーカス送りが素早くなります。下図の例では、奥の建物から手前の歩く人物へのフォーカス合わせが素早く行われます。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。



AF乗り移り感度

カメラ操作部の［AF Subj. Shift Sens.］ボタンで、被写体の乗り移り感度を設定することができます。



感度は［Sens 1］（粘る）～［Sens 5］（敏感）まで1刻みで選択できます。<ボタンを押すと値が小さく（粘る）になり、>ボタンを押すと値が大きく（敏感）になります。
粘る側に設定するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が来てもフォーカスが移りにくくなります。

敏感側に設定すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。

ヒント

- ［AF Speed/Sens.］を割り当てたアサイナブルボタンを押すたびに、カメラ映像部に調整用のレベルバーが以下の順で表示され、AFトランジション速度とAF乗り移り感度の設定を変更できます。
  AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）

フォーカスの乗り移りを手動で調節したあと、微調整をオートフォーカスへ引き継ぐことができます。

1. **カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［AF Assist］を［On］に設定する。**

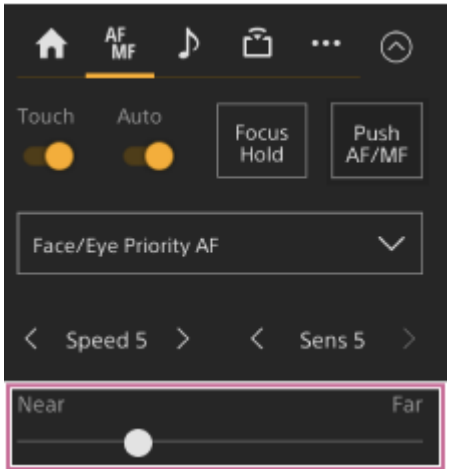
2. **Webメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［AF Assist Control］を［On］に設定する。**

3. **カメラ操作部の［Auto Focus］スイッチを右に動かしてOnにする。**

   オートフォーカスが有効になります。

4. **カメラ操作部の［Focus］スライダーでフォーカス対象を設定する。**

   ［Near］：近くの被写体にフォーカスを合わせます。
   ［Far］：遠くの被写体にフォーカスを合わせます。



   AFアシスト状態になり、［Focus］スライダーで設定した距離にある被写体にオートフォーカスします。

ご注意

- AFアシスト状態では、カメラメニューの［Shooting］メニュー >［Focus］の［AF Subj. Shift Sens.］の設定にかかわらず、フォーカスが乗り移りにくくなります。
- 以下の場合、AFアシスト状態は解除されます。
  - ［Focus］スライダーの設定で合わせた被写体を見失ったとき
  - マニュアルフォーカスにしたとき
  - リアルタイムトラッキングAFを開始したとき

ヒント

- ［Push AF/MF］が割り当てられたアサイナブルボタンを使うと、AFアシスト状態を素早く解除できます。
- ［Focus］スライダーを操作すると、リアルタイムトラッキングAFは終了します。
- 顔/瞳限定AFの場合、［Focus］スライダーを操作すると一番近い顔にオートフォーカスします。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする

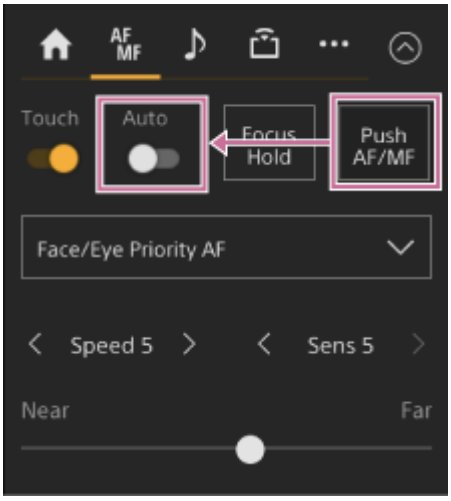
カメラメニューの［Shooting］メニュー >［Focus］の［AF Assist］を［On］に設定すると、オートフォーカス中でも付属の赤外線リモコンのF（遠：Far）ボタンとN（近：Near）ボタンを使って任意の被写体にフォーカスを合わせることができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

オートフォーカス中に一時的に手動でフォーカスを合わせる（プッシュマニュアルフォーカス）

オートフォーカス中に、［Push AF/MF］ボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。
被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。



ヒント

- ［Push AF/MF］が割り当てられたアサイナブルボタンでも同様の動作が可能です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）

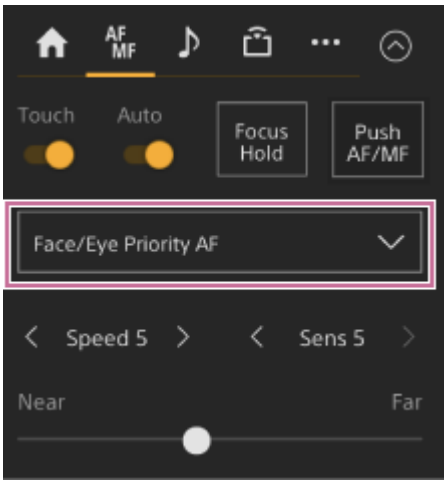
人物の顔や瞳を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳にフォーカスを合わせ続けることができます。
顔を検出すると灰色の顔/瞳検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になり、追尾が開始されます。さらに瞳を検出しフォーカスが合うと、瞳に顔/瞳検出枠が表示されます。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。
フォーカスモードがAFモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できる機能です。

ヒント

- フォーカスエリアが［Zone］または［Flexible Spot］に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に顔や瞳が重なっているときに、顔/瞳検出枠が白色になり、その顔や瞳へのオートフォーカスが可能となります。
- プッシュオートフォーカス（AF-S）実行時、フォーカスが合った顔/瞳検出枠は緑色になります。

カメラ操作部の［Face/Eye Detection AF］ボタンで設定する

［Face/Eye Detection AF］ボタンを押して、顔/瞳検出AFの動作を設定します。



［Face/Eye Only AF］：カメラが被写体（人物）の顔や瞳を検出したとき、人の顔や瞳にフォーカスを合わせて追尾します。顔や瞳を検出しない間は、AFが一時停止し、[!]（顔/瞳限定AF中のAF一時停止アイコン）が表示されます。顔や瞳だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。
［Face/Eye Priority AF］：カメラが被写体（人物）の顔や瞳を検出したとき、人の顔や瞳に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔や瞳を検出しないときは、AFモードになります（初期設定）。
［AF］：顔/瞳検出AF機能を無効にします。

ご注意

- ［Face/Eye Only AF］に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、［Face/Eye Priority AF］になります。
- ［Auto Focus］スイッチがOffのときは、顔/瞳検出AFできません（プッシュオートフォーカス実行中を除く）。
- ［Face/Eye Only AF］に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に［Face/Eye Priority AF］になります。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Face/Eye Detection AF］で顔/瞳検出AFの動作を設定することもできます。

顔/瞳検出枠を消すには

顔/瞳検出枠の表示/非表示は、カメラメニューの［Monitoring］メニュー>［Display On/Off］の［Face/Eye Detection Frame］で設定できます。

ご注意

- ［Display］ボタンで非表示、または［Face/Eye Detection Frame］を［Off］に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス（AF-S）でフォーカスが合った顔や瞳には緑色の顔/瞳検出枠が表示されます。

アサイナブルボタンで顔/瞳検出AFの動作を切り替えるには

アサイナブルボタンに［Face/Eye Detection AF］を割り当てると、そのボタンを押すたびに、顔/瞳検出AFの動作が［Face/Eye Priority AF］、［Face/Eye Only AF］、［AF］の順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

顔/瞳検出AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

- ダイレクトメニューについては「ダイレクトメニュー操作」をご覧ください。

関連項目

- ダイレクトメニュー操作

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

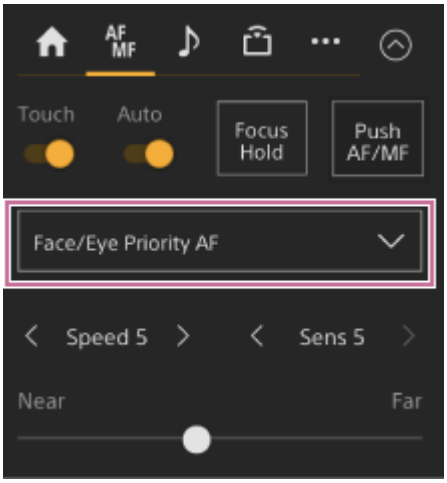
被写体を指定して追尾する（リアルタイムトラッキングAF）

カメラ映像部のタッチ操作や顔検出枠選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。
被写体を選ぶと白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

ヒント

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。
- Webメニューまたはカメラメニューの［Shooting］メニュー>［Focus］の［Touch Function in MF］を［Tracking AF］に設定すると、フォーカスモードがMFモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

顔/瞳検出AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。



［Face/Eye Only AF］または［Face/Eye Priority AF］：指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。
追尾対象が人物で、顔/瞳を検出した場合は、顔/瞳にフォーカスを合わせます。
追尾対象の顔/瞳を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると（保存された追尾顔ありアイコン）が表示されます。

ご注意

- マニュアルフォーカス中にトラッキングAFを開始した場合は、追尾対象の顔は保存しません。

［AF］：指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。追尾対象が人物であっても、顔/瞳の検出は行いません。

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、リアルタイムトラッキングAFは動作しません。

リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

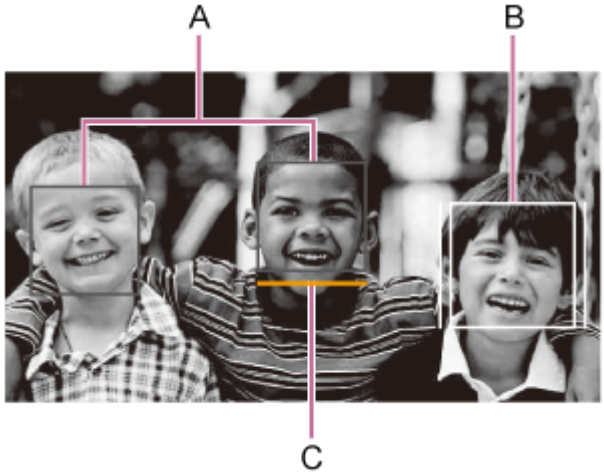
タッチ操作で指定するには

カメラ操作部の（Focus）タブの［Touch Focus］スイッチを右に動かしてOnにすると、次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップして指定することができます。

- マニュアルフォーカス中、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、Webメニューまたはカメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Focus］の［Touch Function in MF］が［Tracking AF］のとき
- オートフォーカス中、またはプッシュオートフォーカス（AF）中のとき

顔検出枠選択操作で指定するには

GUI操作部の矢印ボタンで顔選択カーソル（オレンジ色の下線）を追尾対象にする被写体に移動して、［Set］ボタンを押します。



A：他の顔検出枠（灰色）
B：追尾枠
C：顔選択カーソル（オレンジ）

ご注意

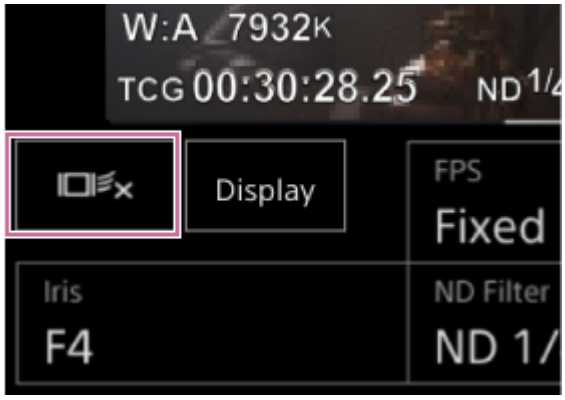
- マニュアルフォーカス中は、顔検出枠選択操作でトラッキングを開始できません。

ヒント

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

リアルタイムトラッキングAFを終了する

（リアルタイムトラッキングAF終了）ボタンを押します。



ヒント

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
  - ［Auto Focus］スイッチまたはレンズ側でAUTO/MANUALを切り替えたとき
  - フォーカスモードを変更したとき
  - AFアシストを実行したとき
  - フォーカスエリアの設定や顔/瞳検出AFの動作を変更したとき
  - ［Push AF/MF］を割り当てたアサイナブルボタンを押したとき
  - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき

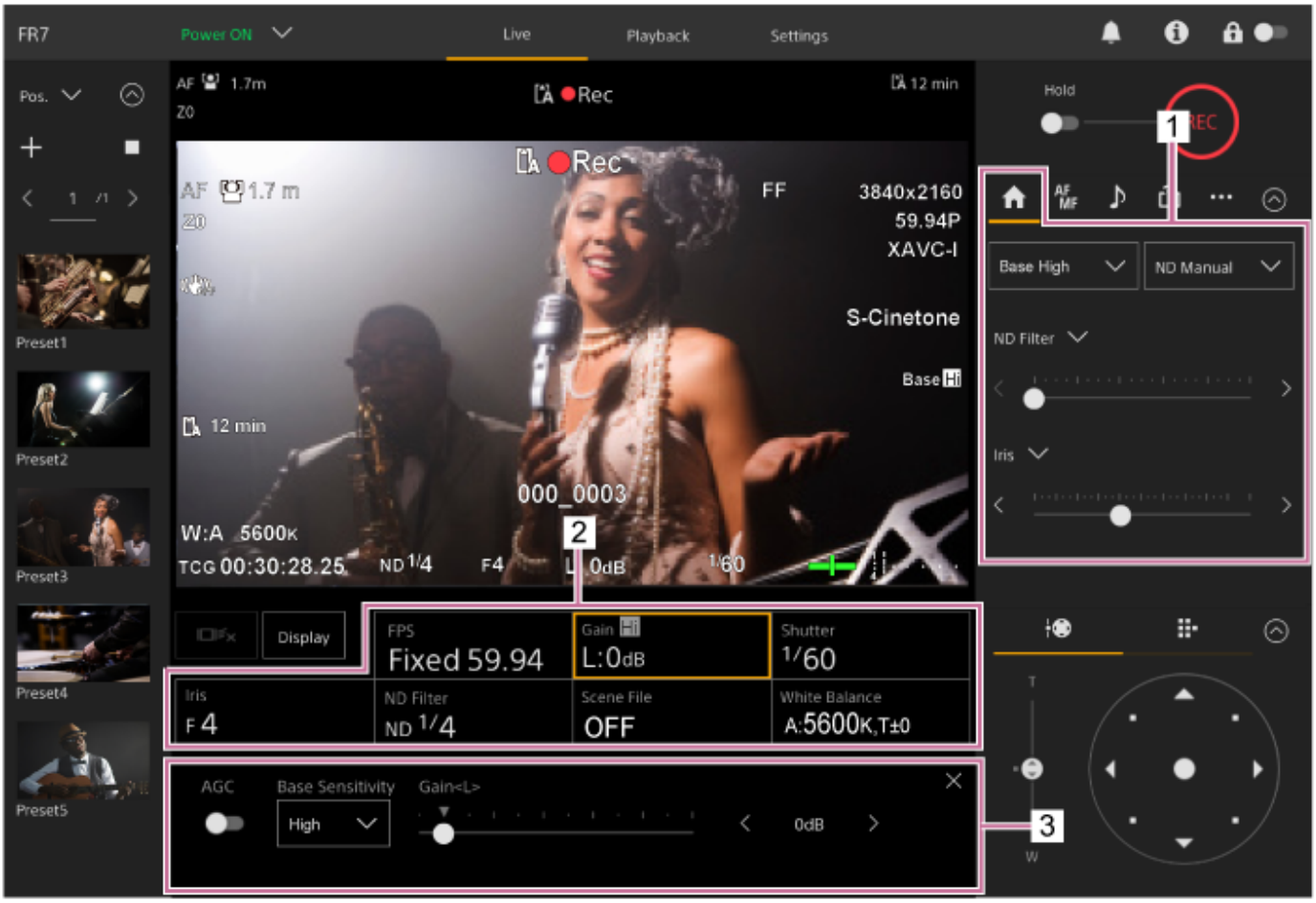
- 追尾顔が保存されている（保存された追尾顔ありアイコン）が表示されているときは、撮影映像領域内に保存された追尾顔が入ると再びリアルタイムトラッキングAFが開始されます。追尾顔を削除するには上記のリアルタイムトラッキングAF終了の操作を行ってください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

明るさの調節操作を行う画面

Web Appライブ操作画面の以下の操作部を使用して、アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。明るさを自動調節することもできます。



1. **カメラ操作部 – （Main）タブ**

2. **カメラ基本設定部**
   撮影のために必要な基本的な機能の設定状態がボタンで表示されます。ボタンを押すと、その機能の設定画面が「3. カメラ基本設定調節パネル」に表示されます。

3. **カメラ基本設定調節パネル**
   カメラ基本設定部で選択した設定項目の調節パネルが表示されます。

ご注意

- ［Shooting Mode］が［Cine EI Quick］または［Cine EI］のときはゲインを調節できません。また、［Cine EI Quick］または［Cine EI］のときはシャッタースピードによる明るさの自動調節はできません。アイリスやNDフィルターによる明るさの自動調節は可能です。

ヒント

- Cine EIモードとは、イメージセンサーの性能を最大限活かすために、ゲインを使用せず基準感度で撮影するモードです。明るさの調節は、照明やNDフィルターを使ってイメージセンサーに届く光量を調節することが基本となります。Exposure Index（EI）については、「記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える」をご覧ください。

関連項目

- 記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

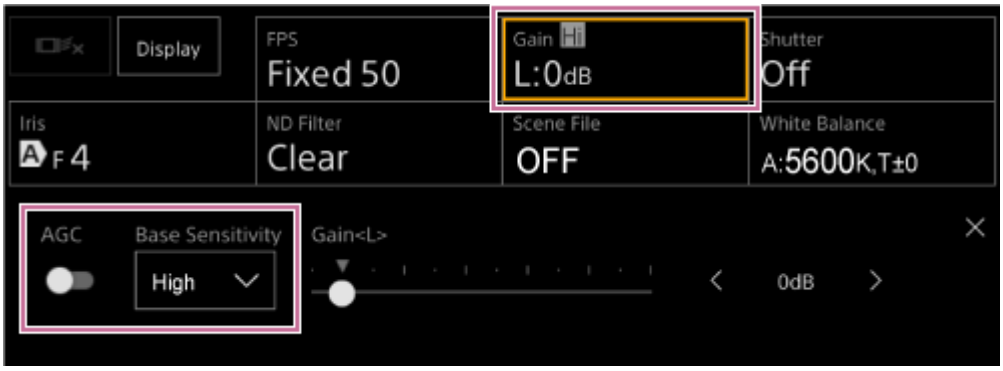
基準感度を設定する

明るさの調節を開始する前に、基準感度を設定します。

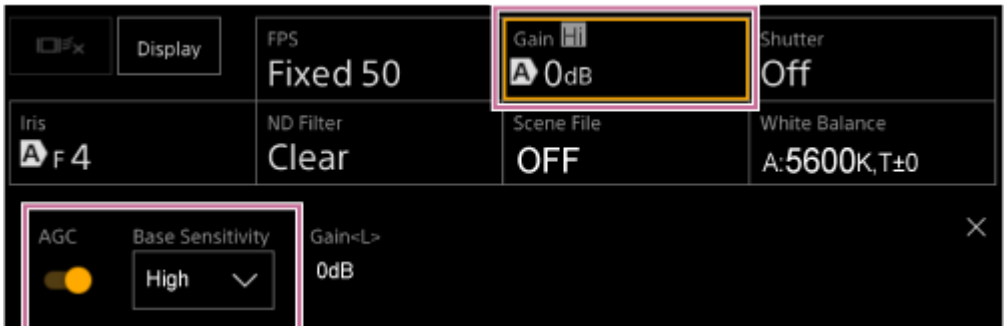
［Shooting Mode］が［Custom］のとき

カメラ基本設定部の［ISO/Gain］ボタンを押し、ISO/ゲイン調節パネルの［Base Sensitivity］から［High］または［Low］を選択します。
通常の照明下では［Low］、低照度の条件では［High］を選択してください。

［AGC］がOffの場合の画面



［AGC］がOnの場合の画面



［Shooting Mode］が［Flexible ISO］または［Cine EI］のとき

カメラ基本設定部の［Base ISO/Exposure Index］ボタンを押し、Base ISO/Exposure Index調節パネルの［Base ISO］から［ISO 12800］または［ISO 800］を選択します。
通常の照明下では［ISO 800］、低照度の条件では［ISO 12800］を選択してください。

ヒント

- カメラ操作部の（Main）タブでも設定できます。
- カメラメニューの［Shooting］メニュー>［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］または［Base ISO］でも設定できます。
- アサイナブルボタンに［Base ISO/Sensitivity］を割り当てることもできます。
- ［Cine EI Quick］のときは、Exposure Indexの設定値に応じて自動的に基準感度が設定されます。

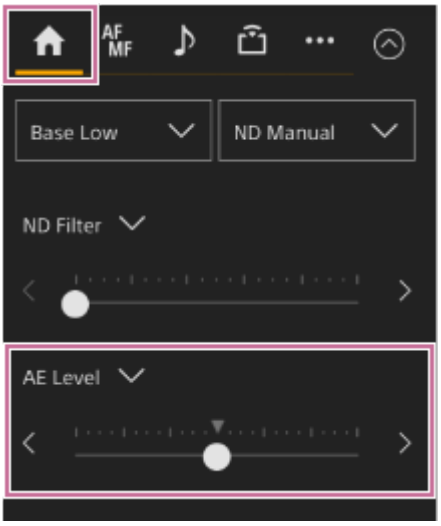
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する

明るさを自動調節するときの目標レベルは、カメラ操作部の［AE Level］スライダーで設定できます。

1 カメラ操作部の（Main）タブを押す。

［AE Level］スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押し、リストから［AE Level］スライダーを選択してください。



［AE Level］スライダーが表示されます。

2 スライダーで目標レベルを設定する。

スライダーのつまみを左方向に移動すると、カメラ映像が暗くなります。右方向につまみを移動すると、カメラ映像が明るくなります。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Auto Exposure］の［Level］で設定することもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを自動で調節します。対応するレンズが必要です。

1. **レンズにAuto Irisスイッチが付いている場合、「AUTO」にする。**

2. **カメラ基本設定部の［Iris］ボタンを押す。**

   ［Iris］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

   Iris調節パネルが表示されます。

3. **［Auto］スイッチを右に動かしてOnにする。**

   アイリスが自動調節モードになります。自動調節されたアイリス値がスイッチの右に表示されます。

ご注意

- Aマウントレンズではアイリスを自動調節できません。

ヒント

- アサイナブルボタンに［Auto Iris］を割り当てることもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

アイリスを手動調節する

明るさを手動で調節します。

1 レンズにAuto Irisスイッチが付いている場合、「AUTO」にする。

ご注意

- レンズのAuto Irisスイッチを「MANUAL」にすると、本機からの［Auto Iris］や［Push Auto Iris］を受け付けなくなります。また、本機からのアイリス手動調節操作も受け付けなくなります。

2 カメラ基本設定部の［Iris］ボタンを押す。

［Iris］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

Iris調節パネルが表示されます。

3 ［Auto］スイッチを左に動かしてOffにする。

アイリスが手動調節モードになります。

4 ［Iris］スライダーまたは［Iris］調節ボタンでアイリスを調節する。

ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- カメラ操作部の（Main）タブにあるスライダーにアイリスを割り当てることもできます。

アイリスを一時的に自動調節するには

Iris調節パネルの［Push Auto］ボタンを押している間も、アイリスを自動調節できます。

ヒント

- ［Push Auto Iris］を割り当てたアサイナブルボタンを押している間、アイリスを自動調節できます。
  指を離すと手動アイリスに戻ります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ゲインを自動調節する

［Shooting Mode］が［Custom］または［Flexible ISO］の場合、ゲインの設定で明るさを自動調節できます。

1. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Shooting Mode］を［Custom］にする。**

2. **カメラ基本設定部の［ISO/Gain］ボタンを押す。**

   ［ISO/Gain］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

   ISO/Gain調節パネルが表示されます。

3. **［AGC］スイッチを右に動かしてOnにする。**

   ゲインが自動調節モードになります。自動調節されたゲイン値がスイッチの右に表示されます。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Auto Exposure］の［AGC］を［On］にしても同様の調節が可能です。
- アサイナブルボタンに［AGC］を割り当てることもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ゲインを手動調節する

［Shooting Mode］が［Custom］または［Flexible ISO］の場合、ゲインの設定で明るさを手動調節できます。
アイリスを固定したまま露出調節したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

1 Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Shooting Mode］を［Custom］にする。

2 カメラ基本設定部の［ISO/Gain］ボタンを押す。

［ISO/Gain］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

ISO/Gain調節パネルが表示されます。

3 ［AGC］スイッチを左に動かしてOffにする。

ゲインが手動調節モードになります。

4 ［ISO/Gain］スライダーまたは［ISO/Gain］調節ボタンでゲインを調節する。

ヒント

- スライダーと調節ボタンの設定は連動しています。

ゲインを一時的に手動調節するには

カメラ操作部の（Main）タブにあるスライダー機能選択ボタンに［ISO/Gain］を割り当てて、スライダーで一時的にゲインを調節することができます。
被写界深度を変えずにもう一歩露出を追い込みたいときに便利です。
調節した結果は、以下の操作を行うと［ISO/Gain<L>］で設定されたプリセット値に戻ります。

- ISO/Gainの調節項目を変更する
- 基準感度を切り替える
- AGCスイッチをOnにする

- 本機の電源をスタンバイにする

アサイナブルボタンでゲインを一時的に自動調節するには

［Push AGC］を割り当てたアサイナブルボタンを押している間、ゲインを自動調節できます。
指を離すと手動ゲインに戻ります。
調節した結果は、以下の操作を行うと［ISO/Gain<L>］で設定されたプリセット値に戻ります。

- ISO/Gainの調節項目を変更する
- 基準感度を切り替える
- AGCスイッチをOnにする
- 本機の電源をスタンバイにする

ご注意

- カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Iris］の［Bokeh Control］が［On］のときは、この機能を実行できません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

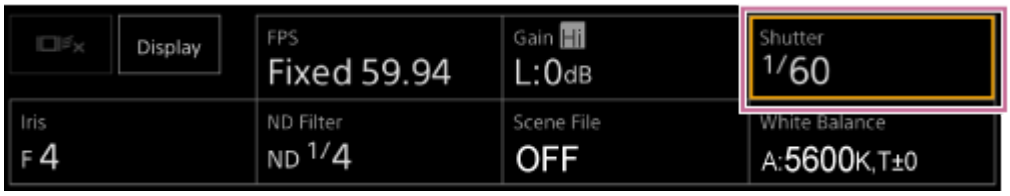
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

シャッターを自動調節する

映像の明るさに応じてシャッターを自動調節できます。

1 カメラ基本設定部の［Shutter］ボタンを押す。

［Shutter］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Shutter調節パネルが表示されます。

2 ［Shutter Type］ボタンを押して、リストから［Auto］を選択する。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Auto Exposure］の［Auto Shutter］を［On］にしても同様の調節が可能です。
- アサイナブルボタンに［Auto Shutter］を割り当てることもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

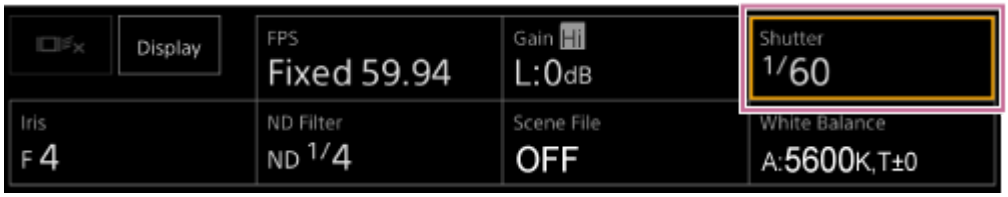
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

シャッターを手動調節する

シャッターを手動調節できます。

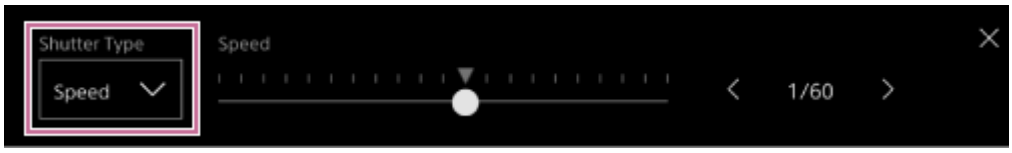
1 カメラ基本設定部の［Shutter］ボタンを押す。

［Shutter］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

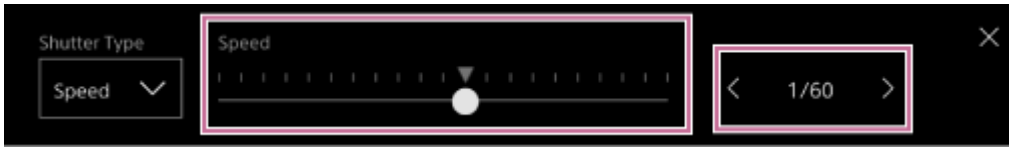


Shutter調節パネルが表示されます。

2 ［Shutter Type］ボタンを押して、リストから［Speed］を選択する。



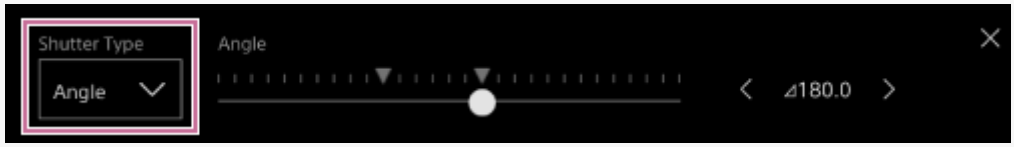
3 ［Speed］スライダーまたは［Speed］調節ボタンでシャッターを調節する。



露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順2で［Off］を選択します。［ECS］（周波数）で細かく設定したり、［Auto］で自動調節させることもできます。
例：［ECS］（周波数）で設定

ヒント

- スライダーと調節ボタンの設定は連動しています。
- ［Speed］や［Off］の代わりに［Angle］を使用する場合は、カメラメニューの［Shooting］メニュー>［Shutter］の［Mode］を［Angle］に切り替えます。



5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

NDフィルターについて

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。
明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります（カメラでは一般的に起こる現象です）。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。
本機は以下のNDフィルターモードを備えています。

プリセットモード

- 「プリセットモードで調節する」をご覧ください。

バリアブルモード（自動調節）

- 「バリアブルモードで自動調節する」をご覧ください。

バリアブルモード（手動調節）

- 「バリアブルモードで手動調節する」をご覧ください。

関連項目

- プリセットモードで調節する
- バリアブルモードで自動調節する
- バリアブルモードで手動調節する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

プリセットモードで調節する

あらかじめNDフィルターの透過率を3つ選択しておき、撮影時に素早く切り替えて使用することができます。

1 カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］ の［Mode］を［Preset］に設定する。

2 カメラ基本設定部の［ND Filter］ボタンを押す。

［ND Filter］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

ND Filter調節パネルが表示されます。

3 ［ND Filter］ボタンを押して、リストから次のいずれかを選択する。

［Clear］：NDフィルターなし
［Preset1］：カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］の［Preset1］で設定した透過率にします。
［Preset2］：カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］の［Preset2］で設定した透過率にします。
［Preset3］：カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］の［Preset3］で設定した透過率にします。

NDフィルターに［Preset1］～［Preset3］のいずれかを選択した場合、NDフィルター名の横に透過率が表示されます。

ヒント

- ［ND Filter Position］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、［Clear］→［Preset1］→［Preset2］→［Preset3］→［Clear］…の順に切り替わります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

バリアブルモードで自動調節する

NDフィルターを使った自動露出調節を行うことができます。

1. **カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］の［Mode］を［Variable］に設定する。**

2. **カメラ基本設定部の［ND Filter］ボタンを押す。**

   ［ND Filter］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

   ND Filter調節パネルが表示されます。

3. **［ND Filter］ボタンを押して、リストから［Auto］を選択する。**

   ［ND Filter］ボタンの横に自動調節されたNDフィルターの透過率が表示されます。

ご注意

- 撮影中に［Clear］設定をまたいでNDフィルターを切り替えると、画像内にNDフィルターの枠が入り、動作音がします。

ヒント

- ［Auto ND Filter］を割り当てたアサイナブルボタンを押して［Auto］と［Manual］を切り替えることもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

バリアブルモードで手動調節する

NDフィルターを使った手動露出調節を行うことができます。

1 カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ND Filter］ の［Mode］を［Variable］に設定する。

2 カメラ基本設定部の［ND Filter］ボタンを押す。

［ND Filter］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。

ND Filter調節パネルが表示されます。

3 ［ND Filter］ボタンを押して、リストから［Manual］を選択する。

4 ［ND Filter］スライダーまたは［ND Filter］調節ボタンでNDフィルターの透過率を調節する。

ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- カメラ操作部の（Main）タブでもNDフィルターを調節することができます。

一時的に自動調節にするには

［Push Auto ND］を割り当てたアサイナブルボタンを押している間、オートNDフィルターがOnになります。指を離すとオートNDフィルターがOffに戻ります。
NDフィルターは［Manual］に設定してください。

ご注意

- 撮影中に［Clear］設定をまたいでNDフィルターを切り替えると、画像内にNDフィルターの枠が入り、動作音がします。

ヒント

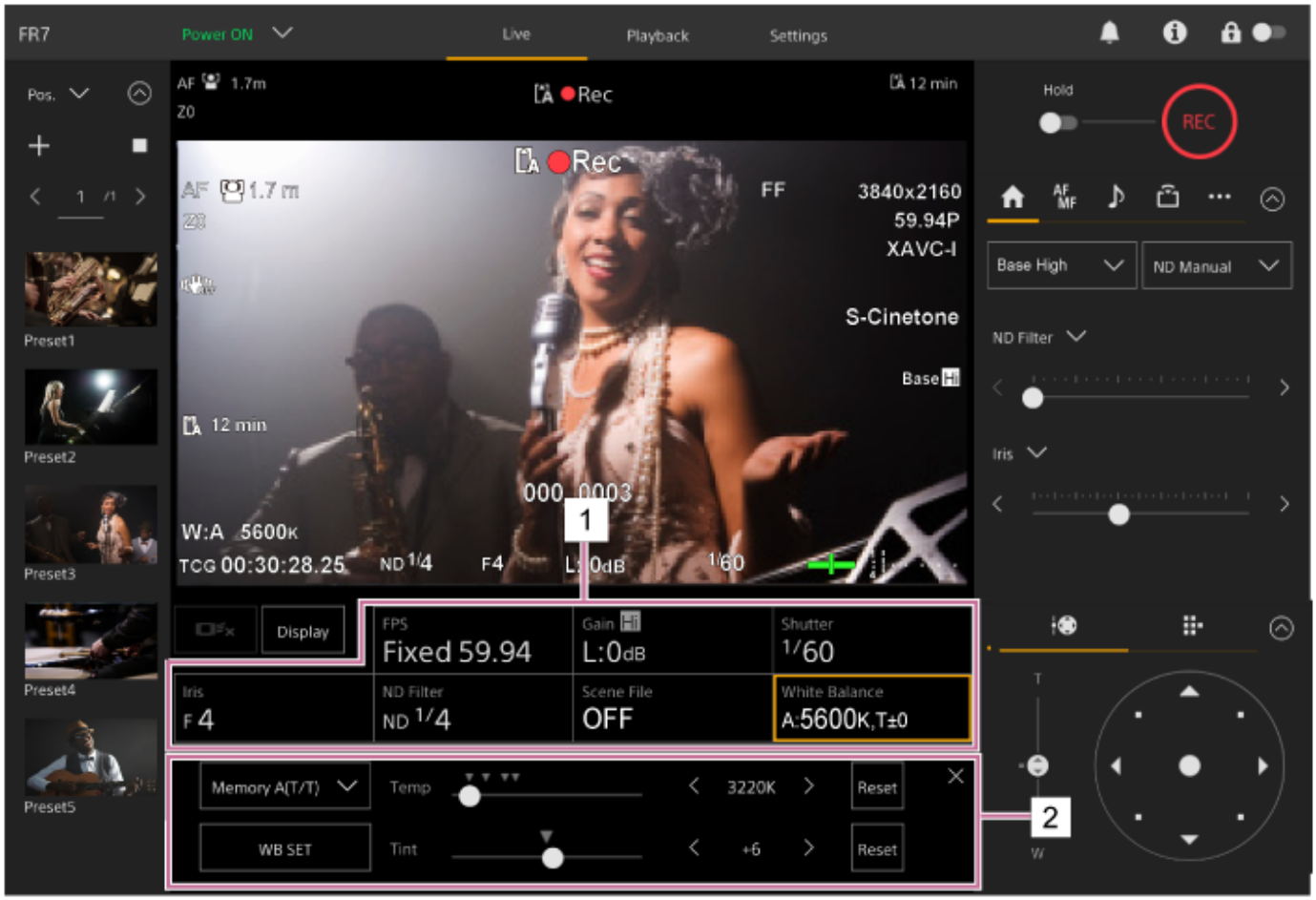
- ［ND Filter Position］を割り当てたアサイナブルボタンを押して［Manual］と［Clear］を切り替えることもできます。
- ND Filter調節パネルの［Push Auto］ボタンを押している間も、オートNDフィルターがOnになります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ホワイトバランスの調節操作を行う画面

Web Appのライブ操作画面を使用してホワイトバランスを調節し、映像をより自然な色合いにすることができます。



1. **カメラ基本設定部**

2. **カメラ基本設定調節パネル**
   カメラ基本設定部で選択した設定項目の調節パネルが表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

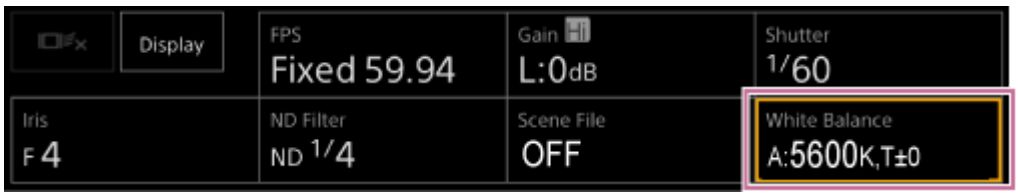
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ホワイトバランスを自動調節する

ATW（自動追尾ホワイトバランス）機能でホワイトバランスを常に適切に調節することができます。
ATWを有効にすると、ホワイトバランスは光源の色温度の変化に伴い、自動的に調節されます。

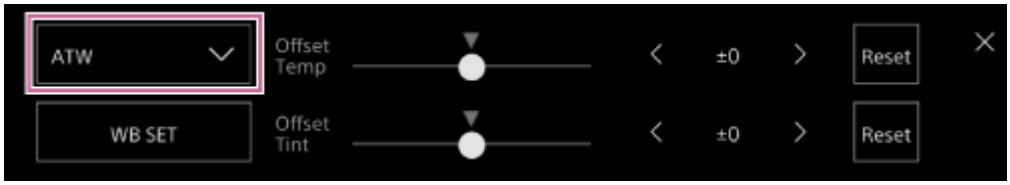
1 カメラ基本設定部の［White Balance］ボタンを押す。

［White Balance］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



White Balance調節パネルが表示されます。

2 ［White Mode］ボタンを押して、リストから［ATW］を選択する。



ご注意

- ［Shooting Mode］が［Cine EI］、［Cine EI Quick］のときは、ATWは使えません。
- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
  例：
  - 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を 占める場合
  - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
- ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、［WB SET］ボタンを押してオートホワイトバランスを実行してください。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［White Setting］の［ATW Speed］で、ATWモード時の反応速度を5段階（1、2、3、4、5）から選択することができます。数字が小さいほど反応速度が速くなります。
- アサイナブルボタンに［ATW Hold］機能を割り当てておくと、そのボタンを押すことによって、ATWモード中でも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

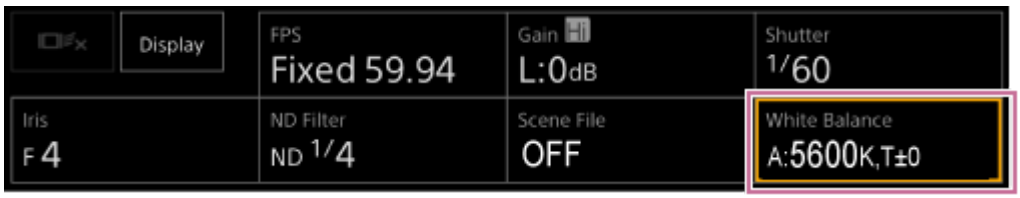
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ホワイトバランスを手動調節する

ホワイトバランスを手動で調節できます。

1 カメラ基本設定部の［White Balance］ボタンを押す。

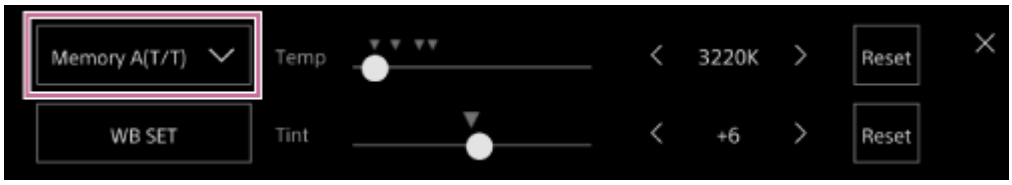
［White Balance］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



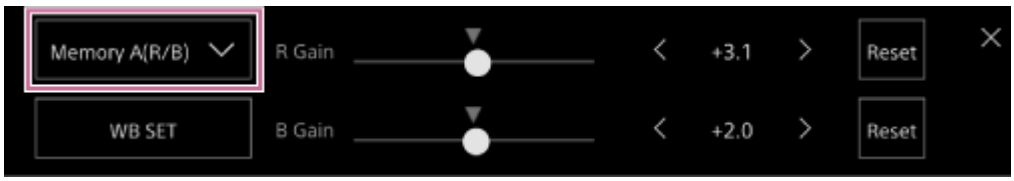
White Balance調節パネルが表示されます。

2 ［White Mode］ボタンを押して、リストから以下のいずれかを選択する。

［Memory A(T/T)］



［Memory A(R/B)］



［Preset］

3 各スライダーまたは調節ボタンでホワイトバランスを調節する。

ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- ［Memory A(T/T)］と［Memory A(R/B)］の違いは調節する軸の違いで、調節結果は連動しています。

［Memory A(T/T)］の場合

メモリーAに保存されたホワイトバランスを色温度（Temp）とTintで調節します。
色温度は2000 K～ 5600 Kは20 K単位で設定します。5600 Kより上の値は、5580 Kから5600 Kの色変化量（ミレッド）が等しくなる間隔で設定できます。
［Temp］や［Tint］の右にある［Reset］ボタンを押すと、それぞれの設定値が初期値に戻ります。

［Memory A(R/B)］の場合
メモリーAに保存されたホワイトバランスをR GainとB Gainで調節します。
［Reset］ボタンを押すと、該当するゲインの設定値が初期値に戻ります。
［Preset］の場合
色温度をプリセット値に調節するモードです。
値は100 K単位で設定します。
プリセットモードでは、［Preset White Select］が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、既定のプリセット値に直接変更することができます。
［Custom］：3200 K→4300 K→5600 K→6300 K→3200 K・・・
［Flexible ISO］、［Cine EI］、［Cine EI Quick］：3200 K→4300 K→5500 K→3200 K・・・

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

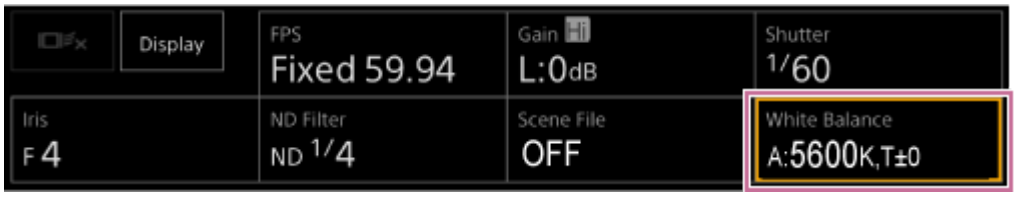
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

オートホワイトバランスを実行する

メモリーAモードで保存するホワイトバランスを自動で調節します。

1 カメラ基本設定部の［White Balance］ボタンを押す。

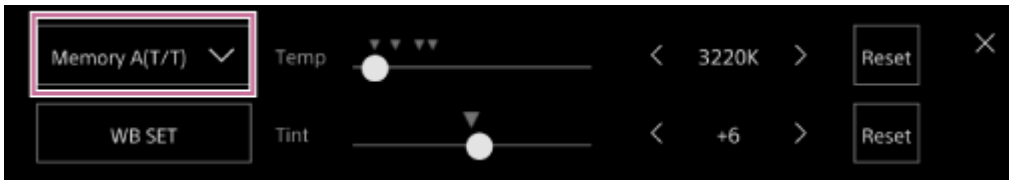
［White Balance］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



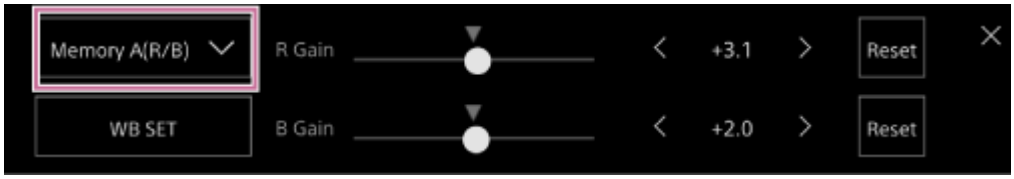
White Balance調節パネルが表示されます。

2 ［White Mode］ボタンを押して、リストから［Memory A(T/T)］または［Memory A(R/B)］を選択する。

［Memory A(T/T)］



［Memory A(R/B)］



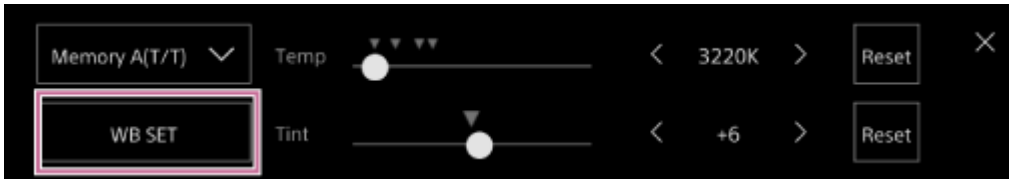
3 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。

4 明るさを調節する。

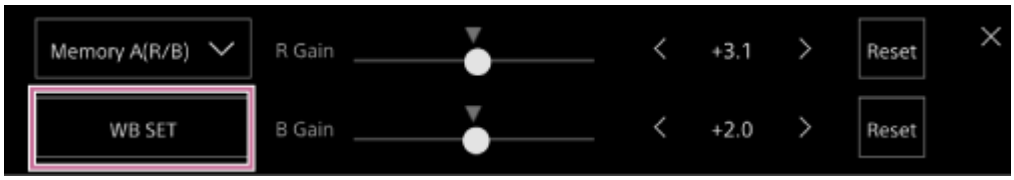
「アイリスを手動調節する」に従って、アイリスを調節してください。

5 ホワイトバランス調節パネルの［WB SET］ボタンを押す。

［Memory A(T/T)］



［Memory A(R/B)］



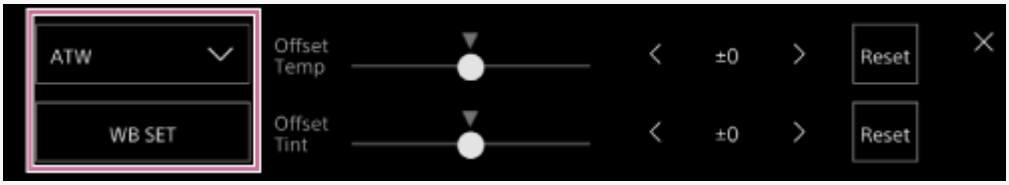
メモリーモードで実行した場合は、自動調節した結果はメモリーAに保存されます。

ご注意

- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ヒント

- ATWモードでも実行することができます。ATW動作中に迅速にホワイトバランスを合わせたいときに使用します。調節が終わると通常のATW動作に戻ります。



関連項目

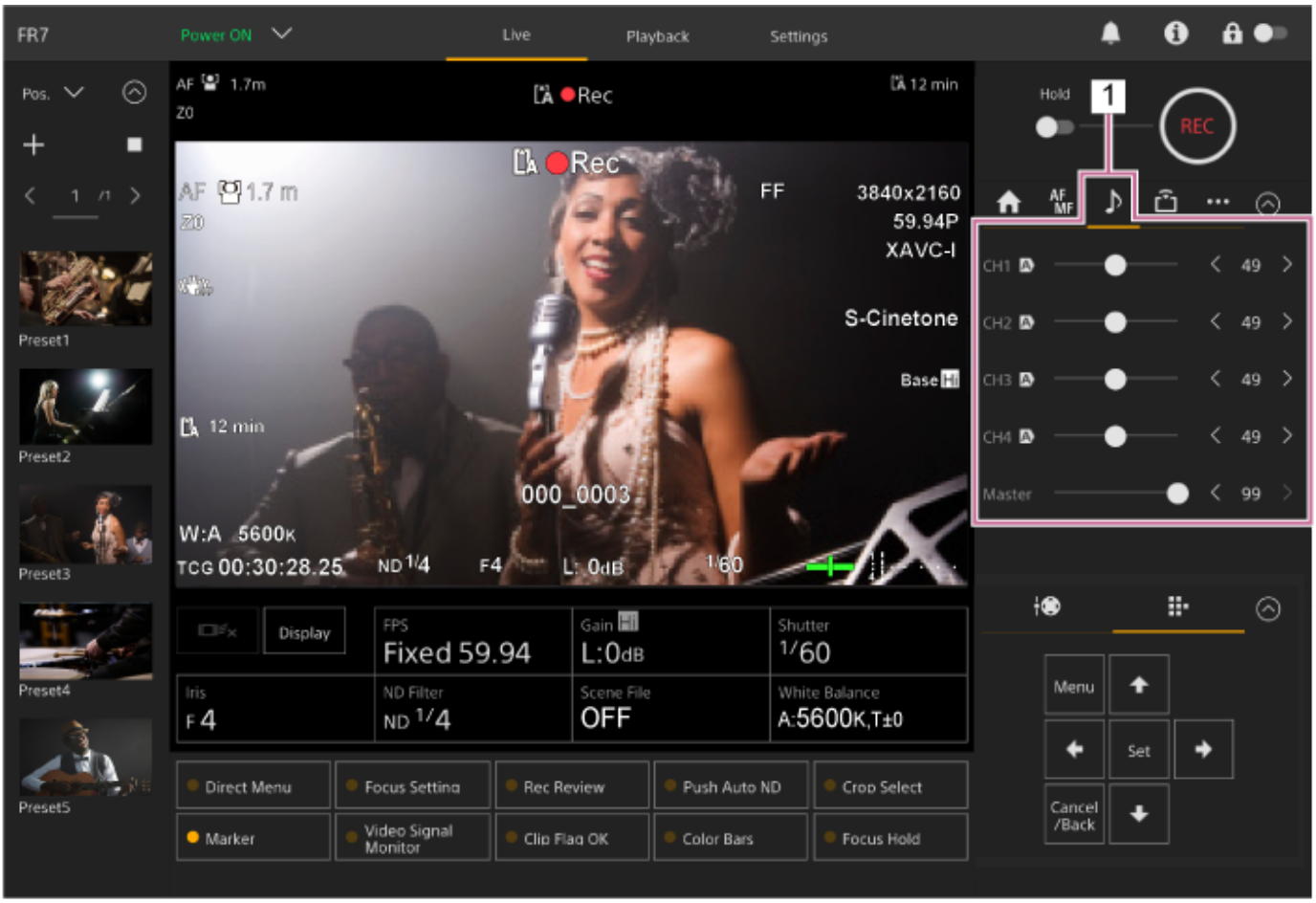
- アイリスを手動調節する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

音声の設定を行う画面

Web Appのライブ操作画面では、本機で収録する音声のレベルを調節できます。事前設定は、本体端子部のスイッチとカメラメニューおよびWebメニューで行います。



1. **カメラ操作部 – ♪ （Audio）タブ**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

音声入力機器を選ぶ

AUDIO IN端子に接続する機器に合わせて以下を設定します。

1. **マイクを接続する場合、本機背面端子部のSETUPスイッチのスイッチ2を設定する。**

   CH-1およびCH-2共通の設定です。

設定	説明
OFF（初期設定）	ダイナミックマイクや電池内蔵マイクを接続するとき選択します。+48V電源（ファンタム電源）をOff にして、LINEまたはMIC入力をCH-1およびCH-2の音源にします。
ON	+48V電源（ファンタム電源）対応マイクを接続するとき選択します。+48V電源（ファンタム電源）をOnにして、ファンタム電源対応マイクをCH-1およびCH-2の音源にします。

2. **カメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［AUDIO IN Select］を接続した機器に合わせて設定する。**

3. **Webメニューまたはカメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［CH1 Input Select］～［CH4 Input Select］で音声入力を切り替える。**

ご注意

- インターバルレックモード、スロー＆クイックモーション撮影では、音声は記録されません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

録音レベルを自動調節する

Webメニューの［Audio］ページ、またはカメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［CH1 Level Control］～［CH4 Level Control］で録音レベルを自動調節したいチャンネルを［Auto］に設定します。
自動調節に設定したチャンネルは、ライブ操作画面の♪（Audio）タブの該当チャンネルにⒶ（Auto）アイコンが表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

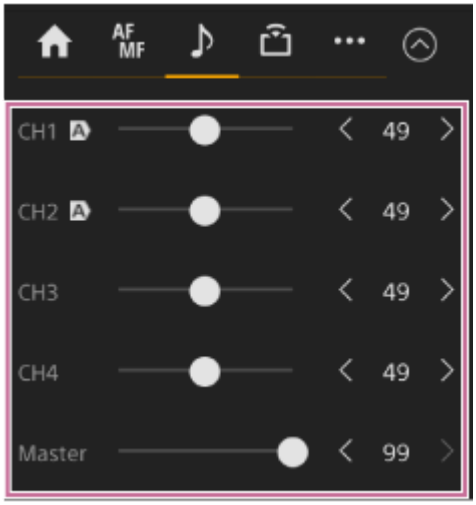
録音レベルを手動調節する

録音レベルを手動で調節できます。

1. **Webメニューの［Audio］ページ、またはカメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［CH1 Level Control］～［CH4 Level Control］で録音レベルを手動調節したいチャンネルを［Manual］に設定する。**

2. **カメラ操作部の♪（Audio）タブを押す。**

3. **カメラ操作部の［Audio］画面で、録音レベルを手動調節したいチャンネルのスライダーまたは録音レベル調節ボタンで録音レベルを調節する。**



ご注意

- A(Auto)アイコンが表示されているチャンネルは、自動調節に設定されています。スライダーやボタンで値を変えても収録音声には反映されません。

ヒント

- 各行のスライダーと調節ボタンは連動しています。
- 音声入力レベルは、撮影画面のオーディオレベルメーター表示でリアルタイムに確認できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ダイレクトメニュー操作

カメラ映像に重畳して表示される本機の状態や設定を、赤外線リモコンのGUI操作ボタンで選択して変更することができます。
設定できる項目は、以下のとおりです。
［Face/Eye Detection AF］
［SteadyShot］
［White Mode］
［Color Temp］
［Scene File］
［ND Filter Position］
［Auto ND Filter］
［ND Filter］の値
［Auto Iris］
［Iris］の値
［AGC］
［Gain］の値
［ISO］の値
［Exposure Index］
［Shutter Type］
［Auto Shutter］
［Shutter］の値
［Auto Exposure Mode］
［Auto Exposure Level］
［S&Q Motion］と［Frame Rate］

1. **赤外線リモコンの［Direct Menu］を割り当てたアサイナブルボタンを押す。**

   ［Direct Menu］ボタンは、工場出荷時はアサイナブルボタン1に割り当てられています。
   ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。

2. **GUI操作ボタンの矢印ボタンで操作したい項目にカーソルを合わせ、［Set］ボタンを押す。**

   メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。

3. **矢印ボタンで設定を選び、［Set］ボタンを押す。**

   メニューまたは白背景が消えて、新しい設定がオレンジのカーソルで表示されます。
   再びダイレクトメニューが割り当てられたアサイナブルボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

ヒント

- Web Appのアサイナブルボタンと GUI操作部でも同様に操作できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

アサイナブルボタン

本機のWeb Appには、機能を割り当てて使用できるアサイナブルボタンが10個あります。
アサイナブルボタンは、ライブ操作画面と再生操作画面に表示されます。

ご注意

- ライブ操作画面のカメラ基本設定調節パネルで設定を行っているとき、アサイナブルボタン一覧は表示されません。調節パネル右上の［X］ボタンを押して操作を終了してください。

工場出荷時はそれぞれのボタンに以下の機能が割り当てられています。
ボタン1：［Direct Menu］
ボタン2：［Focus Setting］
ボタン3：［Rec Review］

- ボタン 1 ～ 3 は、付属の赤外線リモコンの同番ボタンと等価です。

ボタン4：［Push Auto ND］
ボタン5：［Crop Select］
ボタン6：［Marker］
ボタン7：［Video Signal Monitor］
ボタン8：［Clip Flag OK］
ボタン9：［Color Bars］
Focus Holdボタン：［Focus Hold］

- Focus Holdボタンは、EマウントレンズのFocus Holdボタンと等価です。

ボタンの機能を変更するには

カメラメニューの［Project］メニュー >［Assignable Button］を使用します。
割り当てを変更すると、アサイナブルボタン一覧の表示が変わります。
割り当てが可能な機能については、「カメラメニューと詳細設定」の「Assignable Button」をご覧ください。

関連項目

- Assignable Button

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

スロー&クイックモーション

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。
設定できるフレームレートを以下の表に示します。

システム周波数：59.94/50/29.97/25/23.98、イメージャースキャンモード：FFの場合

コーデック	ビデオフォーマット	設定可能なフレームレート
RAW	3840×2160P	1-60、100、120
RAW & XAVC-I	3840×2160P	1-60、100、120
XAVC-I	4096×2160P	1-60
	3840×2160P	1-60、100、120
	1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240
XAVC-L	3840×2160P	1-60、100、120
	1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240

システム周波数：59.94/50/29.97/25/23.98、イメージャースキャンモード：S35の場合

コーデック	ビデオフォーマット	設定可能なフレームレート
XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120
XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120

システム周波数：24、イメージャースキャンモード：FFの場合

コーデック	ビデオフォーマット	設定可能なフレームレート
XAVC-I	4096×2160P	1-60

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートアイリスとオートシャッターは無効になります。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートフォーカスに以下の制限があります。
  - レンズ機種とシステム周波数、撮像フレームレートによる制限

ソニー製レンズ	システム周波数	AF可否
SEL16F28以外	-	7fps以上で可
SEL16F28	59.94/29.97/23.98	30, 60, 120, 240fpsで可
	50.00/25.00	25, 50, 100, 200fpsで可
	24.00	不可

- また、アイリスをF18以上にするとオートフォーカス機能が一時停止します。

- RAW出力の使用方法は「RAW動画を記録する」をご覧ください。

関連項目

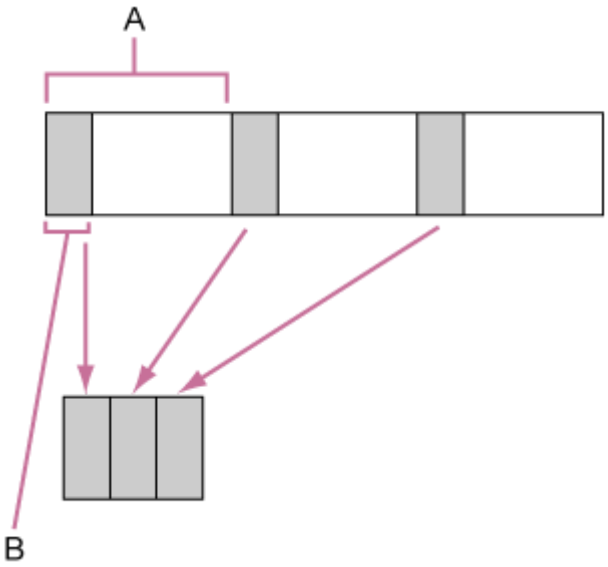
- RAW動画を記録する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録する機能です。主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。
記録を開始すると、設定したフレーム数（Number of Frames）分の映像を任意のインターバル（Interval Time）で自動記録できます。



A：撮影の間隔（Interval Time）
B：1回に記録する画像フレーム数（Number of Frames）

ご注意

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、サムネイル画面表示中にインターバルレックの設定を変更することはできません。

記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。

記録中に電源が切れた場合

- 本機の電源をスタンバイにしたときは、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから自動的にスタンバイモードに移行します。
- 記録中にDC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったり、またはPoE++給電が途切れた場合、その瞬間以前に撮影したショット（最大10秒）が記録されないことがあります。充分ご注意ください。

フレーム数とインターバルを設定する

Webメニューの［Project］メニュー > ［Interval Rec］で［Setting］を［On］に設定し、［Number of Frames］と［Interval Time］を設定してください。

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、［Number of Frames］、［Interval Time］の設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

ヒント

- カメラメニューの［Project］メニュー >［Interval Rec］でも設定できます。

撮影する

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、カメラ映像部に「Int●Rec」と「Int●Stby」が交互に表示されます。

撮影を終了する

記録停止の操作を行います。
撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。
インターバルレックモードを解除するには次のいずれかを実行します。

- 本機の電源をスタンバイにする。
- 記録待機中に、［Project］メニュー>［Interval Rec］の［Setting］を［Off］に設定する。

また、本機が再起動した場合もインターバルレックモードは解除されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、カメラが捉えた映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始操作以前にさかのぼって記録することができます。

キャッシュサイズを設定する

Webメニューの［Project］メニュー > ［Picture Cache Rec］で［Setting］を［On］に設定し、［Cache Size］でキャッシュサイズを設定します。

［Cache Size］の設定	蓄積時間（目安）
［Short］	5秒
［Medium］	10秒
［Long］	20秒
［Max］	各記録フォーマットでの最大値

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、2スロット同時記録、プロキシ記録との併用はできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの特殊記録は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードが［Regen］や［Rec Run］に設定されていても［Free Run］モードで記録されます。
- ピクチャーキャッシュレック中は［Output Format］の設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをOffにしてから変更操作を行ってください。

ヒント

- 蓄積時間は記録フォーマットにより短くなる場合があります。Webメニューの［Project］メニュー > ［Picture Cache Rec］の［Cache Rec Time］に表示される時間をご確認ください。
- カメラメニューの［Project］メニュー > ［Picture Cache Rec］でも設定できます。
- アサイナブルボタンで［Picture Cache Rec］のOn/Offを切り替えることもできます。

ピクチャーキャッシュレックを実行する

［Picture Cache Rec］がOnのとき、カメラ映像部に「●Cache」（●は緑）が点灯します。
録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からメモリーカードに書き込まれます。

ご注意

- 記録フォーマットや基本ルックが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。したがって、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- メモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。

- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、メモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除する

Webメニューの［Project］メニュー >［Picture Cache Rec］で［Setting］を［Off］にするか、［Picture Cache Rec］機能を割り当てたアサイナブルボタンを押して機能を解除します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）

Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Simul Rec］の［Setting］を［On］にすると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

メモリーカードAとメモリーカードBの記録操作を別々に行う

録画START/STOPボタンと（Others）タブの［2nd Rec START/STOP］ボタンで、それぞれ別のメモリーカードを記録開始／停止することができます。
工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。
それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、［SDI/HDMI Rec Control］の記録開始/停止制御は、スロットAの記録状態に従います。

設定を変える

カメラメニューの［Project］メニュー >［Simul Rec］の［Rec Button Set］で以下を設定します。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
Rec Button:<Slot A> <Slot B> 2nd Rec Button: <Slot A> <Slot B>	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/停止する。
Rec Button:<Slot A> 2nd Rec Button: <Slot B>	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、（Others）タブの［2nd Rec START/STOP］ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/停止する。
Rec Button:<Slot B> 2nd Rec Button: <Slot A>	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、（Others）タブの［2nd Rec START/STOP］ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/停止する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

映像信号モニター

カメラメニューの［Monitoring］メニュー >［Video Signal Monitor］の［Setting］で、カメラ映像部に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムのいずれかに設定できます。
オレンジの線は［Level Marker 1］、［Level Marker 2］の設定値を表します。
［Video Signal Monitor］を割り当てたアサイナブルボタンでも設定できます。

モニター対象の表示

Log撮影モードのときは、モニター対象を示す情報として、色域設定またはモニターLUTの設定が映像信号モニターの右上に表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

クリップフラグ

アサイナブルボタンに割り当てた［Clip Flag OK］ボタンを押すと、［Add OK］が実行されクリップに［OK］のクリップフラグが付けられます。
2回続けて押すと［Delete Clip Flag］が実行され、［OK］のクリップフラグが消えます。

ヒント

- カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Set Clip Flag］でクリップフラグを付けることもできます。
- サムネイル画面をクリップフラグの種類別に表示することができます（フィルタードクリップサムネイル画面）。詳細は「サムネイル画面」の「記録したクリップを操作する」をご覧ください。

関連項目

- 記録したクリップを操作する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ブリージング補正

カメラメニューの［Technical］メニュー > ［Lens］の［Breathing Compensation］で、レンズのブリージング補正を行うかどうかを設定できます。
ブリージングとは、フォーカス位置が変化すると画角変動が起こる現象です。
ブリージング補正を実行すると、画角が一定になるよう電子的に画像が切り出され、ブリージングのない撮影が可能になります。

ご注意

- ブリージング補正を有効にすると、画角と画質がわずかに変化します。
- レンズによっては、ブリージング補正を有効に設定していても画角の変化を補正しきれない場合があります。
- ブリージング補正に非対応のレンズが装着されている場合は補正できません。
- 以下のいずれかの条件では、本機能はOffに固定されます。
  - カメラメニューの［Technical］メニュー > ［Lens］の［Distortion Comp.］が［Off］
  - Webメニューまたはカメラメニューの［Shooting］メニュー > ［S&Q Motion］の［Setting］が［On］
  - Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Codec］が［RAW］または［RAW & XAVC-I］のとき

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

プロキシ記録の概要

本機は高解像度のオリジナルデータの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシデータを同時に記録できます。

- 使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法については「メモリーカードを準備する」の「対応メモリーカードについて」ほかをご覧ください。

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。
タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

記録メディア	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/XDROOT/Sub
CFexpress Type A	/XDROOT/Sub

ファイル名について

- メモリーカードに記録されるクリップ名+S03です。
- クリップ名については、カメラメニューの［TC/Media］メニュー > ［Clip Name Format］をご覧ください。

関連項目

- 対応メモリーカードについて

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

プロキシ記録で撮影する

プロキシ記録を有効にしてから、記録操作をします。

1. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Proxy Rec］で、［Setting］を［On］にする。**

2. **メモリーカードをCFexpress Type A/SDカードスロットに差し込む。**

   CFexpressカードの場合はラベルを上にして差し込んでください。
   SDカードの場合はラベルを下にして差し込んでください。

   ご注意

   - プロキシ記録は、スロー＆クイックモーション、インターバルレックと同時にOnにすることはできません。プロキシ記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

3. **録画START/STOPボタンを押す。**

   プロキシ記録で撮影が開始されます。

   ご注意

   - メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。
     メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
   - 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

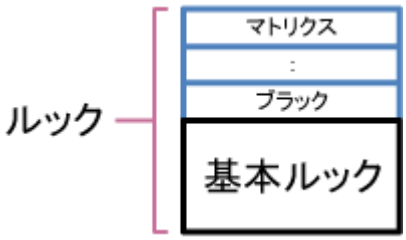
カメラメニューの［Project］メニュー>［Proxy Rec］の［Audio Channel］で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ルックの概要

本機のCustomモードでは、基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。
本機は、計7個のプリセットのルックを用意しています。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ルックを選ぶ

ルックの選択方法について説明します。

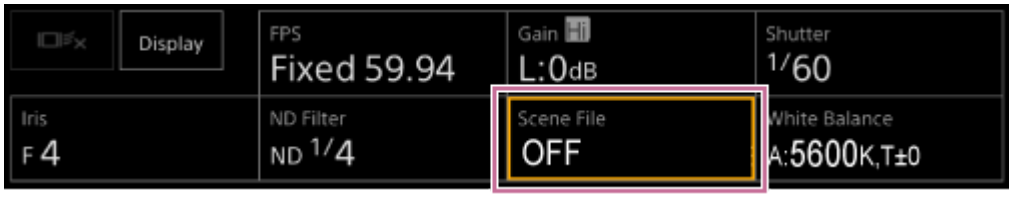
1 Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー>［Base Setting］で［Shooting Mode］が［Custom］になっていることを確認する。

ヒント

- ［Custom］モードのときは、カメラ基本設定部に［ISO/Gain］ボタンと［Scene File］ボタンが表示されています。

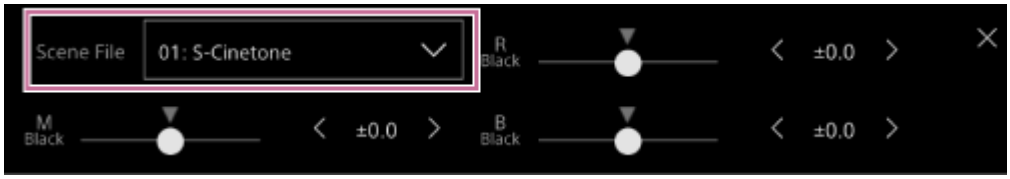
2 カメラ基本設定部の［Scene File］ボタンを押す。

［Scene File］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Scene File調節パネルが表示されます。

3 調節パネルの［Scene File］ボタンを押して、リストから好みのルックのSceneファイルを選択する。



工場出荷時は、以下がプリセットされています。

［Target Display］	［SDR(BT.709)］	［HDR(HLG)］
Sceneファイル1	［S-Cinetone］	［HLG Live］
Sceneファイル2	［Standard］	［HLG Natural］
Sceneファイル3	［Still］	未登録
Sceneファイル4	［ITU709］	未登録
Sceneファイル5	［709tone］	未登録
Sceneファイル6～16	未登録	未登録

ヒント

- カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Scene File］の［Recall］でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは［Scene File］の［Preset Recall］でも呼び出せます。

ご注意

- Sceneファイル5のプリセットが［709tone］になるのは、ソフトウェアバージョン2.0以降です。Webメニューの［Maintenance］メニュー >［Reset］の［Factory Default］を実行した場合に表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

好みの基本ルックをインポートする

本機は、コンピューターなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとして最大16個までインポートすることができます。

ファイル形式：Catalyst BrowseやRAW Viewer、Blackmagic Design Pty. Ltd.製DaVinci Resolve*で生成される17格子または33格子のCUBEファイル（*.cube）

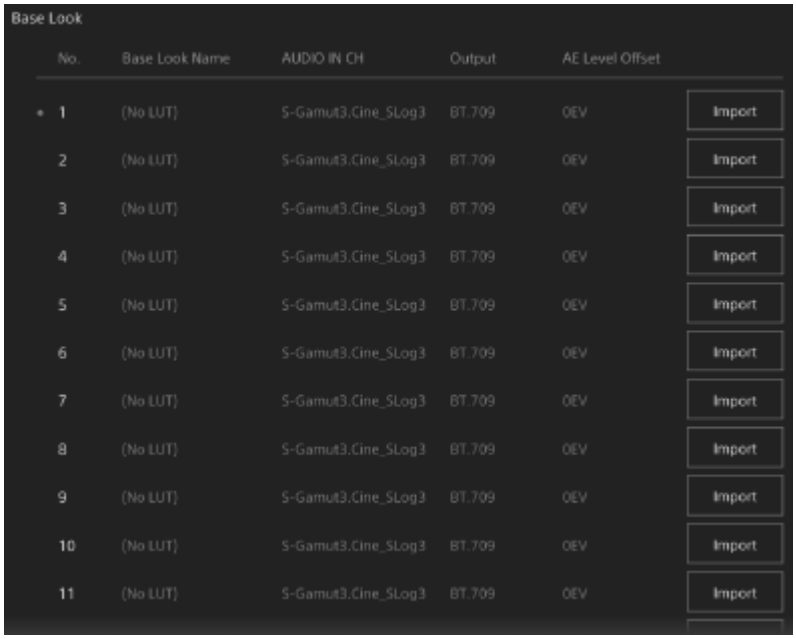
* Resolve V9.0、V10.0およびV11.0にて確認

- 入力色域/ガンマ：［S-Gamut3.Cine/S-Log3］または［S-Gamut3/S-Log3］

1 Web Appを実行しているデバイスに3D LUTファイルを保存する。

2 Webメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］を開く。

登録されている基本ルックのリストが表示されます。



3 インポートしたい行の［Import］ボタンを押す。

ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。

4 用意した3D LUTファイルを選択する。

インポートされた3D LUTファイルが、本機の基本ルックになります。

5 カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Select］で、インポートした3D LUTファイルを選択する。

6 インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Input］および［Output］を設定する。

露出不足を調節するには

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、Webメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［AE Level Offset］で調節してください。

ご注意

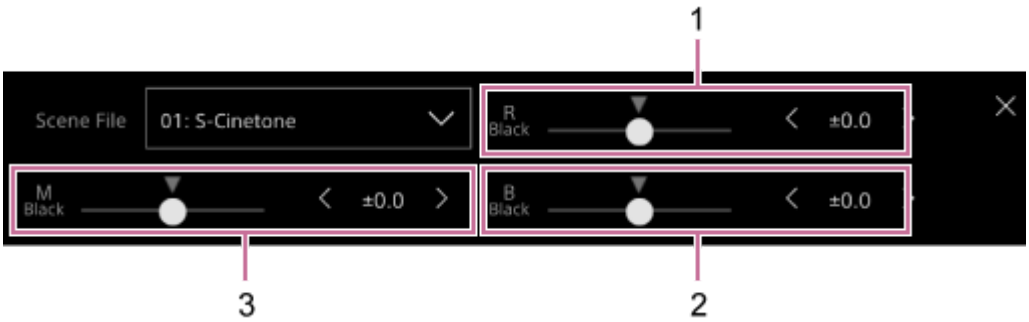
- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Select］で、インポートした3D LUTファイルを読み出してください。
- ［Input］を正しく設定しないと、本来のルックになりません。
- 設定項目の［Input］、［Output］、［AE Level Offset］は、［Select］で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを［Select］で選択し、［Input］、［Output］、［AE Level Offset］をそれぞれ設定してください。
- 設定した［Input］、［Output］、［AE Level Offset］は、3D LUTファイルごとに保存されます。
- インポートした3D LUTファイルは、［SDR(BT.709)］、［HDR(HLG)］、Log撮影モード共通の基本ルック/LUT選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域・ガンマ変換は行いません。
- Webメニューの［Maintenance］メニュー >［Reset］の［All Reset (except for Network Settings)］を実行しても3D LUTファイルは削除されません。
- ［Base Look Name］表示の先頭に[!]（3D LUTファイル添付エラー）が表示されている場合、Log撮影モードで記録したクリップに3D LUTファイルを添付できない状態です。3D LUTファイルを再インポートしてください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ルックをカスタマイズする

カメラ基本設定部のScene File調節パネルの［Master Black］、［R Black］および［B Black］スライダーや、カメラメニューの［Paint/Look］メニュー > ［Matrix］などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。
設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。



1：［R Black］スライダー/調節ボタン
2：［B Black］スライダー/調節ボタン
3：［Master Black］スライダー/調節ボタン

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、カメラメニューの［Paint/Look］メニュー > ［Matrix］などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。
- カメラメニューの［Paint/Look］メニュー > ［Reset Paint Settings］の［Reset without Base Look］で、カスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ルックを保存する

カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Scene File］の［Store］で、現在のルックをSceneファイルとして内部メモリーに保存できます。
Scene File調節パネルやダイレクトメニューの操作で簡単に保存したルックを呼び出せるようになります。

ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。

ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。プリセットのSceneファイルを復元するには、カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Scene File］の［Preset Recall］で復元したいルックを読み出したあと、［Scene File］の［Store］でSceneファイルに保存してください。

保存したルックを削除するには

カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Scene File］の［Delete］で、内部メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

ヒント

- 削除すると、Scene File調節パネルやダイレクトメニューに表示されなくなります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

基本ルックを削除する

カメラニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Delete］で、インポートした3D LUTファイルを個別に削除できます。
カメラニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Delete All］で、すべての3D LUTファイルを削除できます。

ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当するSceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、Webメニューの［Maintenance］メニュー >［Reset］の［All Reset (except for Network Settings)］を実行しても削除されません。
- 削除した基本ルックは、Log撮影モードでもLUTとして使えなくなります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

本機のLog撮影モード*1を使い、暗部から明部まで諧調を均等に記録すると、ポストプロダクションで局所的に暗部や明部の諧調を復元するなど細かい調節を行うことができます。
しかし、この記録映像を普通のモニターで見ると、全体にコントラストが低いため、フォーカスや露出などの調節が困難です。
本機では、モニター映像にLUTを適用して撮影時の各種調節を補助することができます。また、再生時は撮影時のLUTが自動的に適用されるので、簡単に仕上がりを確認できます。
LUTは以下の系統別に適用されます。ただし、適用されるLUTは1種類です。

- SDI出力
- HDMI出力およびストリーミング
- 記録メディアに記録されるプロキシクリップ
- 記録メディアに記録される本線クリップ

*1 Flexible ISOモード/Cine EIモード/Cine EI Quickモードの総称

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用する

HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用できます。

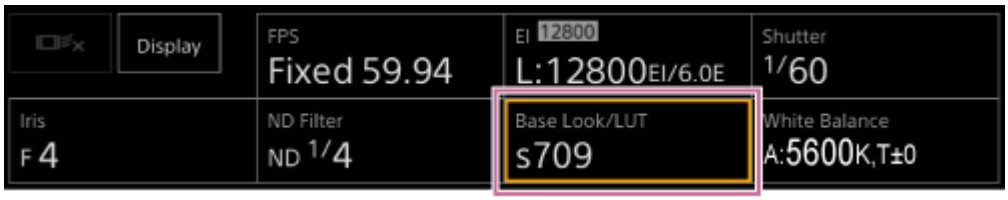
1 Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー>［Base Setting］で［Shooting Mode］が［Flexible ISO］または［Cine EI］または［Cine EI Quick］になっていることを確認する。

ヒント

- Log撮影モードのときは、カメラ基本設定部に［Base ISO/Exposure Index］ボタンと［Base Look/LUT］ボタンが表示されています。

2 カメラ基本設定部の［Base Look/LUT］ボタンを押す。

［Base Look/LUT］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Base Look/LUT調節パネルが表示されます。

3 ［HDMI/Stream］で［MLUT］を選択する。

ご注意

- Web Appカメラ映像部の映像も、ストリーミング映像に含まれます。

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［LUT On/Off］の［HDMI/Stream］でも設定できます。
- SDI出力も同様に設定できます。
- 記録メディアの映像については、カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［LUT On/Off］の［Internal Rec］および［Proxy］で設定できます。
- ［Base Look/LUT］表示の先頭に[!]（3D LUTファイル添付エラー）が表示されている場合、Log撮影モードで記録したクリップに3D LUTファイルを添付できない状態です。3D LUTファイルを再インポートしてください。
  なお、このアイコンは一時的な処理集中などにより添付に失敗した場合にも表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

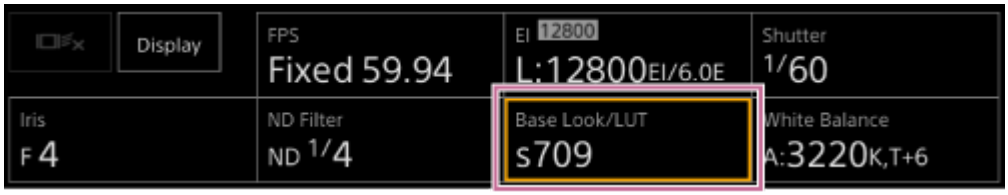
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

LUTを変更する

適用するLUTを変更できます。

1 カメラ基本設定部の［Base Look/LUT］ボタンを押す。

［Base Look/LUT］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Base Look/LUT調節パネルが表示されます。

2 ［Base Look/LUT］ボタンで適用する基本ルックを選択する。

ヒント

- 本機にはプリセットのLUTとして、［s709］、［709(800%)］、［S-Log3］が用意されています。
- 3D LUTファイルをインポートして適用することもできます。詳しくは、「好みの基本ルックをインポートする」および「基本ルックを削除する」をご覧ください。
- カメラメニューの［Paint/Look］メニュー >［Base Look］の［Select］でも設定できます。

関連項目

- 好みの基本ルックをインポートする
- 基本ルックを削除する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

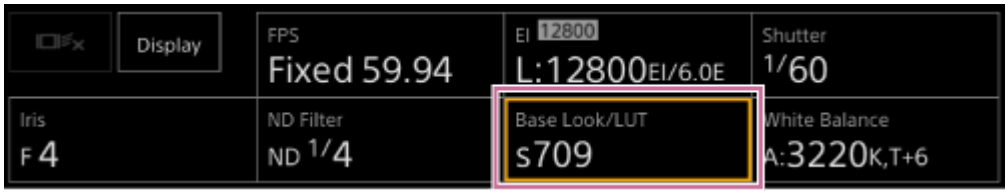
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える

Cine EIモード、およびCine EI Quickモードでは、明部より暗部の諧調を優先したい場合など、Exposure Indexを基準感度から変更すると、暗部・明部の配分を変えた撮影ができます。

1 カメラ基本設定部の［Base Look/LUT］ボタンを押す。

［Base Look/LUT］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



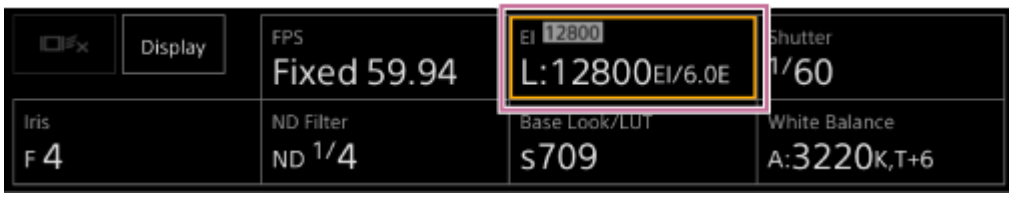
Base Look/LUT調節パネルが表示されます。

2 ［HDMI/Stream］で［MLUT］を選択する。

HDMI出力およびストリーミングにLUTが適用されます。

3 カメラ基本設定部の［Base ISO/Exposure Index］ボタンを押す。

［Base ISO/Exposure Index］ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Base ISO/Exposure Index調節パネルが表示されます。

4 ［Exposure Index］スライダーまたは［Exposure Index］調節ボタンで暗部・明部の配分計画に従ってEIを調節する。

Cine EIの場合

Cine EI Quickの場合
指定したExposure Indexに応じて基準感度が自動的に設定されます。

5 **［HDMI/Stream］から出力されたカメラ映像が適正露出になるように、照明やNDフィルターなどを調節する。**

ヒント

- カメラメニューの［Shooting］メニュー >［ISO/Gain/EI］の［Exposure Index］でも設定できます。
- SDI出力も同様に使用できます。
- 設定値の後半部の数値は、明部（18%グレーの高輝度側）に何段分の輝度情報を割り当てるかを表しています。これより明るい領域は白飛びします。
  例）「400EI / 5.0E」：5.0段分を高輝度側に割り当てる。
- 撮影中に暗部・明部の諧調を確認する目的で使うこともできます。確認後、本来のEI値に戻し忘れないようにご注意ください。
  また、Cine EI Quickモードの場合、基準感度に影響が出ないようご注意ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

RAW動画を記録する

本機のSDI OUT端子から出力したRAW動画信号を、対応する外部レコーダーに記録できます。
サポートをしているRAW出力フォーマットは以下のとおりです。

システム周波数	［Codec］	［RAW Output Format］
59.94 / 50 / 29.97 / 25/ 23.98	RAW	4096×2160
	RAW	3840×2160
	RAW & XAVC-I	4096×2160
	RAW & XAVC-I	3840×2160
24	RAW	4096×2160
	RAW & XAVC-I	4096×2160

1. **外部RAWレコーダーを本機のSDI OUT端子に接続する。**

2. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Base Setting］の［Shooting Mode］で［Cine EI］、［Cine EI Quick］または［Flexible ISO］を選択する。**

3. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Rec Format］の［Imager Scan Mode］で画角（FFのみ）を選択する。**

4. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Rec Format］の［Codec］で［RAW］を選択する。**

   ［RAW & XAVC-I］を選ぶと、外部RAWレコーダーでの記録と同時に、本機のメモリーカードに動画を記録することができます。

5. **Webメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー >［Rec Format］の［RAW Output Format］で解像度を選択する。**

6. **外部レコーダーの電源が入っていることを確認し、ライブ操作画面の録画START/STOPボタンを押す。**

   カメラ映像部にRAW動画の記録状態がアイコンで表示されます。

ご注意

- 本機はSDI OUT端子から記録制御信号を出力しますが、外部レコーダーの状態を取得することはできません。そのため、本機でRAW動画の記録中と表示していても、実際に記録していないことがあります。正確な動作状態は外部レコーダー上の表示で確認してください。

ご注意

- ライブ操作画面の録画START/STOPボタンを使わずに外部レコーダーで録画操作を行うと、正常に記録されない場合があります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

スロー&クイックモーションモードでRAW動画を記録する

スロー&クイックモーションモードでRAW動画を記録することができます。

- 撮影可能なフレームレートは「スロー&クイックモーション」をご覧ください。

関連項目

- スロー&クイックモーション

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ボケ調節機能のOn/Offを切り替える

アイリス操作にNDフィルターやゲインを連動させて、ボケ具合を簡単に調節することができます。

ボケ調節機能のOn/Offを切り替える

本機能は露出の手動調節時のみ有効にすることができます。NDフィルターをバリアブルモードにし、アイリス、ゲイン、シャッター、NDフィルターを手動調節に設定してください。
カメラメニューの［Shooting］メニュー >［Iris］の［Bokeh Control］で、ボケ調節機能のOn/Offを切り替えることができます。
ボケ調節機能がOnの状態では、NDフィルターおよびゲインの表示に〈B〉（B）アイコンが表示されます。

ご注意

- 本機と通信できるEマウントレンズでのみ本機能は有効です。
- 本機能はソニー製のEマウントレンズで最大限の効果を得られます。
- 下記の操作を行ったとき、ボケ調節機能がOffになります。
  - 本機の電源をOffにしたとき
  - アイリス、ゲイン、シャッター、NDフィルターのいずれかをAutoにしたとき
  - 撮影モードを切り替えたとき
  - NDフィルターをクリアまたはプリセットモードにしたとき
  - レンズを取り外したとき
  - 周波数切り替えなど、再起動を行ったとき

ヒント

- ［Bokeh Control］を割り当てたアサイナブルボタンで、ボケ調節機能のOn/Offを切り替えることもできます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ボケ具合を調節する

手順2～4の設定値は、必要に応じて適宜調節してください。

1. **ボケ調節機能をOnにする。**
2. **アイリスを開放端にする。**
3. **NDフィルターを1/128に設定する。**
4. **ゲインを0dBにして、照明で適正露出にする。**
5. **フォーカスを合わせる。**
6. **アイリスを調節する。**

   ボケ具合が変化します。

ご注意

- 操作スピード、レンズ、撮影設定、被写体によって見え方が異なり、明るさが変化して見える場合があります。撮影前のカメラテストを強くおすすめします。
- アイリスを絞った後に開くとき、または開いた後に絞るとき、のように操作方向を変更する際には明るさが変化する場合があります。その場合は、あらかじめ余分に操作してから少し戻して明るさを確認してから、撮影を開始してください。例えば、F8から絞りを開いて背景をぼかしていく撮影をしたい場合、事前にF8よりも余分に絞った後に再度F8まで開いてから明るさを確認し、撮影を開始してください。
- ボケ調節の操作はゆっくり行ってください。操作を速くする場合は画の変化を確認しながら徐々にお試しください。

ヒント

- ボケ調節機能がOnの場合は、アイリス調節による露出変化をNDフィルターおよびゲインが連動し相殺することで、ボケ具合を変化させることができます。
- ボケ調節はアイリス操作に対して、まずNDフィルターから連動します。NDフィルターが変化できなくなった際に、ゲインが連動します。
- MFのときはいったんアイリスを開けて、ピントを合わせておくことをおすすめします。
- ボケ調節機能の代わりにオートNDフィルターを使用すると、NDフィルターが被写体の明るさの変化に追従します。

ゲイン連動中の表示について

ボケ調節機能がOnのとき、アイリスを調節するとゲインが変化することがあります。
ゲインが連動して変化した際は、画面上に注意メッセージが表示され、ゲイン表示の〈B〉（B）アイコンが点滅します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

設定データの保存と読み込みについて

本機の設定内容を、設定データとしてWeb Appで保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態を素早く再現できます。
本機では、下記ご注意以外のカメラ機能に関するほぼすべての設定をAll File（ALLファイル）として保存することができます。

ご注意

- ネットワーク機能の設定や認証情報などは保存されません。保存内容の詳細については、「メニュー項目一覧」を参照してください。

関連項目

- メニュー項目一覧

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ALLファイルを保存する

ALLファイルの保存方法を説明します。

1. **Webメニューの［Project］メニュー >［All File］を開く。**

2. **［Save All File］の［Save］ボタンを押す。**

   しばらくするとWebブラウザーがall-file.ALLファイルのダウンロードを開始します。

3. **ダウンロードしたall-file.ALLファイルを任意の場所に任意の名前を付けて保存する。**

   ファイル操作については、お使いのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ALLファイルを読み込む

ALLファイルの読み込み方法を説明します。

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

1. **Webメニューの［Project］メニュー >［All File］を開く。**
2. **［Load All File］の［Load］ボタンを押す。**

   Web Appを実行しているデバイスのファイルを開く画面が表示されます。
3. **読み込みたいファイルを選んで開く。**

   ファイル操作については、お使いのデバイスの取扱説明書をご覧ください。
4. **読み込むファイル名を確認する画面が表示がされるので、確認して［OK］ボタンを押す。**
5. **実行結果が表示されたら、［OK］ボタンを押す。**
6. **再起動を待って、Web Appを接続し直す。**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ファイルの転送について

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

ご注意

- 電源をスタンバイにすると、本機に通電していてもファイル転送は保留されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

準備：ファイルの転送先を登録する

ファイル転送を開始する前に、あらかじめファイルの転送先サーバーを登録しておきます。

1 Webメニューの［Network］メニュー >［File Transfer］の［Default Upload Server］で、［Server Settings1］（または［Server Settings2］、［Server Settings3］）を選択する。

ヒント

- 選択肢の名前は、次の手順で設定する［Display Name］によって変わります。

2 Webメニューの［Network］メニュー >［FTP Server 1］～［FTP Server 3］に、それぞれ以下の項目を設定する。

［Display Name］
転送先サーバーを選ぶときや転送ジョブ一覧に表示されるサーバー名を入力します。
［Service］
サーバーの種類を表示します。
［FTP］：FTP サーバー
［Host Name］
サーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。
［Port］
サーバーに接続する際のポート番号を入力します。
［User Name］
ユーザー名を入力します。
［Password］
パスワードを入力します。
［Passive Mode］
パッシブモードのON/OFFを行います。
［Destination Directory］
転送先ディレクトリー名を入力します。

ご注意

- 転送先サーバーで使用できない文字を［Destination Directory］に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

［Using Secure Protocol］
セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。
［Root Certificate］
証明書の読み込みや消去を行います。
［Load］：CA証明書を読み込みます。読み込む証明書はPEM形式です。
［Clear］：CA証明書をクリアします。
［None］：読み込み/消去を行いません。

ご注意

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 4096×2160P/3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、［Load］は選択できません。

［Root Certificate Status］：証明書の読み込み状態を表示します。
［Reset］：Server Settingsの設定を初期値に戻します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

サムネイル画面からメモリーカードのプロキシファイルを転送する

サムネイル画面からメモリーカードのプロキシファイルを個別に転送できます。

1. **Web Appの再生操作画面で［Thumbnail］ボタンを押す。**

   カメラ映像がサムネイル画面に変わります。

2. **カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Transfer Clip (Proxy)］で、［Select Clip］を選択する。**

   すべてのプロキシファイルを一括転送する場合は、［Transfer Clip (Proxy)］で［All Clips］を選択してください。
   転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。

3. **転送したいクリップを［Set］ボタンで選択後、［Menu］ボタンを押す。**

   転送実行の確認画面が表示されます。

4. **［Execute］を選択する。**

   選択したクリップに対応するプロキシファイルが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
   転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

5. **［OK］ボタンを押す。**

ご注意

- 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルファイルを転送できます。

1. **Web Appの再生操作画面で［Thumbnail］ボタンを押す。**

   カメラ映像がサムネイル画面に変わります。

2. **カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Transfer Clip］で、［Select Clip］を選択する。**

   すべてオリジナルファイルを一括転送する場合は、［Transfer Clip］で［All Clips］を選択してください。
   転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。

3. **転送したいクリップを［Set］ボタンで選択後、［Menu］ボタンを押す。**

   転送実行の確認画面が表示されます。

4. **［Execute］を選択する。**

   選択したクリップのオリジナルファイルが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
   転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

5. **［OK］ボタンを押す。**

ご注意

- 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ファイルの転送状況を確認する

カメラメニューの［Network］メニュー > ［File Transfer］で［View Job List］を選択すると、ファイル転送の状態を確認することができます。

ご注意

- 転送ジョブは200件まで登録可能です。
- 転送ジョブは本機の電源をスタンバイにしても保持されますが、操作以外の手段で電源を切った場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

ヒント

- カメラメニューの［Network］メニュー > ［File Transfer］で［Auto Upload (Proxy)］を［On］に設定すると、ネットワーク接続状態の場合、記録終了時に［Default Upload Server］で設定されたサーバーに対して自動的にプロキシファイルを送信します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

セキュアなFTP転送を行う

ファイル転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード（FTPES）を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。
セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、［Using Secure Protocol］を［On］に設定し、証明書の読み込みを行います。

- 設定方法については、「準備：ファイルの転送先を登録する」をご覧ください。

関連項目

- 準備：ファイルの転送先を登録する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ストリーミングについて

本機はHDMI端子に出力している映像・音声を、同時にストリーミングすることができます。

ご注意

- ストリーミングを本線映像として使いたい場合は、Webメニューの［Monitoring］メニュー > ［Output Display］で、［SDI］を［On］、［HDMI/Stream］を［Off］に設定し、カメラの状態はSDIモニターで監視してください。
- HDMI端子に接続したモニターが、Webメニューやカメラメニューの［Monitoring］メニューで設定したHDMI出力フォーマットに対応していない場合、Web Appにカメラ映像は出力されません。またストリーミング映像も出力できません。
- ストリーミングの解像度は、HDMI出力信号の解像度より大きくすることはできません。
- 複数人で閲覧する場合、コーデックの設定条件によっては映像が乱れることがあります。

本機は以下のストリーミング方式に対応しています。( )内は選択可能なビデオコーデックです。

- RTSP（H.264、H.265）
- RTMP（H.264）*1
- SRT-Caller（H.264）
- SRT-Listener（H.264）
- NDI｜HX（H.264、H.265）

設定は、ストリーミング方式の設定、ビデオコーデックの設定、オーディオコーデックの設定の順序で行います。

ストリーミング方式	コーデックの設定			
	Video Stream 1	Video Stream 2	Video Stream 3	Audio Stream
RTSP	● video 1	●*2 video 2	—	●
RTMP	●	—	—	●*1
SRT	●	—	—	●
NDI|HX	● Main	● Sub	—	●
Web App	—	—	●	—

●：有効　—：無効

*1 RTMPは、Webメニューの［Stream］メニュー > ［Audio Stream］を［On］に設定したとき選択できます。
*2 システム周波数が59.94または50でHDMI出力フォーマットが3840x2160以上のとき、video 2は出力できません。

ヒント

- Web Appカメラ映像部の映像も、ストリーミングの1系統です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ストリーミング方式を設定する

ストリーミングの方式は、Webメニューの［Stream］メニュー > ［Stream］> ［Stream Setting］の［Setting］で設定します。

［Setting］で［RTSP］を選択した場合

RTSPストリーミングでは、1台のカメラ映像を5人までのユーザーが同時に閲覧可能です。
ビデオコーデックモードを2つまで設定できます。

［Port Number］
RTSP 配信で使用するポート番号を設定します。工場出荷設定値は554です。
設定を変更するとRTSP サーバーが再起動します。

［Time Out］
RTSP配信でKeep-Aliveコマンドによるタイムアウトの時間を指定します。タイムアウトする時間は0秒～600秒の間で指定できます。工場出荷設定値は60秒です。
設定が0秒のときは、Keep-Aliveコマンドによるタイムアウトが発生しません。

［Authentication］
認証の要否を設定します。

［Video Port Number 1］、［Video Port Number 2］
RTSPでユニキャスト配信時に使用する映像データの通信ポート番号を指定します。工場出荷設定値は［Video Port Number 1］は51000、［Video Port Number 2］は53000です。1024～65534の偶数番号を指定してください。実際には映像用のデータ通信・制御用として、ここで設定した番号とそれに1を加えた奇数番号の2つのポート番号が利用されます。
［Video Port Number 1］、［Video Port Number 2］は、それぞれ［Stream］メニュー >［Video Stream］の［Video Stream 1］ 、［Video Stream 2］に対応します。

［Audio Port Number］
RTSPでユニキャスト配信時に使用する音声データの通信ポート番号を指定します。工場出荷設定値は57000です。
1024～65534の偶数番号を指定してください。実際には音声用のデータ通信・制御用として、ここで設定した番号とそれに1を加えた奇数番号の2つのポート番号が利用されます。

［Setting］で［RTMP］を選択した場合

RTMPに使用できるビデオコーデックモードはH.264のみです。RTMPを使用する場合は、Webメニューの［Stream］メニュー >［Audio Stream］を［On］にしておく必要があります。

［Server URL］
アップロード先のURL を設定します。「rtmp://」または「rtmps://」で始まる文字列で指定してください。

［Stream Key］
利用するサイトから取得したストリームキーを入力します。［Clear］ボタンでクリアします。

ご注意

- ストリームキーの取り扱いには充分に注意してください。ストリームキーを第三者に知られると、なりすまして配信される危険性があります。

［Root Certificate］
RTMPSプロトコルでストリーミングするときに必要なルート証明書をインポートします。ルート証明書をインポートするには［Load］ボタンを押して、ルート証明書を選択します。ファイル選択ダイアログで［OK］ボタンを押すと、選択したファイルが本機にインポートされます。インポート済みのルート証明書が本体内にある場合はそのルート証明書が更新されます。インポートした証明書を削除するには設定画面内の［Delete］ボタンを押します。［Root Certificate Status］には、ルート証明書の状態が表示されます。

ご注意

- ルート証明書はストリーミングサービスに必要とされるものをインポートしてください。

［Setting］で［SRT-Caller］または［SRT-Listener］を選択した場合

ビデオコーデックモードはH.264のみです。
［Destination］
ストリーミングモードが［SRT-Caller］の場合に表示されます。接続先URLを設定します。
［Port Number］
ストリーミングモードが［SRT-Listener］の場合に表示されます。待ち受けのポート番号を設定します。工場出荷設定値は4201です。
［Latency］
遅延量を20 ms～8000 msの間で設定します。工場出荷設定値は120です。
［TTL］
TTL値を1～255の間で設定します。工場出荷設定値は64です。
［Encryption］
暗号化方式を選択します。Off、AES128、AES256から選択してください。工場出荷設定値はOffです。
［Passphrase］
暗号化に使用するパスフレーズを設定します。［Clear］ボタンを押すと設定したパスフレーズがリセットされます。
［ARC］
自動レート制御機能を有効にする場合は、Onにします。
自動レート制御機能を有効にすると、通信回線の混雑などにより発生する映像の途切れを軽減することができます。

［Setting］で［NDI|HX］を選択した場合

本機はNewTek社のNDI|HX version 2に準拠しています。
NDI|HXを使用するには、ライセンスキーの購入が必要です。
ライセンスキーの購入先
下記のNewTek URLよりご購入ください。
https://www.newtek.com/ndihx/products/upgrade/

ご注意

- NDI|HXの最新ドライバーをダウンロードしてNewTek製品にインストールしてください。
- NDI|HXへの設定登録および操作方法は、NewTek製品の説明書をご覧ください。

［License］
ライセンスが有効な場合、ライセンス情報が表示されます。
［Source Name］
ソースネームが表示されます。
［Group］
NDIのグルーピング機能を有効にする場合は、Onにします。
［Group Name］：NDIのグループ名を設定します。カンマ区切りで複数設定できます。
［Discovery Server 1］、［Discovery Server 2］
NDIディスカバリ-サーバー1、NDIディスカバリーサーバー2を設定します。
［Reliable UDP Mode］
Reliable UDPモードを有効にする場合は、Onにします。
［Multicast Mode］
マルチキャスト配信を有効にする場合は、Onにします。
［Multicast Prefix］：マルチキャスト配信で使用するプリフィックスを設定します。
［Multicast Netmask］：ネットマスクでマルチキャストアドレスの範囲を設定します。
［Multicast TTL］：マルチキャスト配信のTTLを1～256の間で設定します。工場出荷設定値は3です。
［Multi-TCP Mode］
Multi-TCPモードを有効にする場合は、Onにします。
［Unicast UDP Mode］
Unicast UDPモードを有効にする場合は、Onにします。

他社のサービスおよびソフトウェアについて

別途の利用条件が適用される場合があります。

- サービスやソフトウェア更新の提供が予告なく中断、または終了する場合があります。
- サービスやソフトウェアの内容が予告なく変更される場合があります。
- 別途の登録や料金の支払いが必要になる場合があります。

他社のサービスおよびソフトウェアを使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ストリーミングのビデオコーデックを設定する

ビデオコーデックの方式は、Webメニューの［Stream］メニュー > ［Video Stream］で設定します。

［Video Stream 1］、［Video Stream 2］、［Video Stream 3］

映像のコーデックモードを3つまで設定できます。各映像モードに対してそれぞれ以下の設定をしてください。
なお［Video Stream 3］は、Web Appカメラ映像部の表示用です。

ご注意

- ［Stream］メニュー > ［Stream Setting］の［Setting］で［RTMP］、［SRT-Caller］または［SRT-Listener］を選択している場合は、［Video Stream 1］、［Video Stream 2］、［Video Stream 3］の一部の設定（［Codec］、［Size］、［Frame Rate］、［Bit Rate Compression Mode］）が初期値になります。

［Codec 1］、［Codec 2］、［Codec 3］

［H.264］、［H.265］または［Off］を選択します。ただし、［Codec 1］は［Off］にできません。また［Codec 3］は［JPEG］に固定です。

ご注意

- ［Codec 1］、［Codec 2］、［Codec 3］の画像サイズ、フレームレート、ビットレートなど各種設定の組み合わせによっては、以下の症状が発生することがあります。
  - 映像の遅延が大きくなる。
  - 映像再生時にフレームスキップが生じる。
  - 音声が途切れ途切れになる。
  - さまざまなコマンドに対しカメラの応答が遅くなる。
  - リモートコントローラーからの操作に対しカメラの応答が遅くなる。
  - モニター画面の表示およびカメラ設定の動作が遅くなる。

  このような症状が発生した場合は、画像サイズ、フレームレート、ビットレートのパラメーターの値を小さくしたり、その他の設定パラメーターの値を変更することで調整してください。
- ［Stream］メニュー > ［Stream Setting］の［Setting］で［RTMP］、［SRT-Caller］または［SRT-Listener］を選択している場合は、［Codec 1］は［H.264］に固定になります。［Codec 2］は［Off］固定になります。
- HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、［Codec 2］は［Off］になります。

［Size 1］、［Size 2］、［Size 3］

カメラから配信される画像サイズを選択します。
HDMI出力の画サイズによって、選択できる画像サイズが変わります。

ご注意

- HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、変更後に選択可能な最大画サイズになります。

［Frame Rate 1］、［Frame Rate 2］、［Frame Rate 3］

映像のフレームレートを設定します。
“fps”は1秒間に配信されるフレーム数を示す単位です。
HDMI出力の画サイズによって、選択できるフレームレートが変わります。

ご注意

- HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、変更後に選択可能な最高フレームレートになります。

［I-Picture Mode 1］、［I-Picture Mode 2］
H.264およびH.265のIピクチャーの挿入間隔の指定方法を、［Time］と［Frame］から選択します。
［Codec 3］では設定できません。
［Time］：I ピクチャーを挿入する間隔を時間で設定します。
［Frame］：I ピクチャーを挿入する間隔をフレーム数で設定します。
［I-Picture Interval 1］、［I-Picture Interval 2］
Iピクチャー挿入間隔を秒単位で設定します。1秒～5秒の間で設定します。工場出荷設定値は1秒です。
［Codec 3］では設定できません。
［I-Picture Ratio 1］、［I-Picture Ratio 2］
H.264およびH.265のIピクチャーの挿入する間隔を15～300の間のフレーム数で設定します。工場出荷設定値は300フレームです。
［Codec 3］では設定できません。
［Profile 1］、［Profile 2］
H.264またはH.265コーデック映像のプロファイルを設定します。
［H.264］：［high］、［main］、［baseline］方式から選択します。
［H.265］：［main］、［main10］方式から選択します。動画コーデックを2つとも有効化する場合には［main］プロファイルのみの選択肢となります。
映像の圧縮効率は［high］、［main］、［baseline］の順で高いものになります。お使いのシステムにあった方式を選択してください。
［H.265］で［main10］を選択した場合、HDMI出力がYCrCbのときは［main10］で動作し、RGBのときは［main］で動作します。
［Codec 3］では設定できません。
［Bit Rate Compression Mode 1］、［Bit Rate Compression Mode 2］
［CBR］または［VBR］を選択します。
ビットレートを一定に保ちたい場合は［CBR］を選択し、画質を一定に保ちたい場合は［VBR］を選択してください。
［Codec 3］では設定できません。

ご注意

- 実際に配信されるフレームレートやビットレートは、画像サイズ、撮影シーン、ネットワーク環境などによって設定値とは異なる場合があります。
- ［Stream］メニュー > ［Stream Setting］の［Setting］で ［RTMP］、［SRT-Caller］または［SRT-Listener］を選択している場合は、［Bit Rate Compression Mode 1］は［CBR］固定になります。

［Bit Rate 1］、［Bit Rate 2］
［Bit Rate Compression Mode］を［CBR］にしたときに、映像配信の１回線あたりのビットレートを設定できます。ビットレートを大きい値に設定すると高画質な映像を配信できます。
［Codec 3］では設定できません。
［Quality 1］、［Quality 2］、［Quality 3］
画質を1～10の間で設定します。10が最高画質になります。工場出荷設定値は6です。
［Quality 1］と［Quality 2］の場合、［Bit Rate Compression Mode］の設定を［VBR］、［Codec］の設定を［H.264］にするとH.264の画質を設定できます。［Bit Rate Compression Mode］の設定を［VBR］、［Codec］の設定を［H.265］にするとH.265の画質を設定できます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ストリーミングのオーディオコーデックを設定する

オーディオコーデックの方式は、Webメニューの［Stream］メニュー >［Audio Stream］で設定します。

［Setting］

オーディオのストリーミング送信を有効にする場合は、Onにします。

ご注意

- RTMPを選択するときは必ず事前にOnに設定してください。

［Codec］

音声を送信する場合に使用するコーデックの種類を選択します。
［AAC (256kbps)］：音質を重視する場合に選択してください。
［AAC (128kbps)］：データ容量を重視する場合に選択してください。
この設定は、本機で記録するクリップやHDMI/SDIへ重畳された音声信号には影響しません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ストリーミングを開始する/停止する

［RTSP］、［SRT-Listener］、［NDI|HX］の場合

本機はストリーミング配信要求待ち状態になっています。
ストリーミング視聴用のクライアントアプリをご用意のうえ、以下の表に記載のURLへアクセスしてください。
ユーザー名、パスワードには、本機に設定したユーザー名、パスワードを入力します。

ストリーミング方式		URL
RTSP	Video Stream 1	rtsp://<camera_address>:<Port>/video1
	Video Stream 2	rtsp://<camera_address>:<Port>/video2
SRT-Listener		srt://<camera_address>:<Port>
NDI|HX		NDI|HX対応クライアント機器の取扱説明書をご覧ください。

<camera_address>：本機のIPアドレス
<Port>：［Port Number］で設定した待ち受けポート番号

ご注意

- すべてのアプリケーションや機器での再生を保証するものではありません。

［RTMP］、［SRT-Caller］の場合

ライブ操作画面の(Stream)タブの［Stream now］ボタンを押すと、配信が開始されます。このときボタンは［Stop stream］に変わり、カメラ映像部の上部に［Stream］アイコンが表示されます。
配信中に［Stop stream］ボタンを押すと、配信が停止されます。ボタンは［Stream now］ボタンに戻り、カメラ映像部上部の［Stream］アイコンが非表示になります。

ご注意

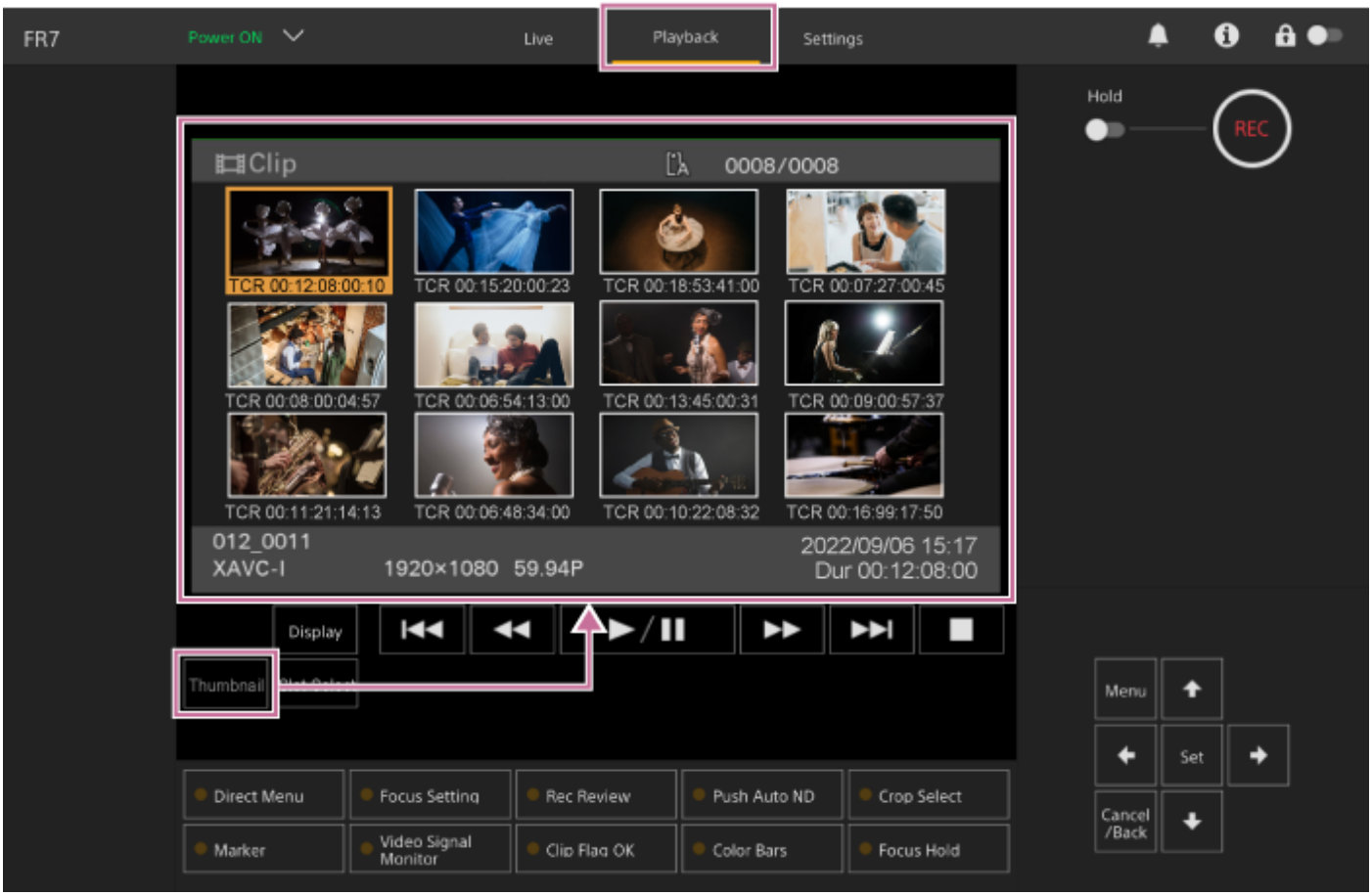
- すべてのアプリケーションや機器での再生を保証するものではありません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

サムネイル画面

再生操作画面の［Thumbnail］ボタンまたは赤外線リモコンのTHUMBNAILボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、カメラ映像部に表示されます。このカメラ映像部の表示をサムネイル画面と呼びます。
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。
サムネイル画面表示中に［Thumbnail］ボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影中の映像表示に戻ります。

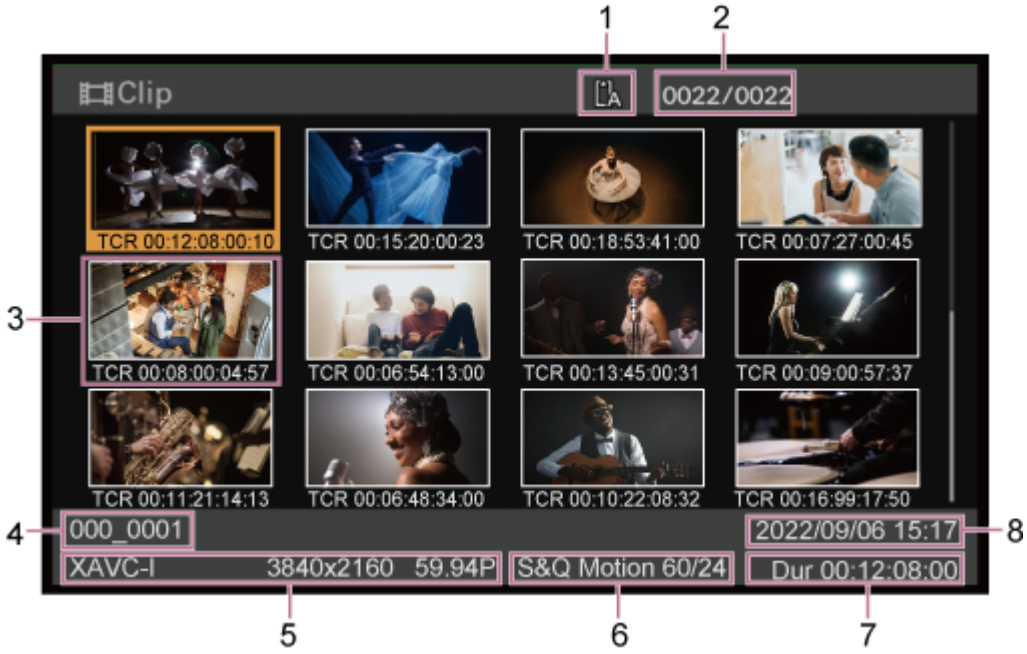


ご注意

- サムネイル画面には、現在選択している記録フォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット（初期化）などを行う際にはご注意ください。

画面の構成

選択中のクリップはサムネイルの背面がオレンジ色で表示されます。
画面下部には、選択中のクリップの情報が表示されます。



1. **選択中のメモリーカード**
   メモリーカードがプロテクトされている場合は右にロックマークが付きます。

2. **クリップ番号/クリップ総数**

3. **サムネイル（縮小画）**
   各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。
   サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。カメラメニューの［Thumbnail］メニュー>［Customize View］の［Thumbnail Caption］で表示内容を変更できます。

4. **クリップ名**
   選択しているクリップのクリップ名が表示されます。

5. **記録フォーマット**
   選択しているクリップのファイルフォーマットが表示されます。

6. **特殊記録撮影情報**
   特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。
   スロー＆クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

7. **クリップの収録時間（Duration）**

8. **作成日時**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

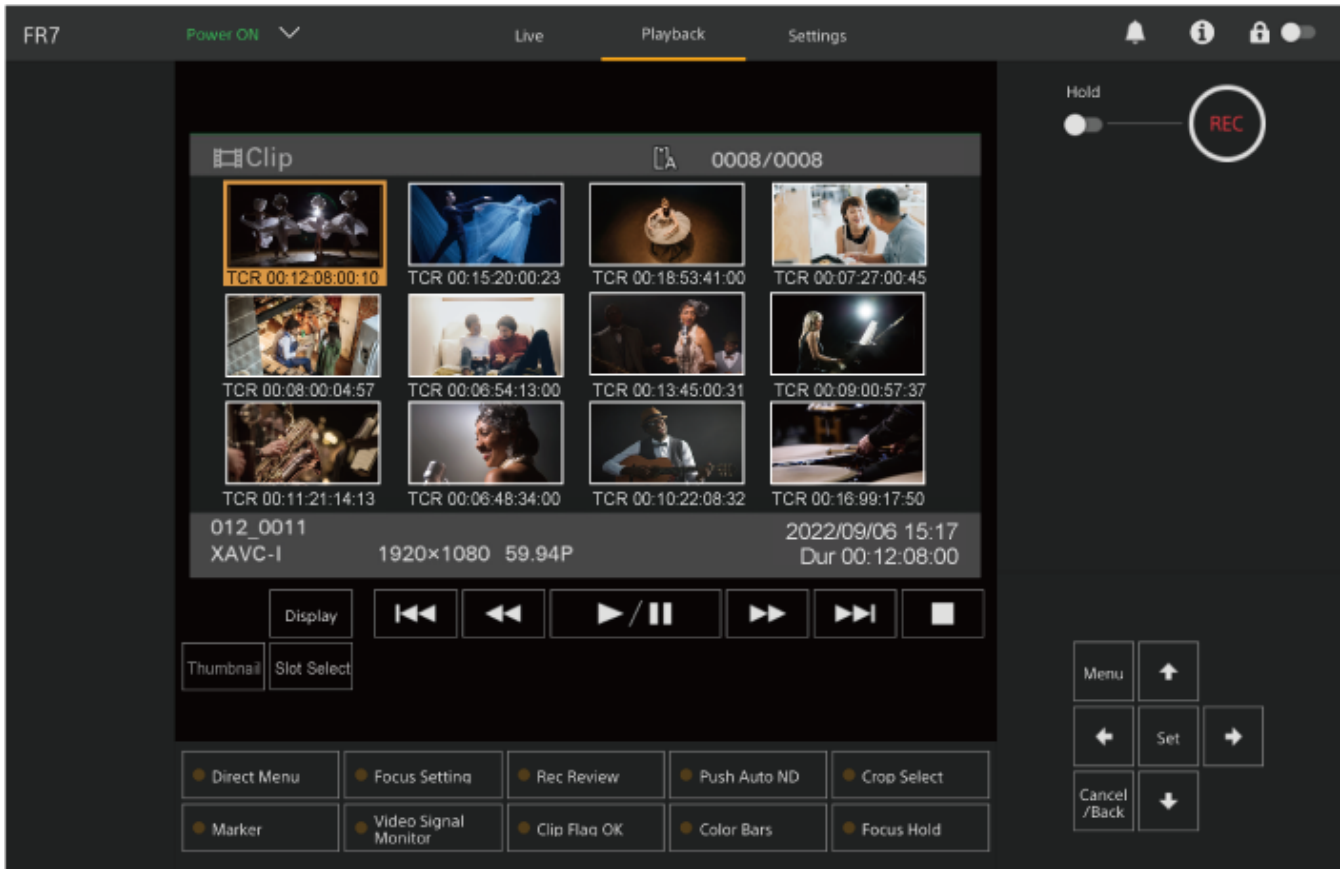
記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。
クリップをGUI操作部で再生する方法を説明します。

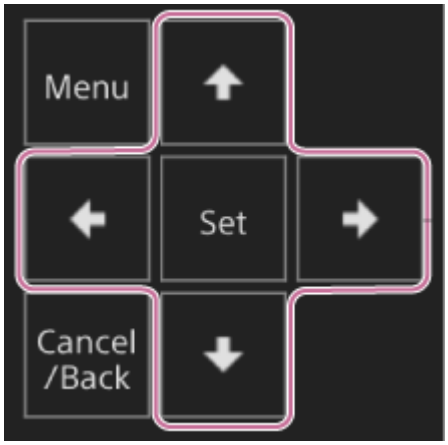
1 再生するメモリーカードを入れる。

2 ［Thumbnail］ボタンを押す。

クリップのサムネイルが表示されます。



3 GUI操作部の矢印ボタンを操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。



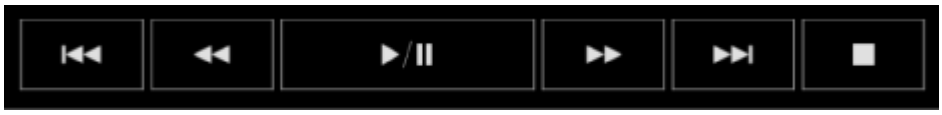
ご注意

- タッチ操作でクリップ選択はできません。

4 GUI操作部の［Set］ボタンを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。

5 必要に応じて再生操作部を操作する。



ボタン	機能
（Play/Pause）ボタン	クリップを再生します。再生中は一時停止します。
（Fast Forward）ボタン、（Fast Reverse）ボタン	クリップを高速再生します。ボタンを押すと再生速度が3段階で変わります。
（Previous）ボタン、（Next）ボタン	クリップの先頭または前後のクリップに移動します。
（Stop）ボタン	再生を停止して、撮影画面へ遷移します。

ヒント

- GUI操作部でも操作できます。
  - 再生：［Set］ボタンを押します。
  - 再生の一時停止：再生中に［Set］ボタンを押します。もう一度押すと再生に戻ります。
  - クリップの先頭または前後のクリップへの移動：右ボタン/左ボタンを押します。
  - 高速再生：右ボタン/左ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと標準速再生に戻ります。
  - 再生の停止：［Cancel/Back］ボタンを押します。

ご注意

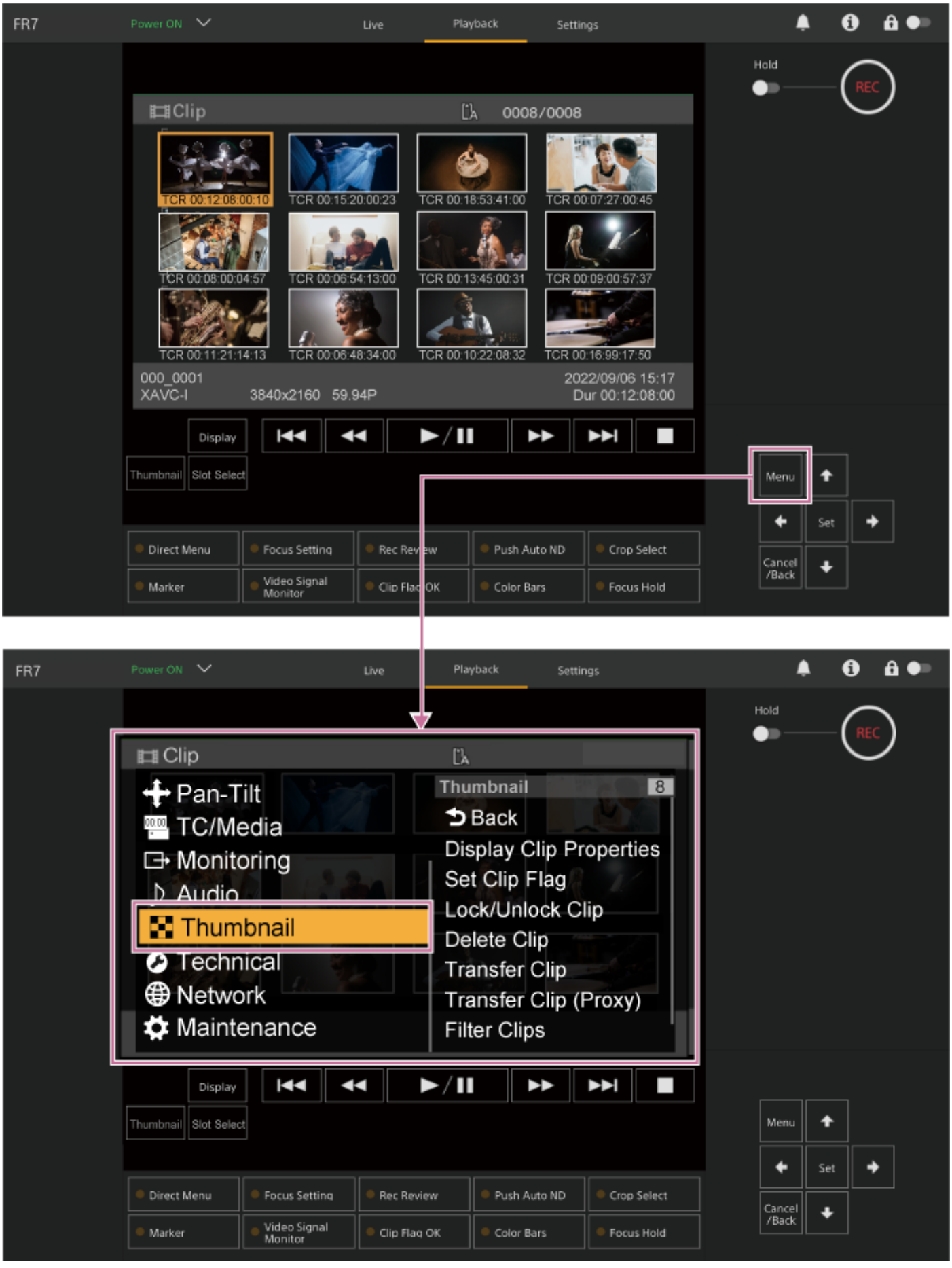
- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れのない映像で再生するには、一度再生した後で一時停止にし、（Previous）ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

記録したクリップを操作する

サムネイル画面では、カメラメニューの［Thumbnail］メニューを使用して、クリップの操作や詳細情報の確認などができます。
再生操作画面の［Menu］ボタンを押すと、カメラ映像部にカメラメニューが表示されます。
カメラメニューの［Thumbnail］メニューで以下の操作を行います。



ヒント

- カメラメニューは、ライブ操作画面の［Menu］ボタンを押して表示することもできます。

カメラメニューの［Thumbnail］メニューの操作方法

GUI操作部の矢印ボタンを操作して機能を選択し、［Set］ボタンを押して設定を確定します。
［Cancel/Back］ボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

カメラメニューの［Thumbnail］メニューには、以下のクリップ操作に関するメニューがあります。
［Display Clip Properties］
［Set Clip Flag］
［Lock/Unlock Clip］
［Delete Clip］
［Transfer Clip］
［Transfer Clip (Proxy)］
［Filter Clips］
［Customize View］

- 各メニューについて詳しくは、「Thumbnailメニュー」をご覧ください。

クリップの詳細情報画面を見るには

カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Display Clip Properties］を選択すると、クリップの詳細情報画面が表示されます。
⏮（Previous）ボタン、⏭（Next）ボタンを押すと、前後のクリップへ移動することができます。

クリップフラグを付けるには

クリップにクリップフラグ（OK、NG、KPマーク）を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。
クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Set Clip Flag］からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
［Add OK］	OK
［Add NG］	NG
［Add KEEP］	KP

ヒント

- クリップフラグ機能を割り当てたアサイナブルボタン使用してクリップフラグを付けることもできます。

フィルタードクリップサムネイル画面を表示するには

カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Filter Clips］で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。
すべてのクリップを表示するには、［All］を選んでください。
［Display］ボタンを押して、フラグ別のサムネイル表示と切り替えることもできます。

クリップを削除するには

メモリーカードからクリップを削除することができます。
カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Delete Clip］から［Select Clip］または［All Clips］を選びます。
［Select Clip］：任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。
［All Clips］：表示されているすべてのクリップを削除します。

サムネイル画面の情報を変更するには

サムネイルの下に表示されるクリップ／フレーム情報を変更できます。
カメラメニューの［Thumbnail］メニュー >［Customize View］の［Thumbnail Caption］から表示したい内容を選びます。

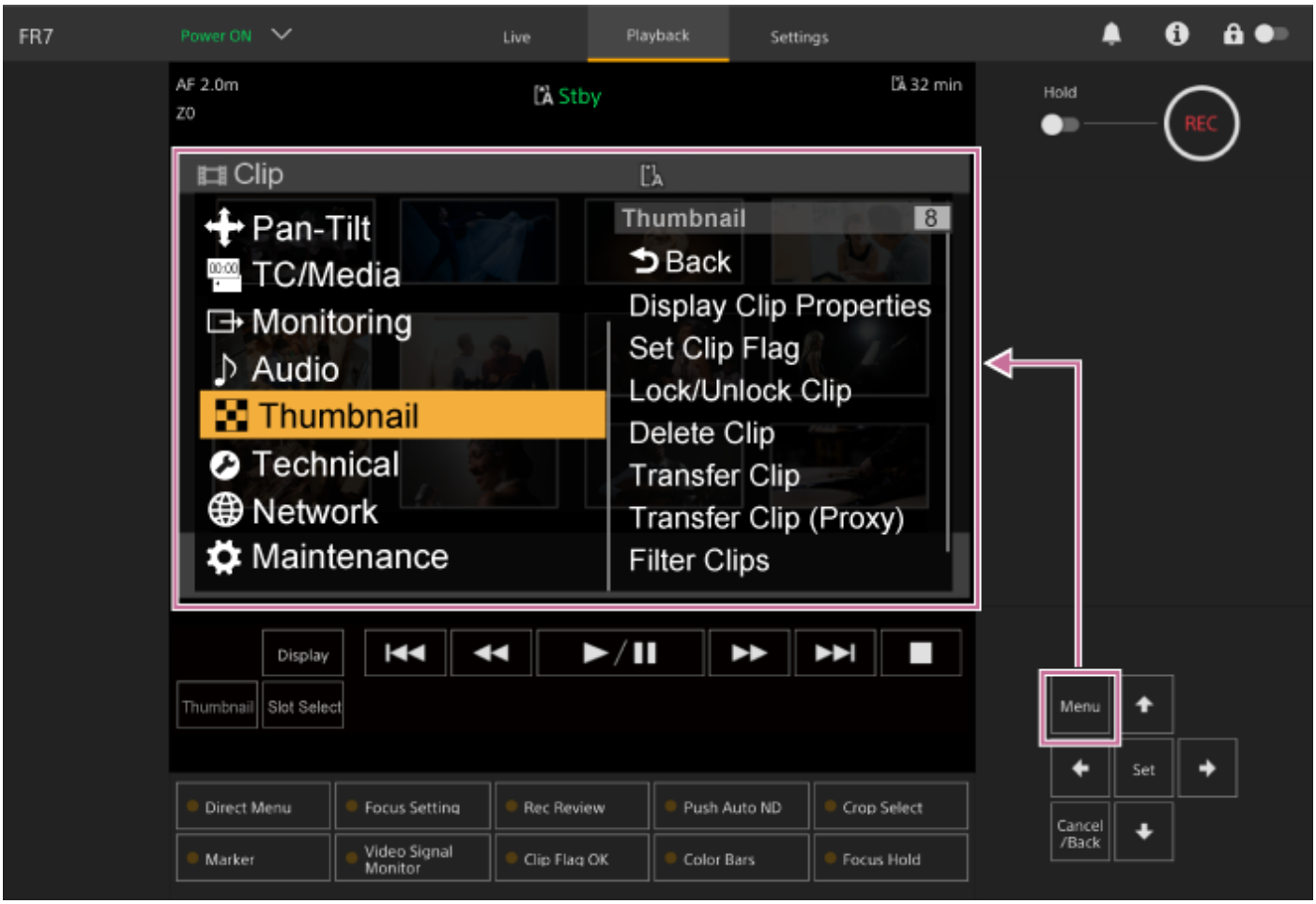
［Date Time］：作成日時または最終変更日時
［Time Code］：タイムコード
［Duration］：収録時間
［Sequential Number］：サムネイル番号

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

カメラメニューの構成

GUI操作部の［Menu］ボタンまたは赤外線リモコンのMENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うカメラメニューがカメラ映像部に表示されます。



下記のメニューから選択して設定します。

メニュー構成

［User］メニュー
任意の設定を集めたメニュー
［Edit User Menu］から編集できます。
［Edit User］メニュー
［User］メニューの編集に関する設定
［Shooting］メニュー
撮影に関する設定
［Project］メニュー
プロジェクトの基本的な設定
［Paint/Look］メニュー
画質に関する設定
［Pan-Tilt］メニュー
パン・チルトに関する設定
［TC/Media］メニュー
タイムコードと記録メディアに関する設定

［Monitoring］メニュー
ビデオ出力や画面表示出力に関する設定
［Audio］メニュー
音声に関する設定
［Thumbnail］メニュー
サムネイル表示に関する設定
［Technical］メニュー
技術的な内容の設定
［Network］メニュー
ネットワークに関する設定
［Maintenance］メニュー
時計や言語設定などの機器設定

カメラメニューの構成と階層

第1階層	第2階層
User （工場出荷時の設定）	Base Setting
	Focus
	S&Q Motion
	LUT On/Off
	Simul Rec
	Proxy Rec
	Interval Rec
	Picture Cache Rec
	Assignable Button
	Scene File
	Base Look
	P/T Acceleration
	Clip Name Format
	Format Media
	Video Signal Monitor
	Marker
	Zoom
	Lens
	Edit User Menu

第1階層	第2階層
Shooting	ISO/Gain/EI
	ND Filter
	Shutter
	Iris
	Auto Exposure
	White
	White Setting
	Offset White
	Focus
	S&Q Motion
	LUT On/Off
	Noise Suppression
	Flicker Reduce
	SteadyShot
Project	Base Setting
	Rec Format
	Cine EI/Flex.ISO Set
	Simul Rec
	Proxy Rec
	Interval Rec
	Picture Cache Rec
	SDI/HDMI Rec Control
	Assignable Button
Paint/Look	Scene File
	Base Look
	Reset Paint Settings
	Black
	Knee
	Detail
	Matrix
	Multi Matrix

第1階層	第2階層
Pan-Tilt	P/T Acceleration
TC/Media	Timecode
	TC Display
	Users Bit
	HDMI TC Out
	Clip Name Format
	Update Media
	Format Media
	Media Life
Monitoring	Output Format
	Display On/Off
	Video Signal Monitor
	Marker
Audio	Audio Input
	Audio Output
Thumbnail	Display Clip Properties
	Set Clip Flag
	Lock/Unlock Clip
	Delete Clip
	Transfer Clip
	Transfer Clip (Proxy)
	Filter Clips
	Customize View
Technical	Color Bars
	Genlock
	Tally
	Rec Review
	Zoom
	Lens
	APR

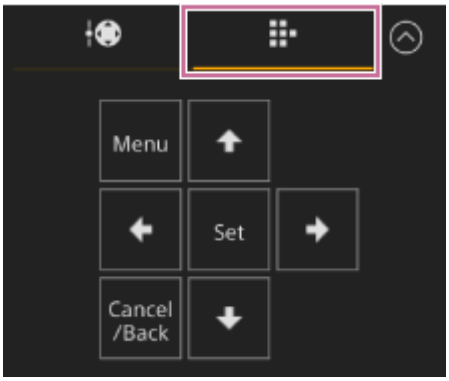
第1階層	第2階層
Network	Wired LAN
	File Transfer
Maintenance	Language
	Clock Set
	Hours Meter

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

カメラメニューの操作方法

GUI操作部の［Menu］ボタンまたは赤外線リモコンのMENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うカメラメニューがカメラ映像部に表示されます。
メニューの操作はGUI操作部のボタンで行います。



［Menu］ボタン：押すとカメラメニューを表示します。カメラメニューの表示中に押すと、非表示にします。
矢印ボタン：矢印ボタンを押すと、カーソルがカメラメニュー上で上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
［Set］ボタン：押すと選択している項目を決定します。
［Cancel/Back］ボタン：1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

メニューを設定する

GUI操作部の矢印ボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、［Set］ボタンを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行表示です。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：－99 ～ +99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目で［Execute］を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。

1 GUI操作部の矢印ボタンを押して、入力したい文字タイプを選択し、決定する。

［ABC］：英大文字
［abc］：英小文字
［123］：数字
［!#$］：特殊文字

2 文字を選択し、［Set］ボタンを押して決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
［Space］：カーソルの位置にスペースを入力します。
［←］［→］：カーソル位置を移動します。
［BS］：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、［Done］ボタンを押して決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

User

各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

メニュー項目	内容
Base Setting	Project > Base Settingの内容
Focus	Shooting > Focusの内容
S&Q Motion	Shooting > S&Q Motionの内容
LUT On/Off	Shooting > LUT On/Offの内容
Simul Rec	Project > Simul Recの内容
Proxy Rec	Project > Proxy Recの内容
Interval Rec	Project > Interval Recの内容
Picture Cache Rec	Project > Picture Cache Recの内容
Assignable Button	Project > Assignable Buttonの内容
Scene File	Project > Scene Fileの内容
Base Look	Paint/Look > Base Lookの内容
P/T Acceleration	Pan-Tilt > P/T Accelerationの内容
Clip Name Format	TC/Media > Clip Name Formatの内容
Format Media	TC/Media > Format Mediaの内容
Video Signal Monitor	Monitoring > Video Signal Monitorの内容
Marker	Monitoring > Markerの内容
Zoom	Technical > Zoomの内容
Lens	Technical > Lensの内容
Edit User Menu	Edit Userメニューを表示

ご注意

- ［User］メニューは［Edit User］メニューによってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Edit User

［User］メニューで［Edit User Menu］を選択すると、［Edit User］メニューが第1階層に表示されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Add Item ［User］メニュー項目の追加	—	—	［User］メニューに第2階層の項目を追加する。
Customize Reset ［User］メニュー項目のリセット	—	—	［User］メニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集中に選択した第2階層の項目	Delete	—	［User］メニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	Move	—	［User］メニューに登録した項目を並べ替える。
	Edit Sub Item	—	［User］メニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集（登録・削除）する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

ISO/Gain/EI

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	ISO/dB	dB	ゲイン設定モードを選択する。
ISO/Gain<L>	● 設定項目について詳しくは、「ISO/Gainメニューの設定値と初期値」をご覧ください。	—	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
Exposure Index<L>	**Base ISOがISO 800のとき：** 200EI / 4.0E 250EI / 4.3E 320EI / 4.7E 400EI / 5.0E 500EI / 5.3E 640EI / 5.7E 800EI / 6.0E 1000EI / 6.3E 1250EI / 6.7E 1600EI / 7.0E 2000EI / 7.3E 2500EI / 7.7E 3200EI / 8.0E **Base ISOがISO 12800のとき：** 3200EI / 4.0E 4000EI / 4.3E 5000EI / 4.7E 6400EI / 5.0E 8000EI / 5.3E 10000EI / 5.7E 12800EI / 6.0E 16000EI / 6.3E 20000EI / 6.7E 25600EI / 7.0E 32000EI / 7.3E 40000EI / 7.7E 51200EI / 8.0E	**Base ISOがISO 800のとき：**800EI/6.0E **Base ISOがISO 12800のとき：**12800EI/6.0E	Exposure Index<L>を設定する。
Shockless Gain	On / Off	Off	ショックレスゲイン機能をOn/Offする。
Base Sensitivity	High / Low	Low	Customモード用の基準感度を設定する。
Base ISO	ISO 12800 / ISO 800	ISO 800	Cine EI/Flexible ISOモード用の基準ISO感度を設定する。

関連項目

- ISO/Gainメニューの設定値と初期値

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

ND Filter

NDフィルターのプリセット値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	Preset / Variable	Variable	NDフィルターのモードを選択する。
Preset1	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/4	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
Preset2	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/16	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
Preset3	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/64	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Shutter

電子シャッターの動作を設定します。
動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	Speed / Angle	Speed	秒数でシャッター速度を設定するSpeed(スピード)モードと、開角度でシャッター速度を設定するAngle(角度)モードから選択する。
Shutter Speed On/Off	On / Off	Off	Speedモード選択時の露光時間を、［Shutter Speed］の設定値に従うかフル露光にするかを設定する。
Shutter Speed	64F ～ 1/8000 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。 **59.94Pのとき：**64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 **50Pのとき：**64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 **29.97Pのとき：**64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 **25Pのとき：**64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 **24P/23.98Pのとき：**64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	**59.94Pのとき：** 1/60 **50Pのとき：** 1/50 **29.97Pのとき**：1/30 **25Pのとき：** 1/25 **24P/23.98Pのとき：**1/24	Speedモード選択時、シャッタースピードを設定する。
Shutter Angle	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	Angleモード選択時、開角度を設定する。
ECS On/Off	On / Off	Off	Extended Clear Scanの設定をOn/Offする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
ECS Frequency	23.99 ～ 8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのフレーム周波数によって異なります。	**59.94Pのとき：**60.00 **50Pのとき：**50.00 **29.97Pのとき：**30.00 **23.98Pのとき：**23.99 **25Pのとき：**25.02 **24Pのとき：**24.02	ECSモード 選択時、ECS周波数を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Iris

アイリスに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Bokeh Control	On / Off	Off	ボケ調節機能をOn/Offする。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Auto Exposure

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Level	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / −0.25 / −0.5 / −0.75 / −1.0 / −1.25 / −1.5 / −1.75 / −2.0 / −2.25 / −2.5 / −2.75 / −3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
Mode	Backlight / Standard / Spotlight	Standard	自動露出調整の動作モードを設定する。 **Backlight :** バックライトモード（中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード） **Standard :** 標準モード **Spotlight :** スポットライトモード（中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード）
Speed	−99 ～ +99	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
AGC	On / Off	Off	AGC（オートゲインコントロール）機能をOn/Offする。
AGC Limit	● 設定項目について詳しくは、「AGC Limitメニューの設定値と初期値」をご覧ください。	—	AGC機能の最大ゲインを設定する。
AGC Point	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	AGC機能がOnのとき、AGCを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
Auto Shutter	On / Off	Off	オートシャッターコントロール機能をOn/Offする。
A.SHT Limit	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
A.SHT Point	F5.6 / F8 / F11 / F16	F11	オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
Clip High light	On / Off	Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をOn/Offする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Detect Window	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / Custom	1	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。（露出を手動調整しているときは無効）
Detect Window Indication	On / Off	Off	測光範囲の表示をOn/Offする。
Custom Width	40 ～ 999	500	測光範囲の幅を設定する。
Custom Height	70 ～ 999	500	測光範囲の高さを設定する。
Custom H Position	−479 ～ +479	±0	測光範囲の水平位置を設定する。
Custom V Position	−464 ～ +464	±0	測光範囲の垂直位置を設定する。

関連項目

- AGC Limitメニューの設定値と初期値

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

White

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Preset White	2000K ～ 15000K	3200K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
Color Temp <A>	2000K ～ 15000K	3200K	メモリーAに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 **ご注意** ● Color Tempは、R Gain/B Gain操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R Gain/B Gain値の正確なColor Temp値を表示できない場合があります。
Tint<A>	−99 ～ +99	±0	ホワイトメモリーAに保存されたホワイトバランスのTint値を設定する。 **ご注意** ● Tintは、R Gain/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R Gain/B Gain値の正確なTint値を表示できない場合があります。
R Gain <A>	−99.0 ～ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain <A>	−99.0 ～ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

White Setting

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Shockless White	Off / 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 **Off :** 瞬時に切り替わる。 **1 ～ 3 :** 数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
ATW Speed	1 / 2 / 3 / 4 / 5	3	ATWモード時の反応速度を設定する。 1が最も反応速度が速く、5が最も反応速度が遅い。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Offset White

ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Offset White <A>	On / Off	Off	メモリーAのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か付加しないか（Off）を選択する。
Offset Color Temp<A>	−99 ～ +99	±0	［Offset White <A>］がOnの場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
Offset Tint<A>	−99 ～ +99	±0	［Offset White <A>］がOnの場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加するTint方向のオフセットを設定する。
Offset White<ATW>	On / Off	On	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か付加しないか（Off）を選択する。
Offset Color Temp<ATW>	−99 ～ +99	±0	［Offset White<ATW>］がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
Offset Tint<ATW>	−99 ～ +99	±0	［Offset White<ATW>］がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するTint方向のオフセットを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Focus

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
AF Transition Speed	1(Slow) / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7(Fast)	5	オートフォーカス中の被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定する。
AF Subj. Shift Sens.	1(Locked On) / 2 / 3 / 4 / 5(Responsive)	5(Responsive)	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定する。
Focus Area	Wide / Zone / Flexible Spot	Wide	オートフォーカス、プッシュオートフォーカス（AF）の対象とする領域を設定する。 ・「フォーカスを自動調節する（オートフォーカス）」および「オートフォーカスの対象領域/位置を設定する（フォーカスエリア）」参照 **Wide :** 映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 **Zone :** 指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 **Flexible Spot :** 映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
Focus Area (AF-S)	Flexible Spot	Flexible Spot	プッシュオートフォーカス（AF-S）の対象とする領域を設定する。
Face/Eye Detection AF	Face/Eye Only AF / Face/Eye Priority AF / Off	Face/Eye Priority AF	顔検出AFの有効/無効を設定する。 ・「顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）」参照
Push AF Mode	AF / Single-shot AF(AF-S)	AF	プッシュオートフォーカスのモードを設定する。
Touch Function in MF	Tracking AF / Spot Focus	Tracking AF	MF時にWeb Appライブ操作画面のカメラ映像をタッチしたときの動作を設定する。
AF Assist	On / Off	On	Onに設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。 ・「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）」および「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」参照

関連項目

- オートフォーカスの対象領域/位置を設定する（フォーカスエリア）
- 顔や瞳を検出して追尾する（顔/瞳検出AF）
- Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）
- オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

S&Q Motion

スロー＆クイックモーションモードの設定を行います（「スロー＆クイックモーション」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	スロー＆クイックモーションモードをOn/Offする。
Frame Rate	1fps ～ 60fps / 100fps / 120fps / 150fps / 180fps / 200fps / 240fps	—	スロー＆クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 **ご注意** ・設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

関連項目

- スロー＆クイックモーション

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

LUT On/Off

LUTの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
SDI	MLUT On / MLUT Off	MLUT Off	SDI出力映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
HDMI/Stream	MLUT On / MLUT Off	MLUT Off	HDMIおよびストリーミングの出力映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
Proxy	MLUT On / MLUT Off	MLUT Off	Proxy記録映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
Internal Rec	MLUT On / MLUT Off	MLUT Off	本線記録映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
LUT On/Off Button Target	SDI / HDMI/Stream / SDI & HDMI/Stream	HDMI/Stream	アサイナブルボタンのLUT On/Offの操作対象となる出力系統を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Noise Suppression

ノイズサプレスの設定を行います。

ヒント

- ［Setting(Custom)］と［Level(Custom)］の設定値はそれぞれ［Target Display］の設定に反映されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting(Custom)	On / Off	On	Customモード時のノイズサプレス機能をOn/Offする。
Level(Custom)	Low / Mid / High	Mid	Customモード時のノイズサプレスのレベルを設定する。
Setting (Cine EI/Flex. ISO)	On / Off	Off	Log撮影モード時のノイズサプレス機能をOn/Offする。
Level (Cine EI/Flex. ISO)	Low / Mid / High	Mid	Log撮影モード時のノイズサプレスのレベルを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Flicker Reduce

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	Auto / On / Off	Off	フリッカー補正モードを設定する。
Frequency	50Hz / 60Hz	60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

SteadyShot

画像ブレ補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	Active / Standard / Off	Off	画像ブレ補正機能を設定する。 **ご注意** ・対応レンズ装着時のみ設定できます。 ・ActiveまたはStandardに設定したとき、パン・チルト動作時に予期しない動作をすることがあります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Base Setting

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Shooting Mode	Custom / Flexible ISO / Cine EI Quick / Cine EI	Custom	撮影モードを設定する。 ・「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」参照
Target Display	SDR(BT.709) / HDR(HLG)	SDR(BT.709)	Customモード時の記録/出力の色域を設定する。

関連項目

- 本機の基本動作を設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Rec Format

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Frequency	59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
Imager Scan Mode	FF / S35	FF	イメージャーサイズを選択する。
Codec	RAW / RAW & XAVC-I / XAVC-I / XAVC-L	XAVC-I	クリップの記録・再生コーデックを設定する。 **ご注意** ● ［Imager Scan Mode］が［S35］の場合は、［RAW］と［RAW & XAVC-I］は選択できません。
RAW Output Format	［Frequency］の設定に応じて変わる。 ● 下記「RAW Output Format設定値表」参照。	—	外部RAWレコーダーに出力するRAW画像のサイズを設定する。 **ご注意** ● ［Codec］が［RAW & XAVC-I］のときは、［Video Format］が［RAW Output Format］に連動して切り替わります。
Video Format	［Frequency］、［Imager Scan Mode］および［Codec］の設定に応じて変わる。 ● 下記「Video Format設定値表」参照。	—	画像サイズ・ビットレートを設定する。

［RAW Output Format］設定値表

Frequency	Imager Scan Mode	Codec	設定値
59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	FF	RAW / RAW & XAVC-I	4096×2160 **3840×2160**
24	FF	RAW / RAW & XAVC-I	**4096×2160**

- 太字の設定値は初期値です。
- ［RAW Output Format］を設定できない条件は省略しています。

［Video Format］設定値表

Frequency	Imager Scan Mode	Codec	設定値
59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	FF	RAW	—
		RAW & XAVC-I	4096×2160P **3840×2160P**
		XAVC-I	4096×2160P **3840×2160P** 1920×1080P
		XAVC-L	**3840×2160P** 1920×1080P 50 1920×1080P 35
	S35	XAVC-I	**1920×1080P**
		XAVC-L	**1920×1080P 50** 1920×1080P 35
24	FF	RAW	—
		RAW & XAVC-I / XAVC-I	**4096×2160P**

- 太字の設定値は初期値です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Cine EI/Flex.ISO Set

Log撮影モードの設定を行います（「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Color Gamut	S-Gamut3/SLog3 / S-Gamut3.Cine/SLog3	S-Gamut3.Cine/SLog3	Log撮影モード（［Flexible ISO］、［Cine EI Quick］、［Cine EI］）時の色域を設定する。
Embed LUT File	On / Off	On	3D LUTファイル(CUBEファイル)のメタデータ記録をOn/Offする。

関連項目

- 本機の基本動作を設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Simul Rec

2スロット同時記録の設定を行います（「メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録するには（2スロット同時記録）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	2スロット同時記録モードをOn/Offする。
Rec Button Set	Rec Button:<Slot A> <Slot B> 2nd Rec Button:<Slot A> <Slot B> / Rec Button:<Slot A> 2nd Rec Button:<Slot B> / Rec Button:<Slot B> 2nd Rec Button:<Slot A>	Rec Button:<Slot A> <Slot B> 2nd Rec Button:<Slot A> <Slot B>	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Proxy Rec

プロキシ記録モードの設定を行います（「プロキシ記録」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	プロキシ記録モードをOn/Offする。
Audio Channel	CH1/CH2 / CH3/CH4	CH1/CH2	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interval Rec

インターバルレックの設定を行います（「間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	インターバルレックモードをOn/Offする。（この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。）
Interval Time	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	1	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔（インターバル）を設定する。
Number of Frames	1frame / 2frames / 3frames / 6frames / 9frames / 12frames 選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって設定値が異なります。 **59.94P/50Pのとき：**2frames / 6frames / 12frames **29.97P/25P/24P/23.98Pのとき：**1frame / 3frames / 6frames / 9frames	**59.94P/50Pのとき：**2frames **29.97P/25P/24P/23.98Pのとき：**1frame	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Picture Cache Rec

ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います（「数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	ピクチャーキャッシュ機能をOn/Offする。
Cache Size	Short / Medium / Long / Max	Max	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を設定する。
Cache Rec Time	—	—	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を表示する。

関連項目

- 数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

SDI/HDMI Rec Control

SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	Off / SDI/HDMI Remote I/F / Parallel Rec	Off	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録開始/停止制御を設定する。 **Off :** リモート制御しない。 **SDI/HDMI Remote I/F :** 本機にメディアを挿入していない状態で、外部接続機器の記録開始/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。 **Parallel Rec :** 本機にメディアを挿入している状態で、外部接続機器の記録開始/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。 **ご注意** ● HDMI出力信号による制御を行う場合は、カメラニューの［TC/Media］メニュー> ［HDMI TC Out］の ［Setting］を［On］に設定してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Assignable Button

アサイナブルボタン（<1> ～ <9>）および［Focus Hold Button］への機能割り当て設定を行います。
割り当て可能な機能は以下のとおりです。
［Off］：機能割り当てなし
［Base ISO/Sensitivity］：イメージセンサーの基準感度の切り替え
［AGC］：AGC機能のOn/Off切り替え
［Push AGC］：ボタンを押している間、AGC機能を有効にする
［ND Filter］

- バリアブルモードのとき：NDフィルターの透過率を設定する。長押しでClear/Manual/Auto切り替え
- プリセットモードのとき：長押しでプリセット切り替え

［ND Filter Position］：NDフィルターの切り替え
［Auto ND Filter］：オートNDフィルターのOn/Off即時切り替え
［Push Auto ND］：ボタンを押している間、オートNDフィルター機能を有効にする
［Auto Iris］：アイリス機能のOn/Off切り替え
［Push Auto Iris］：ボタンを押している間、オートアイリス機能を有効にする
［Bokeh Control］：ボケ調節モードのOn/Off切り替え
［Auto Shutter］：オートシャッター機能のOn/Off切り替え
［AE Level/Mode］：AEレベルを調節する。長押しでAEモードを切り替える
［Backlight］：Backlight/Standard切り替え
［Spotlight］：Spotlight/Standard切り替え
［Preset White Select］：ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え
［ATW］：ATW機能のOn/Off切り替え
［ATW Hold］：ATW機能の動作を一時ホールド
［AF Speed/Sens.］:AFトランジション速度の設定とAF乗り移り感度の設定の切り替え
［Focus Setting］：フォーカスエリアの設定を行う
［Face/Eye Detection AF］：顔/瞳検出AFの設定を切り替える
［Push AF Mode］：Push AFのモード設定を切り替える
［Push AF/MF］：フォーカスモードがMF時、ボタンを押している間はAFになる。フォーカスモードがAF時、ボタンを押している間はMFになる
［Focus Hold］：フォーカスモードがAF時、ボタンを押している間フォーカスを固定する
［S&Q Motion］：スロー＆クイックモーション機能のOn/Off切り替え。長押しで撮影時のフレームレートの設定
［LUT On/Off］：LUTのOn/Off切り替え。切り替え対象は［Shooting］メニュー>［LUT On/Off］の［LUT On/Off Button Target］で設定する
［SteadyShot］：Active / Standard / Off切り替え
［Crop Select］：Imager Scan Modeを切り替える。記録フォーマットが変更されない範囲で切り替え可能
［Rec］：記録の開始または停止
［Picture Cache Rec］：ピクチャーキャッシュレックモードのOn/Off切り替え
［Rec Review］：レックレビューのOn/Off切り替え
［Clip Flag OK］：Add OKを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
［Clip Flag NG］：Add NGを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
［Clip Flag Keep］：Add KEEPを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
［Slot Select］：メモリーカードスロット(A)、(B)の切り替え
［Color Bars］：カラーバーのOn/Off切り替え
［DURATION/TC/U-BIT］：Time Code/Users Bit/Duration切り替え
［Display］：画面表示のOn/Off切り替え
［Lens Info］：被写界深度表示の切り替え
［Video Signal Monitor］：映像信号モニター（波形モニターなど）の表示切り替え
［Marker］：マーカー機能のOn/Off切り替え

［Thumbnail］：サムネイル画面の開始/終了
［Auto Upload (Proxy)］：プロキシファイルの自動転送のOn/Off切り替え
［Direct Menu］：ダイレクトメニューの開始/終了
［User Menu］：Userメニューの開始/終了

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Scene File

Sceneファイルに関する設定を行います（「好みのルックで撮影する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Recall	—	—	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを読み込み、現在の画質設定に適用する。
Store	—	—	現在の画質設定状態をSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。
Delete	—	—	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除する。
Preset Recall	**Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがSDR(BT.709)のとき：**S-Cinetone / Standard / Still / ITU709 / 709tone **Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがHDR(HLG)のとき：**HLG Live / HLG Natural	—	プリセット画質（書き換え不可）を現在の画質設定に適用する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Base Look

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select	**Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがSDR(BT.709)のとき：**S-Cinetone / Standard / Still / ITU709 / 709tone /User1 ～ User16 **Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがHDR(HLG)のとき：**HLG Live / HLG Natural / User1 ～ User16 **Shooting ModeがLog撮影モードのとき：**s709 / 709(800) / S-Log3 / User1 ～ User16	**Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがSDR(BT.709)のとき：**S-Cinetone **Shooting ModeがCustomで、Target DisplayがHDR(HLG)のとき：**HLG Live **Shooting ModeがLog撮影モードのとき：**s709	基本ルックを選択する。
Delete	—	—	選択した基本ルックを削除する。
Delete All	—	—	すべての基本ルックを削除する。
Input	S-Gamut3/SLog3 / S-Gamut3.Cine/SLog3	S-Gamut3.Cine/SLog3	［Select］で選択している基本ルックの入力Gamutを設定する。
Output	BT.709 / HLG	BT.709	［Select］で選択している基本ルックの出力色域を設定する。
AE Level Offset	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	［Select］で選択している基本ルックの露出基準値を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Reset Paint Settings

基本ルック以外の［Paint/Look］メニューの設定値をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Reset without Base Look	Execute / Cancel	—	基本ルック以外の［Paint/Look］メニューの設定値のリセットを実行する。 **Execute :** 実行

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Black

ブラックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Master Black	−99.0 ～ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。
R Black	−99.0 ～ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
B Black	−99.0 ～ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Knee

ニー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	**Target Displayが SDR(BT.709)のとき：** On / Off / --- **Target Displayが HDR(HLG)のとき：** On / Off / ---	**Target Displayが SDR(BT.709)のとき：** Off **Target Displayが HDR(HLG)のとき：** Off	ニー補正機能をOn/Offする。 **ご注意** ● ［Base Look］設定の［Select］が［Standard］、［ITU709］、［709tone］、［HLG Live］、［HLG Natural］のときのみ有効です。
Auto Knee	**Target Displayが SDR(BT.709)のとき：** On / Off / --- **Target Displayが HDR(HLG)のとき：** On / Off / ---	**Target Displayが SDR(BT.709)のとき：** On **Target Displayが HDR(HLG)のとき：** Off	オートニー機能をOn/Offする。 **ご注意** ● ［Base Look］設定の［Select］が［Standard］、［ITU709］または［709tone］のときのみ有効です。
Point	75% ～109%	90%	ニーポイントを設定する。
Slope	−99 ～+99	±0	ニースロープを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Detail

ディテール調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	On	ディテール機能をOn/Offする。
Level	−7 ～+7	±0	ディテールレベルを設定する。
Manual Setting	On / Off / ---	Off	ディテール手動調整機能をOn/Offする。
H/V Ratio	−2 ～+2	±0	ディテール手動調整時に水平(H)/垂直(V)ディテールのバランスを設定する。 **ご注意** ● ソフトウェアバージョンによって差分があります。*1
B/W Balance	Type1 / Type2 / Type3 / Type4 / Type5	Type3	ディテール手動調整時に下側（B）/上側（W）ディテールのバランスを設定する。
Limit	0 ～ 7	7	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベルを設定する。
Crispening	0 ～ 7	0	ディテール手動調整時にクリスプニングレベルを設定する。
High Light Detail	0 ～ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレベルを設定する。

*1 設定項目名称は、ソフトウェアバージョン1.00では［V/H Balance］、ソフトウェアバージョン1.10以降では［H/V Ratio］になります。設定値範囲は−2～0～+2で同じですが、設定値と画質に対する効果が異なります。
ソフトウェアバージョン1.00：設定値が大きいほど、水平（H）のディテールが大きくなる。
ソフトウェアバージョン1.10以降：設定値が大きいほど、垂直（V）のディテールが大きくなる。
ソフトウェアバージョン1.00からソフトウェアバージョン1.10以降にバージョンアップすると、［All File］、［Scene File］などの設定値は、値の極性を反転して引き継がれます（画質も維持されます）。
［User］メニューに［V/H Balance］の設定項目を登録していた場合、バージョンアップすると［H/V Ratio］も自動的に［User］メニューに登録されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Matrix

マトリクス補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
User Matrix	On / Off	Off	ユーザーマトリクス補正機能をOn/Offする。
User Matrix Level	−99 ～+99	±0	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
User Matrix Phase	−99 ～+99	±0	映像全域の色合い（フェーズ）を調整する。
User Matrix R-G	−99 ～+99	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix R-B	−99 ～+99	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-R	−99 ～+99	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-B	−99 ～+99	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-R	−99 ～+99	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-G	−99 ～+99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Multi Matrix

マルチマトリクス補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	マルチマトリクス補正機能をOn/Offする。
Reset	Execute / Cancel	—	各軸の色の色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）をすべて初期値にする。
Axis	B / B+ / MG− / MG / MG+ / R / R+ / YL− / YL / YL+ / G− / G / G+ / CY / CY+ / B−	B	軸を選択する。
Hue	−99 ～+99	±0	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
Saturation	−99 ～+99	±0	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

P/T Acceleration

パン・チルト動作の加減速に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Ramp Curve	1～9	8	パン・チルト動作における加減速の加速度を選択する。数字が大きいほど加速度が大きくなる。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Timecode

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	Preset / Regen / Clock	Preset	タイムコードの歩進モードを設定する。 **Preset（プリセット）：**設定された値から歩進する。 **Regen（リジェネ）：**前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 **Clock（クロック）：**内蔵時計をタイムコードとして使用する。
Run	Rec Run / Free Run	Rec Run	**Rec Run：**記録時のみ歩進する。 **Free Run：**記録に関係なく常に歩進する。
Setting	—	—	タイムコードを任意の値に設定する。 **Set：**決定
Reset	Execute / Cancel	—	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 **Execute：**実行
TC Format	DF / NDF	DF	タイムコードのフォーマットを設定する。 **DF：**ドロップフレーム **NDF：**ノンドロップフレーム

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

TC Display

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Display Select	Timecode / Users Bit / Duration	Timecode	タイムデータの表示を切り替える。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Users Bit

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Mode	Fix / Time	Fix	ユーザービットのモードを設定する。 **Fix :** ユーザービットに任意の固定値を使用する。 **Time :** ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
Setting	—	—	ユーザービットを任意の値に設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

HDMI TC Out

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Clip Name Format

クリップの名称や削除に関する設定を行います。
［Auto Naming］を［Cam ID + Reel#］に設定すると、記録メディアごとにクリップ名の先頭4文字を決定します。新しい記録メディアを挿入した場合、または記録メディアの最終クリップと［Camera ID］または［Reel Number］の設定が一致しない場合、クリップ名を点滅してお知らせします。
［Auto Naming］を［Title］に設定すると、クリップ名の先頭文字列を任意の文字列にできます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Auto Naming	Cam ID + Reel# / Title		クリップ名の設定方法を選択する。 **Cam ID + Reel# :** Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列 **Title :** ［Title Prefix］で設定した任意文字列+クリップ番号
Camera ID	A ～ Z	A	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。 **ご注意** ● ［Auto Naming］が［Cam ID + Reel#］に設定されている場合のみ設定できます。
Reel Number	001 ～ 999	001	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。 **ご注意** ● ［Auto Naming］が［Cam ID + Reel#］に設定されている場合のみ設定できます。
Camera Position	C / L / R	C	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を選択する。 **ご注意** ● ［Auto Naming］が［Cam ID + Reel#］に設定されている場合のみ設定できます。
Title Prefix	nnn_（nnnはシリアル番号の下3桁）（最大7文字表示）	nnn	クリップ名のタイトル部分（4 ～ 46文字）を設定する。 文字列の入力画面を呼び出す。 ● タイトルの設定方法と文字列の入力画面については、下記の「タイトルを設定するには」および「文字列を入力する」を参照。 **ご注意** ● ［Auto Naming］が［Title］に設定されている場合のみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Number Set	0001 ～ 9999	0001	クリップ名の最後の番号部分（4桁）を設定する。 **ご注意** ● ［Auto Naming］が［Title］に設定されている場合のみ設定できます。

［Title Prefix］を設定するには

1. **GUI操作部の矢印ボタンを使って、文字選択エリアから［Title Prefix］エリアのカーソル位置に入れる文字を選択（ハイライト表示）し、GUI操作部の［Set］ボタンを押す。**

   選択した文字が入り、カーソルが右に移動します。

2. **手順1を繰り返し、タイトルを設定する。**

   必要に応じて、［BS］を使用してください。

3. **タイトル名の設定が終わったら、［Done］ボタンを選択して文字列の入力画面を閉じる。**

   ● 文字入力画面の操作の詳細は「文字列を入力する」をご覧ください。

   選択できる文字は以下のとおりです。
   !#$%()+,-.;=@[ ]^_~スペース
   0123456789
   abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

関連項目

● 文字列を入力する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Update Media

メモリーカード内の管理ファイルを更新します（「メモリーカードを修復する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Media(A)	Execute / Cancel	—	スロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 **Execute :** 実行
Media(B)	Execute / Cancel	—	スロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 **Execute :** 実行

関連項目

- メモリーカードを修復する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Format Media

メモリーカードを初期化します（「メモリーカードをフォーマット（初期化）する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Media(A)	Full Format / Quick Format / Cancel	—	スロットAのメモリーカードを初期化する。
Media(B)	Full Format / Quick Format / Cancel	—	スロットBのメモリーカードを初期化する。

関連項目

- メモリーカードをフォーマット（初期化）する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Media Life

メモリーカードの残寿命を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Media(A)	—	—	スロットAのメモリーカードの残寿命を表示する。
Media(B)	—	—	スロットBのメモリーカードの残寿命を表示する。

ご注意

- 残寿命表示に対応したメモリーカードが必要です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Output Format

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
SDI	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」をご覧ください。	—	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
HDMI		—	

関連項目

- 出力のフォーマットと制限

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Display On/Off

画面表示項目の設定を行います。
表示する場合はOn、表示しない場合はOffを選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値
File Transfer Status	On / Off	On
Rec/Play Status	On / Off	On
RAW Output Control Status	On / Off	On
Tally	On / Off	On
Focus Mode	On / Off	On
Focus Position	On / Off	On
Focus Area Indicator	On / Off	On
Focus Area Ind.(AF-S)	On / Off	On
Face/Eye Detection Frame	On / Off	On
Lens Info	On / Off	Off
Imager Scan Mode	On / Off	On
Rec Format	On / Off	On
Frame Rate	On / Off	On
Zoom Position	On / Off	On
SteadyShot	On / Off	On
Base Look/Rec Look	On / Off	On
SDI/HDMI Rec Control	On / Off	On
Monitoring Look	On / Off	On
Proxy Status	On / Off	On
Base ISO/Sensitivity	On / Off	On
Media Status	On / Off	On
Clip Name	On / Off	On
White Balance	On / Off	On
Scene File	On / Off	On
Focus Indicator	On / Off	On

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値
Auto Exposure Mode	On / Off	On
Auto Exposure Level	On / Off	On
Timecode	On / Off	On
ND Filter	On / Off	On
Iris	On / Off	On
ISO/Gain/EI	On / Off	On
Shutter	On / Off	On
Level Gauge	On / Off	On
Audio Level Meter	On / Off	On
Video Level Warning	On / Off	On
Clip Number	On / Off	On
Notice Message	On / Off	On

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Video Signal Monitor

映像信号モニターの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	Off / Waveform / Vector / Histogram	Off	映像信号モニターの種類を設定する。
Level Marker 1	0% ～ 109%	70%	輝度レベルマーカー1のレベルを設定する。
Level Marker 2	0% ～ 109%	100%	輝度レベルマーカー2のレベルを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Marker

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	On	すべてのマーカー表示をまとめてOn/Offする。
Color	White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue	White	マーカーの信号色を選択する。
Center Marker	1 / 2 / 3 / 4 / Off	Off	センターマーカーを選択する。
Safety Zone	On / Off	Off	セーフティーゾーンマーカーをOn/Offする。
Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
Aspect Marker	Line / Mask / Off	Off	アスペクトマーカーの比を選択する。
Aspect Mask	0 ～15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
Aspect Safety Zone	On / Off	Off	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをOn/Offする。
Aspect Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
Aspect Select	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 / Custom	2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのモードを設定する。
Custom Aspect Ratio	任意の値を入力する	01.00:01.00	アスペクト比を任意の値に設定する。 **ご注意** ・［Aspect Select］で［Custom］を選択した場合に、この設定が有効になります。
Guide Frame	On / Off	Off	ガイドフレーム表示をOn/Offする。
100% Marker	On / Off	Off	100%マーカーをOn/Offする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
User Box	On / Off	Off	ユーザーボックスマーカーの表示をOn/Offする。
User Box Width	3 ～ 479	240	ユーザーボックスマーカーの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
User Box Height	3 ～269	135	ユーザーボックスマーカーの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
User Box H Position	−476 ～ +476	0	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置を設定する。
User Box V Position	−266 ～ +266	0	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Audio Input

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
AUDIO IN Select	MIC / LINE	MIC	AUDIO IN端子に接続された機器の種類を選択する。
Phantom Power +48V	On / Off	Off	ファンタム電源+48Vの状態を表示する。
CH1 Input Select	AUDIO IN CH1	AUDIO IN CH1	記録CH1に対する入力元を表示する。
CH2 Input Select	AUDIO IN CH1 / AUDIO IN CH2	AUDIO IN CH2	記録CH2に対する入力元を切り替える。
CH3 Input Select	Off / AUDIO IN CH1	AUDIO IN CH1	記録CH3に対する入力元を切り替える。
CH4 Input Select	Off / AUDIO IN CH1 / AUDIO IN CH2	AUDIO IN CH2	記録CH4に対する入力元を切り替える。
AUDIO IN CH1 MIC Ref.	−80dB / −70dB / −60dB / −50dB / −40dB / −30dB	−50dB	AUDIO IN CH1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
AUDIO IN CH2 MIC Ref.	−80dB / −70dB / −60dB / −50dB / −40dB / −30dB	−50dB	AUDIO IN CH2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
Line Input Reference	+4dB / 0dB / −3dB / EBUL	+4dB	［AUDIO IN Select］の設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
Reference Level	−20dB /−18dB / −16dB / −12dB / EBUL	−20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
CH1 Wind Filter	On / Off	Off	記録CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
CH2 Wind Filter	On / Off	Off	記録CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
CH3 Wind Filter	On / Off	Off	記録CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
CH4 Wind Filter	On / Off	Off	記録CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
CH1 Level Control	Auto / Manual	Auto	記録CH1の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
CH2 Level Control	Auto / Manual	Auto	記録CH2の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
CH3 Level Control	Auto / Manual	Auto	記録CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
CH4 Level Control	Auto / Manual	Auto	記録CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
CH1 Input Level	0 ～ 99	49	記録CH1の入力レベルを設定する。
CH2 Input Level	0 ～ 99	49	記録CH2の入力レベルを設定する。
CH3 Input Level	0 ～ 99	49	記録CH3の入力レベルを設定する。
CH4 Input Level	0 ～ 99	49	記録CH4の入力レベルを設定する。
Master Input Level	0 ～ 99	99	マスター音声入力レベルを設定する。
Limiter Mode	Off / －6dB / －9dB / －12dB / －15dB / －17dB	Off	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
CH1&2 AGC Mode	Mono / Stereo	Stereo	記録CH1と記録CH2の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
CH3&4 AGC Mode	Mono / Stereo	Stereo	記録CH3と記録CH4の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
AGC Spec	－6dB / －9dB / －12dB / －15dB / －17dB	－6dB	AGC特性を選択する。
1kHz Tone on Color Bars	On / Off	Off	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をOn/Offする。 **ご注意** ● ［On］に設定すると、［CH3 Input Select］、［CH4 Input Select］が［Off］の場合でも、1 kHzの基準音声信号を記録CH3、記録CH4に乗せます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Audio Output

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
HDMI/Stream Output CH	CH1/CH2 / CH3/CH4	CH1/CH2	HDMI/ストリーミングに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Display Clip Properties

クリップ詳細情報画面を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Display Clip Properties	—	—	クリップ詳細情報画面を開く。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Set Clip Flag

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Add OK	—	—	OKフラグを付ける。
Add NG	—	—	NGフラグを付ける。
Add KEEP	—	—	KEEPフラグを付ける。
Delete Clip Flag	—	—	すべてのフラグを外す。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Lock/Unlock Clip

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select Clip	—	—	保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
Lock All Clips	—	—	すべてのクリップを保護する。
Unlock All Clips	—	—	すべてのクリップを保護解除する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Delete Clip

クリップを削除します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select Clip	—	—	任意のクリップを削除する。
All Clips	—	—	クリップを一括削除する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Transfer Clip

クリップを転送します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select Clip	—	—	任意のクリップを転送する。
All Clips	—	—	クリップを一括転送する。 **ご注意** ● 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Transfer Clip (Proxy)

プロキシクリップを転送します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select Clip	—	—	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する
All Clips	—	—	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 **ご注意** ● 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Filter Clips

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
OK	—	—	OKフラグの付いたクリップのみを表示する。
NG	—	—	NGフラグの付いたクリップのみを表示する。
KEEP	—	—	KEEPフラグの付いたクリップのみを表示する。
None	—	—	フラグの付いていないクリップのみを表示する。
All	—	—	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Customize View

サムネイル画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Thumbnail Caption	Date Time / Time Code / Duration / Sequential Number	Time Code	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Color Bars

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	カラーバーをOn/Offする。
Type	ARIB / 100% / 75% / SMPTE	ARIB	カラーバーの種類を選択する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Genlock

Genlock状態の表示を行います（「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Reference	Internal / External(HD) / External(SD)	—	Genlockの基準信号の種類を表示する。

関連項目

- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Tally

記録/タリーランプの設定を行います（「タリー信号を接続する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Tally Lamp Brightness	High / Low / Off	High	記録/タリーランプの輝度を設定する。
G Tally Lamp	Enable / Disable	Enable	Gタリーランプの有効/無効を設定する。
Tally Control	External / Internal	Internal	本機の記録/タリーランプの制御情報を受け付ける対象を選択する。 **External :** カメラ外部からのタリー制御 **Internal :** カメラの記録動作による制御

関連項目

- タリー信号を接続する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Rec Review

レックレビューに関する設定を行います（「記録内容を確認する（レックレビュー）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	3s / 10s / Clip	3s	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を設定する。

関連項目

- 記録内容を確認する（レックレビュー）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Zoom

ズームに関する設定を行います（「ズームを調節する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Zoom Type	Optical Zoom Only / On(Clear Image Zoom)	Optical Zoom Only	ズームの種類を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Lens

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Lens Calibration	Execute / Cancel	—	電動ズームレンズを使ってズーム位置を復元する時に、レンズの個体差を補正する機能を実行する。
Zoom Ring Direction	Left(W)/Right(T) / Right(W)/Left(T)	Left(W)/Right(T)	ズームリングの操作方向を設定する。 **ご注意** ● ズームリングの操作方向切り替えに対応したEマウントレンズ使用時のみ設定できます。
Shading Compensation	Auto / Off	Auto	自動周辺光量補正を設定する。
Chroma Aberration Comp.	Auto / Off	Auto	自動倍率色収差補正を設定する。
Distortion Comp.	Auto / Off	Auto	自動歪曲収差補正を設定する。
Breathing Compensation	Auto / Off	Off	レンズのブリージング補正を設定する。 ● 「ブリージング補正」参照
Distance Display	Meter / Feet	Meter	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を設定する。
Zoom Position Display	Focal Length / Number / Bar	Focal Length	ズーム位置の表示形式を設定する。

関連項目

- ブリージング補正

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

APR

APRを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
APR	Execute / Cancel	—	APR（Auto Pixel Restoration：イメージセンサーの自動調整）を実行する。 **Execute：**実行 **ご注意** ● 実行前に必ずレンズキャップを装着してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Wired LAN

有線LAN接続に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
HTTP Port	—	80	HTTPアクセスポートを表示する。
Detail Settings	—	—	有線LAN接続の詳細設定を表示する。
	DHCP On / Off	On	DHCPの有効（On）、無効（Off）を表示する。
	IP Address	—	［DHCP］が［Off］のときに本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	—	［DHCP］が［Off］のときに本機のサブネットマスクを表示する。
	Gateway	—	［DHCP］が［Off］のときにデフォルトのゲートウェイを表示する。
	DNS Auto On / Off	On	DNS自動取得の設定を表示する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

File Transfer

ファイルの転送に関する設定を行います（「ファイルの転送について」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Auto Upload (Proxy)	On / Off	Off	プロキシファイルの自動転送をOn/Offする。
Default Upload Server	Server Settings1～3のDisplay Name	—	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、プロキシファイルの自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。 ［Server Settings1～3］で設定した［Display Name］を表示する。
Clear Completed Jobs	Execute / Cancel	—	転送完了済みのジョブをリストからクリアする。 **Execute :** 実行
Clear All Jobs	Execute / Cancel	—	すべての転送ジョブをリストからクリアする。 **Execute :** 実行
View Job List	—	—	転送ジョブ一覧を表示する。

関連項目

- ファイルの転送について

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Language

表示する言語を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Select	—	—	表示する言語を設定する。 **Set :** 決定

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Clock Set

内蔵時計に関する設定を行います。

ご注意

- カメラメニューから本設定を変更したときは、本機への電源供給をいったん止めて、本機を再起動してください。赤外線リモコンやWeb Appで電源スタンバイ操作を行うと、予期しない動作をすることがあります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Time Zone	UTC -12:00 ～ UTC +14:00	—	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Date Mode	YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	YYMMDD	年月日の表示方式を選択する。 **YYMMDD :** 年月日の順 **MMDDYY :** 月日年の順 **DDMMYY :** 日月年の順
12H/24H	12H / 24H	24H	時刻の表示形式を選択する。 **12H :** 12時間表示 **24H :** 24時間表示
Date	—	—	現在の日付を設定する。 **Set :** 決定
Time	—	—	現在の時刻を設定する。 **Set :** 決定

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Hours Meter

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Hours(System)	—	—	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
Hours(Reset)	—	—	積算使用時間（リセット可）を表示する。
Reset	Execute / Cancel	—	積算使用時間を0にリセットする。 **Execute :** 実行

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ISO/Gainメニューの設定値と初期値

以下に示すとおり、［Mode］、［Base Look］の［Select］、［Base Sensitivity］の設定によって、
［ISO/Gain<L>］の設定範囲と初期値が異なります。
表中の太字の設定値が初期値です。

［Mode］が［ISO］の場合

［Base Look］の［Select］の設定が［S-Cinetone］、［Standard］、［ITU709］、［709tone］、［Still］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 320 ISO 400 ISO 500 ISO 640 ISO 800 ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 ISO 2000 ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 ISO 5000 ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	**ISO 5000** ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 ISO 32000 ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 ISO 80000 ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Base Look］の［Select］の設定が［HLG Live］、［HLG Natural］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 800 ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 ISO 2000 ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 ISO 5000 ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	**ISO 128000** ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 ISO 32000 ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 ISO 80000 ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Base Look］の［Select］の設定が［User1］～［User16］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 800 ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 ISO 2000 ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 ISO 5000 ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	**ISO 12800** ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 ISO 32000 ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 ISO 80000 ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Mode］が［dB］の場合

-3dBから30dBの間で1dB刻みで設定できます。
初期値は0dBです。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

AGC Limitメニューの設定値と初期値

以下に示すとおり、［Mode］、［Base Look］の［Select］、［Base Sensitivity］の設定によって、［AGC Limit］メニューの設定範囲と初期値が異なります。
表中の太字の設定値が初期値です。

［Mode］が［ISO］の場合

［Base Look］の［Select］が［S-Cinetone］、［Standard］、［ITU709］、［709tone］、［Still］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 400 ISO 500 ISO 640 ISO 800 ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 **ISO 2000** ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 ISO 5000 ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 **ISO 32000** ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 ISO 80000 ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Base Look］の［Select］が［HLG Live］、［HLG Natural］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 ISO 2000 ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 **ISO 5000** ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 ISO 32000 ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 **ISO 80000** ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Base Look］の［Select］の設定が［User1］～［User16］のとき

［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［Low］	［ISO/Gain/EI］の［Base Sensitivity］が［High］
ISO 1000 ISO 1250 ISO 1600 ISO 2000 ISO 2500 ISO 3200 ISO 4000 **ISO 5000** ISO 6400 ISO 8000 ISO 10000 ISO 12800 ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600	ISO 16000 ISO 20000 ISO 25600 ISO 32000 ISO 40000 ISO 51200 ISO 64000 **ISO 80000** ISO 102400 ISO 128000 ISO 160000 ISO 204800 ISO 256000 ISO 320000 ISO 409600

［Mode］が［dB］の場合

3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB / 24dB / 27dB /30dB から選択できます。
初期値は15dBです。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- CustomモードのSDR(BT.709)
- CustomモードのHDR(HLG)
- Log撮影（Cine EI、Cine EI Quick、Flexible ISO）

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下の表に示すように保存されます。
表中の「Yes」は保存される、「No」は保存されない、複数列にまたがる「Yes」は共通の設定であることを表します。

設定項目			撮影モード				
			Custom		Flexible ISO	Cine EI Quick	Cine EI
			SDR(BT.709)	HDR(HLG)			
Shootingメニュー	ISO/Gain/EI	ISO/Gain	Yes[1)]		Yes	No	
		Exposure Index	No		No	Yes	Yes
		Base Sensitivity	Yes		No		
		Base ISO	No		Yes[4)]	No[3)]	Yes[4)]
	White	Preset White	Yes		Yes		
		上記以外	Yes				
	White Setting		Yes				
	Offset White		Yes		No		
	LUT On/Off		No		Yes		
	Noise Suppression	Setting(Custom)	Yes	Yes	No		
		Level(Custom)	Yes	Yes	No		
		Setting (Cine EI/Flex. ISO)	No		Yes		
		Level (Cine EI/Flex. ISO)	No		Yes		

設定項目			撮影モード				
			Custom		Flexible ISO	Cine EI Quick	Cine EI
			SDR(BT.709)	HDR(HLG)			
Paint/Look メニュー	Base Look	Select	Yes	Yes	Yes		
		Input[2)]	Yes				
		Output[2)]	Yes				
		AE Level Offset[2)]	Yes				
	Black		Yes	Yes	No		
	Knee	Auto Knee	Yes	No	No		
		上記以外	Yes	Yes	No		
	Detail		Yes	Yes	No		
	Matrix		Yes	Yes	No		
	Multi Matrix		Yes	Yes	No		

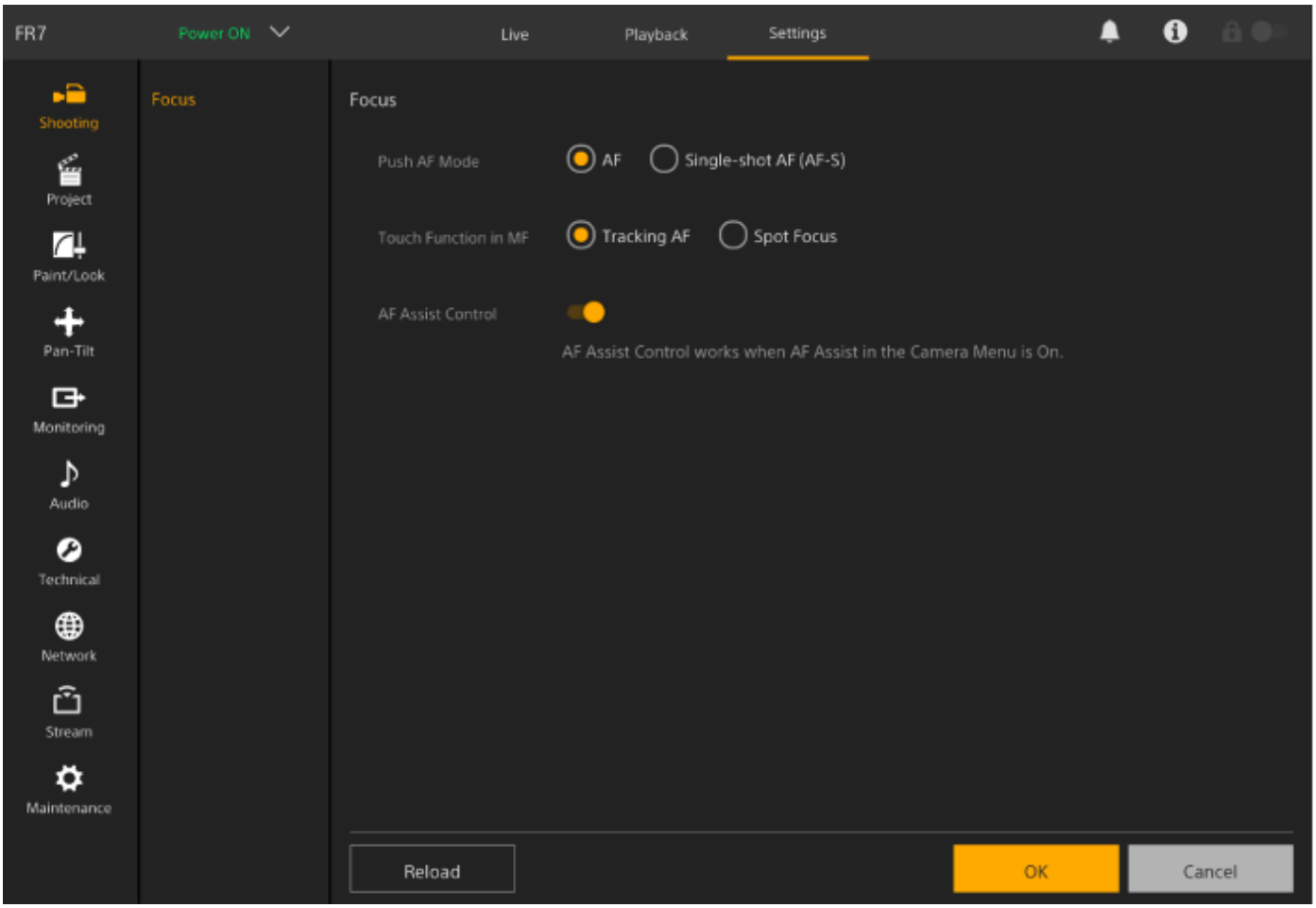
1) ISO感度については、CustomのSDR(BT.709)、HDR(HLG)で設定値が個別に保存される場合があります。
2) 設定値はBase Lookごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。
3) Exposure Indexに連動して、基準ISO感度が切り替わります。
4) Flexible ISOとCine EI間で、共通の設定値となります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Webメニュー構成

操作画面切り替え部の［Settings］タブを押すと、設定画面が表示されます。
設定画面では、Webメニューで本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行います。



下記のメニューから選択して設定します。

メニューの構成と階層

第1階層	第1階層の概要	第2階層
Shooting	撮影に関する設定	Focus

第1階層	第1階層の概要	第2階層
Project	プロジェクトの基本的な設定	Base Setting
		Rec Format
		Simul Rec
		Proxy Rec
		Interval Rec
		Picture Cache Rec
		All File
Paint/Look	画質に関する設定	Base Look
Pan-Tilt	パン・チルトに関する設定	P/T Speed
		P/T Acceleration
		P/T Range Limit
		P/T Direction
		P/T Preset
Monitoring	ビデオ出力や画面表示出力に関する設定	Output Format
		Output Display
Audio	音声に関する設定	Audio
Technical	技術的な内容の設定	Tracking Data Output
		Tally
		IR Remote
		RCP/MSU
		Lens Controller
Network	ネットワークに関する設定	Camera Name
		User
		Wired LAN
		File Transfer
		FTP Server 1
		FTP Server 2
		FTP Server 3
		SSL
		Referer Check
		Brute Force Attack Protection

第1階層	第1階層の概要	第2階層
Stream	ストリーミングに関する設定	Stream
		Video Stream
		Audio Stream
Maintenance	時計や言語設定などの機器設定	Language
		Accessibility
		Clock Set
		Reset
		Information
		System Log
		HTTP Access Log
		Service
		EULA
		Software

ご注意

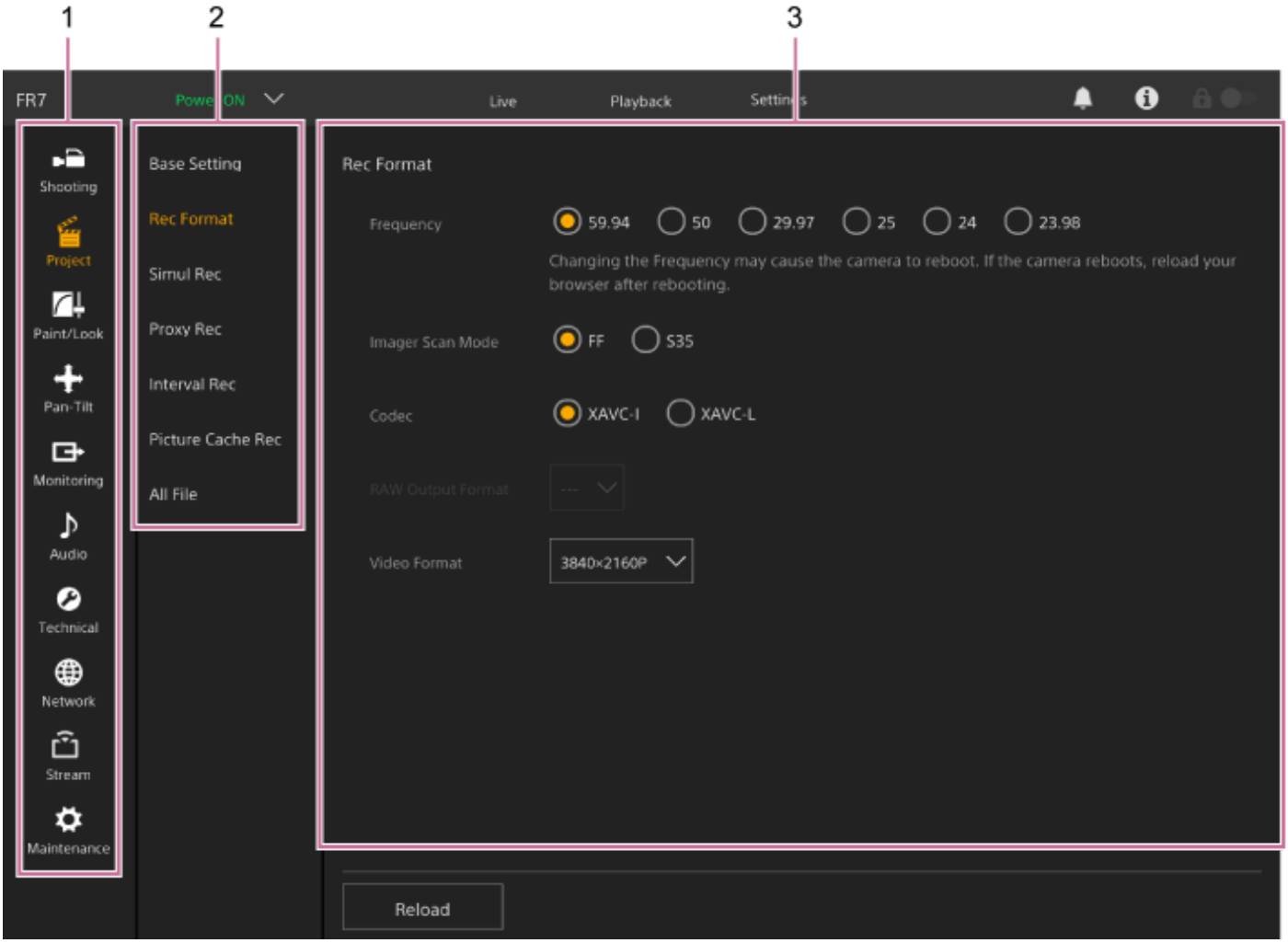
- ［Accessibility］は北米向けモデルにのみ搭載しています。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Webメニューの操作方法

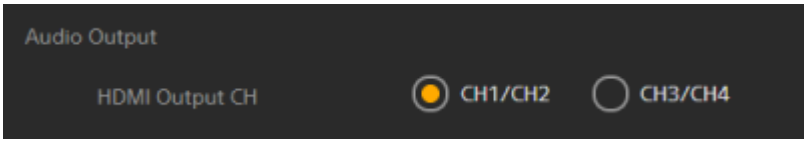
操作画面切り替え部の［Settings］タブを押すと、本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行うWebメニューが設定画面に表示されます。
Webメニューはタブレットのタッチ操作やコンピューターのマウス操作などで設定します。
設定したいメニューを押すと、そのメニューで設定できる項目とその設定値が表示されます。



1. メニュー（第1階層）
2. メニュー（第2階層）
3. 設定値

設定値の操作方法

設定値の選択

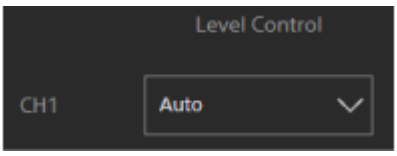


項目のラジオボタンを押します。選択した項目のラジオボタンはオレンジ色になります。

項目のOn/Off

スイッチを押して、On/Offに切り替えます。Onにした項目のスイッチはオレンジ色、Offにした項目のスイッチは白色になります。

リストから設定値を選択



ドロップダウンボタンを押して表示されるリストから項目を選択します。

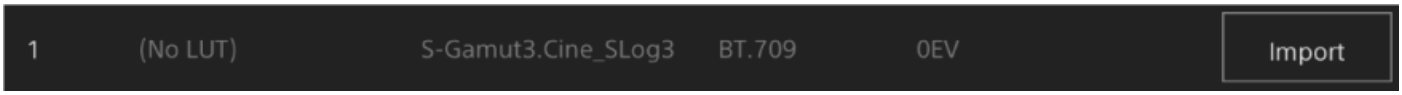
数値の選択

＜、＞を押して、数字を変更します。数値に下線が引かれている場合は、数字を直接入力することもできます。

文字/数字の入力

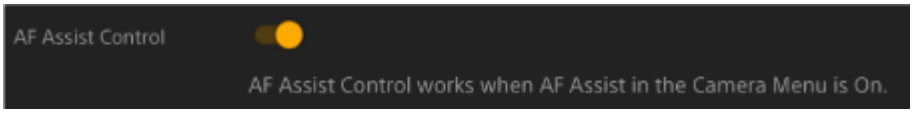
別画面での設定

ボタンを押して、別画面で設定操作を行う場合もあります。



操作ガイド/注意メッセージ

一部の設定値に対して操作の手助けになる情報やユーザーに注意を促すメッセージが表示されます。



設定の保存方法

設定完了後、画面下の［OK］ボタンを押して設定を保存します。
［Cancel］ボタンを押すと、設定内容が破棄され、設定前の状態に戻ります。
［Reload］ボタンを押すと、画面表示が更新されます。

ご注意

- 設定を保存する前に、［Reload］ボタンを押すと、設定内容が破棄されます。
- 設定を保存する前に、ほかのページに移ると、設定内容が破棄されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Focus

フォーカスの設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Push AF Mode	AF / Single-shot AF(AF-S)	AF	プッシュオートフォーカスのモードを設定する。
Touch Function in MF	Tracking AF / Spot Focus	Tracking AF	MF時にカメラ撮像画面をタッチしたときの動作を設定する。
AF Assist Control	On / Off	On	［On］に設定すると、オートフォーカス時、Web Appのフォーカススライダーでフォーカスポジションを調節することができる。 ・「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）」参照 **ご注意** ・この項目は、カメラメニューの［AF Assist］が［On］のときに有効になります。

関連項目

- Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Base Setting

基本設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Shooting Mode	Custom / Flexible ISO / Cine EI Quick / Cine EI	Custom	撮影モードを設定する。 ● 「本機の基本動作を設定する」の「撮影モード」参照
Target Display	SDR(BT.709) / HDR(HLG)	SDR(BT.709)	Customモード時の記録/出力の色域を設定する。

関連項目

- 本機の基本動作を設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Rec Format

記録フォーマットの設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Frequency	59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。 **ご注意** ● 周波数を変更するとカメラが再起動することがあります。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。
Imager Scan Mode	FF / S35	FF	イメージャーサイズを選択する。
Codec	RAW / RAW & XAVC-I / XAVC-I / XAVC-L	XAVC-I	クリップの記録・再生コーデックを設定する。 **ご注意** ● ［Imager Scan Mode］が［S35］の場合は、［RAW］と［RAW & XAVC-I］は選択できません。
RAW Output Format	［Frequency］の設定に応じて変わる。 ● 下記「［RAW Output Format］設定値表」を参照。	—	外部RAWレコーダーに出力するRAW画像のサイズを設定する。 **ご注意** ● ［Codec］が［RAW & XAVC-I］のときは、［Video Format］が［RAW Output Format］に連動して切り替わります。
Video Format	［Frequency］、［Imager Scan Mode］、［Codec］の設定に応じて変わる。 ● 下記「［Video Format］設定値表」を参照。	—	画像サイズを設定する。

［RAW Output Format］設定値表

Frequency	Imager Scan Mode	Codec	設定値
59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	FF	RAW / RAW & XAVC-I	4096×2160 **3840×2160**

Frequency	Imager Scan Mode	Codec	設定値
24	FF	RAW / RAW & XAVC-I	**4096×2160**

- 太字の設定値は初期値です。
- ［RAW Output Format］を設定できない条件は省略しています。

［Video Format］設定値表

Frequency	Imager Scan Mode	Codec	設定値
59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	FF	RAW	—
		RAW & XAVC-I	4096×2160P **3840×2160P**
		XAVC-I	4096×2160P **3840×2160P** 1920×1080P
		XAVC-L	**3840×2160P** 1920×1080P 50 1920×1080P 35
	S35	XAVC-I	**1920×1080P**
		XAVC-L	**1920×1080P 50** 1920×1080P 35
24	FF	RAW	—
		RAW & XAVC-I / XAVC-I	**4096×2160P**

- 太字の設定値は初期値です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Simul Rec

2スロット同時記録の設定を行います（「メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	本線同時記録機能のOn/Offと記録先メディアを一括設定する。
Rec Button	Slot A / Slot B / Slot A/Slot B	Slot A/Slot B	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを表示する。設定はカメラメニューの［Project］メニュー > ［Simul Rec］の［Rec Button Set］で行う。
2nd Rec Button	Slot A / Slot B / Slot A/Slot B	Slot A/Slot B	

関連項目

- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Proxy Rec

プロキシ記録モードの設定を行います（「プロキシ記録」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	プロキシ記録モードをOn/Offする。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interval Rec

インターバルレックの設定を行います（「間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	インターバルレックモードをOn/Offする。（この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。）
Interval Time	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	1	［Interval Rec］の設定がOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔（インターバル）を設定する。
Number of Frames	1frame / 2frames / 3frames / 6frames / 9frames / 12frames 選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって設定値が異なります。 **59.94P/50Pのとき：**2frames / 6frames / 12frames **29.97P/25P/24P/23.98Pのとき：**1frame / 3frames / 6frames / 9frames	**59.94P/50Pのとき：**2frames **29.97P/25P/24P/23.98Pのとき：**1frame	［Interval Rec］の設定がOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。

関連項目

- 間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Picture Cache Rec

ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います（「数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	ピクチャーキャッシュ機能をOn/Offする。
Cache Size	Short / Medium / Long / Max	Max	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を設定する。
Cache Rec Time	—	—	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を表示する。

関連項目

- 数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

All File

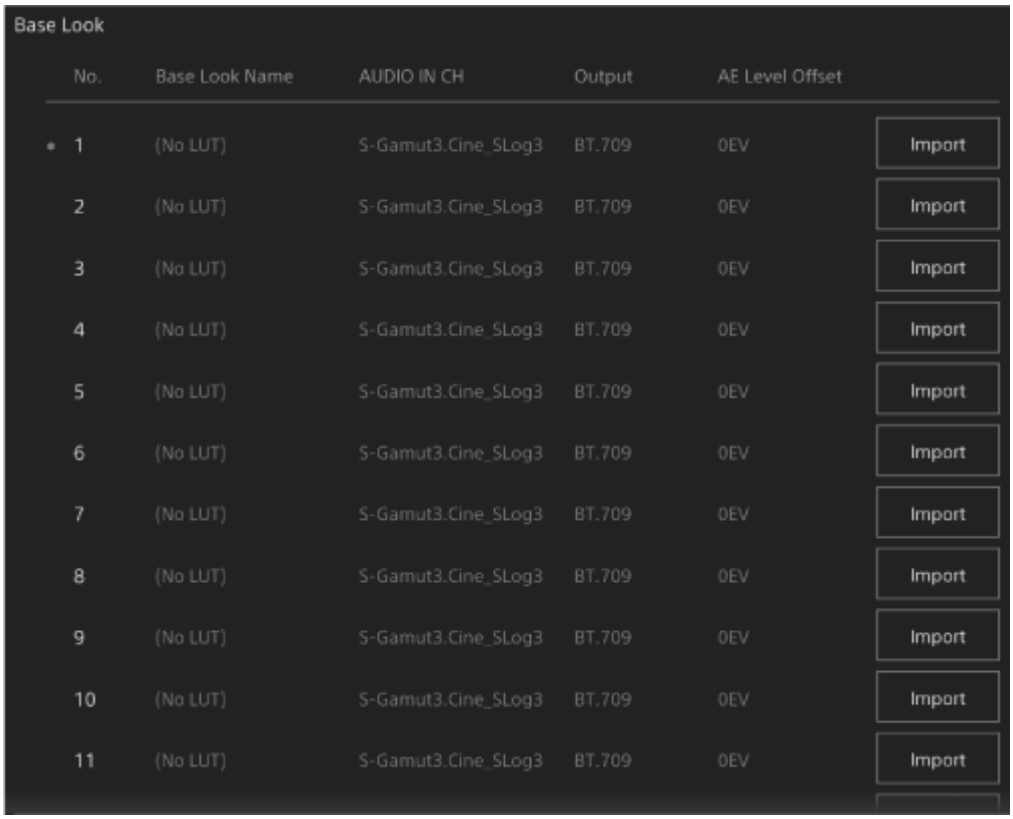
Allファイルの操作を行います（「設定データの保存と読み込み」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Load All File	—	—	Web Appを実行しているデバイスから、Allファイルを本機に読み込む。 **ご注意** ● Allファイルを本機に読み込むと、本機は再起動します。再起動後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。
Save All File	—	—	本機の各種設定をAllファイルとして、Web Appを実行しているデバイスに保存する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Base Look

基本ルックを本機に読み込みます。
画面に選択可能な基本ルックが表示されます。適用中の基本ルックには基本ルック番号の左に●が付いています。



［No.］：基本ルック番号
［Base Look Name］：基本ルック名
［Input］：基本ルックの入力信号
［Output］：基本ルックの出力信号
［AE Level Offset］：基本ルックの露出基準オフセット値

基本ルックを追加するには

［Import］ボタンを押すと、新しい基本ルックを取り込みます。表示される画面の指示に従って操作してください。
取り込んだ後はカメラメニューで［Input］、［Output］、［AE Level Offset］を適切に設定してください。詳細は「好みの基本ルックをインポートする」をご覧ください。

関連項目

- 好みの基本ルックをインポートする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

P/T Speed

パン・チルトの速度に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Speed Step	Normal / Extended	Extended	パン・チルト駆動の速度ステップ数を設定する。 **Normal :** 速度を24段階で指定できる。既成のソニー製リモートカメラとの互換性を重視する場合はこの設定にする。 **Extended :** 速度を50段階で指定できる。
Speed Mode	Normal / Slow	Normal	パン・チルト駆動の速度モードを設定する。 ［Speed Step］を［Normal］に設定した場合のみ有効になる。 **Normal :** 通常の速度範囲（最低速～最高速: 60°/秒）で動作する。 **Slow :** 低速動作を重視した速度範囲（最低速～最高速: 40°/秒）で動作する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

P/T Acceleration

パン・チルトの速度に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Acceleration	1～9	8	パン・チルト動作における加減速の加速度を選択する。数字が大きいほど加速度が大きくなる。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

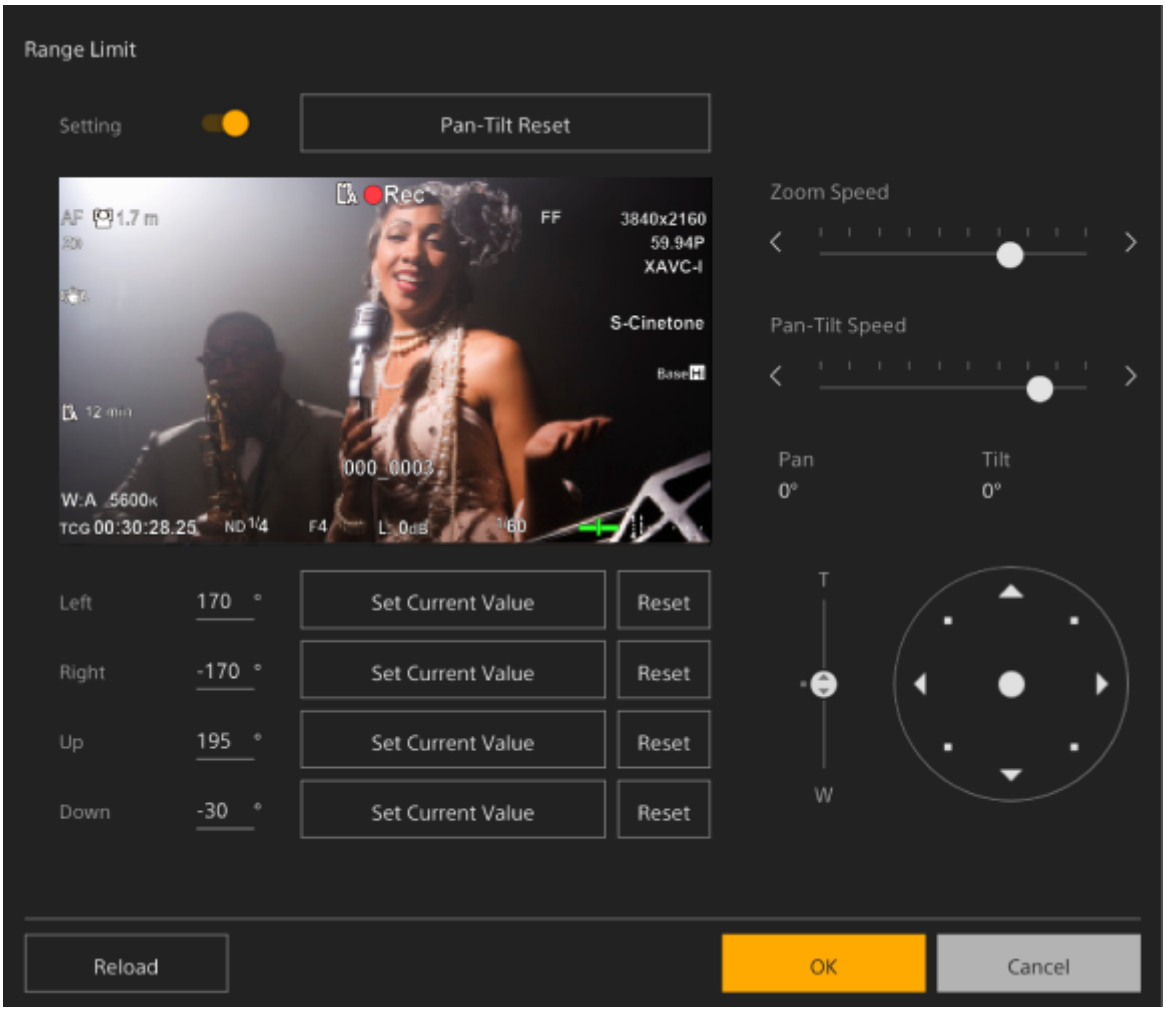
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

P/T Range Limit

パン・チルトの可動範囲の制限に関する設定を行います。
以下の画面でパン・チルトの可動範囲を制限してください。

ご注意

- 電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。本機の周囲にある障害物を避ける目的には使用できません。



1 ［Setting］スイッチをOnにする。

パン・チルトの可動範囲制限機能が有効になります。

2 カメラのパン・チルト操作で映像を確認する。

3 可動を制限したい位置が決まったら、それぞれの位置で［Left］、［Right］、［Up］、［Down］の［Set Current Value］ボタンを押す。

［Left］：カメラ左側
［Right］：カメラ右側
［Up］：カメラ上側

［Down］：カメラ下側

制限位置が設定され、数値（角度）で表示されます。
制限を解除するには、それぞれの位置の［Reset］ボタンを押します。

4 ［OK］ボタンを押す。

設定した制限位置より外側への可動が制限されます。

ご注意

- 設定したパン・チルトの制限位置より外側のカメラ位置をプリセットすることはできません。
- ［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Direction］メニュー内の［Ceiling］の設定を変更した場合、設定した制限位置の設定は工場出荷時の設定に戻ります。
- 再生中、サムネイル表示中、パン・チルトエラー中、パン・チルト未初期化、およびパン・チルトロック中は設定を変更できません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

P/T Direction

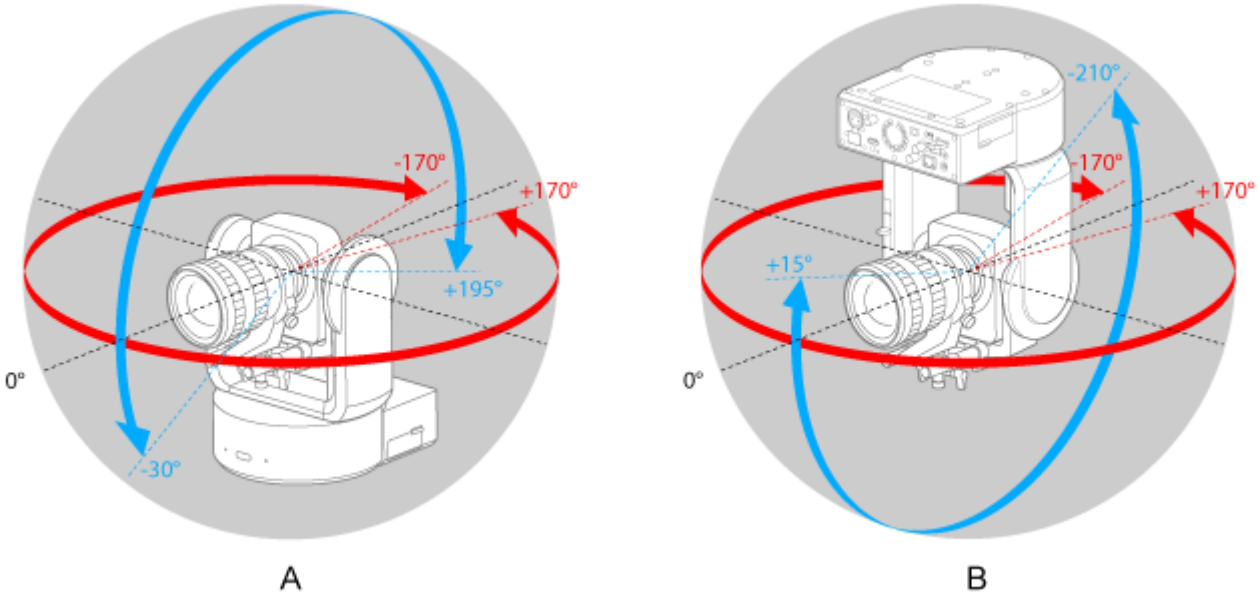
パン・チルトの動作方向に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Ceiling	On / Off	Off	デスクトップ設置時は［Off］に、天吊り設置時には［On］を選択する。［Ceiling］を［On］にすると、［Pan Direction］は自動的に［Opposite］になる。
Pan Direction	Normal / Opposite	Normal	パンの駆動方向を設定する。設定を変更すると駆動方向が逆転する。
Tilt Direction	Normal / Opposite	Normal	チルトの駆動方向を設定する。設定を変更すると駆動方向が逆転する。

ご注意

- ［Ceiling］の設定変更を確定すると、パン・チルトの座標が反転するため、すべてのプリセットポジションが消去されます。

［Ceiling］の設定によってパン・チルトの動作範囲は下図のように変更されます。



A：［Ceiling］が［Off］のとき
B：［Ceiling］が［On］のとき

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

P/T Preset

カメラのプリセットに関する設定を行います。

Pan-Tilt

プリセットの速度を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Pan-Tilt Speed Setting Way	Separate / Common	Separate	プリセットの速度指定方法を個別にするか、共通するかを設定する。
Pan-Tilt Speed for Common	1～50	50	プリセットの共通速度を設定する。 **ご注意** ● ［Pan-Tilt］メニュー>［P/T Speed］の［Speed Step］が［Normal］のときに、設定値を25以上にすると、最高速度24で駆動します。

Default

プリセットポジションを保存したときに設定される既定値を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Pan-Tilt Speed for Separate	1～50	50	プリセットの速度指定方法を［Separate］に設定したときのプリセットの速度を設定する。
Zoom Sync	On / Off	On	プリセットポジションを復元するときにパン・チルト動作とズーム動作を連動する/しないを設定する。
Zoom Speed	0～32767	32767	ズーム速度を設定する。
Focus Recall	On / Off	On	フォーカス設定の復元を行う/行わないを設定する。
MF Speed	0～32767	32767	マニュアルフォーカスのフォーカス速度を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Output Format

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
SDI	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」をご覧ください。	—	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
HDMI		—	

関連項目

- 出力のフォーマットと制限

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Output Display

出力信号に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
SDI	On / Off	Off	SDI出力信号にメニューやステータスを重畳する/しないを設定する。
HDMI/Stream	On / Off	On	HDMI出力信号にメニューやステータスを重畳する/しないを設定する。 **ご注意** ● 本設定は、HDMI出力信号およびストリーミング、Web Appカメラ映像部の映像にも反映されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Audio Input

CH1～CH4の音声入力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Level Control	Auto / Manual	Auto	音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
Level	0 ～ 99	49	入力レベルを設定する。
Input Select	AUDIO IN CH1 / AUDIO IN CH2 / Off	**CH1、3の場合：** AUDIO IN CH1 **CH2、4の場合：** AUDIO IN CH2	音声の入力元を設定する。 **ご注意** ● CH1は［AUDIO IN CH1］に固定です。
Wind Filter	On / Off	Off	風音低減フィルターをOn/Offする。

Masterの音声入力レベルを設定します。 Masterの音声入力レベルは、CH1~4すべてに作用します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Master	0 ～ 99	99	Masterの入力レベルを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Audio Output

音声出力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
HDMI/Stream Output CH	CH1/CH2 / CH3/CH4	CH1/CH2	HDMI/ストリーミングに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

ご注意

- 本設定はストリーミングの出力音声にも反映されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Tracking Data Output

トラッキング情報（free-dプロトコル準拠）の出力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Transfer Mode	Off / Always / On Demand	Off	トラッキング情報の出力方法を選択する。
Camera ID	0～255	255	本機のIDを設定する。
Destination Address	IPv4アドレス	-	［Transfer Mode］が［Always］のとき、トラッキング情報の宛先IPアドレスを設定する。
Destination Port	1024～65534	40000	［Transfer Mode］が［Always］のとき、トラッキング情報の宛先ポート番号を設定する。
Listen Port	1024～65534	40000	［Transfer Mode］が［On Demand］のとき、クライアントからの要求を待ち受ける本機のポート番号を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Tally

記録/タリーランプに関する設定を行います（「タリー信号を接続する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Tally Lamp Brightness	High / Low / Off	High	記録/タリーランプの輝度を設定する。
G Tally Lamp	Enable / Disable	Enable	Gタリーランプの有効/無効を設定する。
Tally Control	External / Internal	Internal	本機の記録/タリーランプの制御情報を受け付ける対象を選択する。

関連項目

- タリー信号を接続する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

IR Remote

赤外線リモコンに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	On	赤外線リモコンによる本機の操作の有効/無効を設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

RCP/MSU

RCP/MSU（別売）と接続するための設定を行います。
詳細は「RCP/MSU（別売）と接続する」をご覧ください。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
CNS Mode	Off / Bridge / MCS / PC Control	Off	RCP/MSUとの接続モードを設定する。
Master IP Address	Ipv4のアドレスを設定	0.0.0.0	LAN上でマルチカメラシステムを構築する場合のマスター機器のIPアドレスを設定する。
Camera No.	Camera No（1～96）を入力	1	LAN上でマルチカメラシステムを構築する場合のカメラ番号をシステム内で番号が重複しないように設定する。

ご注意

- 必要に応じてRCP/MSU側の設定を行ってください。
- マルチカメラシステムにはMSUが必要です。
- MSUが複数台ある場合、いずれか1台のMSUをマスターに設定し、それ以外のMSUはクライアントに設定してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Lens Controller

レンズコントローラー（別売）と接続するための設定を行います。
詳細は「レンズコントローラーを接続する」をご覧のうえ設定してください。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	レンズコントローラー（別売）を使用する/使用しないを設定する。
Mode	0～15	0	レンズコントローラー（別売）の動作モードを設定する。 値は0～15を選択できますが、実際に設定できる値はレンズコントローラー（別売）によって異なります。レンズコントローラーの取扱説明書でご確認ください。
Reverse	On / Off	Off	レンズコントローラー（別売）の回転方向を反転する。
Initialize	-	-	レンズコントローラー（別売）を初期化する。

ご注意

- ［Setting］の設定を変更すると、本機は再起動します。Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Camera Name

カメラ名（本機名）に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Camera Name	—	FR7	カメラ名を設定する。

Camera Nameは次の文字を使用して0～8文字で入力できます。
英数字
記号 (スペース!#$`*+-./;<=>?@[¥]^_`{|})

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

User

本機にアクセスするユーザーに関する設定を行います。

管理者ユーザー（Administrator）に関する設定（必須）

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
User Name	—	admin	ユーザー名を設定する。
Current Password	—	—	パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力する。
New Password	—	—	新しいパスワードを入力する。
Re-Type Password	—	—	確認のため、新しいパスワードをもう一度入力する。

一般ユーザー（User1～User 9）に関する設定（任意）

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
User Name	—	—	ユーザー名を設定する。
Current Password	—	—	パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力する。
New Password	—	—	新しいパスワードを入力する。
Re-Type Password	—	—	確認のため、新しいパスワードをもう一度入力する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Wired LAN

Status

ネットワークの状態を表示します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Host Name	—	—	ホスト名を表示する。
MAC Address	—	—	本機のMACアドレスを表示する。
Ethernet Status	—	—	現在の通信速度を表示する。
IP Address	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
Subnet Mask	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。
Gateway	—	—	本機のIPv4デフォルトゲートウェイを表示する。
Primary DNS Server	—	—	本機のプリマリーDNSを表示する。
Secondary DNS Server	—	—	本機のセカンダリーDNSを表示する。
IPv6 Address 1	—	—	本機のIPv6アドレス1を表示する。
IPv6 Address 2	—	—	本機のIPv6アドレス2を表示する。
IPv6 Gateway	—	—	本機のIPv6デフォルトゲートウェイを表示する。
Link-local IPv6 Address	—	—	本機のIPv6リンクローカルアドレスを表示する。

IPv4

ネットワークのIPv4に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
DHCP	On / Off	On	［DHCP］をOn/Offする。
IP Address	—	—	［DHCP］がOffのときに、IPv4アドレスを設定する。
Subnet Mask	—	—	［DHCP］がOffのときに、サブネットマスクを設定する。
Gateway	—	—	［DHCP］がOffのときに、IPv4デフォルトゲートウェイを設定する。

IPv6

ネットワークのIPv6に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Obtain an IP Address Automatically	On / Off	On	IPv6アドレスの自動取得をOn/Offする。
IP Address	—	—	［Obtain an IP Address Automatically］がOffのときに、IPv6アドレスを設定する。
Prefix Length	—	—	［Obtain an IP Address Automatically］がOffのときに、プレフィックスを設定する。
Gateway	—	—	［Obtain an IP Address Automatically］がOffのときに、IPv6デフォルトゲートウェイを設定する。

Common

ネットワークのIPv4/IPv6の共通設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
HTTP Port	80、1024～65534	80	HTTPのポート番号を設定する。
DNS Auto	On / Off	On	DNSのアドレスをDHCPサーバーから取得するかどうかを設定する。
Primary DNS Server	IPv4/IPv6アドレス	—	［DNS Auto］がOffのときに、プライマリーDNSを設定します。
Secondary DNS Server	IPv4/IPv6アドレス	—	［DNS Auto］がOffのときに、セカンダリーDNSを設定します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

File Transfer

ファイルの転送に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Auto Upload (Proxy)	On / Off	Off	プロキシファイルの自動転送をOn/Offする。
Default Upload Server	Server Settings1～3のDisplay Name	Server Settings1	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、プロキシファイルの自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。 ［Server Settings1～3］で設定した［Display Name］を表示する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

FTP Server 1～3

ファイルのFTP転送に関する設定を行います。
設定内容はFTP Server 1～3ですべて共通です。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Display Name	—	—	転送先設定のメニュー上の表示名を設定する。
Service	—	—	サーバーの種類を表示する。
Host Name	—	—	転送先サーバーのホスト名を設定する。
Port	21, 990, 1024～65534	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
User Name	—	—	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
Password	—	—	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
Passive Mode	On / Off	Off	パッシブモードをOn/Offする。
Destination Directory	—	—	転送先のディレクトリー名を設定する。
Using Secure Protocol	On / Off	Off	セキュアなFTP転送を行うか（On）、行わないか（Off）を設定する。
Root Certificate	—	—	セキュアなFTP転送ためのルート証明書を読み込む。 ［Load］ボタンを押して表示される画面でルート証明書を選択する。 ［Delete］ボタンを押すと、読み込んだルート証明書が削除される。
Root Certificate Status	—	—	ルート証明書の読み込み状態を表示する。
Reset	—	—	［Server Settings］の設定を初期値に戻す。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

SSL

SSLに関する設定を行います。

SSL

SSL機能の有効/無効を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Function	Disable / Enable / Enable (Allow HTTP connection for some clients)	Disable	SSL機能の有効/無効を設定する。

SSL Server Authentication

SSLのサーバー認証に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Certificate Options	Use a self-signed certificate (For test use) / Use an external certificate	—	SSLサーバーの証明書のインストール方法を設定する。
Status	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、SSLサーバー証明書の有効性が表示される。
Issuer DN	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、SSLサーバー証明書の発行者の識別名が表示される。
Subject DN	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、SSLサーバー証明書のサブジェクト識別名が表示される。
Available Period	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、SSLサーバー証明書の有効期間が表示される。
Extended Key Usage	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、拡張キーの使用法が表示される。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Delete	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、表示されるボタン。 インストールされているSSLサーバー証明書を削除できる。
Import	—	—	［Certificate Options］で［Use an external certificate］を選択したときに、リストから外部のSSLサーバー証明書をインストールできる。
Private Key Password	—	—	［Certificate Options］で［Use an external certificate］を選択したときにSSLサーバー証明書の秘密鍵情報のパスワードが設定できる。
Reset	—	—	秘密鍵パスワードの表示をクリアし、新しいパスワードの入力を可能にするボタン。
Self-Signed Certificate Generation	—	—	［Certificate Options］で［Use a self-signed certificate (For test use)］を選択したときに、［Generate］ボタンを押して、自己署名証明書を生成することができる。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

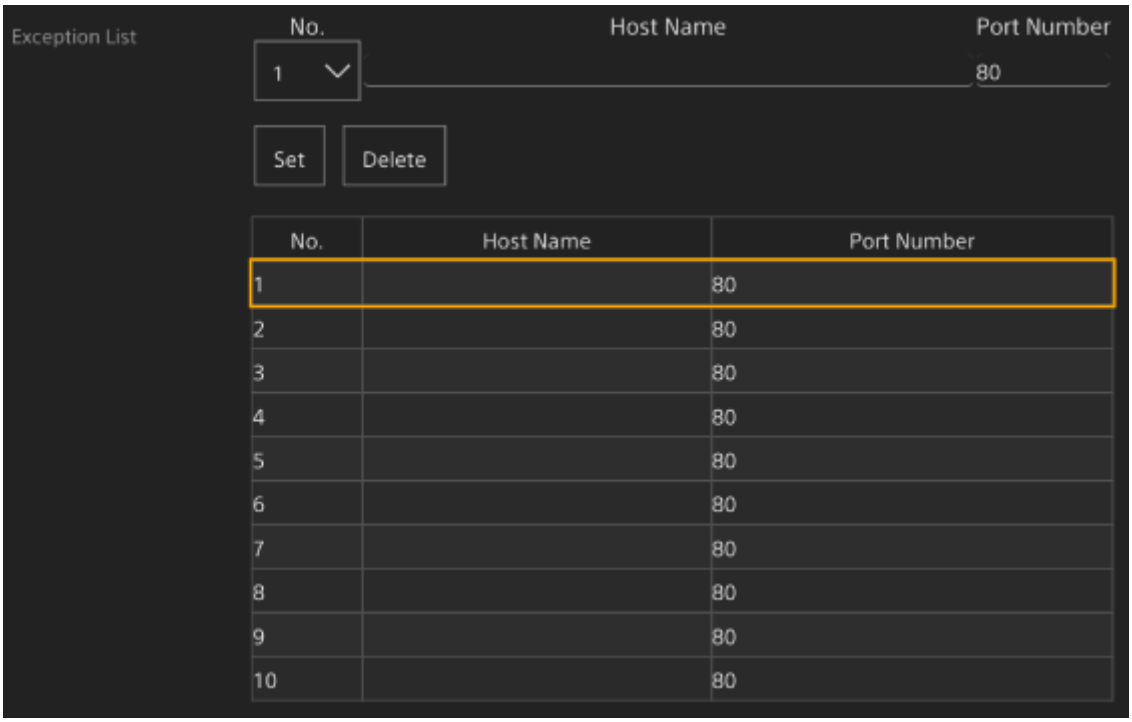
Referer Check

Refererチェックに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	On	Refererチェックの有効/無効を設定する。

Exception List

Refererチェックの例外リストに関する設定を行います。



項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
No.	1～10	—	リストから例外の番号を設定する。
Host Name	—	—	例外のホスト名を設定する。
Port Number	—	—	例外のポート番号を設定する。
Set	—	—	押すと、設定した例外が例外リストに登録される。
Delete	—	—	削除したい例外を選択して押すと、登録した例外が例外リストから削除される。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Brute Force Attack Protection

Brute Force Attack Protectionに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	On	［Brute Force Attack Protection］をOn/Offする。
Count	3～100	8	攻撃と判定する回数を設定する。 ［Setting］がOnのときに設定できる。
Release Mode	Always / Timer	Timer	解除条件を設定する。 ［Setting］がOnのときに設定できる。 **Always :** アタッカーリストから削除しない。 **Timer :** ［Release Time］で設定した解除時間を過ぎるとアタッカーリストから削除する。
Release Time	30～86400 s	60	解除時間を設定する。 ［Setting］がOnのときに設定できる。 ［Release Mode］が［Timer］のとき、解除時間を過ぎるとアタッカーリストから削除される。

アタッカーが検出されると、アタッカリーリストの情報が表示されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Stream

ストリーミング方式の設定を行います（「ストリーミングについて」参照）。

Stream Setting

ストリーミングのプロトコルに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	RTSP / RTMP / SRT-Caller / SRT-Listener / NDI|HX / Off	RTSP	ストリーミングのプロトコルを選択する。

ご注意

- RTMPを使用する場合は、あらかじめ［Stream］メニュー>［Audio Stream］の［Setting］を［On］に設定してください。

RTSP

［Stream Setting］が［RTSP］のときに表示される項目です。
RTSPストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Port Number	554, 1024～65534	554	RTSPのポート番号を設定する。
Time Out	0～600	60	RTSP配信のKeep Aliveコマンドでタイムアウトを設定する。
Authentication	On / Off	On	RTSPの認証をOn/Offする。
Video Port Number 1	1024～65534	51000	ユニキャスト配信のRTSPで映像1を送信するポート番号を設定する。
Video Port Number 2	1024～65534	53000	ユニキャスト配信のRTSPで映像2を送信するポート番号を設定する。
Audio Port Number	1024～65534	57000	ユニキャスト配信のRTSPでオーディオを送信するポート番号を設定する。

RTMP

［Stream Setting］が［RTMP］のとき表示される項目です。
RTMPストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Server URL	—	—	RTMPまたはRTMPSの接続先のURLを設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Stream Key	—	—	RTMPサーバー側から取得したストリームキーを設定する。
Root Certificate	—	—	RTMPサーバーに接続するために必要なルート証明書を読み込む。 ［Load］ボタンを押して表示される画面でルート証明書を選択する。 ［Delete］ボタンを押すと、読み込んだルート証明書が削除される。 ［Root Certificate Status］に状態が表示される。

SRT

［Stream Setting］が［SRT-Caller］または［SRT-Listener］のときに表示される項目です。
SRTストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Destination	—	—	本機がCallerとして動作するとき、接続先のURLを設定する。
Port Number	1024～65534	4201	本機がListenerとして動作するときの待ち受けPort番号を設定する。
Latency	20～8000 ms	120	遅延量を設定する。
TTL	1～255	64	TTL値を設定する。
Encryption	Off / AES128 / AES256	Off	暗号化の有効/無効と暗号方式を設定する。
Passphrase	0または10～79文字以内	0	暗号化に使うパスフレーズを設定する。 Resetを押すと、入力したパスフレーズが消去される。
ARC	On / Off	On	Adaptive Rate Control機能をOn/Offする。

NDI|HX

［Stream Setting］が［NDI|HX］のときに表示される項目です。
NDI|HXに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
License	—	—	NDIライセンスキーのインストール状態が表示される。
Source Name	—	—	NDI Source Nameが表示される。
Group	On / Off	Off	NDIのグルーピング機能をOn/Offする。
Group Name	—	—	NDIのグルーピング機能がOnのときに表示される。 グループ名を設定する。
Discovery Server 1	—	—	NDIディスカバリーサーバー1を設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Discovery Server 2	—	—	NDIディスカバリーサーバー2を設定する。
Multicast Mode	On / Off	Off	マルチキャスト配信をOn/Offする。
Multicast Prefix	239.255.0.0	239.255.0.0	［Multicast Mode］がOnのときに表示される。 マルチキャスト配信で使うプリフィックスを設定する。
Multicast Netmask	255.255.0.0	255.255.0.0	［Multicast Mode］がOnのときに表示される。 マルチキャストアドレスの範囲を決めるネットマスクを設定する。
Multicast TTL	1～256	3	［Multicast Mode］がOnのときに表示される。 マルチキャスト配信のTTL値を設定する。
Multi-TCP Mode	On / Off	Off	Multi-TCPモードをOn/Offする。
Unicast UDP Mode	On / Off	On	Unicast UDPモードをOn/Offする。

関連項目

- ストリーミングについて

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Video Stream

ストリーミングのビデオコーデックに関する設定を行います。

Video Stream 1

ビデオコーデック1に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Codec 1	H.264 / H.265	H.264	映像1のコーデックを設定する。
Size 1	4096x2160 / 3840x2160 / 2048x1080 / 1920x1080 / 1280x720 / 640x360	1920x1080	映像1の画像サイズを設定する。
Frame Rate 1	● 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。	—	映像1のフレームレートを設定する。
I-Picture Mode 1	Time / Frame	Time	映像1のIDR-Frameの挿入間隔を時間とフレームから選択する。
I-Picture Interval 1	1 / 2 / 3 / 4 / 5 s	1	［I-Picture Mode 1］が［Time］のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔を時間で設定する。
I-Picture Ratio 1	15～300 frame	30	［I-Picture Mode 1］が［Frame］のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔をフレーム数で設定する。
Profile 1	**H.264のとき：**high / main / baseline **H.265のとき：**main / main10	**H.264のとき：**high	H.264またはH.265のプロファイルを設定する。
Bit Rate Compression Mode 1	CBR / VBR	VBR	映像1のビットレート制御モードを設定する。
Bit Rate 1	512 / 768 / 1000 / 2000 / 3000 / 4000 / 5000 / 6000 / 7000 / 8000 / 16000 / 24000 / 32000 / 50000 / 64000 / 80000 kbps	16000	［Bit Rate Compression Mode 1］がOnのときに表示される。 ビットレート制御モードがCBRのときのビットレートの目標値を設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Quality 1	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	H.264またはH.265の品質を設定する。

Video Stream 2

ビデオコーデック2に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Codec 2	H.264 / H.265 / Off	Off	映像2のコーデックを設定する。
Size 2	4096x2160 / 3840x2160 / 2048x1080 / 1920x1080 / 1280x720 / 640x360 / 512x270	1920x1080	映像2の画像サイズを設定する。
Frame Rate 2	• 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。	—	［Codec 2］がOff以外のときに表示される。 映像2のフレームレートを設定する。
I-Picture Mode 2	Time / Frame	Time	［Codec 2］がOff以外のときに表示される。 映像2のIDR-Frameの挿入間隔を時間とフレームから選択する。
I-Picture Interval 2	1 / 2 / 3 / 4 / 5 s	1	［Codec 2］がOff以外で、かつ［I-Picture Mode 2］が［Time］のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔を時間で設定する。
I-Picture Ratio 2	15～300 frame	30	［Codec 2］がOff以外で、かつ［I-Picture Mode 2］が［Frame］のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔をフレーム数で設定する。
Profile 2	**H.264のとき：**high / main / baseline **H.265のとき：**main	—	H.264またはH.265のプロファイルを設定する。
Bit Rate Compression Mode 2	CBR / VBR	VBR	［Codec 2］がOff以外のときに表示される。 映像2のビットレート制御モードを設定する。
Bit Rate 2	512 / 768 / 1000 / 2000 / 3000 / 4000 / 5000 / 6000 / 7000 / 8000 / 16000 / 24000 / 32000 / 50000 / 64000 / 80000 kbps	8000	［Codec 2］がOff以外で、かつ［Bit Rate Compression Mode 2］がOnのときに表示される。 ビットレート制御モードがCBRのときのビットレートの目標値を設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Quality 2	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	［Codec 2］がH.264で、かつ、［Bit Rate Compression Mode 2］がOffのとき表示される。H.264またはH.265の品質を設定する。

Video Stream 3

ビデオコーデック3に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Codec 3	JPEG	JPEG	映像3のコーデックを設定する。
Size 3	1280x720 / 1024x540 / 640x360	1280x720	映像3の画像サイズを設定する。
Frame Rate 3	• 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。	—	映像3のフレームレートを設定する。
Quality 3	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	品質を設定する。

関連項目

- ストリーミングのビデオコーデックを設定する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Audio Stream

ストリーミングのオーディオコーデックに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Setting	On / Off	Off	オーディオのストリーミング送信をOn/Offする。
Codec	AAC (128kbps) / AAC (256kbps)	AAC (128kbps)	［Setting］がOnのときに表示されます。 ストリーミングのオーディオコーデックを設定する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Language

表示する言語を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Language	—	—	表示する言語を設定する。

ご注意

- 設定できる言語は仕向けによって異なります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Accessibility

音声読み上げに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Screen Reader	On / Off	Off	Web Appにおけるカメラ映像部上の読み上げをOn/Offする。
Speech Rate	Slow2 / Slow1 / Normal / Fast1 / Fast2 / Fast3 / Fast4	Normal	読み上げ速度を設定する。 設定した速度でサンプル文が読み上げられる。
Speech Volume	1～15	7	Web Appの読み上げ音量を設定する。 設定した音量でサンプル文が読み上げられる。

ご注意

- 本機能は、北米で販売されているモデルにのみ搭載されています。音声読み上げ機能は、言語設定が英語のときにのみご使用できます。（発売日現在）
- Web Appをお使いの環境で、Webブラウザーの音声読み上げ機能を有効にしてください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Clock Set

内蔵時計に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Current Date & Time	—	—	本機に設定されている現在時刻が表示されます。
PC Clock	—	—	設定に使用しているタブレットやコンピューターの現在時刻が表示される。
Date & Time Format	yyyy-mm-dd hh:mm:ss / mm-dd-yyyy hh:mm:ss / dd-mm-yyyy hh:mm:ss	yyyy-mm-dd	日付/時刻の表示形式を設定する。
12 h / 24 h	12 h / 24 h	24 h	時刻の12時間表示/24時間表示を設定する。
Time Setting	Keep current setting / Synchronize with PC / Manual setting / Synchronize with NTP	—	日付と時刻の設定方法を設定する。
yy-mm-dd hh:mm:ss	yy : 19～37 mm : 01～12 dd : 01～31 hh : 00～23 mm : 00～59 ss : 00～59（秒）	—	［Time Setting］が［Manual setting］のときに表示される。 手動で日付と時刻を設定する。
NTP Auto	On / Off	Off	［Time Setting］が［Synchronize with NTP］のときに表示される。 NTPサーバーのIPアドレスをDHCPサーバーから取得する/しないを設定する。
NTP Server	IPv4/IPv6アドレスまたはホスト名	—	［Time Setting］が［Synchronize with NTP］で、かつ［NTP Auto］がOffのときに表示される。 時刻同期するNTPサーバーを指定する。
Time Zone	UTC -12:00～UTC+14:00	—	タイムゾーンを選択する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Reset

本機の初期化を行います。

Reboot

本機を再起動します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Reboot	Execute	—	本機を再起動する。 **Execute：**実行 **ご注意** ● 再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

Reset

本機の設定を初期化します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
All Reset (except for Network Settings)	Execute	—	ネットワーク設定以外の本機の設定を初期化する。 **Execute：**実行 **ご注意** ● インポートした基本ルック/LUTファイルは削除されません。
Network Reset	Execute	—	本機のネットワーク設定を初期化する。 **Execute：**実行 **ご注意** ● Network Resetを実行すると本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。
Factory Default	Execute	—	本機の設定を工場出荷状態に戻す。 **Execute：**実行 **ご注意** ● Factory Defaultを実行すると本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Information

カメラとレンズの情報を表示します。また、ソフトウェアのアップデートができます。

Camera

カメラの情報表示とソフトウェアのアップデートを行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Model Name	—	—	カメラの型名を表示する。
Serial Number	—	—	カメラのシリアル番号を表示する。
Version Number	—	—	カメラのソフトウェアのバージョンを表示する。
Version Up	—	—	［Choose File］ボタンを押して表示される画面の指示に従ってカメラのバージョンアップを実行する。 **ご注意** ● バージョンアップ後に本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

Lens

レンズの情報表示とソフトウェアのアップデートを行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Model Name	—	—	レンズの型名を表示する。
Serial Number	—	—	レンズのシリアル番号を表示する。
Version Number	—	—	レンズのソフトウェアのバージョンを表示する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Version Up	—	—	［Choose File］ボタンを押して表示される画面の指示に従ってレンズのバージョンアップを実行する。 ● 詳細は「Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする」をご覧ください。 **ご注意** ● レンズのバージョンアップ後に本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

関連項目

- Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

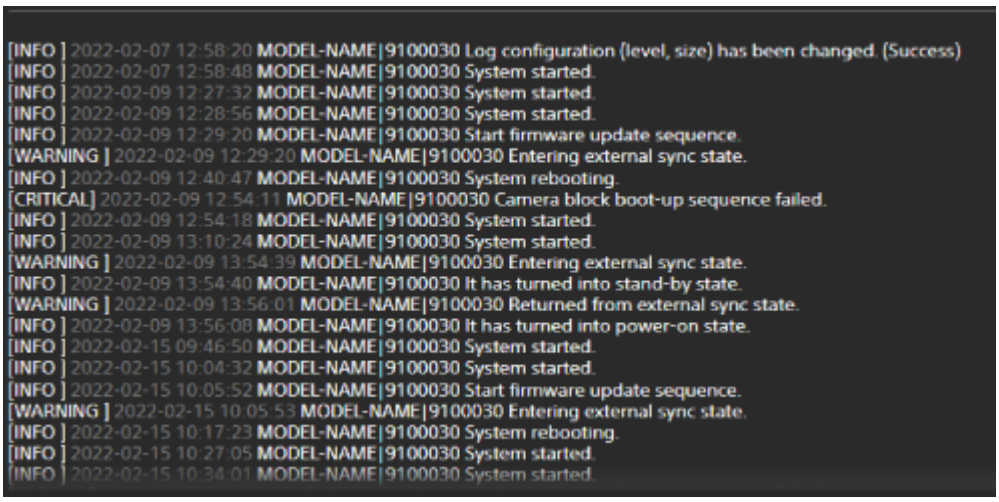
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

System Log

System Logに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Log Level	Critical, Warning & Info / Critical & Warning / Critical	Critical, Warning & Info	システムログに記録するレベルを設定する。
Log Size	200～1024	1024	システムログに保存するログのサイズを設定する。
Download as File	—	—	［Download］ボタンを押して表示される画面でシステムログをタブレットやコンピューターに保存する。

取得したログは以下のように表示されます。



関連項目

- Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

HTTP Access Log

HTTP Access Logに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
Log Level	Critical, Warning & Info / Critical & Warning / Critical	Critical, Warning & Info	HTTPアクセスログに記録するレベルを設定する。
Log Size	200～1024	1024	HTTPアクセスログに保存するログのサイズを設定する。
Download as File	—	—	［Download］ボタンを押して表示される画面でHTTPアクセスログをタブレットやコンピューターに保存する。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Service

本機の機器情報を取得します。ソニーのサービス窓口へお問い合わせの際、ご使用ください。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
I agree to download device information.	—	—	機器情報取得の許諾に合意する場合はチェックを付けて［OK］ボタンを押す。 ［Download］ボタンが表示されるのでこれを押す。しばらく待つとWebブラウザーがdeviceinformation.datファイルのダウンロードを開始する。 **ご注意** ● ダウンロード完了後、本機は再起動します。自動で再起動しない場合は手動で再起動してください。再起動完了後、Webブラウザーでページをリロード（再読み込み）してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

EULA

End User License Agreementを表示します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Software

ソフトウェアライセンスを表示します。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の映像出力を外部モニターに適した設定にして、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。
外部レコーダーを接続して、本機の出力信号を記録することもできます。
外部モニターにカメラ映像部と同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。Webメニューの［Monitoring］メニュー > ［Output Display］で画面表示させたい系統をOnにしてください。

ご注意

- HDMI端子に接続したモニターがWebメニューやカメラメニューの［Monitoring］メニューで設定したHDMI出力フォーマットに対応していない場合、Web Appにカメラ映像は出力されません。またストリーミング映像も出力できません。
- ［Output Display］の［SDI］、［HDMI/Stream］の両方を［Off］に設定することもできますが、カメラメニューなど、画面表示を前提とする機能は使用できなくなります。また、本機の異常通知などは本機のランプの点灯/点滅やWeb App右上の通知マーク表示に限られます。状態の詳細を把握するには、［Output Display］を［On］にしてください。

ヒント

- 工場出荷時は、［Output Display］の［SDI］は［Off］、［HDMI/Stream］は［On］に設定されています。ストリーミングを本線映像として使いたい場合は、［SDI］を［On］、［HDMI/Stream］を［Off］に設定し、カメラの状態はSDIモニターで監視してください。

SDI OUT端子（BNC型）

Webメニューまたはカメラメニューの［Monitoring］メニューで、出力フォーマットを設定します。
接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

ご注意

- 本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。

75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをおすすめします。
やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、カメラメニューの［Project］メニュー > ［SDI/HDMI Rec Control］の［Setting］を［SDI/HDMI Remote I/F］または［Parallel Rec］に設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- カメラメニューの［Project］メニュー > ［SDI/HDMI Rec Control］の［Setting］が［SDI/HDMI Remote I/F］の場合、記録メディアが挿入されていないときは、録画START/STOPボタンの操作に応じてRECトリガー信号のみ出力されます。

HDMI OUT端子（Type Aコネクター）

カメラメニューの［Monitoring］メニューで、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、カメラメニューの［TC/Media］メニュー > ［HDMI TC Out］の［Setting］を［On］にして、［Project］メニュー > ［SDI/HDMI Rec Control］の［Setting］を［SDI/HDMI Remote I/F］または［Parallel Rec］に設定すると、HDMI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- カメラメニューの［Project］メニュー > ［SDI/HDMI Rec Control］の［Setting］が［SDI/HDMI Remote I/F］の場合、記録メディアが挿入されていないときは、録画START/STOPボタンの操作に応じてRECトリガー信号のみ出力されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

RCP/MSUとの接続について

RCP-3500/3501などのリモートコントロールパネル（以下「RCP」と表記）やMSU-3500などのマスターセットアップユニット（以下「MSU」と表記）と本機をLANケーブルで接続することで、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールできます。
関連機器の構成や用途に応じて接続方法が異なります。

- 本機とRCPを1対1で接続したい場合は「本機とRCPを1対1で接続する」をご覧ください。
- MSU、またはカメラコントロールソフトウェアで複数台のカメラを接続したい場合は「MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する」をご覧ください。

関連項目

- 本機とRCPを1対1で接続する
- MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

本機とRCPを1対1で接続する

ご注意

- 「対応機能一覧」を参照して、使用したい機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とRCPとの接続を以下の手順で有効にしてください。

1. **各機器の電源を入れる。**
2. **カメラのWebメニューの［Technical］メニュー > ［RCP/MSU］ – ［CNS Mode］を［Bridge］に設定する。**
3. **RCPで以下の設定を行う。**

   1. 接続モードをBridge Modeにする。
   2. カメラのIPアドレスを登録する。

   設定方法については、RCPの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 対応機能一覧

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する

MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアで複数台のカメラを接続します。

ご注意

- 「対応機能一覧」を参照して、使用したい機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とMSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアとの接続を以下の手順で有効にしてください。

1. **各機器の電源を入れる。**

2. **MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアでシステムのネットワーク設定を行う。**

   設定方法については、MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

3. **カメラのWebメニューの［Technical］メニュー >［RCP/MSU］で以下の設定を行う。**

   1. MSUを使用する場合は［CNS Mode］を［MCS］、カメラリモートコントロールソフトウェアを使用する場合は［CNS Mode］を［PC Control］に設定する。
   2. ［Master IP Address］にMasterとなるMSU、またはカメラリモートコントロールソフトウェアのIPアドレスを設定する。
   3. ［Camera No.］にカメラの登録先となるカメラ番号を設定する。

関連項目

- 対応機能一覧

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

対応機能一覧

使用できる機能と動作条件を以下に示します。

操作パネル	本機で動作する機能	動作条件
IRIS	アイリス手動調節	—
AUTO IRIS	Auto IrisのOn/Off切り替え	—
ND	NDフィルターのプリセットポジション（Clear/Preset1～Preset3）切り替え	カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［ND Filter］―［Mode］が［Preset］の場合に有効です。
MASTER GAIN	ゲイン手動調節（3 dB単位）	撮影モードがCustomモード、かつカメラメニューの［Shooting］メニュー > ［ISO/Gain/EI］―［Mode］が［dB］の場合に有効です。
WHITE (R/B)	ホワイトバランス（R Gain/B Gain）の手動調節	［White Mode］が［Memory A(R/B)］または［Memory A(T/T)］の場合に有効です。
WHITE (Color Temp)	ホワイトバランス(色温度・Tint)の手動調節 • RCP –［Color Temp］：ホワイトバランスの色温度 • RCP –［Balance］：ホワイトバランスのTint値	
ATW	ATW（自動追尾ホワイトバランス）機能のOn/Off切り替え	撮影モードがCustomモードの場合に有効です。
BLACK R/B	ブラックバランスの調節	撮影モードがCustomモードの場合に有効です。

<table>
<tr><th>操作パネル</th><th>本機で動作する機能</th><th>動作条件</th></tr>
<tr><td>MASTER BLACK</td><td>マスターブラックレベルの調節</td><td rowspan="6">・撮影モードがCustomモードの場合に有効です。
・H/V Ratio設定、Crispening設定は、カメラメニューの［Paint/Look］メニュー > ［Detail］― ［Manual Setting］が［On］の場合に有効です。</td></tr>
<tr><td>DETAIL</td><td>・ディテール機能のOn/Off切り替え
・ディテールレベル設定
・H/V Ratio設定
・Crispening設定</td></tr>
<tr><td>User Matrix</td><td>・ユーザーマトリクス補正機能のOn/Off切り替え
・マトリクス補正値（R-G/R-B/G-R/G-B/B-R/B-G）の設定</td></tr>
<tr><td>Multi Matrix</td><td>・Multi Matrix補正機能のOn/Off切り替え
・Multi Matrix補正の対象となる色の色相（ヒュー）、飽和度（サチュレーション）の設定</td></tr>
<tr><td>Knee</td><td>ニー補正機能のOn/Off切り替え
オートニー機能のOn/Off切り替え
ニーポイント、ニースロープの設定</td></tr>
<tr><td>BARS</td><td>カラーバーのOn/Off切り替え</td></tr>
<tr><td>SHUTTER</td><td>・シャッター機能のOn/Off切り替え
・シャッタースピード値設定
（オートシャッターのOn/Off設定、アングルシャッター設定、スローシャッター設定、ECS設定はできません。）
ご注意
・設定したシャッタースピード値によってはRCPのシャッター設定値が表示されないことがあります。
・RCPから操作できないシャッター動作状態の場合、RCPのシャッター設定値が正しく表示されないことがあります。</td><td>オートシャッターがOnのときは、RCPからのシャッターOn/Offを切り替えたり、シャッタースピード値設定を変更してもオートシャッターが動作し続けます。
シャッター設定が［Angle］の時は、RCPからのシャッターOn/Off切り替え、およびシャッタースピード値設定操作はできません。</td></tr>
</table>

ご注意

- ご使用の機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とRCP/MSUの接続を有効にしてください。接続を有効にした後に動作条件を整えた場合、予期しない動作をすることがあります。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

リモートコントローラーRM-IP500（別売）での操作について

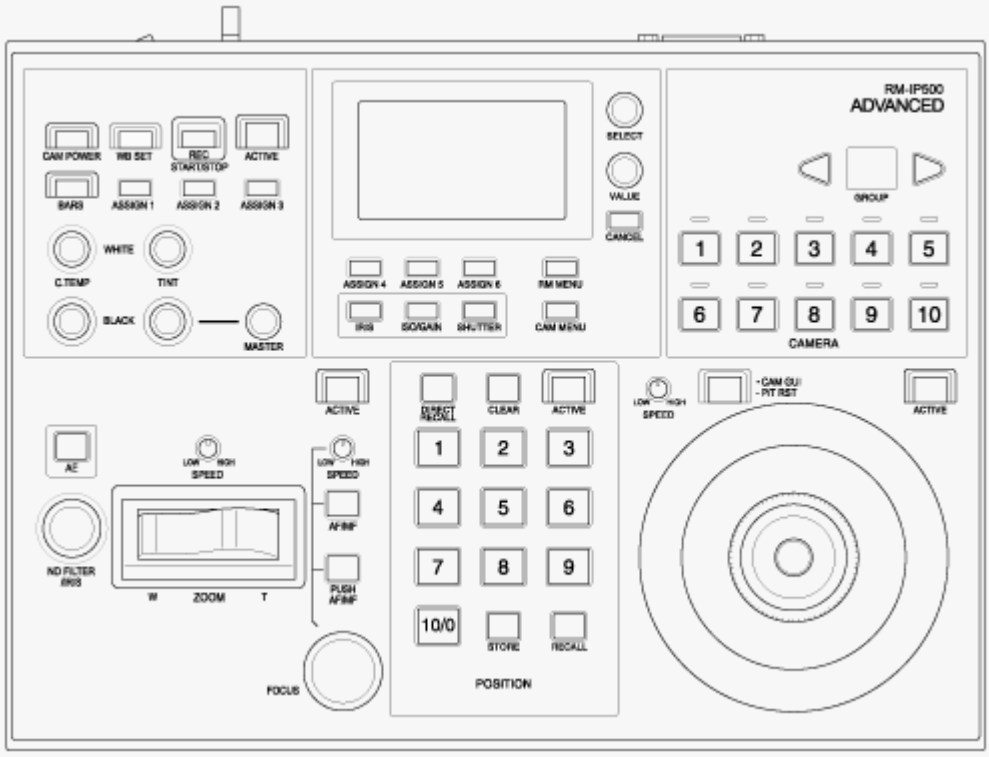
ソニーの業務用リモートコントローラーRM-IP500のソフトウェアバージョン 2.2以降で、本機を操作することができます。通信方式はVISCA over IP (LAN)です。
操作対象項目によっては本機の画面表示が必要となりますので、画面表示を確認できるモニターを併せてご用意ください。
リモートコントローラーRM-IP500では以下の操作が可能です。

- 操作対象カメラの選択
- 画角の調節（パン・チルト、ズーム）
- フォーカスの調節（タッチ操作を除く）
- プリセットポジションの登録、呼び出し
- 本機のメニュー操作（Webメニューを除く）
- 明るさの調節
- ホワイトバランスの調節
- ブラックバランスの調節
- 音声入力レベルの調節
- 録画の開始・停止
- 本機の各種アサイナブルボタン機能

RM-IP500の操作について、詳しくはRM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- RM-IP500をご使用になる場合は、RM-IP500に付属する本機用のパネルシートをご活用ください。



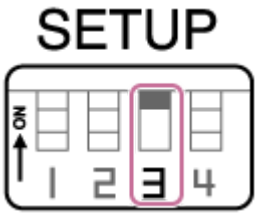
RM-IP500（本機用のパネルシートを使用した状態）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

リモートコントローラーRM-IP500を接続する

1. **本機のSETUPスイッチの3番をONにして、VISCA over IP通信を「有効」に設定する。**



ご注意

- スイッチの設定は本機の電源再投入後に反映されます。

2. **RM-IP500を本機と同じネットワークに接続する。**

3. **RM-IP500の取扱説明書の準備手順に従って、RM-IP500のVISCA over IP (LAN)接続の設定を行う。**

RMメニューのAUTO IP SETUP>ASSIGN CAMで、本機を割り当てます。

4. **必要に応じてRM-IP500のRMメニューの以下の項目でボタン・つまみに本機の機能を割り当てる。**

SW ASSIGN
AE CONFIG2
WB MODE

- 機能の割り当てについては、RM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

外部機器との同期について

本機のGENLOCK端子を介して、本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

- ゲンロックについては「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」をご覧ください。
- タイムコード合わせについては「他機のタイムコードにロックさせる」をご覧ください。

関連項目

- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）
- 他機のタイムコードにロックさせる

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

GENLOCK 端子に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。
入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
50P	1920×1080 50i 720×576 50i
29.97P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
25P	1920×1080 50i 720×576 50i
24P	1920×1080 24PsF 1920×1080 24P
23.98P	1920×1080 23.98PsF 1920×1080 23.98P
59.94i	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
50i	1920×1080 50i 720×576 50i

外部同期の状態はカメラメニューの［Technical］メニュー >［Genlock］の［Reference］で確認できます。

ご注意

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free RunやClock）に設定してください。

1. **カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Timecode］を次のように設定する。**

   ［Mode］を［Preset］に設定
   ［Run］を［Free Run］に設定

2. **［DURATION/TC/U-BIT］機能が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。**

3. **GENLOCK端子とTC IN端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。**

   本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。
   ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

カメラメニューの［TC/Media］メニュー >［Timecode］の設定を変更してください。
システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード（スロー＆クイックモーションまたはインターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

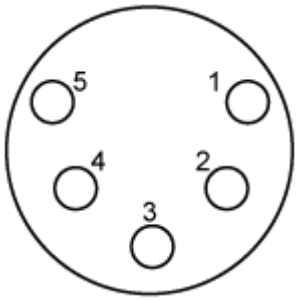
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

外部マイクや外部オーディオ機器を接続する

外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力すると、本機の記録映像や出力映像に音声を重畳することができます。

1 外部マイクや外部オーディオ機器と接続するXLRケーブルを用意する。

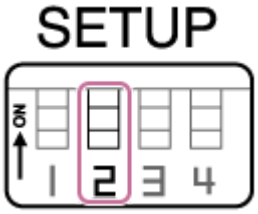
カメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［AUDIO IN Select］で音源を［LINE］に設定したとき、AUDIO IN端子はAUDIO IN CH-1端子およびAUDIO IN CH-2端子として機能します。



ピン番号	機能
1	GND
2	AUDIO IN CH-1+ (HOT)
3	AUDIO IN CH-1- (COLD)
4	AUDIO IN CH-2+ (HOT)
5	AUDIO IN CH-2- (COLD)

2 本機の電源を切り、XLRケーブルをAUDIO IN端子に接続する。

3 SETUPスイッチの2番でファンタム電源の有無を設定する。



+48V電源（ファンタム電源）の切り替え方法については、以下の設定を行います。
スイッチ2
音声入力機器を接続する際の+48V電源（ファンタム電源）のOn/Offを設定します。

設定	説明
OFF（初期設定）	+48V電源（ファンタム電源）をOffにして、LINEまたはMIC入力をCH-1およびCH-2の音源にします。

設定	説明
ON	+48V電源（ファンタム電源）をOnにして、ファンタム電源対応マイクをCH-1およびCH-2の音源にします。

ご注意

- 本スイッチをOnにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続機器が故障する恐れがあります。接続前にご確認ください。

4 **本機の電源を入れて、接続した機器に応じてカメラメニューの［Audio］メニュー >［Audio Input］の［AUDIO IN Select］を設定する。**

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

コンピューターでクリップを管理・編集する

コンピューターでクリップを管理・編集することができます。

カードリーダー（別売）を使ってクリップを取り込む

コンピューターにCFexpress Type Aカードリーダーまたはカードリーダーを接続して、Catalyst Browseなど、本機の記録フォーマットに対応したソフトウェアを使用してクリップを取り込んでください。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

光ファイバー信号を出力する

本機のOPTICAL端子に、SFP+モジュール（別売）を接続することで、SDI信号を光変換した信号が出力できます。フォーマットごとの信号帯域に合ったSFP+モジュールをご使用ください。

信号帯域

- 4K (59.94p、50p)の場合：12G
- 4K (59.94p、50p以外)の場合：6G
- HD (59.94p、50p)の場合：3G
- HD (59.94p、50p以外)の場合：1.5G

ご注意

- 下記の規格に準拠しているモジュールをご使用ください。
  - SFF規格
    SFF-8083/SFF-8418/SFF-8419*/SFF-8432/SFF-8433/SFF-8071/SFF-8472
    * Power Level Ⅰ(1.0W)
  - SDI規格
    ST297/ST292/ST424/ST425/ST2081/ST2082
- SFP+モジュールには、SDI出力端子と同一の信号が出力されます。
- 本機は光ファイバー信号入力には対応していません。
- 光ファイバー信号出力には、SFP+モジュールを使用してください。動作確認済のSFP＋モジュールに関しては、お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

タリー信号を接続する

タリー信号の制御について説明します。

リモートコントローラーからの信号でタリーランプを点灯させる

RM-IP500などの外部機器からVISCA over IPのコマンドにより、タリーランプを点灯させることができます。
Webメニューまたはカメラメニューの［Technical］メニュー >［Tally］の［Tally Control］を［External］に設定してください。

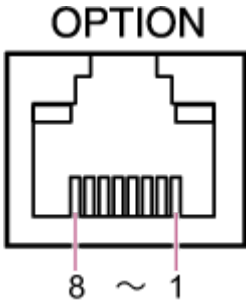
外部機器からタリーランプを点灯させる

RM-IP500やスイッチャーなどの外部機器から本機のタリーランプを赤色または緑色に点灯させることができます。 タリーの制御はネットワークコマンドによる通信、および本機のOPTION端子へのタリー信号入力により行うことができます。
Webメニューまたはカメラメニューの［Technical］メニュー >［Tally］ >［Tally Control］を［External］に設定してください。
OPTION端子にタリー信号を入力する場合は、7番ピンをGND（4、5ピンのどちらか）に短絡することでタリーランプを緑色に、8番ピンをGND（4、5ピンのどちらか）に短絡することでタリーランプを赤色に点灯させることができます。

ご注意

- ［Tally Control］を［External］に設定すると、タリーランプに本機の記録状態は表示されなくなります。
- Red TallyとGreen Tallyが同時に入力されたとき、本機のタリーランプは赤点灯します。

OPTION端子のピン仕様



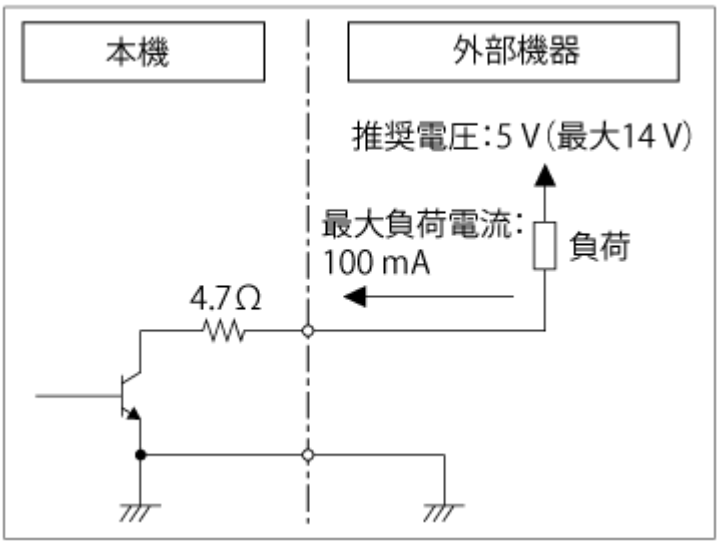
ピン番号	信号方向	信号仕様
1	–	RS-232C TX信号（レンズコントローラー用）
2	–	RS-232C RX信号（レンズコントローラー用）
3	OUT	● Green Tally点灯出力 ● Green Tally点灯時はLowを出力 ● Green Tally消灯時はHi-Z（Open Drain出力）
4	–	GND(Ground)
5	–	GND(Ground)

ピン番号	信号方向	信号仕様
6	OUT	• Red Tally点灯出力 • Red Tally点灯時はLowを出力 • Red Tally消灯時はHi-Z（Open Drain出力）
7	IN	Green Tally外部制御入力 Ground（4、5ピンのどちらか）に短絡すると、本機のタリーが緑色で点灯
8	IN	Red Tally外部制御入力 Ground（4、5ピンのどちらか）に短絡すると、本機のタリーが赤色で点灯

本機の信号で外部機器のタリーランプを点灯させる

OPTION端子の3および6番ピンを以下のように接続して、本機の信号で外部機器のタリーランプを点灯させることができます。

OPTION端子の3、6番ピン接続例



ご注意

- 7、8ピンに電圧を加えないでください
- OPTION端子には電圧を印可するような外部機器を接続しないでください。
- 3、6ピンに定格を超える突入電流、逆起電力を印加すると、故障、発煙、発火の原因となります。
- 出力信号は、Webメニューまたはカメラメニューの［Technical］メニュー > ［Tally］の［Tally Control］の設定に従います。
  ［Internal］：本機の記録動作状態
  ［External］：本機がIN信号やリモートコントローラなどから受けたRed/Green各タリー信号の論理和

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

トラッキングデータ（free-d）を出力する

本機は、パン・チルト・ズーム、フォーカスおよびアイリスのトラッキング情報を同期信号にあわせて出力することができます。
データの出力は業界標準であるfree-dプロトコルに準拠しており、常時出力する方法と、クライアントからの要求に応じて出力する方法のどちらかを選択できます。お使いのVR/ARシステムに応じて出力方法を選択してください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 トラッキングデータの出力方法を設定する。

常時出力する場合

1. Webメニューの［Technical］メニュー >［Tracking Data Output］の［Transfer Mode］の設定で［Always］を選択する。
2. ［Camera ID］で本機のIDを設定する。
3. ［Destination Address］に出力先のIPアドレスを指定する。
4. ［Destination Port］に出力先のポート番号を指定する。
5. ［OK］ボタンを押す。

クライアントからの要求に応じて出力する場合

1. Webメニューの［Technical］メニュー >［Tracking Data Output］の［Transfer Mode］の設定で［On Demand］を選択する。
2. ［Camera ID］で本機のIDを設定する。
3. ［Listen Port］でクライアントからの要求を待ち受けるポート番号を指定する。
4. ［OK］ボタンを押す。

データの出力形式について

ヒント

- 技術情報の詳細は「free-dインテグレーションマニュアル」に記載しています。ソニーの営業担当にお問い合わせください。

本機が出力するトラッキングデータは、free-dプロトコルのType D0/D1で規定された形式に従って下記のデータを格納して出力されます。
Type D0 – poll/command

記号	内容	説明
<D0>	Message type	
<CA>	Camera ID	
<CD>	command	次のコマンドに対応 - 00 Stop stream mode - 01 Start stream mode

記号	内容	説明
<CK>	Checksum	

Type D1 – camera position/orientation data

記号	内容	説明
<D1>	Message type	
<CA>	Camera ID	
<PH><PM><PL>	Camera Pan Angle	Panの角度（-170°～170°）
<TH><TM><TL>	Camera Tilt Angle	Tiltの角度（-30°～195°）
<RH><RM><TL>	Camera Roll Angle	非対応（常時0）
<XH><XM><XL>	Camera X-Position	非対応（常時0）
<YH><YM><YL>	Camera Y-Position	非対応（常時0）
<HH><HM><HL>	Camera Height	非対応（常時0）
<ZH><ZM><ZL>	Camera Zoom	焦点距離
<FH><FM><FL>	Camera Focus	ピント距離
<SH><SL>	Spare/User Defined	アイリスの位置
<CK>	Checksum	

ご注意

- 以下の状態のときにトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。
  - RAW動画を出力しているとき
  - S&Qモーションがonのとき
  - カメラメニューを表示しているとき
  - サムネイル画面を表示しているとき
  - 記録したクリップを再生中のとき
  - Webメニューを表示しているとき

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズコントローラーを接続する

本機に対応した市販のレンズコントローラー（別売）を接続すると、手動ズームレンズのズーム操作をWeb App、RM-IP500（別売）および赤外線リモコンから行うことができます。
レンズコントローラーの接続方法は、レンズコントローラーの取扱説明書をご覧ください。
レンズコントローラーでズームを調節するための設定方法は、「レンズコントローラーでズームを調節する」をご覧ください。

ご注意

- レンズコントローラーをご使用になる前に、レンズコントローラーの取扱説明書をよくお読みになり、記載事項を充分ご理解いただいた上でご使用ください。レンズコントローラーを使用して生じた不利益に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- レンズコントローラーが有効な時、全画素超解像ズームの操作はできません。あらかじめ全画素超解像ズームを1.0倍にするか、全画素超解像ズームを無効に設定することをお勧めします。
- レンズコントローラーが有効な場合、カメラのフレーミング操作を記録/再生することはできません。

関連項目

- レンズコントローラーでズームを調節する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズコントローラーでズームを調節する

レンズコントローラー（別売）の取り付けとズーム調節方法は以下のとおりです。

1. **本機端子部のOPTION端子にレンズコントローラーを接続する。**

   取付方法の詳細に関しては、レンズコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

2. **使用するズームレンズに対して、レンズコントローラーを使用するための準備をする。**

   詳しくはレンズコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

3. **本機をパン・チルトロックしてから、ズームレンズを装着する。**

   詳しくは「レンズを取り付ける」をご覧ください

4. **ズームレンズを動かせるようにレンズコントローラーを調整する。**

5. **スライドベースが水平になるように、カメラヘッドを前後させてバランスを取る。**

   詳しくはレンズコントローラーの取扱説明書、および「レンズを取り付ける」をご覧ください。

6. **Webメニューの［Technical］ > ［Lens Controller］の［Setting］を［On］に設定して、［OK］ボタンを押す。**

   本機が再起動します。パン・チルト リセット動作が終了するまでお待ちください。

7. **Web Appのライブ操作画面のカメラ操作部の（Others）タブで Initialize （レンズコントローラー初期化）ボタンを押す。**

   ズーム範囲を検出するためレンズコントローラーが動きます。詳しくはレンズコントローラーの取扱説明書をご覧ください。
   カメラ映像部左上の（レンズコントローラー異常）表示が（レンズコントローラー正常）に変わったら、準備完了です。

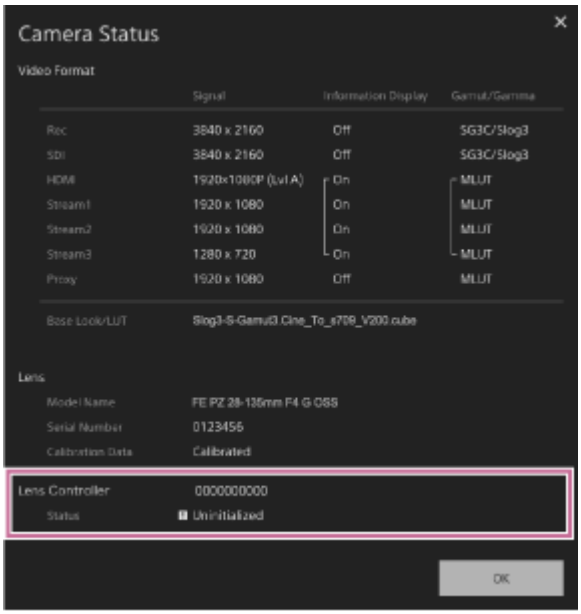
   ご注意

   - レンズコントローラーを初期化するときは、レンズの稼働範囲に注意してください。

8. **Web Appの［Zoom］スライダーや赤外線リモコンのズーム操作ボタンなどでズームを調節する。**

レンズコントローラーの状態を確認するには

Web App画面共通部分の（Camera Status）ボタンを押すと、カメラステータス画面が表示されます。



この画面でレンズコントローラーの状態を確認できます。

状態	説明
Off	Eマウントレンズ内蔵のパワーズームを使用します。
Communication Error	本機とレンズコントローラーの通信に異常があります。 本機とレンズコントローラーの接続や、レンズコントローラーの取扱説明書の記載事項を確認して、再度初期化を実行してください。
Uninitialized	初期化を実行してください。
Initializing	初期化が終わるまでお待ちください。
Initialization Failed	本機とレンズコントローラーの接続や、レンズコントローラーの取扱説明書の記載事項を確認して、再度初期化を実行してください。
Working	レンズコントローラーでズームを行います。
Rotation Error	記憶しているズーム可動範囲とレンズの可動範囲が一致していない可能性があります。レンズコントローラーを初期化してください。
System Error	本機とレンズコントローラーの接続や、レンズコントローラーの取扱説明書の記載事項を確認して、再度初期化を実行するか、本機とレンズコントローラーの電源を入れなおしてください。
Unknown Error	

ご注意

- レンズを交換したときは、レンズコントローラーの初期化を実行してください。
- レンズコントローラーが有効なときは、全画素超解像ズームの操作はできません。あらかじめ全画素超解像ズームを1.0倍にするか、全画素超解像ズームを無効に設定することをお勧めします。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

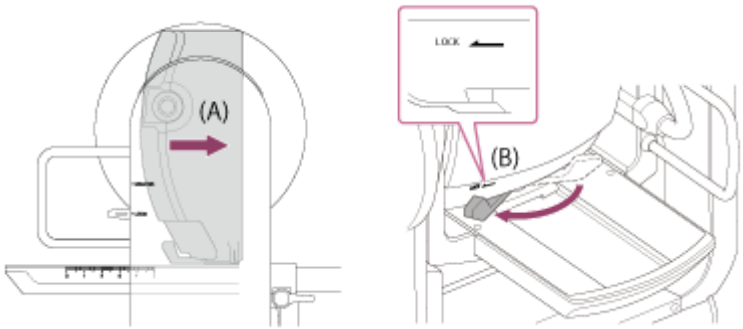
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

使用上のご注意

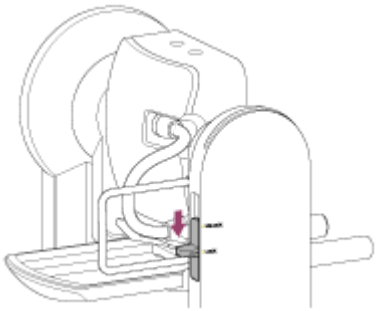
輸送・梱包する場合のご注意

本機を輸送・梱包する場合は、下記の状態にして強い振動や衝撃を与えないようにしてください。

- レンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける
- カメラヘッド（A）を最前面に移動後、カメラヘッドロックレバー（B）を矢印の方向に回し、カメラヘッドを固定する



- カメラヘッドを正面に向け、パン・チルトロックレバーでロックする



- 接続ケーブルを取り外す

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

- 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

- **白点**
  イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
  これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。定期的にAPRを実行してください。
  また、下記の場合、白点が見えやすくなります。
  - 高温の環境で使用するとき

- ゲイン（感度）を上げたとき

- **フリッカー**
  蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見えることがあります。

レンズ/パン・チルト駆動部について

レンズやパン・チルト駆動部は、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

有寿命部品について

- ファン、内蔵の充電式電池は有寿命部品として定期的な交換が必要です。
  常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。
  交換の際はお買い上げ店 にご相談ください。

- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっていた状態、またはPOE++で電源が共有されている状態で24時間経過すれば充電されます。電源につながないままで2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。
次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 屋外や40℃を超える暑い場所
  真夏、窓を閉め切った自動車内は50 ℃を越えることがあります。
- 0℃を下回る寒い場所
- 湿気・ほこりの多い所。雨があたる所。
- 振動や衝撃のある所。
- 放射線やX線および強力な磁気が発生する所。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。携帯電話などはできるだけ本機に近づけないようにしてください。

医療機器に近づけない

本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。また、パスワードには他人に推測されにくく、十分な長さのある文字列を設定して厳重に保管することを推奨します。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

電源について

- 本機に電源スイッチはありません。本機の電源を切る場合は、操作が完了していることを確認後、電源をスタンバイ状態にしてから、ACアダプターを抜いてください。POE++給電の場合は、LANケーブルを抜いてください。
- 電源は必要に応じて電源プラグを抜き差ししやすい場所からとってください。
- ほこりが付きやすい場所のコンセントを使用する場合は、トラッキング防止のため定期的にコンセント周りを清掃してください。
- 使用しないときは電源を切ってください。

可動部についての注意

- 可動部に異物が混入しないようにしてください。
- 可動部を手で動かす場合は負荷がかからないようにしてください。故障の原因になります。
- 動作中に可動部の操作を妨げることはしないでください。けがや故障の原因になります。
- 本機を長期間使用しないと、可動部が正常に動作しなくなることがあります。定期的に本機のパン・チルト操作をしてください。

連続運用についての注意

- 本機は、24時間365日通電（電源スタンバイ状態）が可能です。
- 必ず事前に撮影テストを行い、正常に撮影されていることを確認ください。
  - 本機は、24時間以上の連続撮影は保証できません。
  - 24時間以上の撮影を行う場合は、一度電源をスタンバイ状態にして再度起動してください。
- 本機を使用中、万一これらの不具合により撮影されなかった場合の撮影内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

記録機能についての注意

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディアなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

出力のフォーマットと制限

出力のフォーマットと制限について説明します。

ご注意

- 出力フォーマットの解像度はWebメニューまたはカメラメニューの［Project］メニュー > ［Rec Format］の［Frequency］、［Codec］および［Video Format］の設定によって制限されます。
- 出力フォーマットの解像度は、S&Qのフレームレートとの組み合わせによっても制限されます。下記の「SDI OUT/HDMI OUT端子の出力フォーマット」の表に加えて、以下の設定条件をすべて満たす場合、HDMI出力はFHD以下になります。
  - ［Shooting］メニュー > ［S&Q Motion］の［Setting］が［On］
  - ［Shooting］メニュー > ［S&Q Motion］の［Frame Rate］が60fpsを超える値
- 上記条件を満たした場合、［Monitoring］メニュー > ［Output Format］の［SDI/HDMI］でHDMI出力が4096×2160P/3840×2160Pとなっている選択肢はグレーアウトされ選択できなくなります。
- 再生画像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

SDI OUT/HDMI OUT端子の出力フォーマット

システム周波数が50/59.94Hzの場合

設定		選択可能な出力フォーマット	
記録・再生モード	RAW出力解像度/内部記録解像度	SDI	HDMI
RAW RAW & XAVC-I	4096×2160 (RAW)	(4096×2160 RAW)	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P（初期値） 1920×1080i
	3840×2160 (RAW)	(3840×2160 RAW)	3840×2160P 1920×1080P（初期値） 1920×1080i

設定		選択可能な出力フォーマット	
記録・再生モード	RAW出力解像度/内部記録解像度	SDI	HDMI
XAVC-I XAVC-L	4096×2160	4096×2160(2SI)[1)]	4096×2160P 1920×1080P 1920×1080i
		3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080P(Level A)（初期値）	1920×1080P（初期値） 1920×1080i
		1920×1080P(Level B)	1920×1080P 1920×1080i
	3840×2160	3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080P(Level A)（初期値）	1920×1080P（初期値） 1920×1080i
		1920×1080P(Level B)	1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P(Level A)（初期値）	1920×1080P（初期値） 1920×1080i
		1920×1080P(Level B)	1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
		（出力停止）	720×480P[2)] 720×576P[3)]

1) 画面表示の重畳はできません。
2) システム周波数が59.94のとき。
3) システム周波数が50のとき。

システム周波数が25/29.97Hzの場合

設定		Output Format（出力解像度）	
記録・再生モード	RAW出力解像度/内部記録解像度	SDI	HDMI
RAW RAW & XAVC-I	4096×2160 (RAW)	(4096×2160 RAW)	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i（初期値）
	3840×2160 (RAW)	(3840×2160 RAW)	3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i（初期値）

設定		Output Format（出力解像度）	
記録・再生モード	RAW出力解像度/内部記録解像度	SDI	HDMI
XAVC-I XAVC-L	4096×2160	4096×2160(2SI)	4096×2160P 1920×1080P
		3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P
		1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF（初期値）	1920×1080i（初期値）
	3840×2160	3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P
		1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF（初期値）	1920×1080i（初期値）
	1920×1080	1920×1080P 1920×1080PsF	1920×1080P 1920×1080i

システム周波数が23.98Hzの場合

設定		Output Format（出力解像度）	
記録・再生モード	RAW出力解像度/内部記録解像度	SDI	HDMI
RAW RAW & XAVC-I	4096×2160 (RAW)	(4096×2160 RAW)	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P（初期値）
	3840×2160 (RAW)	(3840×2160 RAW)	3840×2160P 1920×1080P（初期値）
XAVC-I XAVC-L	4096×2160	4096×2160(2SI)	4096×2160P 1920×1080P
		3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P
		1920×1080P（初期値）	1920×1080P（初期値）
	3840×2160	3840×2160(2SI)	3840×2160P 1920×1080P
		1920×1080P（初期値）	1920×1080P（初期値）
	1920×1080	1920×1080P（初期値）	1920×1080P（初期値）

システム周波数が24Hzの場合

設定		Output Format（出力解像度）	
記録・再生モード	RAW出力解像度/ 内部記録解像度	SDI	HDMI
RAW RAW & XAVC-I	4096×2160 (RAW)	(4096×2160 RAW)	4096×2160P 1920×1080P（初期値）
XAVC-I	4096×2160	4096×2160(2SI) 1920×1080P（初期値）	4096×2160P 1920×1080P（初期値）

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

トラブル時の対処

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	ACアダプターがDC IN端子にしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	電源コードがACアダプターや電源コンセントにしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	PoE++対応の給電装置と本機のLANケーブルがしっかり接続されていない。	ロックするまで確実に差し込んでください。
	LANケーブルがOPTION端子に接続され、LAN端子に接続されていない。	LANケーブルをLAN端子に正しく接続してください。
	PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)に対応していない給電装置と接続している。	PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)に対応した給電装置を接続してください。
	PoE++給電装置が給電できるトータルの電力制限を超えている。	PoE++給電装置の取扱説明書をお読みください。
	PoE++給電に対応していないカテゴリーのネットワークケーブルが接続されている。	LAN端子にカテゴリー5e以上のネットワークケーブルをご使用ください。
	カメラ、PoE++給電装置、周辺機器のアースが接続されていない。	カメラ、PoE++給電装置、周辺機器のアースを接続してください。

映像出力

症状	原因	対策
映像が出ない。	接続した機器と正しく接続されていない。	接続した機器と正しく接続してください。
	初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
HDMIから映像が出ない。	HDMI出力先の機器で対応していない信号を設定している。	HDMIの出力フォーマット設定を変更するか、出力信号に対応した機器をご使用ください。
	使用するHDMI規格に対応したケーブルが使われていない。	使用するHDMI規格に対応したケーブルを使ってください。

症状	原因	対策
SDIから映像が出ない。	使用するSDI規格に対応したケーブルが使われていない。	使用するSDI規格に対応したケーブルをご使用ください。
	SDI端子に接続されたモニターが出力信号に対応していない。	使用するSDIの規格に対応したモニターをご使用ください。
	記録フォーマットにRAW出力が設定されている。	記録フォーマットをRAW出力以外に変更してください。
	HDMIがSD解像度に設定されている。	HDMIをSD解像度以外に設定してください。
光ファイバーから映像が出ない/乱れる。	SFF対応規格およびSMPTE規格に準拠していないまたは、Power Level I (1.0W)を満たしていないモジュールを使っている。	「光ファイバー信号を出力する」を参照してください。
外部同期使用時に映像が出ない/乱れる。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力してください。
音声にノイズが発生する。	カメラ、POE++給電装置、周辺機器のアースが接続されてない。	本機、POE++給電装置、周辺機器のアースを接続してください。
	周辺に強い電界や磁界を発生する機器（テレビやラジオの送信アンテナ、アマチュア無線送信装置、エアコンのモーター、電源トランスなど）がある環境で使っている。	強い電界や磁界を発生させる機器から離してください。
	レンズ/レンズサポートおよび駆動部が、本体や周辺環境と接触し、異音が発生している。	• レンズを正しく取り付けてください。 • カメラ周囲の障害物を確認してください。

リモートコントローラー

赤外線リモコン

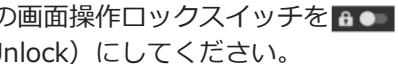
症状	原因	対策
赤外線リモコンのボタンを押しても動作しない。	赤外線リモコン操作が無効に設定されている。	Webメニューの［Technical］メニュー > ［IR Remote］の［Setting］を［On］にしてください。
	電池が消耗しているか、電池の極性が間違っている。	赤外線リモコンを、IR受光部近くで操作して、Power LEDが点滅しない場合は、電池を交換してください。
	初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
パン・チルト動作のスピードが遅い。	赤外線リモコンからのパン・チルトスピードがノーマルモードになっている。	本機の端子部にあるSETUPスイッチの4番をONにしてください。
操作したいカメラ以外が動いてしまう。	操作したいカメラ以外に赤外線が届いている。	操作の必要のないカメラはWebメニューの［Technical］メニュー > ［IR Remote］の［Setting］を［Off］にしてください。

RM-IP500

症状	原因	対策
リモートコントローラーRM-IP500からカメラが操作できない。	カメラに電源が接続されていない。	本機のPOWERランプが緑色またはオレンジ色で点灯していることを確認してください。
	カメラまたはリモートコントローラーがネットワークに接続されていない。	本機とリモートコントローラーの接続を確認してください。
	カメラの初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
	VISCA over IP通信が有効になっていない。	本機の端子部にあるSETUPスイッチの3番をONにして再起動してください。
	カメラのIPアドレスが変更されている。	Webメニューまたはカメラメニューの［Network］メニュー >［Wired LAN］でカメラのIPアドレスを確認してください。
リモートコントローラーRM-IP500のAUTO IP SETUPでカメラのIPアドレスを変更できない。	カメラの起動から20分以上経過した。	本機を再起動してください。AUTO IP SETUPでIPアドレスを変更できるのは、本機が起動してから20分以内です。

Web App

症状	原因	対策
Webブラウザーがつながらない。	カテゴリー5e以上のLANケーブルが接続されていない。	カテゴリー5e以上のLANケーブルを接続してください。
	LANに正常に接続されてないか、接続先のネットワークが正常動作していない。	LAN端子のLINKのLEDが点灯していることを確認してください。LINKのLEDが点灯していない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	カメラに電源が接続されていない。	「電源が入らない」をご覧ください。
	本機に有効なIPアドレスが設定されていない。	ネットワークリセットを実行してください。
	設定したIPアドレスが他の機器と重複している。	他の周辺機器のIPアドレスが重複していないことを確認してください。
	設定したサブネットマスクが、設置先のネットワークサブネットと一致していない。	ネットワークリセットを実行してください。
	同じローカルネットワークの本機をプロキシサーバー経由でアクセスしている。	プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
	本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っている。	ネットワークリセットを実行してください。
	入力したURLが異なっている。	正しいURLを入力し直してください。
	HTTP Portが異なっている。	外部モニターにカメラメニューを表示し、［Network］メニュー > ［Wired LAN］で［HTTP Port］設定を確認してください。80以外に設定してある場合は、Webブラウザーに入力したホスト名またはIPアドレスにHTTP Portを追加してください。 例）HTTP Portが8080の場合http://<IP Address>:8080
	本機のHTTPポート番号がフィルタリング対象になっている。	本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポートに変更してください。
	Webブラウザーの古いキャッシュが悪影響を及ぼしている。	Webブラウザーからキャッシュを削除してください。
二次元コード（QRコード）を読んでもWeb Appにつながらない。	mDNSに対応していない機器が使用されている。	mDNSに対応している機器をご使用ください。 対応していない機器を使用する場合は、WebブラウザーにIPアドレスを直接入力してください。
	タブレットまたはコンピューターを、カメラと異なるネットワークに接続している。	タブレットまたはコンピューターを、本機と同じローカルネットワークに接続してください。

症状	原因	対策
URLを手入力してもWeb Appにつながらない。	mDNSに対応していない機器が使用されている。	mDNSに対応している機器を使用してください。
	タブレットまたはコンピューターを、カメラと異なるネットワークに接続している。	タブレットまたはコンピューターを、本機と同じローカルネットワークに接続してください。
認証画面が連続して表示される。	正しいユーザー名やパスワードが入力されていない。	登録済みのユーザー名やパスワードを入力してください。登録したユーザー情報を忘れてしまった場合、「端子部」の「RESETスイッチ」を参照して、ネットワーク接続用のユーザー情報を初期化してください。
	別のWebブラウザーでログイン中のユーザーがユーザー名、またはパスワードを変更している可能性がある。	本機の管理者に正しいユーザー名、またはパスワードを確認してください。
カメラ映像がWeb Appに表示されない。	カメラのHDMI出力が720x480または720x576に設定されている。	本機のHDMI出力の解像度を変更してください。
	カメラのHDMI出力信号に非対応のHDMIモニターが接続されている。	HDMIモニターを取り外してください。または、HDMI出力の設定内容に対応したHDMIモニターをご使用ください。
	本機が再起動してセッションが切断された。	1分ほど待ってから、Webブラウザーをリロードしてください。
	Webブラウザーの古いキャッシュが悪影響を及ぼしている。	Webブラウザーからキャッシュを削除してください。
Web Appに表示されるカメラ映像の解像度が低い。	Web Appで使う映像3の解像度が低く設定されている。	Webメニューの［Stream］メニュー >［Video Stream］の［Size 3］の設定を大きくしてください。
［Menu］ボタンを押してもカメラメニューが表示されない。	HDMI出力信号にカメラメニューを重畳しない設定になっている。	Webメニューの［Monitoring］メニュー >［Output Display］の［HDMI/Stream］を［On］に設定してください。
設定画面の設定値がうまく更新されない/表示されない。	Web Appの設定画面は、他のWeb Appなどで変更した設定は自動的には反映されない。	Web Appの設定画面下部の［Reload］ボタンを押してください。表示している設定画面の設定値を再取得して更新します。
	インターネット一時ファイルの設定が影響している。	Webブラウザーの古いキャッシュを削除してください。
設定ファイルやログのダウンロードができない。	Webブラウザーでファイルのダウンロード機能が無効になっている。	Webブラウザーでファイルのダウンロード機能を有効にしてください。
Web Appの設定画面は操作できるが、ライブ操作画面と再生操作画面を操作できない。	Web Appの操作画面がロックされている。	Web App右上の画面操作ロックスイッチを  （Operation Unlock）にしてください。

症状	原因	対策
Web Appの画面表示に時間がかかる。	複数のユーザーが同時に本機のストリーミング映像を参照している。	Web Appの同時使用数を減らしてください。
画像が乱れる/カクカクする。	通信路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されない。	通信帯域に余裕をもたせるため、ストリーミングするビットレートさげるか、［Video Stream 3］の［Size］でサイズの小さい項目を選択するか、フレームレートを下げて使用してください。
	タブレットのWebブラウザーが複数立ち上がっていて、メモリーを圧迫している。	バックグラウンドで動作しているWebブラウザーを閉じてください。
	Webブラウザーのタブを開きすぎていて、動作が遅くなっている。	使っていないタブは閉じてください。
	Webブラウザーのキャッシュや閲覧履歴の過剰な蓄積により動作が遅くなっている。	Webブラウザーのキャッシュを削除してください。

撮影

カメラ

症状	原因	対策
パン・チルトの動作開始時や動作終了時に映像が歪んでみえる。	レンズの手ブレ防止機能がONになっていると、映像が歪むことがある。	レンズの手ブレ防止機能をOFFにしてください。
操作していないのに画角が変動する。	レンズのブリージングが発生している。	「ブリージング補正」をご覧ください。
フォーカス、ズーム、アイリスを操作できない。	レンズに付いているスイッチの設定が間違っている。	「レンズのスイッチを確認する」をご覧ください。

パン・チルト

症状	原因	対策
パン・チルトのリセットが実行できない。	パン・チルトロックレバーが「LOCK」になっている。	パン・チルトロックレバーを「UNLOCK」に移動してください。
カメラが期待通りの位置に止まらない。	カメラブロックのバランスが取れていない。	「レンズを取り付ける」を参照して、カメラブロックを適切な位置に前後させ、電源を入れ直してください。
	パン・チルトに対応していないレンズを装着している。	レンズ互換情報を参考にし、パン・チルトに対応しているレンズを装着し、電源を入れ直してください。
	パン・チルトリセットが実行されていない。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。
	カメラヘッドに、想定外の力がかかり、パン・チルト制御にずれが生じている。	

症状	原因	対策
Home（パンチルトホーム）ボタンを押したときに、カメラが正面を向かない。	天吊りモードの設定になっている。	Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Direction］の［Ceiling］の設定を実際の設置に合わせて設定し、電源を入れ直してください。なお天吊り設置状態では、端子部側がカメラの正面になります。
パン・チルトの動作が制限される。	パン・チルトリミットが設定されている。	「P/T Range Limit」を参照して、必要に応じてパン・チルトリミットの設定を解除してください。
	カメラヘッドに想定外の力がかかり、パン・チルトエラーが発生している。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。
パン・チルトが操作と逆方向に動作する。	天吊り設置モードの設定と実際の設置が一致していない。	Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Direction］メニュー内の［Ceiling］の設定を実際の設置に合わせて設定してください。
	パン・チルトの動作方向に関する設定が変更されている。	Webメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Direction］メニュー 内の設定を確認してください。
パン・チルトの動作開始時や動作終了時に滑らかに移動開始/停止しない。	パン・チルト動作の加減速の設定値が大きすぎる。	WebメニューまたはカメラメニューのPan-Tilt］メニュー >［P/T Acceleration］の［Ramp Curve］の設定でパン・チルト動作の加減速の設定値を小さくすることで動作開始時や動作終了時の動きが滑らかになる場合があります。一方で、意図した速度まで到達する時間が長くなります。
パン・チルト動作が止まってしまう。	カメラブロックのバランスが取れていない。	「レンズを取り付ける」を参照して、カメラブロックを適切な位置に前後させ、電源を入れ直してください。
	装着レンズに対してRAMPカーブ（加減速）の設定値が大きすぎる。	大型のレンズを装着した場合は、Webメニューまたはカメラメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Acceleration］の［Ramp Curve］の設定値を小さくしてください。
	大型のレンズを使用している。	ソニーの相談窓口までお問合せください。
パン・チルト動作時に、本体と衝突してしまう。	レンズ三脚座固定ネジのクランプレバーがカメラ本体に衝突している。	レンズ三脚座固定ネジのクランプレバーを上に向けてください。
	レンズサポートクランプレバーがカメラ本体に衝突している。	レンズサポートクランプレバーを上に向けてください。
	カメラヘッドロックレバーがカメラ本体に衝突している。	カメラヘッドロックレバーを「LOCK」側に完全に倒してください。
パン・チルト動作時に異音が発生する。	カメラのバランスが取れていない。	スライドベースが水平になるようにカメラヘッドを適切な位置に前後させてください。
	装着レンズに対してRAMPカーブ（加減速）の設定値が大きすぎる。	大型のレンズを装着した場合は、Webメニューまたはカメラメニューの［Pan-Tilt］メニュー >［P/T Acceleration］の［Ramp Curve］の設定値を小さくしてください。
	カメラヘッドが固定されておらず、動作時に動き音がする。	カメラヘッドロックレバーを「LOCK」にしてください。

症状	原因	対策
プリセットポジションの保存ができない。	全画素超解像ズームが働いている状態では、プリセットの保存ができない。	全画素超解像ズームの倍率を1倍に戻してください。（（ズーム倍率）の右に倍率が表示されていない状態）
プリセットポジションの再生時に画角がずれてしまう。	画角の保存時と再生時の環境温度が大きく異なっている。	プリセットポジションを保存しなおしてください。
	レンズキャリブレーションが実行されていない。	カメラメニューの［Technical］メニュー >［Lens］の［Lens Calibration］でキャリブレーションを実行してください。
	プリセット保存時に装着していたレンズと異なるレンズが装着されている。または、手動ズームのズーム位置が異なっている。	プリセットポジションを保存しなおしてください。
Web Appの画角操作部がグレーアウトされて操作できない。	サムネイル画面の表示中および再生中はパン・チルト操作できない。	再生操作画面を表示させてサムネイル画面の表示または再生を中止してください。
	Web Appにカメラ映像を表示できないときは、パン・チルト動作ができない。	「トラブル時の対処」の「Web App」を参照してください。
	パン・チルトロックレバーが「LOCK」状態になっている。	パン・チルトロックレバーを「UNLOCK」に移動してください。
Web Appの画角操作部の下に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている	カメラヘッドに、想定外の力がかかり、パン・チルトエラーが発生している。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。

記録・再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	充分な空き容量のあるメモリーカードに交換してください。
	修復が必要なメモリーカードが入っている。	「メモリーカードを修復する」を参照してメモリーカードを修復してください。
	記録/タリーランプがタリーランプに設定されていて、記録状態がランプで判別できない。	「タリー信号を接続する」を参照して、記録/タリーランプの動作を記録ランプに設定してください。
音声が記録できない。	マイクが接続されていない。	端子部のAUDIO IN端子にマイクや音声機器を接続してください。
	［Master Input Level］の設定値が最小になっている。	［Master Input Level］を調節してください。

症状	原因	対策
記録した音声がひずんでいる。	音声入力レベルの設定値が高すぎる。	［CH1 Input Level］～［CH4 Input Level］および［Master Input Level］を調節してください。
		音楽ライブ会場など大音量の環境でマイクを使用する場合はまず、［AUDIO IN CH1 MIC Ref.］、［AUDIO IN CH2 MIC Ref.］を調節してください。
雑音が多い。	音声入力レベルの設定値が低すぎる。	［Audio Input Level］および［Audio］メニュー > ［Audio］の［Audio Input］の［AUDIO IN CH1 MIC Ref.］または［AUDIO IN CH2 MIC Ref.］の設定値を調節してください。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが本機以外のカメラで記録されている。	本機以外のカメラで記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

ファイル転送

症状	原因	対策
ファイル転送が失敗する。	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている。	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。

IPストリーミング

症状	原因	対策
ストリーミングできない。	本機のストリーミングを視聴するクライアントアプリに入力したユーザー名またはパスワードが間違っている。	本機のストリーミング方式に［RTSP］、［SRT-Listener］、［NDI|HX］のいずれかを設定した場合、クライアントアプリには本機に設定したユーザー名・パスワードを入力する必要があります。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	ストリーミングのプロトコルが設定されていない。	Webメニュー >［Stream］の［Stream Setting］で目的のプロトコルを選択してください。
	RTSPのセッションが6本以上設定されている。	セッション数を5本以内にしてください。
	UDPのポート番号が正しく設定されていない。	Webメニュー の［Stream］メニュー>［Stream］の［Stream Setting］で目的のプロトコルで使うポート番号などの設定を確認してください。
	UDP通信がブロックされている。	セキュリティ対策ソフトの設定を確認してください。
音声がストリーミングされない。	ストリーミングの音声出力が［Off］になっている。	Webメニューの［Stream］メニュー >［Audio Stream］の［Setting］を［On］にしてください。
ストリーミングが切断される。	ストリーミング中にプロトコルに関する設定またはストリーミングのコーデック設定が変更された。	プロトコルに関する設定およびストリーミングのコーデックに関する設定は、ストリーミングを開始する前に設定してください。

症状	原因	対策
［Video Stream 1］の画像サイズを4096x2160または3840x2160に設定できない。	［Output Format］のHDMIの画像サイズが1920x1080に設定されてる。	ストリーミングに使う画像サイズは、HDMIの画像サイズより大きくすることはできません。Webメニューの［Monitoring］メニュー>［Output Format］でHDMIの画像サイズを変更してください。
［Video Stream 1］のフレームレートを60または50 FPSに設定できない。	ストリーミングのフレームレートが29.97以下に設定されている。	ストリーミングに使うフレームレートは、システム周波数の制限を受けます。Webメニューの［Rec Format］メニュー>［Frequency］でシステム周波数を変更してください。
［Video Stream 3］のストリームを取得できない。	［Video Stream 3］はRTSP/SRT/NDIには対応していない。	［Video Stream 1］または［Video Stream 2］をお使いください。
RTSPやSRTの画面がうまく更新されない、表示されない。	RTSPまたはSRTで利用するポート番号がフィルタリング対象になっている。	RTSPまたはSRTのポート番号を、ストリーミングを受信する機器のフィルタリング対象外に変更してください。または、本機のRTSPまたはSRTで利用するポート番号を変更してください。
画像が乱れる/カクカクする。	通信路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されない。	通信帯域に余裕をもたせるため、ストリーミングするビットレートさげるか、［Video Stream 2］のコーデック（［Codec 2］）を［Off］にしてください。
	通信路にて映像パケットの順序入れ替えが発生している。	本機側と受信側で同じインターネットサービスプロバイダーをお使いください。
NDI機器として検出されない。	ストリーミングのプロトコルがNDI|Hxに設定されていない。	NDI機器として検出されるにはストリーミングのプロトコルをNDI|HXに設定する必要があります。Webメニュー >［Stream］の［Stream Setting］で［NDI|HX］を選択してください。
NDI機器として利用できない。	NDI|HXのライセンスがインストールされていない。	NDI|HXのライセンスをインストールしてください。NDI|HXライセンスの有無は、Webメニューの［Stream］メニュー>［Stream］の［Stream Setting］で［NDI|HX］の［License］で確認できます。

外部機器との接続

外部同期

症状	原因	対策
外部同期できない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力してください。
	ダブルターミネーションしている。	本機は75Ω終端を内蔵しています。信号源と1対 1 で接続するか、分配機を使用してください。

Tally

症状	原因	対策
タリーが点灯しない。	タリーランプの明るさがOffに設定されている。	Webメニューの［Technical］メニュー > ［Tally］の［Tally Lamp Brightness］を適切な明るさに設定してください。
	記録/タリーランプの設定が記録ランプになっている。	「タリー信号を接続する」を参照して、記録/タリーランプの動作をタリーランプに設定してください。
	RM-IP500と接続していて、VISCA over IPが無効になっている。	本機の端子部にあるSETUPスイッチの3番をONに設定してください。
	OPTION端子の接続が間違っている。または、対象pinがGNDに短絡していない。	「タリー信号を接続する」に従ってOPTION端子の7pin、8pinをGNDに短絡してください。

レンズコントローラー

症状	原因	対策
（Camera Status）に［Communication Error］が表示されている	カメラがレンズコントローラーと通信できません。	本機とレンズコントローラーの接続を再確認してから、本機とレンズコントローラーの電源を入れなおしてください。
（Camera Status）に［Rotation Error］が表示されている	レンズコントローラーにローテーションエラーが発生しました。	記憶しているズーム可動範囲とレンズの可動範囲が一致していない可能性があります。レンズコントローラーを初期化してください。 解決しない場合は、レンズコントローラーメーカーの窓口までお問合せください。
（Camera Status）に［System Error］が表示されている	レンズコントローラーにシステムエラーが発生しました。	本機とレンズコントローラーの接続や、レンズコントローラーの取扱説明書の記載事項を確認して、再度初期化を実行するか、本機とレンズコントローラーの電源を入れなおしてください。 解決しない場合は、レンズコントローラーメーカーの窓口までお問合せください。
（Camera Status）に［Unknown Error］が表示されている	レンズコントローラーに未定義の エラーが発生しました。	本機とレンズコントローラーの接続や、レンズコントローラーの取扱説明書の記載事項を確認して、再度初期化を実行するか、本機とレンズコントローラーの電源を入れなおしてください。 解決しない場合は、レンズコントローラーメーカーの窓口までお問合せください。

関連項目

- 光ファイバー信号を出力する
- 端子部
- ブリージング補正
- レンズのスイッチを確認する
- レンズを取り付ける
- パン・チルトリセットを行う
- P/T Range Limit
- メモリーカードを修復する
- タリー信号を接続する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

エラー/警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、カメラ映像部のメッセージ表示、前面のPOWERランプとNETWORKランプ、および記録/タリーランプの点滅でお知らせします。

ご注意

- 記録/タリーランプの点滅表示は、Webメニューまたはカメラメニューの［Technical］メニュー >［Tally］の ［Tally Control］が［Internal］かつ［Tally Lamp Brightness］が［Off］以外の場合のみ有効です。

エラー表示

POWERランプとNETWORKランプが以下のように点滅した場合、以下のように対処してください。

POWERランプ	NETWORKランプ	原因と対策
オレンジ色で低速点滅	緑色で低速点滅	機器が正常に動作できない状態です。詳細はWebメニューの［Maintenance］メニュー >［System Log］ をご覧ください。スタンバイ状態にする、または電源を入れなおしても復旧しない場合、ソニーのサービス窓口までご相談ください。
オレンジ色で高速点滅	緑色で高速点滅	機器に異常が発生しています。ソニーのサービス窓口までご相談ください。

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

メッセージ表示	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	高速点滅	本体の異常の可能性があります。カメラ映像部上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 本機の状況によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

メッセージ表示	記録/タリーランプ	原因と対策
Temperature High	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Media Temperature High	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。 カードを交換するか、温度が下がるまでカードの使用を中止してください。

メッセージ表示	記録/タリーランプ	原因と対策
Voltage Low	点滅	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
Media Near Full	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Media Full	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。 交換してください。
Clips Near Full	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Clips Full	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
Last Clip Recording	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいメモリーカードをご用意ください。
Media(A) Life Near End[1)]	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。
Media(A) Life End[1)]	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
Media(A) Near Full[1)]	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) Full[1)]	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) Clips Near Full[1)]	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) Clips Full[1)]	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) Last Clip Rec[1)]	点滅	同時記録機能使用時
（表示なし）	点滅	レンズコントローラーになんらかのエラーが発生している Web Appのカメラステータスで状態を確認してください。 より詳細な情報は、Web AppでSystemログを確認してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。 本機を24時間以上電源に接続して、バックアップ電池を充電してください。

表示内容	原因と対策
Unknown Media(A)[1)] Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A)[1)] Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error Media(A) Needs to be Restored[1)]	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A)[1)]	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをおすすめします。
Media Error Cannot Use Media(A)[1)]	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media(A) Error[1)] Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media(A)[1)]	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してくだい。
The specified address is invalid.	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Cannot Use Specified Port Number	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Lens I/F Error(xx:xx)	Eマウントレンズ装着時にレンズI/F通信でレンズの不具合が検出されました。 Eマウントレンズとの接続状態を確認してください。 改善しない場合は、ソニーのサービス窓口にエラーコード（括弧内の5文字）をお伝えください。
Cannot add auto upload job of Proxy file because maximum number of upload jobs was reached.	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、プロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
Fan Stopped	Fanが動作停止しています。 ほこりや異物が挟まっていないか確認してください。 ほこりや異物を除去してもエラーが継続する場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

RTMPストリーミングエラー情報一覧

本機で表示されるエラー情報は以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

エラーコード		説明	処置
RTMP	RTMPS		
1002 1004	2002 2004	RTMPサーバーに接続できません。	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 ネットワーク接続を確認してください。
1003	2003	ドメイン名を解決できません。	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 DNSサーバー接続を確認してください。
-	2005 2008	CRLエラー	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 接続先が信頼できるサイトか確認してください。
	2006	CA証明書エラー	時刻設定が正しいか確認してください。 CA証明書が正しいか確認してください。
-	2007	CA証明書がインストールされていません。 サーバー証明書の検証エラーです。	CA証明書をインストールしてください。 接続先が信頼できるサイトか確認してください。
4002		RTMPセッションを切断しました。	RTMPサーバー側から切断されている可能性があります。 サービスの推奨コーデックパラメーターと一致するかどうかを確認してください。
4003		ネットワーク回線の品質が低いです。	ネットワーク接続を確認してください。
その他		その他のエラーです。	

SRTストリーミングエラー情報一覧

本機で表示されるエラー情報は以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

エラーコード	説明	処置
SRT-Caller		
1001	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
1002	設定変更による通信の切断	設定が変更されたため、通信が切断されました。 再度、接続してください。
5001	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
5005	接続失敗	接続先設定が正しいか確認してください。
5006	暗号方式エラー	暗号設定が正しいか確認してください。
5007	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
5008	予期せぬエラー	
5009	送信失敗	通信中に切断が発生しました。 ネットワーク接続を確認してください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

メニュー項目一覧

本機で使用するメニュー項目の一覧を以下に示します。

表の見かた

- 「カメラメニュー」および「Webメニュー」
  ●：設定項目あり
  ▲：一部の設定項目あり
  –：設定項目なし

- 「All File」および「Scene File」
  Yes：設定項目がAll FileまたはScene Fileに保存される
  No：設定項目が保存されない

- 「All Reset (except for Network Settings)」
  Webメニューの［Reset］メニュー >［Reset］で［All Reset (except for Network Settings)］を実行したとき
  Yes：ネットワーク設定以外の項目の初期化対象項目
  No：対象外項目

- 「Network Reset」
  Webメニューの［Reset］メニュー >［Reset］で［Network Reset］を実行したとき
  Yes：ネットワーク設定の初期化対象項目
  No：対象外項目

- 「Factory Default」
  Yes：工場出荷時へのリセット対象項目
  No：対象外項目

Shooting

設定項目(第2階層メニュー)	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
ISO/Gain/EI	●	–	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
ND Filter	●	–	Yes	Yes*1	Yes	No	Yes
Shutter	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Iris	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Auto Exposure	●	–	Yes	Yes*2	Yes	No	Yes
White	●	–	Yes	Yes*3	Yes	No	Yes
White Setting	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Offset White	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Focus	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
S&Q Motion	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
LUT On/Off	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Noise Suppression	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Flicker Reduce	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
SteadyShot	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes

*1 ［Mode］は対象外
*2 ［Clip High light］、［Detect Window］、［Average Peak Level Ratio］、［Custom Width］、［Custom H Position］、［Custom V Position］は対象外
*3 ［Preset White］は対象外

Project

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Base Setting	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Rec Format	●	●	Yes	No	Yes*1	No	Yes
Cine EI/Flex.ISO Set	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Simul Rec	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Proxy Rec	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
Interval Rec	●	●	Yes*2	No	Yes	No	Yes
Picture Cache Rec	●	●	Yes*2	No	Yes	No	Yes
SDI/HDMI Rec Control	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Assignable Button	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
All File	–	●	No	No	No	No	No

*1 ［Frequency］は対象外
*2 ［Setting］は対象外

Paint/Look

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Scene File	●	–	No	No	No	No	No

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Base Look	●	▲	Yes*1	No	Yes*1	No	Yes*1
Reset Paint Settings	●	–	No	No	No	No	No
Black	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Knee	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Detail	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Matrix	●	–	Yes	Yes	Yes	No	Yes
Multi Matrix	●	–	Yes*2	Yes*2	Yes	No	Yes

*1 基本ルックとしてインポートしたLUTデータは対象外
*2 ［Axis］は対象外

Pan-Tilt

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
P/T Speed	–	●	No	No	Yes	No	No
P/T Acceleration	●	●	No	No	Yes	No	No
P/T Range Limit	–	●	No	No	Yes	No	No
P/T Direction	–	●	No	No	Yes	No	No
P/T Preset	–	●	No	No	Yes	No	No

TC/Media

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Timecode	●	–	Yes*1	No	Yes	No	Yes
TC Display	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Users Bit	●	–	Yes*1	No	Yes	No	Yes
HDMI TC Out	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Clip Name Format	●	–	*2	No	Yes	No	Yes
Update Media	●	–	No	No	No	No	No

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Format Media	●	–	No	No	No	No	No
Media Life	●	–	No	No	No	No	No

*1 ［Setting］は対象外
*2 ［Auto Naming］は対象、［Camera ID］は対象外

Monitoring

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Output Format	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Output Display	–	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Display On/Off	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Video Signal Monitor	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Marker	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes

Audio

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Audio Input	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
Audio Output	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes

Thumbnail

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Display Clip Properties	●	–	No	No	No	No	No
Set Clip Flag	●	–	No	No	No	No	No
Lock/Unlock Clip	●	–	No	No	No	No	No
Delete Clip	●	–	No	No	No	No	No

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Transfer Clip	●	–	No	No	No	No	No
Transfer Clip (Proxy)	●	–	No	No	No	No	No
Filter Clips	●	–	No	No	No	No	No
Customize View	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes

Technical

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Color Bars	●	–	*1	No	*1	No	Yes
Genlock	●	–	No	No	No	No	No
Tally	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Rec Review	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
Zoom	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
IR Remote	–	●	No	No	Yes	No	Yes
Lens	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
APR	●	–	No	No	No	No	No

*1 ［Type］は対象、［Setting］は対象外

Network

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Camera Name	–	●	No	No	No	No	Yes
User	–	●	No	No	No	Yes	Yes
Wired LAN*1	▲	●	No	No	No	Yes	No
File Transfer	●	▲	Yes	No	Yes	Yes	Yes
FTP Server 1	–	●	No	No	Yes	No	Yes
FTP Server 2	–	●	No	No	Yes	No	Yes
FTP Server 3	–	●	No	No	Yes	No	Yes
SSL	–	●	No	No	No	Yes	Yes
Referer Check	–	●	No	No	No	Yes	Yes

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Brute Force Attack Protection	–	●	No	No	No	Yes	Yes

*1 カメラメニューでは設定対象外（設定値の表示のみ）

Stream

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Stream Setting	–	●	No	No	Yes*1	No	Yes*1
Video Stream	–	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Audio Stream	–	●	Yes	No	Yes	No	Yes

*1 ［NDI|HX］の［License］は対象外

Maintenance

設定項目（第2階層メニュー）	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
Language	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
Accessibility	–	●	Yes	No	No	No	Yes
Clock Set	●	●	Yes*1	No	Yes*2	No	Yes
Reset	–	●	No	No	No	No	No
Hours Meter	●	–	No	No	No	No	No
Information	–	●	No	No	No	No	No
System Log	–	●	No	No	No	No	Yes
HTTP Access Log	–	●	No	No	No	No	Yes
Service	–	●	No	No	No	No	No
EULA	–	●	No	No	No	No	No
Software	–	●	No	No	No	No	No

*1 日時情報は対象外
*2 ［Time Zone］、日時情報は対象外

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

プリセットポジションの保存項目

表中の「Yes」はプリセットポジションに保存される、「No」は保存されないことを示します。

パン・チルト関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の画角操作部	パン・チルトポジションの角度	Yes
	［Pan-Tilt Speed］	No
Webメニューの［Pan-Tilt］	［P/T Speed］	No
	［P/T Acceleration］	No
	［P/T Range Limit］	No
	［P/T Direction］	No
	［P/T Preset］－［Pan-Tilt］	No
	［P/T Preset］－［Default］－［Pan-Tilt Speed］	Yes[1)]

1) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「Web Appで画角のプリセットの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」をご覧ください。

ズーム関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の画角操作部	ズームポジション（焦点距離）	Yes
	［Zoom Speed］	No
Webメニューの［Pan-Tilt］－［P/T Preset］－［Default］	［Zoom Sync］	Yes[1)]
	［Zoom Speed］	Yes[1)]
カメラメニューの［Technical］>［Zoom］	［Zoom Type］	No

1) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「Web Appで画角のプリセットの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」をご覧ください。

フォーカス関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面のカメラ映像部	リアルタイムトラッキングAFで指定した追尾対象	No
	スポットフォーカスで指定した座標	No

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の（Focus）タブ	［Touch Focus］スイッチ	No
	［Auto Focus］スイッチ	Yes
	［Focus Hold］ボタンの状態	No
	［Push AF/MF］ボタンの状態	No
	［Face/Eye Detection AF］	Yes
	［AF Subj. Shift Sens.］	Yes
	［AF Transition Speed］	Yes
	フォーカスポジション	Yes[1)]
Webメニューの［Shooting］メニュー > ［Focus］	［Push AF Mode］※アサイナブルでの設定も含む	No
	［Touch Function in MF］	No
	［AF Assist Control］	No
Webメニューの［Pan-Tilt］－［P/T Preset］－［Default］	［Focus Recall］	Yes[2)]
	［MF Speed］	Yes[2)]
カメラメニューの［Shooting］メニュー > ［Focus］	［Focus Area］で設定したフォーカスエリアのサイズと位置	Yes
	［Focus Area (AF-S)］で設定したフォーカスエリアの位置	Yes

1) ［Auto Focus］スイッチがOnのときは復元されません。Offのときは復元されます。
2) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する」をご覧ください。

関連項目

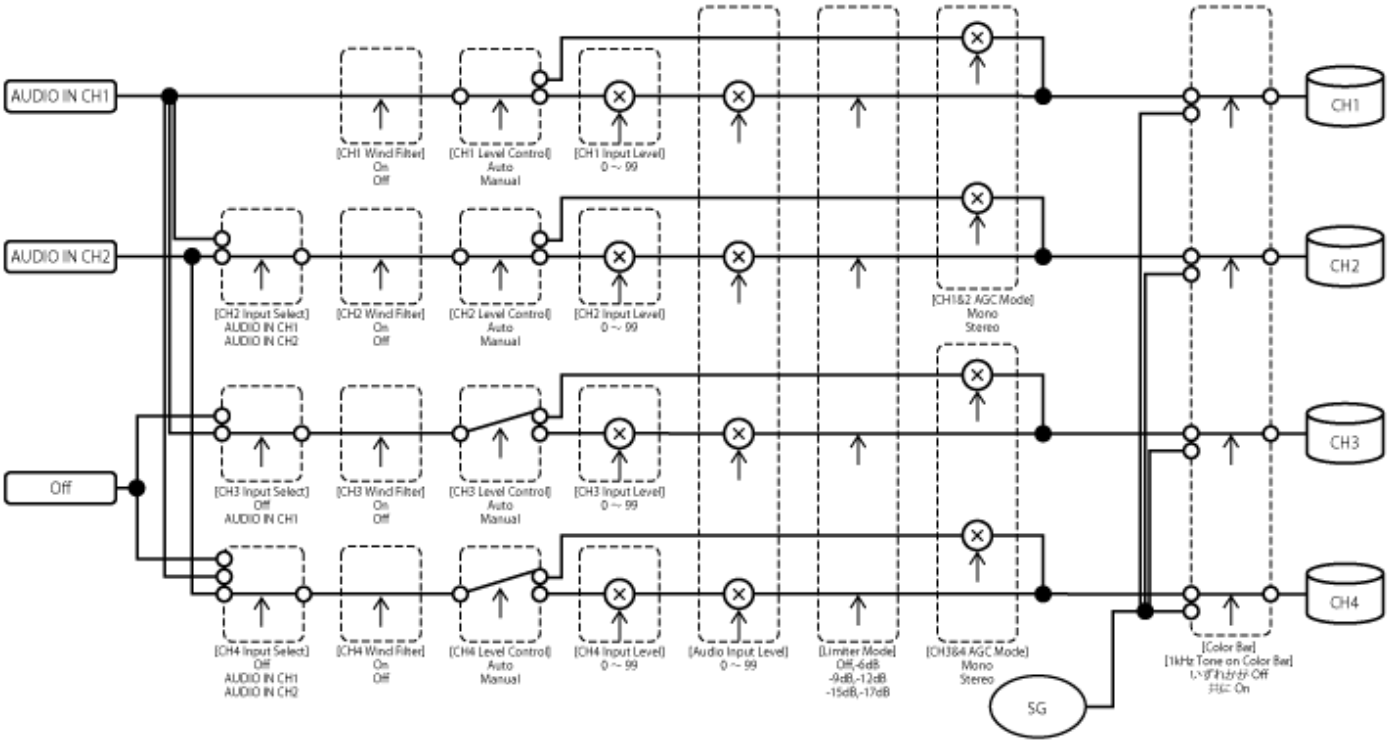
- プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

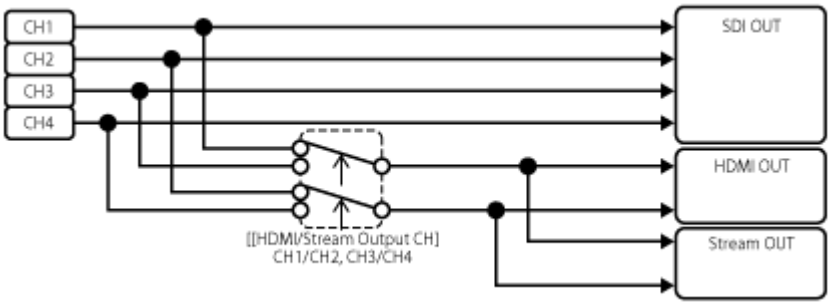
Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ブロックダイヤグラム

Audio Input



Audio Output



5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

本機でEマウントレンズ本体のソフトウェアをアップデートできます。
アップデートできるレンズ本体とそのソフトウェアは、レンズのWebサイトをご覧ください。
アップデート操作は、Webメニューで行います。

1. **Eマウントレンズを本機に取り付ける。**
2. **Webメニューの［Maintenance］メニュー >［Information］の［Lens］で［Model Name］と［Version Number］を確認する。**

   Eマウントレンズのソフトウェアバージョン番号が横に表示されます。
   ソフトウェアバージョン番号を確認後、必要に応じてソフトウェアのアップデート操作を続けます。
3. **Web Appを実行しているデバイスに、Windows用のレンズソフトウェアアップデートファイル（拡張子"exe"）をダウンロードする。**
4. **［Maintenance］メニュー >［Information］>［Lens］の［Version Up］で［Choose File］ボタンを押して、ダウンロードしたアップデートファイルを選択する。**
5. **画面の指示に従って操作を行う。**

ご注意

- アップデートが完了するまで次の操作は行わないでください。
  - ネットワークを切断する
  - レンズを取り外す
  - 電源を切る
- アップデートに失敗した旨のメッセージが表示された場合、表示された内容を確認のうえ、再度アップデートを実行してください。

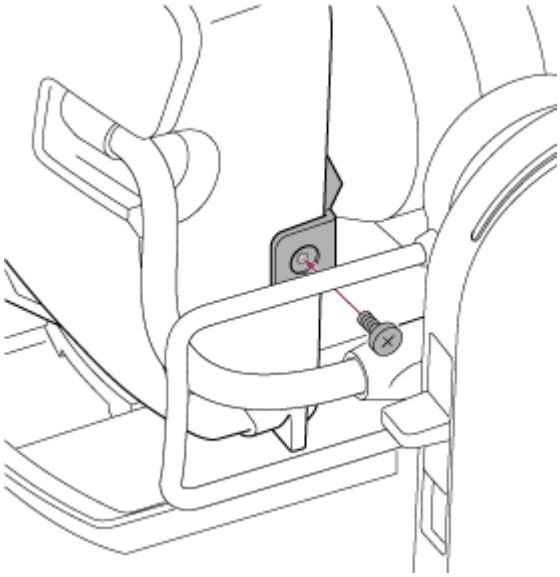
5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

レンズリリースボタンカバーを取り付ける

レンズリリースボタンに天井取付金具CIB-PCM1（別売）付属のレンズリリースボタンカバー取り付けることで、意図しないレンズの取り外しを防ぐことができます。

1. **レンズを取り付ける。**
   レンズの取り付けかたは、「レンズを取り付ける」をご覧ください。
2. **パン・チルトロックレバーをLOCK位置にスライドして、カメラヘッドのパン・チルトをロックする。**
3. **レンズイジェクトカバーを取り付けるできる位置までカメラブロックを移動する。**
4. **レンズリリースボタンを覆うようにレンズイジェクトカバーを装着する。**
5. **レンズイジェクトカバー付属の固定ネジでレンズイジェクトカバーを固定する。**



ご注意

- 完全にレンズの取り外しができなくなるものではありません。

関連項目

- レンズを取り付ける

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
(i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEGLA, LLC.のホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。
これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。
https://oss.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

µT-Kernelソースコードについて

本製品は、トロンフォーラム（www.tron.org）のT-License 2.1に基づきµT-Kernelソースコードを利用しています。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げの店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

仕様

一般

質量

- 約4.6 kg（本体のみ）
- 約6.0 kg（SELP28135Gレンズ含む）

外形寸法

「外形寸法」をご覧ください。

電源電圧

- DC 19.5 V
- PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)

消費電力

- DC 19.5 V 80.0 W以下
- PoE++ 71.3 W以下

動作温度

- 0 ℃～40 ℃

保存温度

- −20 ℃～+60 ℃

記録フォーマット（ビデオ）

- XAVC Intra
  XAVC-I 4K/QFHDモード：VBR、最大ビットレート600 Mbps、MPEG-4 AVC/H.264
  XAVC-I HDモード：CBG、最大ビットレート223 Mbps、MPEG-4 AVC/H.264

- XAVC Long
  XAVC-L QFHDモード：VBR、最大ビットレート150 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
  XAVC-L HD 50モード：VBR、最大ビットレート50 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
  XAVC-L HD 35モード：VBR、最大ビットレート35 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

記録フォーマット（オーディオ）

- LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

記録フレームレート

- XAVC Intra
  XAVC-I 4Kモード：4096×2160/59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P
  XAVC-I QFHDモード：3840×2160/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  XAVC-I HDモード：1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

- XAVC Long
  XAVC-L QFHDモード：3840×2160/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  XAVC-L HD 50モード：1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

XAVC-L HD 35モード：1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

記録・再生時間

- XAVC Intra
  XAVC-I QFHDモード：59.94P、約30分（CEA-G160T使用時）
  XAVC-I HDモード：59.94P、約78分（CEA-G160T使用時）

- XAVC Long
  XAVC-L QFHDモード：59.94P、約115分（CEA-G160T使用時）
  XAVC-L HD 50モード：59.94P、約155分（CEA-G80T使用時）
  XAVC-L HD 35モード：59.94P、約210分（CEA-G80T使用時）

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

パン・チルト駆動部

- パン最低速度：0.02°/s
- チルト最低速度：0.02°/s
- パン最高速度：60°/s
- チルト最高速度：60°/s
- パン動作範囲：-170° ～ +170°
- チルト動作範囲：-30° ~ +195°
- 静粛性：NC35以下
- プリセットポジション数：100個

カメラ部

撮像素子

- 35 mmフルサイズ（35.6 x 23.8 mm）、Exmor R CMOSセンサー

画素数

- 約1290万画素（総画素数）
- 約1030万画素（カメラ有効画素数）

オートフォーカス

- 検出方式：位相差検出方式/コントラスト検出方式

内蔵NDフィルター

- CLEAR：OFF
- 1：1/4ND
- 2：1/16ND
- 3：1/64ND
- リニア可変ND：1/4ND ～ 1/128ND

ISO感度

- ISO 800/12800（Cine EIモード、D55 Light source）

レンズマウント

- Eマウント

ラティチュード

- 15+ stop

シャッタースピード

- 64F ～ 1/8000秒（23.98P時）

シャッターアングル

- 5. 6°～ 360°、2 ～ 64frame

スロー&クイックモーション

- XAVC QFHD：1 ～ 120 fps
- XAVC HD：1 ～ 240 fps
- XAVC 4K：1 ～ 60 fps
- XAVC HD（S35）：1 ～ 120 fps

ホワイトバランス

- 2000 K ～ 15000 K

ゲイン

- −3 dB ～+30 dB（1 dB単位）

基本ルック

- S-Cinetone、Standard、Still、ITU709、709tone、s709、709(800%)、S-Log3、HLG Live、HLG Natural

オーディオ部

サンプリング周波数

- 48 kHz

量子化特性

- 24ビット

周波数特性

- 本体XLR入力MICモード時：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB以内）
- 本体XLR入力LINEモード時：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB以内）

ダイナミックレンジ

- 本体XLR入力MICモード時：80 dB（Typical）
- 本体XLR入力LINEモード時：90 dB（Typical）

ひずみ率

- 本体XLR入力MICモード時：0.08%以下（入力レベル−40 dBu時）
- 本体XLR入力LINEモード時：0.08%以下（入力レベル+14 dBu時）

入出力部

入力

DC IN

- EIAJ標準、DC 19.5 V

AUDIO IN

- XLR型、5ピン、凹
  LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能
  MIC：Reference −30 dBu ～−80 dBu

GENLOCK IN

- BNC端子、1.0 Vp-p、75 Ω

TC IN

- BNC端子

出力

SDI OUT

- BNC端子、12G-SDI、6G-SDI、3G-SDI（Level A/B）、HD-SDI

HDMI

- Type-A端子

OPTICAL出力端子

- SFP+準拠
  * 本機は光信号入力には対応しておりません。

入出力

LAN端子

- RJ-45 1000BASE-T

OPTION端子

- RJ-45 タリー入出力端子

メディアスロット部

- CFexpress Type A/SDカードスロット（2）

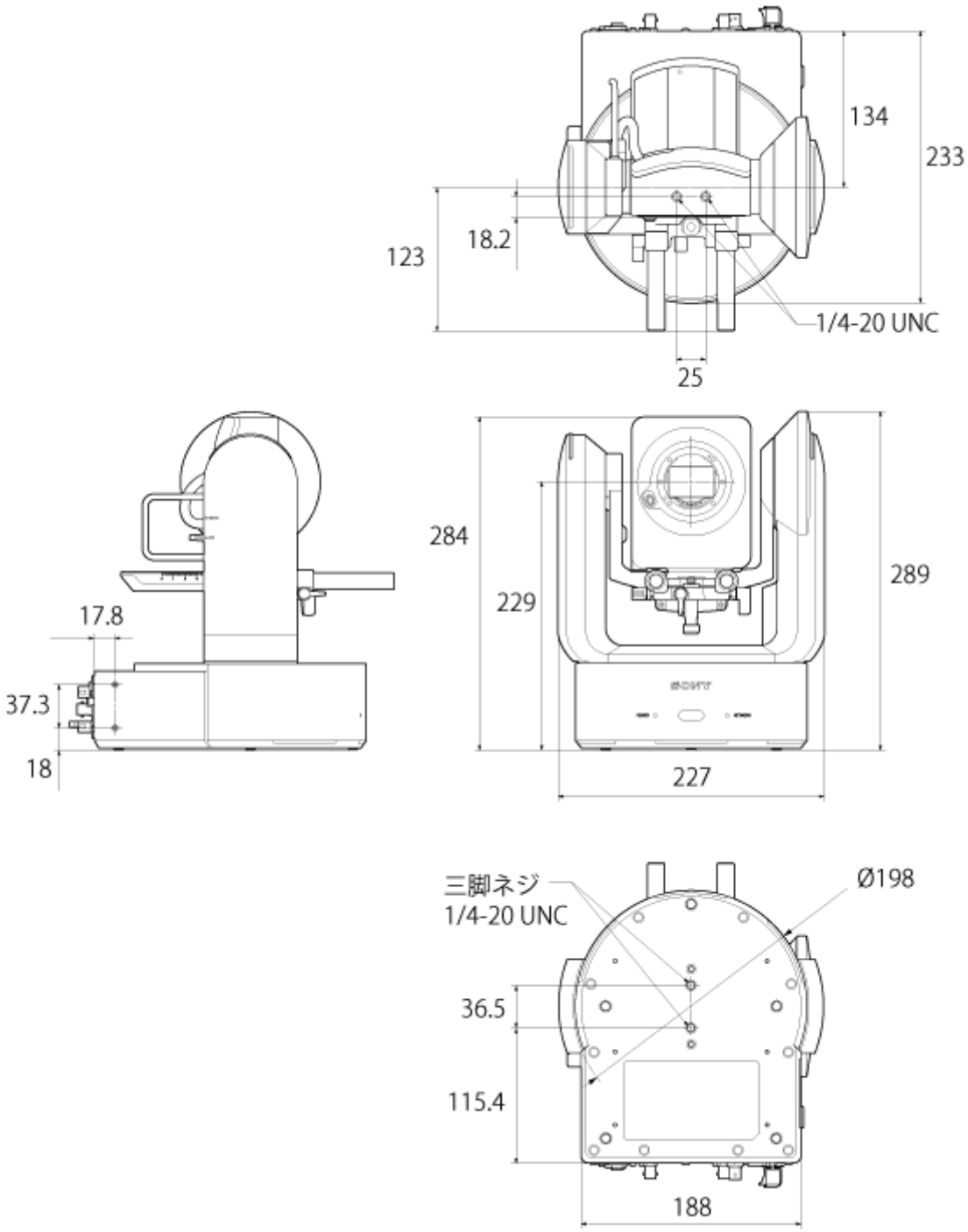
付属品

- ACアダプター（1）
- 電源コード（1）
- 赤外線リモコン（1）
- ボディキャップ（1）（本機に装着）
- HDMIケーブル抜け止めプレート（1）
- ご使用になる前に（1）
- 保証書（1）

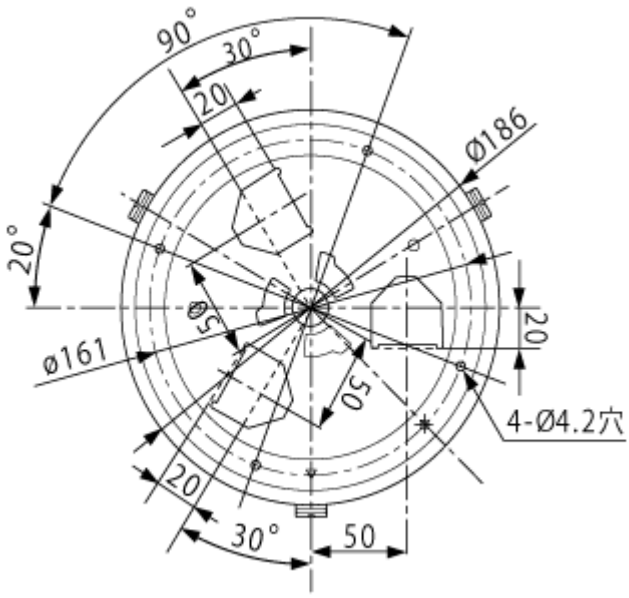
外形寸法

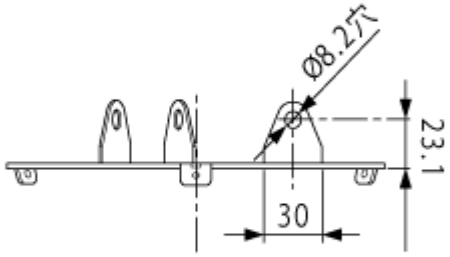
外形寸法は概算値です。
単位：mm

カメラ本体


134
233
123
18.2
1/4-20 UNC
25
17.8
37.3
18
284
229
289
227
三脚ネジ
1/4-20 UNC
Ø198
36.5
115.4
188

シーリングブラケット





仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

Interchangeable Lens Digital Camera
ILME-FR7 / ILME-FR7K

商標について

- αはソニーグループ株式会社の商標です。
- “XAVC”および XAVC はソニーグループ株式会社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- “Catalyst Browse” ロゴはソニーグループ株式会社の商標または登録商標です。
- IOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- iPadOS、Safari、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CFexpress Type Aロゴ、CFexpressはCompactFlash Associationの商標です。
- NewTekTM およびNDI® は、NewTek, Inc. の登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core は、アメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

5-041-957-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation